

草加市
地域福祉計画 アンケート調査
調査結果報告書

令和5年2月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の対象	3
3	調査の方法	3
4	調査の実施時期	3
5	配布・回収の結果	4
6	報告書の表記及び注意点について	4
II	調査結果の分析	5
①	一般市民調査	7
	お住いの地域について	7
	近所づきあいについて	16
	地域活動やボランティア活動について	34
	情報の入手について	60
	住民同士の支え合いについて	67
	居場所について	86
	判断能力が低下した方への支援について	93
	再犯防止について	101
	地域福祉推進に向けた取組について	106
	あなたご自身について	108
②	地域活動団体調査	119
	貴団体について	119
	活動状況等について	123
③	福祉サービス提供事業所調査	155
	貴事業所について	155
	地域貢献活動について	161
④	民間企業調査	189
	貴社について	189
	地域貢献活動について	191
	相談窓口・組織等について	205
⑤	調査結果まとめ	209

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度（2024年度）を始期とする「草加市地域福祉計画」を策定するにあたり、市内の各地域における住民のつながりや地域活動の状況、地域福祉行政に関する意見などを把握し、計画づくりの参考資料として活用するために実施した。

2 調査の対象

①一般市民調査

調査対象は、18歳以上の本市の住民とし、年齢、性別、居住地区等の構成比を考慮した上で、層化無作為抽出法※により2,000サンプルを抽出した。

②地域活動団体調査

調査対象は、本市で活動する地域活動団体から、420サンプルを抽出した。

③福祉サービス提供事業所調査

調査対象は、本市に所在する福祉サービス提供事業所から、263サンプルを抽出した。

④一般企業調査

調査対象は、本市に所在する一般企業から、719サンプルを抽出した。

※母集団を調査区分ごとに地域や年齢・性別などの複数の層に分け、各層の人口に応じた比例配分によりサンプル数を定め、そこから無作為にサンプルを選び出す方法。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

オンラインによる回答

4 調査の実施時期

令和4年12月12日（月）～12月26日（月）

5 配布・回収の結果

①一般市民調査

配布数	回収数 【回収率】
2,000件	943件 【47.2%】

②地域活動団体調査

配布数	回収数 【回収率】
420件	325件 【77.4%】

③福祉サービス提供事業所調査

配布数	回収数 【回収率】
263件	185件 【70.3%】

④民間企業調査

配布数	回収数 【回収率】
719件	310件 【43.1%】

6 報告書の表記及び注意点について

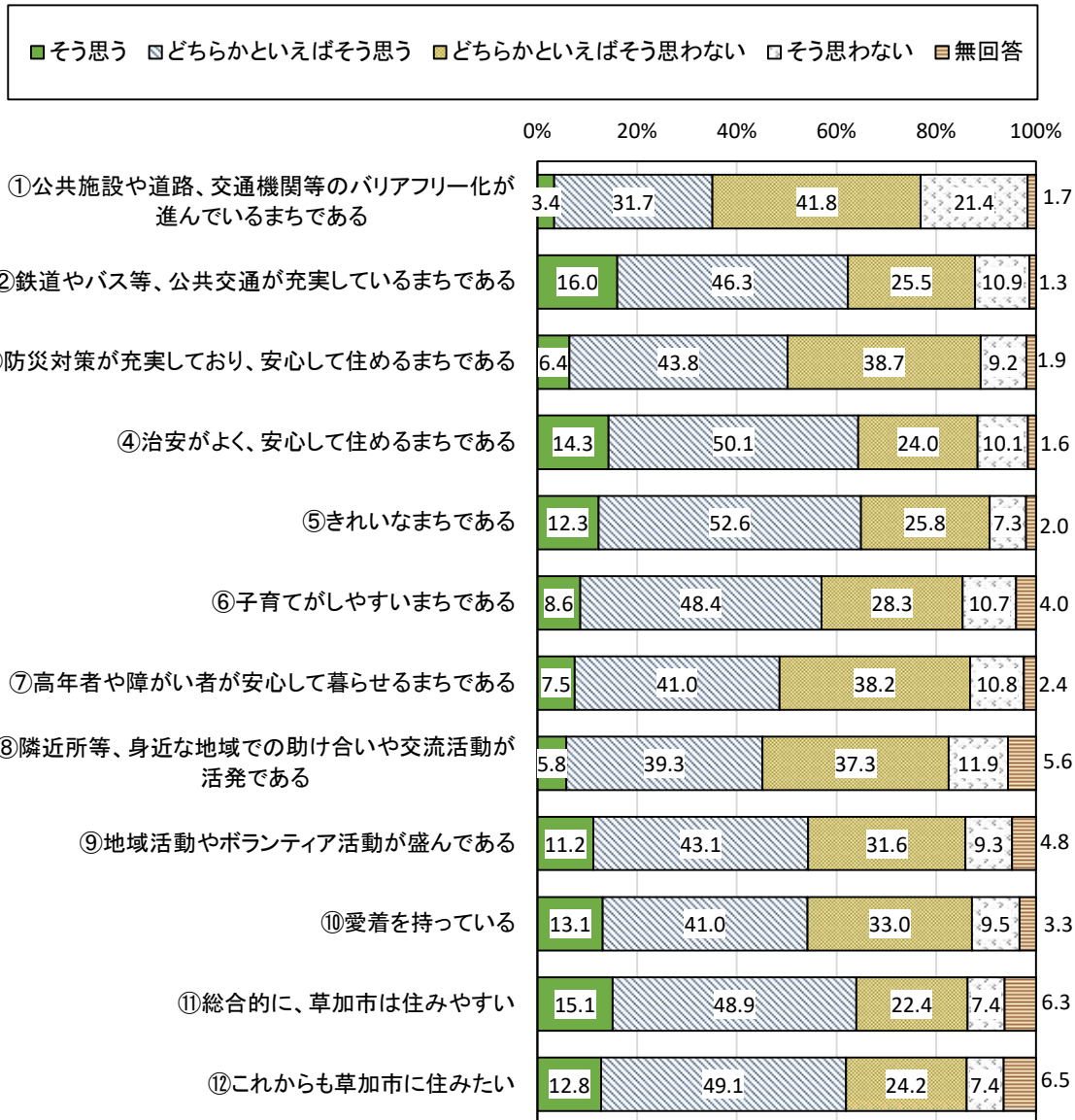
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

Ⅱ 調査結果の分析

①一般市民調査

お住いの地域について

問1. あなたがお住いの地域や周辺の環境について、お聞かせください。①～⑫のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えを1つ選んで☑をつけてください。



居住地域や周辺環境について、②公共交通機関の充実、③防災対策の充実、④治安がよい、⑤きれいなまち各評価項目で肯定的な評価（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」）が否定的な評価（「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」）の割合を上回り、①バリアフリー化については否定的な評価が上回っています。

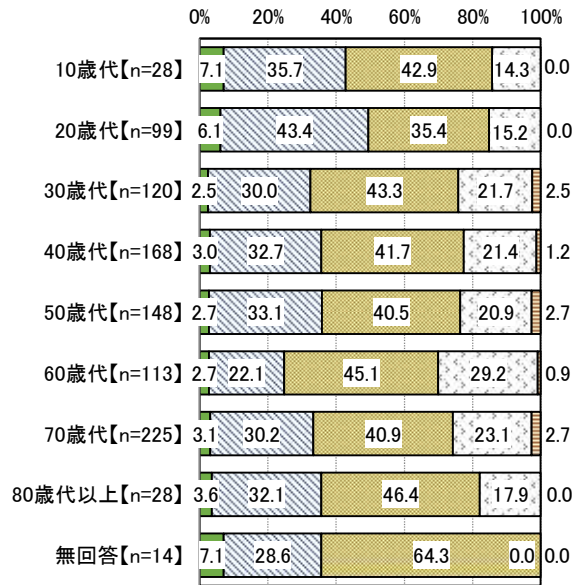
生活環境について、⑥子育て環境は肯定的な評価が上回り、⑦高齢者や障がい者の生活環境は肯定的な評価と否定的な評価の差は0.5ポイントであった。また、⑧助け合いや交流活動は否定的な評価が上回り、⑨地域活動やボランティア活動については肯定的な評価が上回った。

草加市について、⑩愛着を持っている、⑪住みやすい、⑫これからも住みたいでは、いずれも肯定的な評価が上回った。

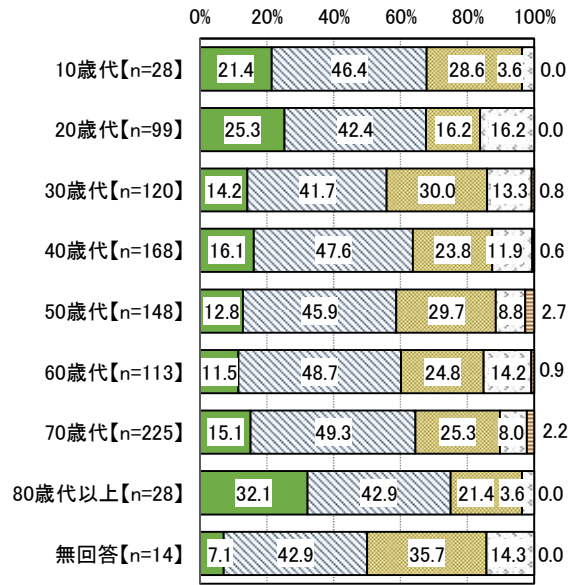
▶年代クロス集計



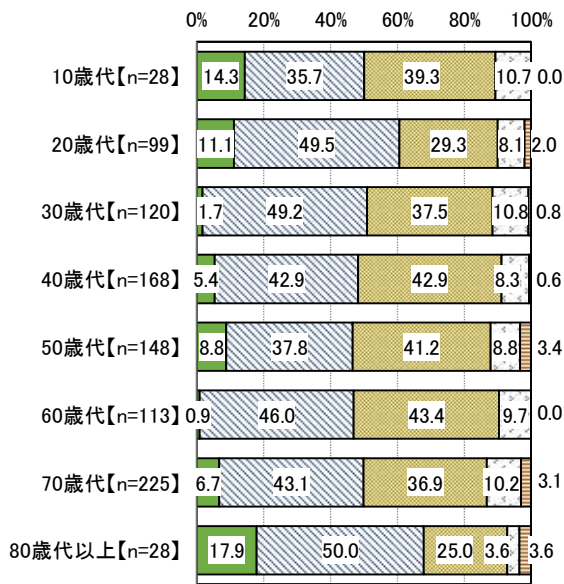
①公共施設や道路、交通機関等の
バリアフリー化が進んでいるまちである



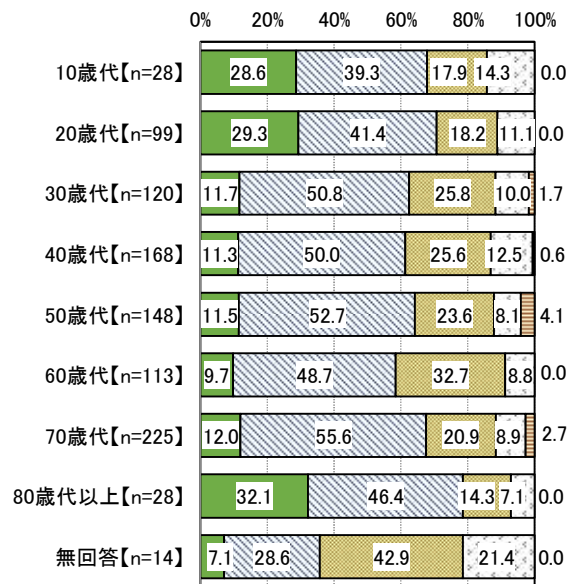
②鉄道やバス等、公共交通が充実している
まちである

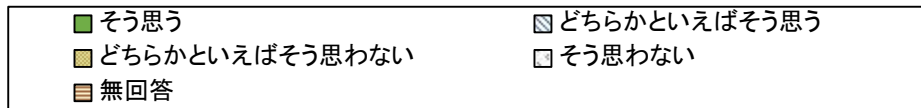


③防災対策が充実しており、安心して住める
まちである

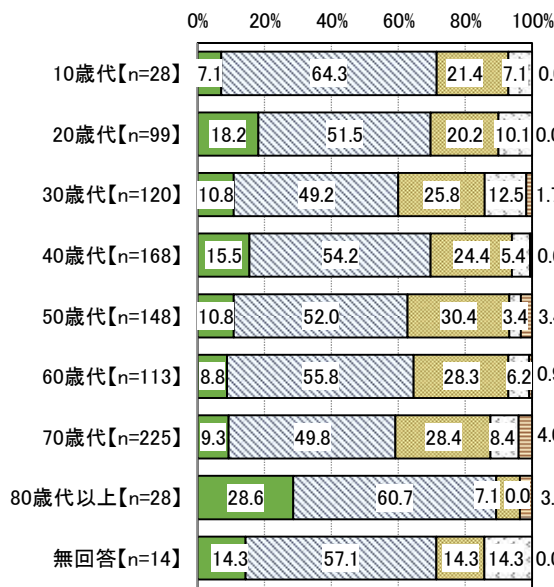


④治安がよく、安心して住めるまちである

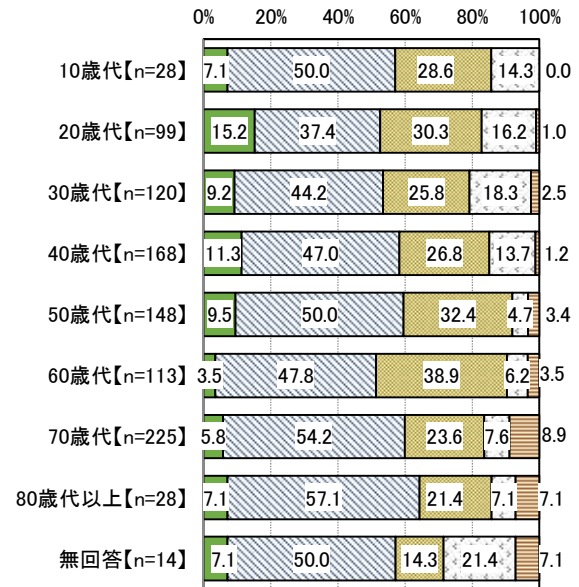




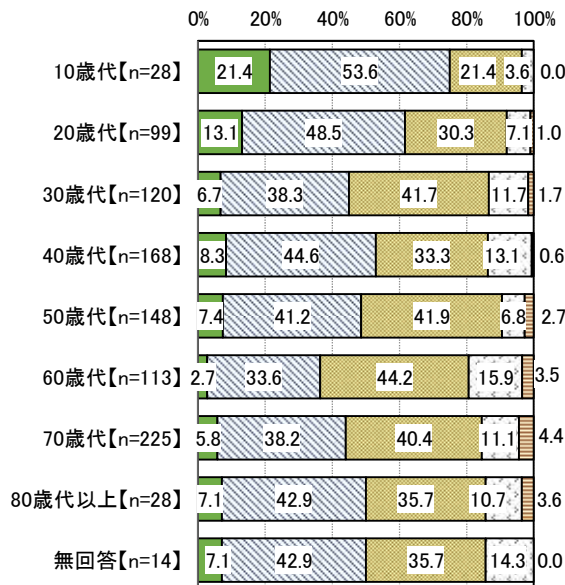
⑤きれいなまちである



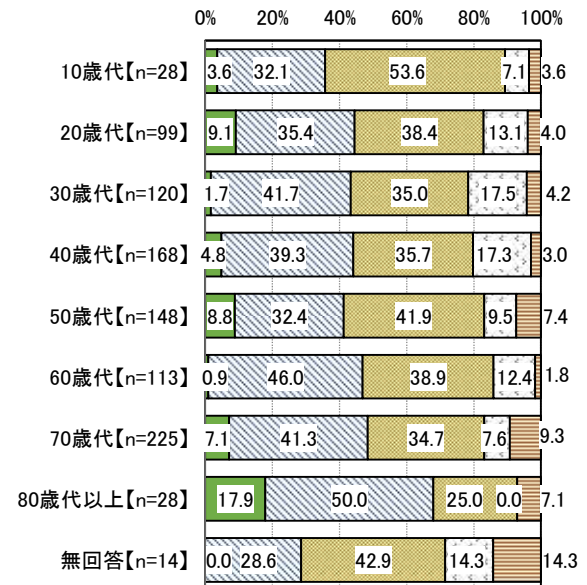
⑥子育てがしやすいまちである

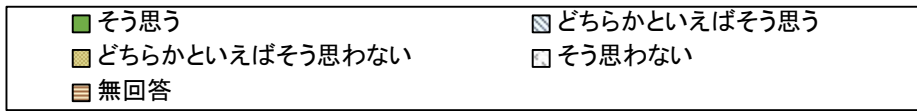


⑦高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちである

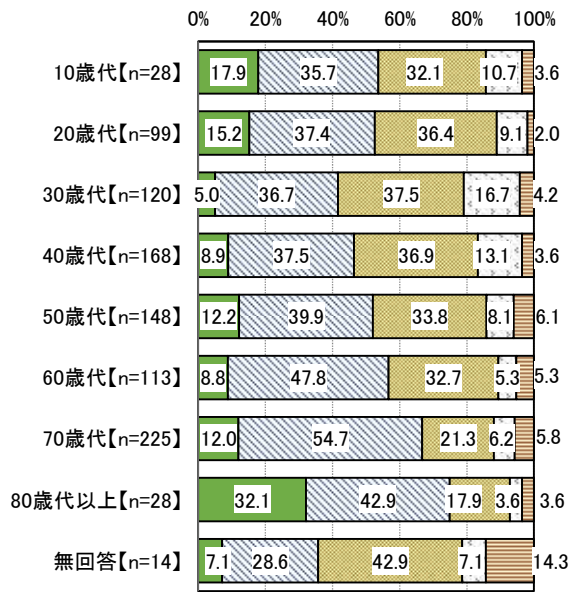


⑧隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である

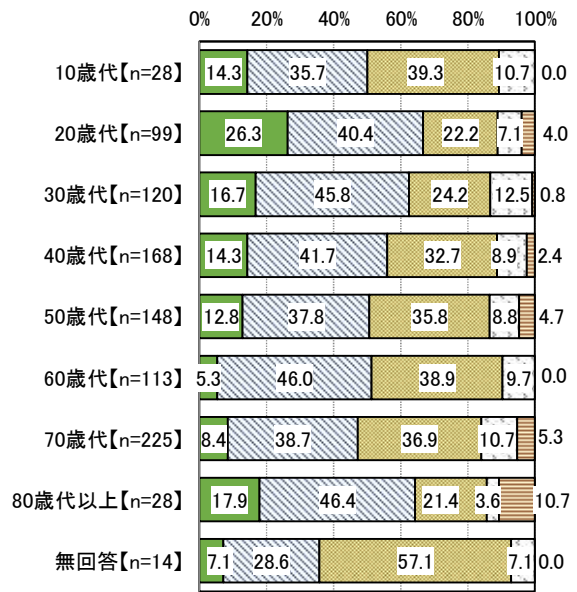




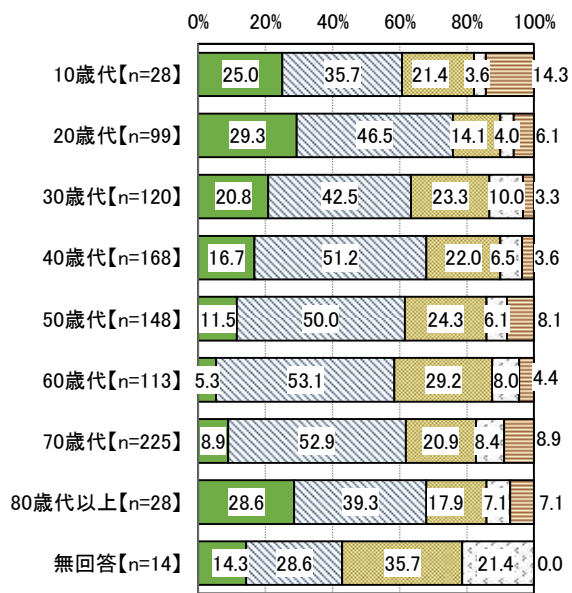
⑨地域活動やボランティア活動が盛んである



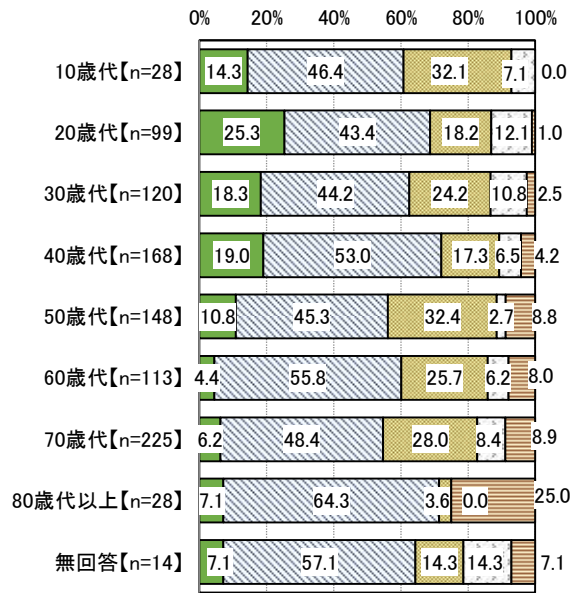
⑩愛着を持っている



⑪総合的に、草加市は住みやすい



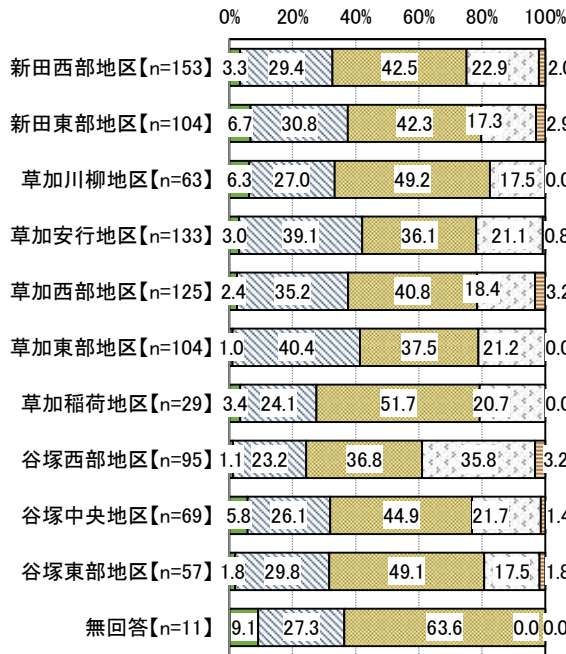
⑫これからも草加市に住みたい



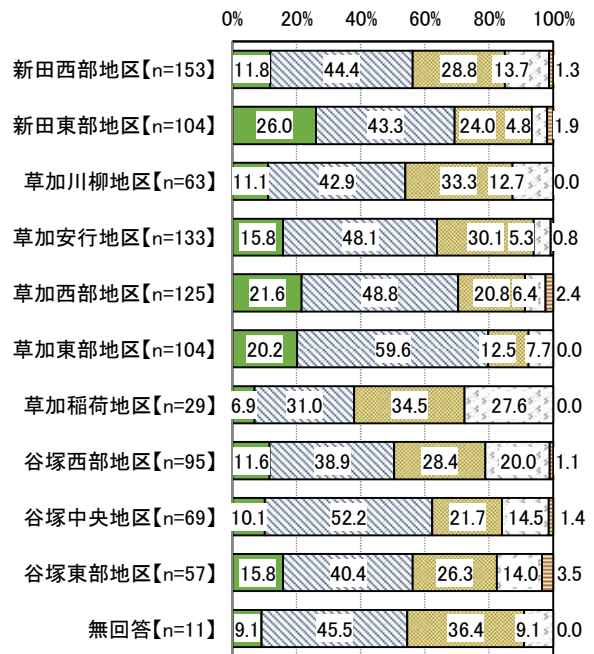
▶地区別クロス集計



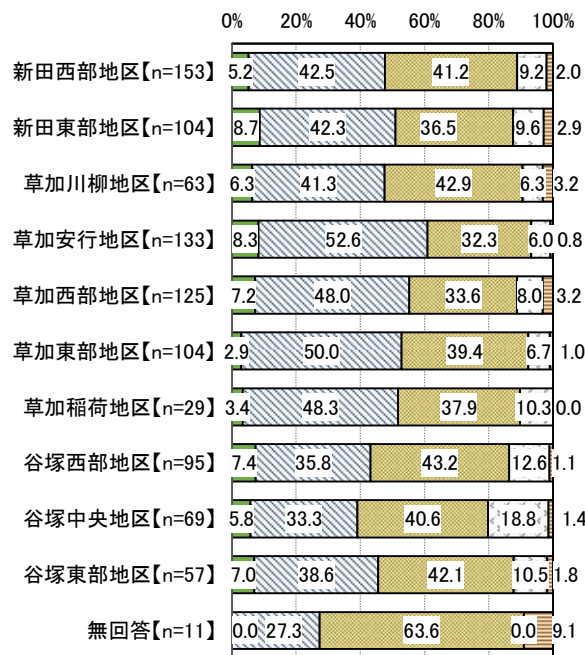
①公共施設や道路、交通機関等の
バリアフリー化が進んでいるまちである



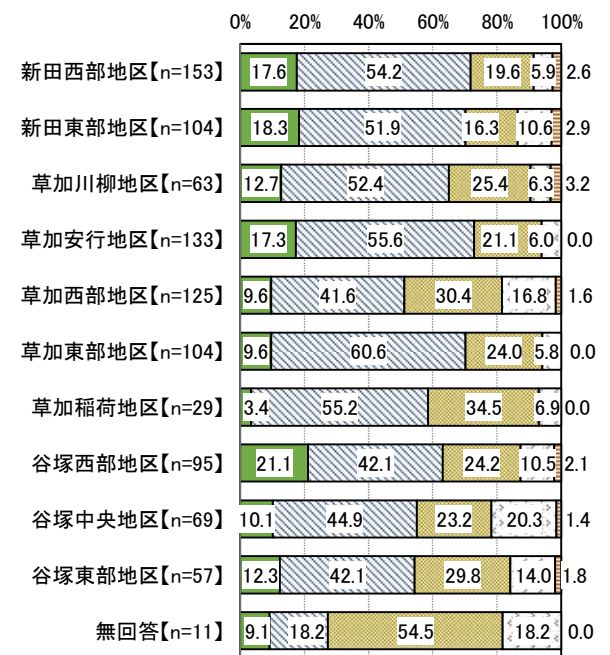
②鉄道やバス等、公共交通が充実している
まちである

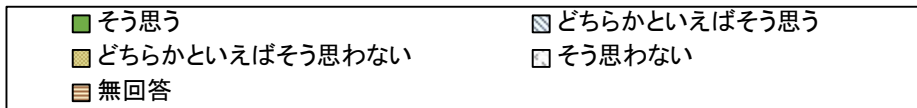


③防災対策が充実しており、安心して住める
まちである

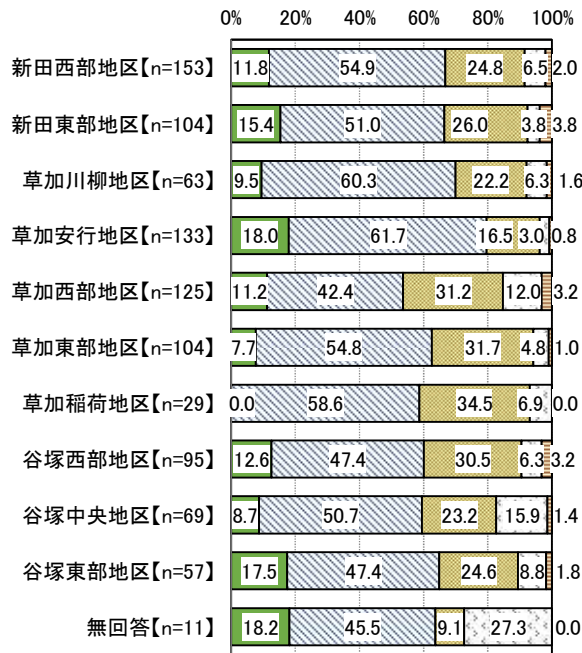


④治安がよく、安心して住めるまちである

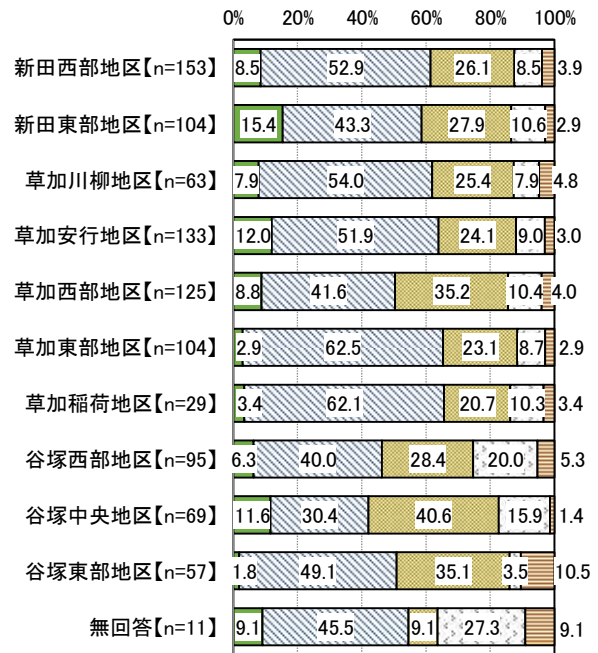




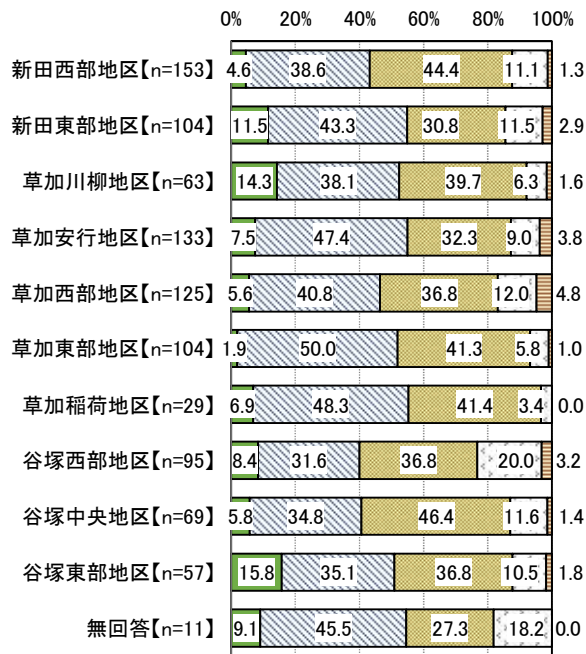
⑤きれいなまちである



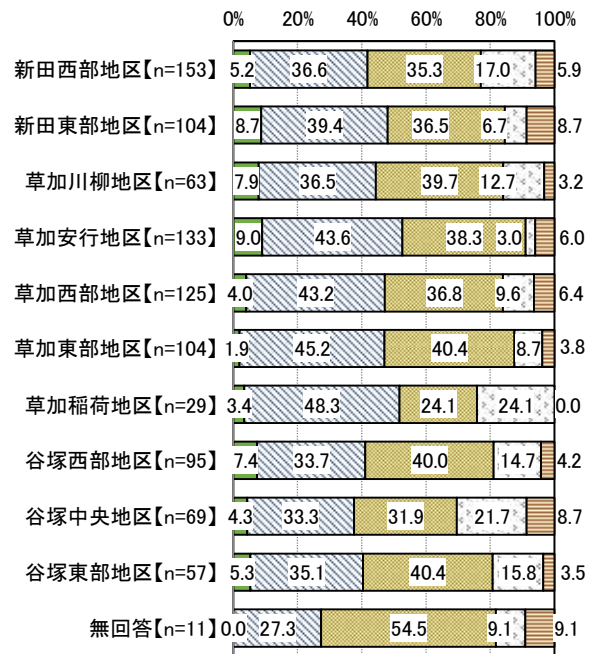
⑥子育てがしやすいまちである

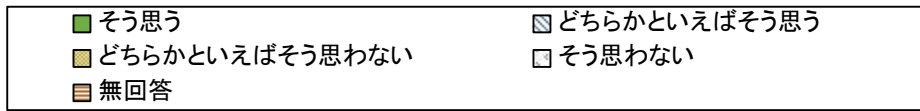


⑦高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちである

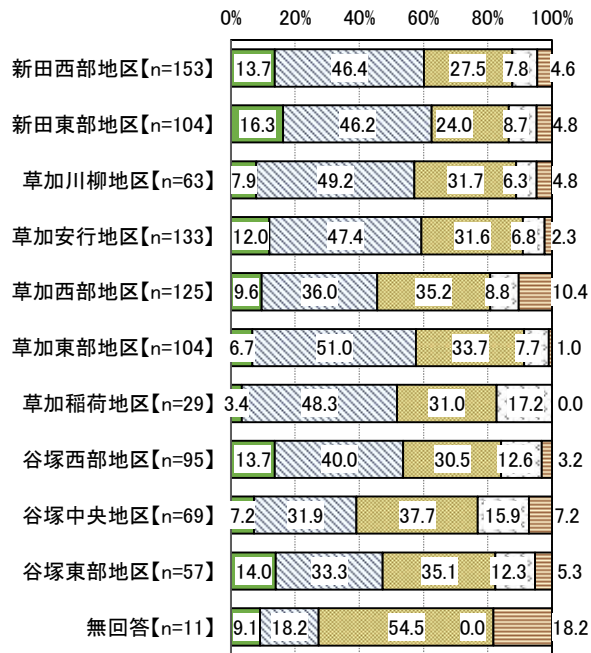


⑧隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である

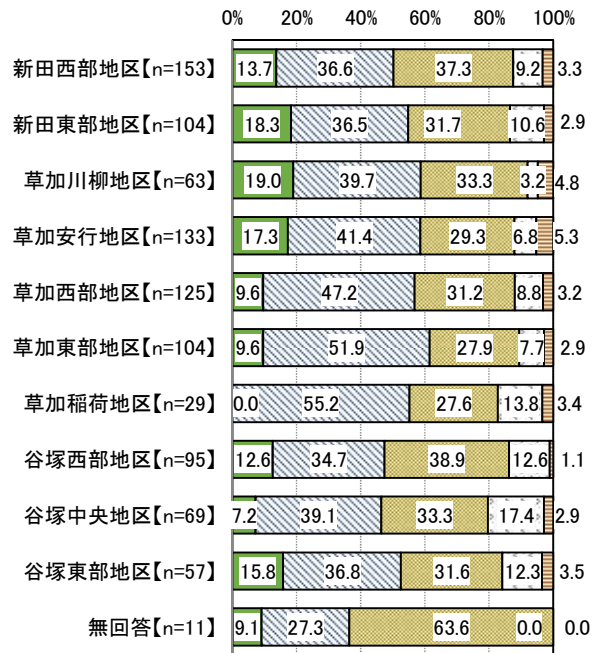




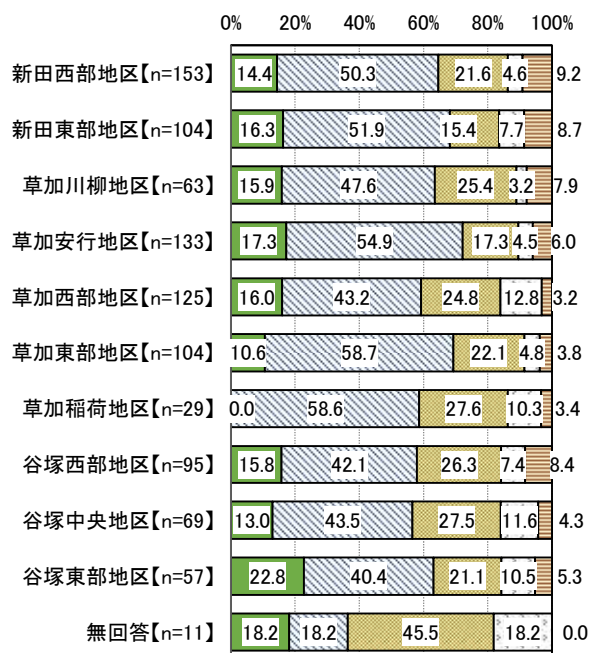
⑨地域活動やボランティア活動が盛んである



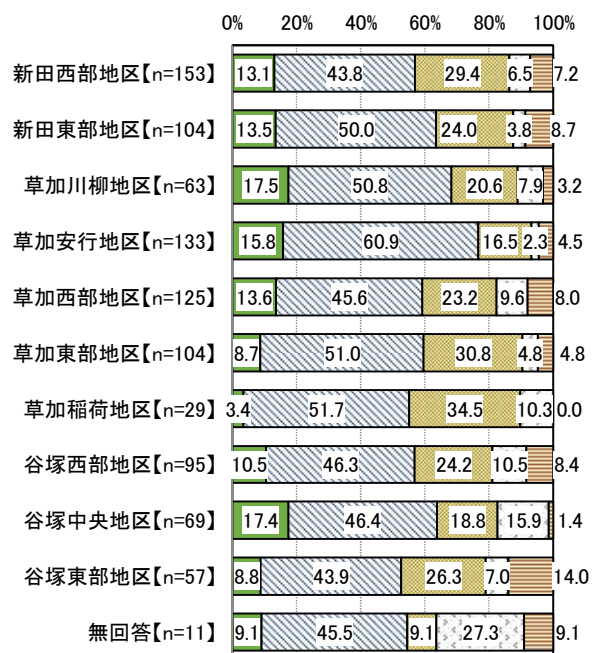
⑩愛着を持っている



⑪総合的に、草加市は住みやすい



⑫これからも草加市に住みたい



①バリアフリー化

10歳代、20歳代は「そう思う」の割合が多く、「そう思わない」の割合が少ない。30歳代以降、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が増えている。なかでも60歳代では「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が最も多い。

地区別でみると、谷塚西部地区は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が少なく、相対的に「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」割合が多くなっている。

②公共交通機関の充実

10歳代、20歳代、80歳代以上で「そう思う」の割合が多い。また、「どちらかといえばそう思う」は、どの年齢階層も4割台となっている。

地区別では、草加稲荷地区で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が他の地区より多くなっている。相対的に「そう思う」が少なくなっている。

③防災対策の充実

年齢別では「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」の割合が拮抗している。10歳代、20歳代で「そう思う」の割合が多い傾向がみられる。

地区別では、「どちらかといえばそう思う」の割合は、4～5割台となっているが、谷塚3地区のみ3割台と少なくなっている。なかでも、谷塚中央地区では「そう思わない」の割合が他の地区よりも多くなっている。

④治安がよい

10歳代、20歳代、80歳代以上で「そう思う」の割合が多くなっている。

地区別では、草加西部地区、谷塚中央地区、谷塚東部地区で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が少ない。相対的に「そう思わない」の割合が多くなっている。草加西部地区、谷塚中央地区、谷塚東部地区では人口密度の多い地区が含まれている。

⑤きれいなまち

80歳代以上では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が他の年齢階層より多くなっている。

地区別では、草加安行地区で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が他の地区よりも多くなっている。相対的に「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合も少なくなっている。

⑥子育てしやすいまち

すべての年齢階層で「どちらかといえばそう思う」の割合が多い傾向がみられるなか、20歳代、40歳代では「そう思う」の割合も多くなっている。一方で、10歳代～40歳代の子育て世代では「そう思わない」の割合が他の年齢階層と比較しても多くなっている。

地域別では、草加西部地区と谷塚中央地区で「どちらかといえばそう思わない」の割合が多くなっている。

⑦高齢者や障がい者の生活環境

10歳代、20歳代で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が多い。60歳代では、「そう思わない」の割合が他の年齢階層より多くなっている。

地区別では、谷塚西部地区で「そう思わない」が他の地区より多くなっている。

⑧助け合いや交流活動

80歳以上では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が突出して多くなっている。30歳代、40歳代では「そう思わない」の割合が多い傾向がみられた。

地区別では、草加稲荷地区、谷塚中央地区で「そう思わない」が2割を占めるなど多くなっている。

⑨地域活動やボランティア活動

30歳代で「どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多い。また、30歳代以降で年齢階層が上がるに従い「どちらかといえばそう思う」の割合が増える傾向がみられる。

地区別では、草加西部地区、谷塚中央地区で「どちらかといえばそう思う」の割合が少なくなっており、相対的に、谷塚中央地区では「そう思わない」の割合が多くなっている。

草加稲荷地区では「そう思わない」の割合が他の地区よりも多くなっている。

⑩愛着を持っている

20歳代で「そう思う」の割合が他の年齢階層より多く、「どちらかといえばそう思わない」の割合が最も多いのが10歳代となっている。

地区別では、『そう思わない（「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合計）』の割合が多いのが、新田西部地区、谷塚西部地区、谷塚東部地区となっている。草加稲荷地区では「そう思う」の割合が0であった。

⑪草加市は住みやすい

いずれの世代も「どちらかといえばそう思う」が占める割合は多い。なかでも、20歳代は「そう思う」の割合も多いことから、相対的に「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の割合も少なくなっている。

地区別では、草加安行地区、草加東部地区では『そう思う』の割合が7割となっている。その一方で、草加西部地区、草加稲荷地区、谷塚中央地区、谷塚東部地区で「そう思わない」の割合が多い傾向がみられた。

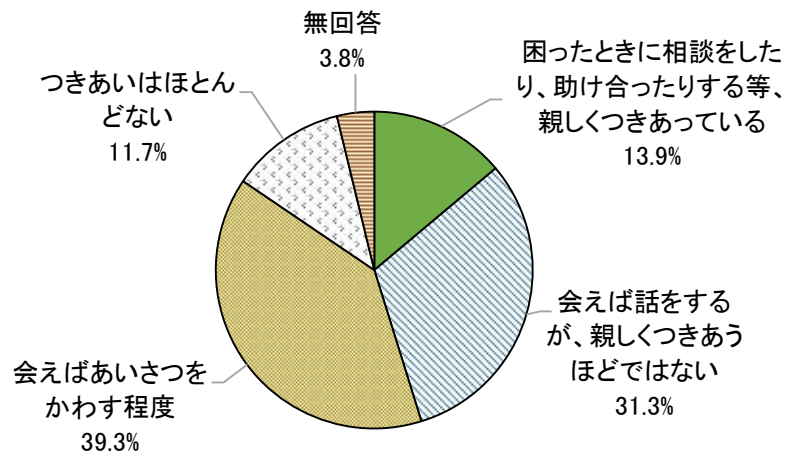
⑫これからも住みたい

どの年齢階層でも「どちらかといえばそう思う」の割合は4～6割程度と多くなっている。そのなかで、20歳代では「そう思う」の割合も多くなっている。その一方で、10歳代、50歳代では「どちらかといえばそう思わない」の割合が多い傾向がみられた。

地区別では、草加安行地区で『そう思う』割合が最も多くなっている。また、「そう思わない」の割合が多いのが、草加稲荷地区の34.5%であった。

近所づきあいについて

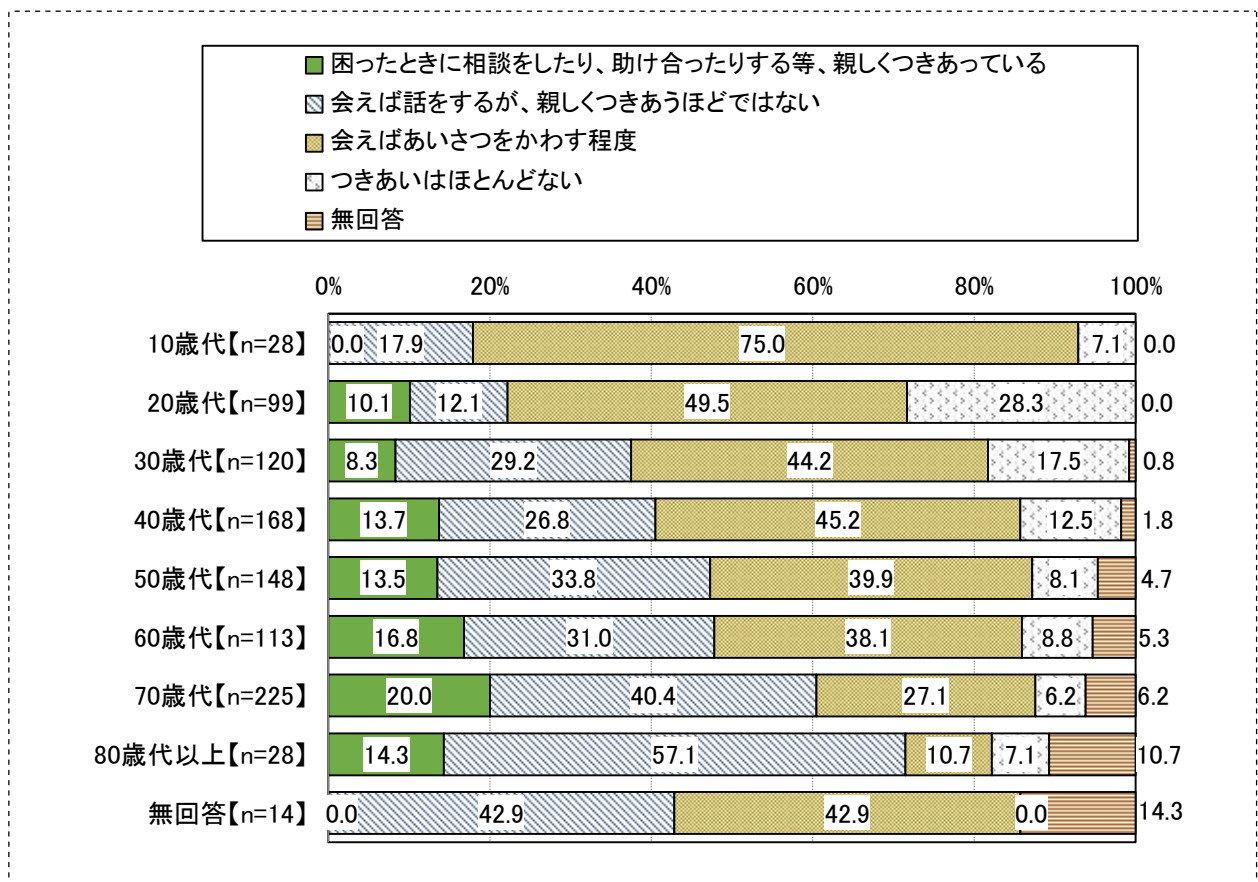
問2. 現在、あなたはどのような近所づきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに☑)



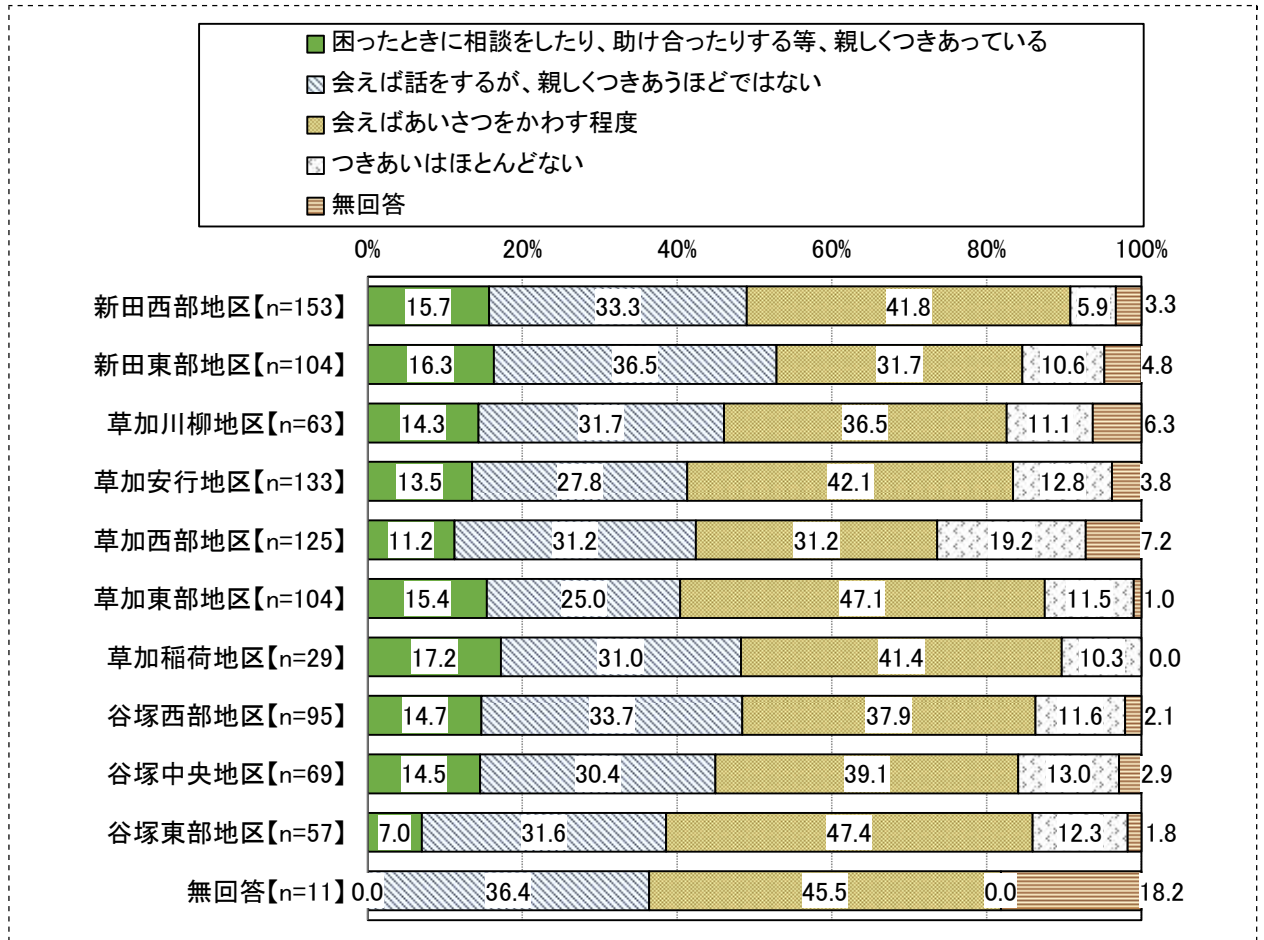
【n=943】

近所づきあいについて、「会えばあいさつをかわす程度」が39.3%で最も多く、以下、「会えば話をするが、親しくつきあうほどではない」が31.3%、「困ったときに相談をしたり、助け合ったりする等、親しくつきあっている」が13.9%、「つきあいほとんどない」が11.7%となっている。

▶年代別クロス集計



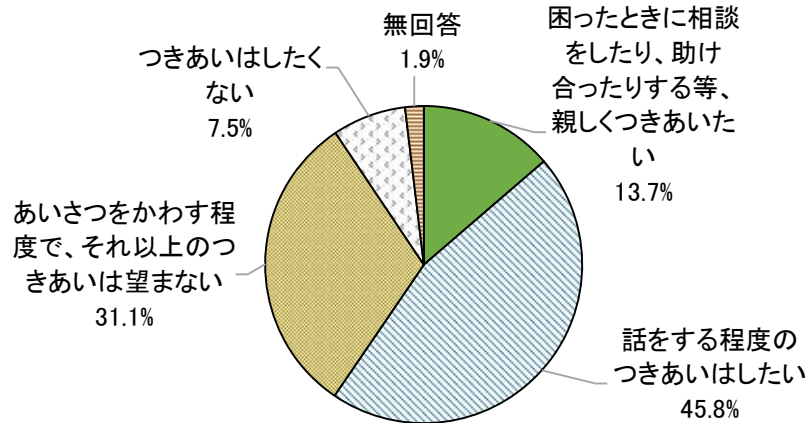
▶ 地区別クロス集計



年代別で見ると、若い世代ほど「会えばあいさつをかわす程度」の割合が多くなっている。世代が上がるにつれて「会えば話をするが、親しくつきあうほどではない」の割合が多くなっている。

地区別で見ると、草加西部地区は「つきあいはほとんどない」の割合が他の地区より多い傾向がみられた。

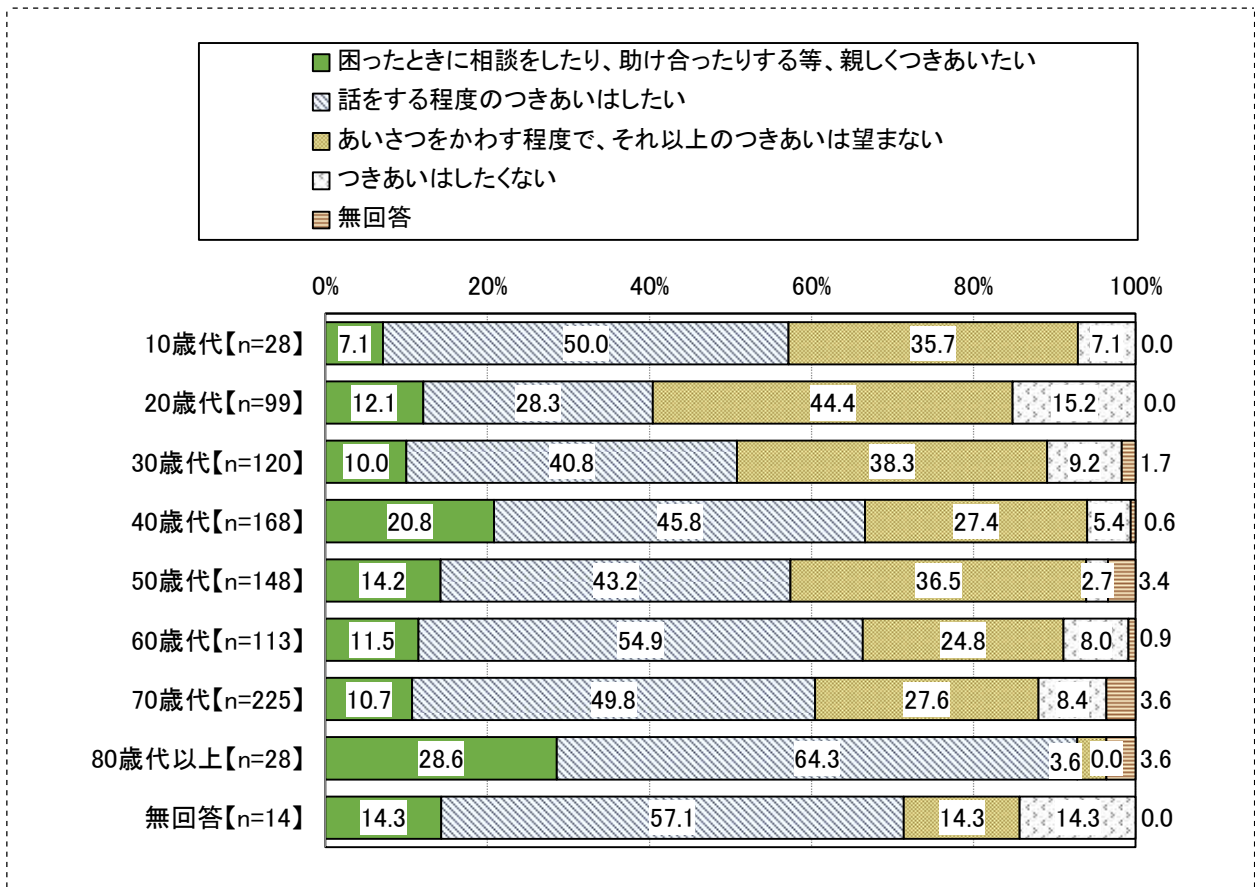
問3. あなたは今後、どのような近所づきあいをしたいですか。(あてはまるもの1つに☑)



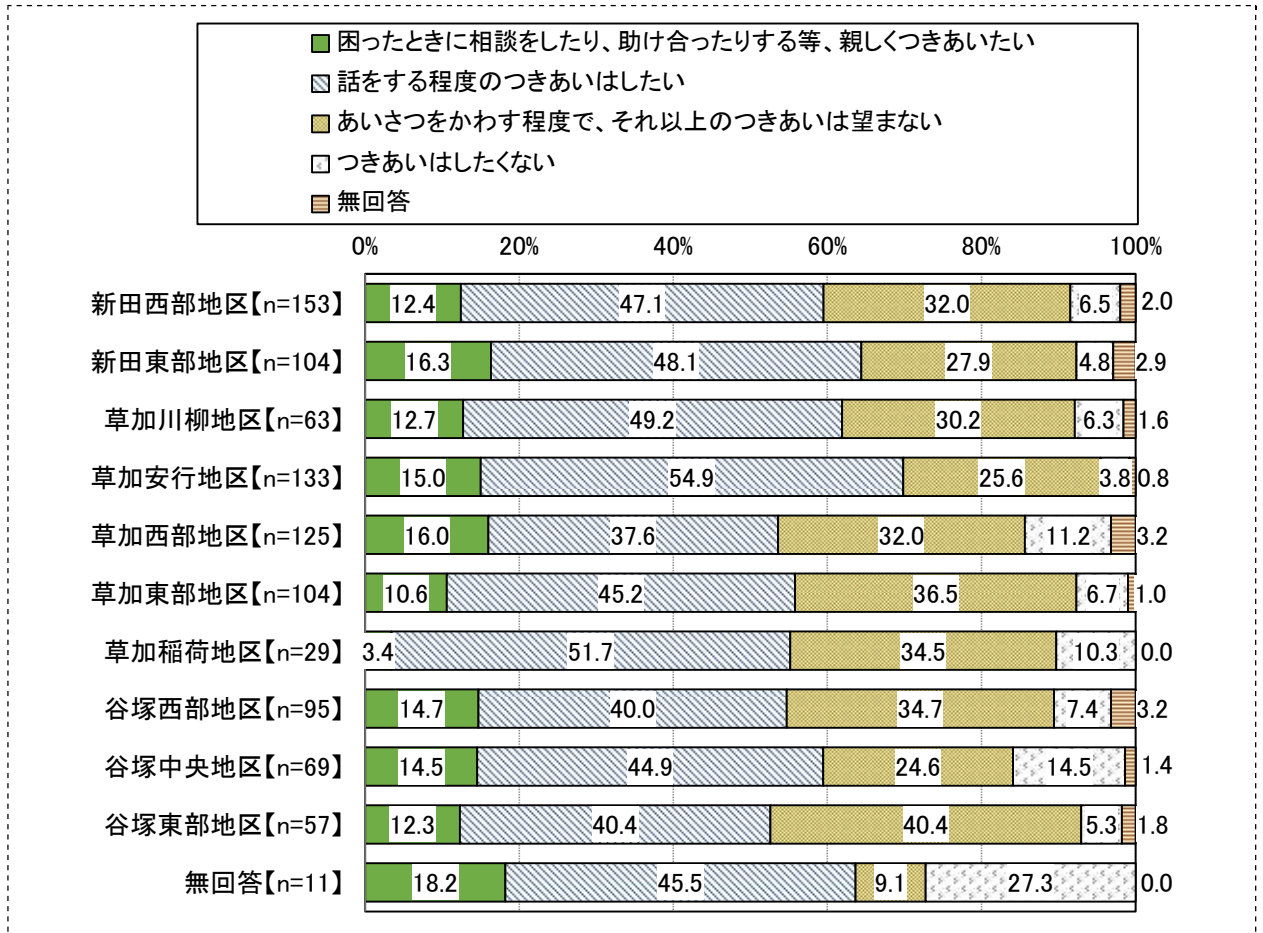
【n=943】

今後の近所づきあいについて、「話をする程度のつきあいはしたい」が45.8%で最も多く、以下、「あいさつをかかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない」が31.1%、「困ったときに相談をしたり、助け合ったりする等、親しくつきあいたい」が13.7%、「つきあいはしたくない」が7.5%となっている。

▶年代別クロス集計



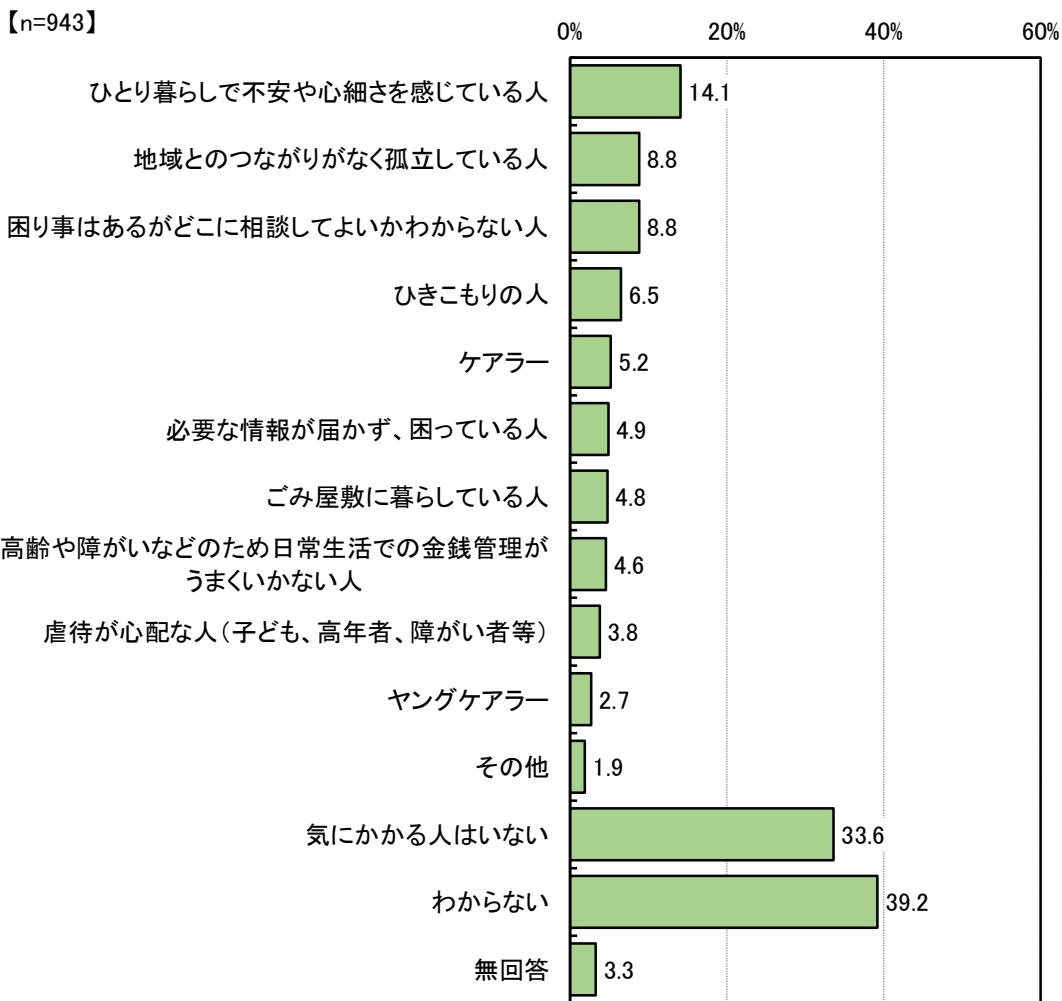
▶地区別クロス集計



年代別で見ると、80歳代以上で「困ったときに相談をしたり、助け合ったりする等、親しくつきあいたい」の割合が多くなっている。

地区別で見ると、草加西部地区、草加稲荷地区、谷塚中央地区で「つきあいはしたくない」の割合が多い傾向が見られた。

問4. あなた自身も含め、あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要そうな人）がいますか。（あてはまるもの全てに☑）



近所や地域に、「気にかかる人」がいるか尋ねたところ、「ひとり暮らしで不安や心細さを感じている人」が14.1%で最も多く、以下「地域とのつながりがなく孤立している人」と「困り事はあるがどこに相談してよいかわからない人」が同率の8.8%、「ひきこもりの人」が6.5%などとなっている。

また、39.2%が「わからない」、33.6%が「気にかかる人はいない」と回答している。

【その他】

- ・子どもが騒がしくしていると、窓から怒鳴り声を出す人がいる。
- ・大家族の子ども達が、夜中などに出歩いたりなんだか不安になる。保護観察のような人は来てはいるが、うまくコミュニケーションはとれていなさそう。
- ・買い物する場所が遠く、高齢なのに自動車を利用せざるをえない人。盲目の人。少し認知症の人。
- ・障がい者が障がい者をケアしている人。 など

問3では、「話をする程度のつきあいほしい」、「あいさつをかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない」の割合が多くなっており、問4では「わからない」の割合が最も多くなっていることから、人付き合いの希薄化を感じられる結果となった。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	ひとり暮らしで不安や心細さを感じている人	地域とのつながりがなく孤立している人	困り事はあるがどこに相談してよいかわからない人	ひきこもりの人	ケアラー	必要な情報が届かず、困っている人	ごみ屋敷に暮らしている人
10歳代【n=28】	3.6	7.1	3.6	7.1	7.1	0.0	0.0
20歳代【n=99】	7.1	5.1	5.1	10.1	9.1	3.0	6.1
30歳代【n=120】	5.8	5.0	3.3	5.0	4.2	2.5	5.8
40歳代【n=168】	13.1	8.3	7.7	6.5	3.0	4.8	4.2
50歳代【n=148】	12.2	9.5	9.5	5.4	4.1	5.4	7.4
60歳代【n=113】	20.4	10.6	12.4	2.7	8.0	8.0	4.4
70歳代【n=225】	20.0	8.0	10.7	7.6	4.4	5.3	3.6
80歳代以上【n=28】	21.4	28.6	17.9	10.7	3.6	10.7	3.6
無回答【n=14】	28.6	28.6	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0

	高齢や障がいなどのため日常生活での金銭管理がうまくいかない人	虐待が心配な人（子ども、高齢者、障がい者等）	ヤングケアラー	その他	気にかかる人はいない	わからない	無回答
10歳代【n=28】	0.0	3.6	7.1	0.0	42.9	42.9	0.0
20歳代【n=99】	2.0	4.0	7.1	3.0	31.3	40.4	5.1
30歳代【n=120】	3.3	5.8	3.3	3.3	30.0	46.7	4.2
40歳代【n=168】	5.4	4.8	3.6	1.8	39.9	35.1	1.8
50歳代【n=148】	4.1	4.1	2.0	1.4	32.4	41.9	4.1
60歳代【n=113】	8.8	4.4	1.8	2.7	32.7	38.1	0.0
70歳代【n=225】	4.0	1.8	0.4	1.3	32.9	36.4	4.9
80歳代以上【n=28】	7.1	3.6	0.0	0.0	25.0	39.3	3.6
無回答【n=14】	7.1	0.0	0.0	0.0	35.7	35.7	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

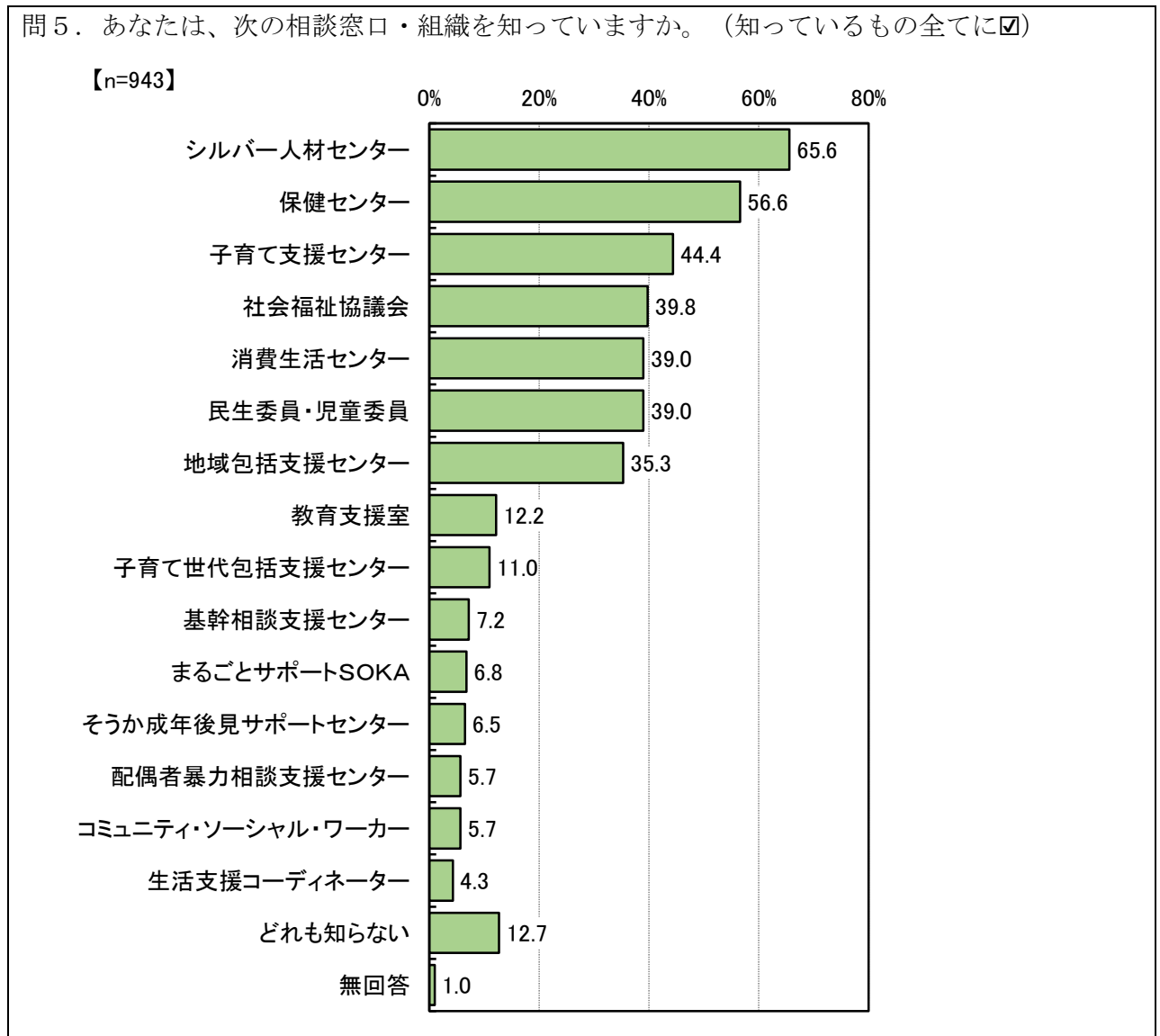
	ひとり暮らしで不安や心細さを感じている人	地域とのつながりがなく孤立している人	困り事はあるがどこに相談してよいかわからない人	ひきこもりの人	ケアラー	必要な情報が届かず、困っている人	ごみ屋敷に暮らしている人
新田西部地区【n=153】	13.1	9.2	8.5	8.5	3.3	2.6	6.5
新田東部地区【n=104】	15.4	8.7	8.7	3.8	2.9	7.7	1.0
草加川柳地区【n=63】	9.5	4.8	6.3	4.8	6.3	6.3	3.2
草加安行地区【n=133】	15.8	9.8	10.5	6.8	8.3	7.5	4.5
草加西部地区【n=125】	12.0	8.8	5.6	10.4	4.0	2.4	9.6
草加東部地区【n=104】	17.3	7.7	8.7	3.8	5.8	1.0	6.7
草加稲荷地区【n=29】	13.8	6.9	6.9	13.8	10.3	6.9	0.0
谷塚西部地区【n=95】	11.6	11.6	12.6	6.3	4.2	7.4	0.0
谷塚中央地区【n=69】	10.1	8.7	7.2	4.3	4.3	5.8	5.8
谷塚東部地区【n=57】	19.3	7.0	7.0	1.8	7.0	5.3	3.5
無回答【n=11】	36.4	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1

	高齢や障がいなどのため日常生活での金銭管理がうまくいかない人	虐待が心配な人	ヤングケアラー	その他	気にかかる人はいない	わからない	無回答
新田西部地区【n=153】	5.2	2.0	3.3	2.0	31.4	39.9	3.9
新田東部地区【n=104】	5.8	1.9	1.0	2.9	37.5	36.5	4.8
草加川柳地区【n=63】	1.6	3.2	0.0	0.0	34.9	41.3	4.8
草加安行地区【n=133】	6.8	7.5	3.0	1.5	36.8	36.8	0.8
草加西部地区【n=125】	4.0	2.4	4.0	2.4	36.8	36.8	4.0
草加東部地区【n=104】	4.8	3.8	3.8	1.9	29.8	39.4	4.8
草加稲荷地区【n=29】	3.4	10.3	3.4	3.4	41.4	34.5	0.0
谷塚西部地区【n=95】	2.1	5.3	0.0	0.0	27.4	44.2	1.1
谷塚中央地区【n=69】	5.8	2.9	2.9	5.8	30.4	44.9	2.9
谷塚東部地区【n=57】	1.8	1.8	3.5	0.0	33.3	38.6	5.3
無回答【n=11】	9.1	9.1	9.1	0.0	36.4	36.4	0.0

年代別でみると60歳以上の世代で「ひとり暮らしで不安や心細さを感じている人」の割合が多い傾向がみられた。

地区別で「ひきこもりの人」をみると、草加西部地区と草加稲荷地区で他の地区より多い傾向が見られた。

問5. あなたは、次の相談窓口・組織を知っていますか。(知っているもの全てに☑)



相談窓口・組織の認知度について、「シルバー人材センター（高年者の就業等に関すること）」が65.6%で最も多く、以下、「保健センター（健康相談、こころの健康相談に関すること）」が56.6%、「子育て支援センター（子ども（虐待・発達）に関すること）」が44.4%、「社会福祉協議会」が39.8%、「消費生活センター（商品購入や契約によるトラブルに関すること）」、「民生委員・児童委員」が同率の39.0%などとなっている。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	シルバー人材センター	保健センター	子育て支援センター	社会福祉協議会	消費生活センター	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	教育支援室	子育て世代包括支援センター
10歳代 [n=28]	28.6	53.6	46.4	14.3	39.3	10.7	14.3	3.6	10.7
20歳代 [n=99]	32.3	48.5	43.4	24.2	26.3	18.2	23.2	15.2	8.1
30歳代 [n=120]	52.5	47.5	56.7	25.8	27.5	17.5	20.0	10.8	25.8
40歳代 [n=168]	69.0	54.8	61.3	36.3	43.5	32.7	28.6	19.0	12.5
50歳代 [n=148]	71.6	62.2	52.7	41.2	48.0	48.0	35.8	13.5	8.8
60歳代 [n=113]	79.6	61.9	35.4	49.6	40.7	51.3	46.9	9.7	10.6
70歳代 [n=225]	77.8	59.1	28.9	51.1	41.8	55.1	46.7	8.0	6.2
80歳代以上 [n=28]	78.6	71.4	17.9	67.9	32.1	53.6	57.1	14.3	3.6
無回答 [n=14]	50.0	50.0	28.6	28.6	35.7	21.4	50.0	7.1	7.1

	基幹相談支援センター	まるごとサポートSO KA	そうか成年後見サポートセンター	配偶者暴力相談支援センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	生活支援コーディネーター	どれも知らない	無回答
10歳代 [n=28]	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
20歳代 [n=99]	8.1	3.0	8.1	7.1	5.1	6.1	29.3	2.0
30歳代 [n=120]	3.3	4.2	2.5	5.8	4.2	0.8	14.2	0.0
40歳代 [n=168]	2.4	5.4	4.8	7.1	3.6	1.2	9.5	0.0
50歳代 [n=148]	6.1	12.2	8.1	7.4	8.1	6.1	9.5	0.0
60歳代 [n=113]	9.7	6.2	7.1	5.3	8.0	3.5	9.7	0.0
70歳代 [n=225]	11.1	8.0	8.0	4.0	4.9	6.7	8.9	2.7
80歳代以上 [n=28]	17.9	14.3	7.1	3.6	21.4	14.3	14.3	0.0
無回答 [n=14]	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1

▶地区別クロス集計

【単位：％】

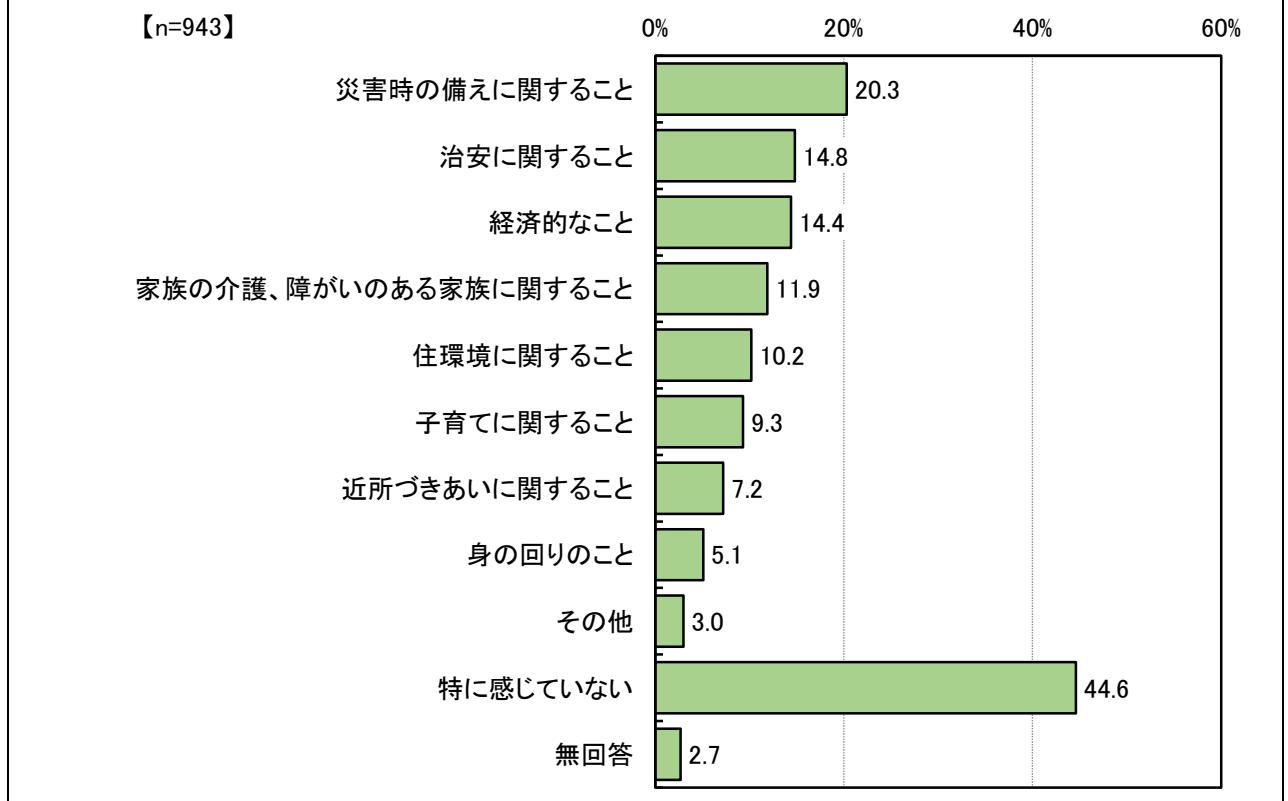
	シルバー人材センター	保健センター	子育て支援センター	社会福祉協議会	消費生活センター	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	教育支援室	子育て世代包括支援センター
新田西部地区 [n=153]	68.6	53.6	39.9	39.9	45.8	47.7	32.7	13.1	11.1
新田東部地区 [n=104]	63.5	52.9	48.1	38.5	33.7	27.9	37.5	14.4	9.6
草加川柳地区 [n=63]	69.8	61.9	46.0	49.2	46.0	36.5	38.1	9.5	9.5
草加安行地区 [n=133]	60.2	57.1	54.1	34.6	39.1	42.1	36.1	11.3	11.3
草加西部地区 [n=125]	62.4	56.8	44.8	41.6	33.6	35.2	28.0	13.6	12.0
草加東部地区 [n=104]	73.1	66.3	43.3	39.4	43.3	37.5	38.5	5.8	10.6
草加稲荷地区 [n=29]	79.3	58.6	51.7	37.9	41.4	34.5	34.5	20.7	24.1
谷塚西部地区 [n=95]	60.0	46.3	42.1	40.0	38.9	35.8	36.8	18.9	8.4
谷塚中央地区 [n=69]	69.6	66.7	44.9	40.6	31.9	47.8	33.3	11.6	15.9
谷塚東部地区 [n=57]	63.2	52.6	29.8	38.6	36.8	42.1	38.6	5.3	7.0
無回答 [n=11]	54.5	45.5	27.3	45.5	27.3	27.3	63.6	9.1	0.0

	基幹相談支援センター	まるごとサポートSO KA	そうか成年後見サポートセンター	配偶者暴力相談支援センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	生活支援コーディネーター	どれも知らない	無回答
新田西部地区 [n=153]	7.2	7.2	4.6	7.2	6.5	2.6	13.1	0.7
新田東部地区 [n=104]	9.6	5.8	6.7	4.8	4.8	3.8	12.5	1.9
草加川柳地区 [n=63]	6.3	7.9	4.8	1.6	9.5	4.8	11.1	1.6
草加安行地区 [n=133]	8.3	9.0	6.8	6.8	6.8	6.8	11.3	0.0
草加西部地区 [n=125]	4.8	5.6	4.8	4.8	4.0	1.6	16.8	0.8
草加東部地区 [n=104]	4.8	6.7	2.9	3.8	5.8	5.8	6.7	1.0
草加稲荷地区 [n=29]	6.9	17.2	6.9	13.8	6.9	10.3	3.4	3.4
谷塚西部地区 [n=95]	9.5	4.2	11.6	7.4	5.3	7.4	20.0	0.0
谷塚中央地区 [n=69]	5.8	5.8	11.6	4.3	2.9	2.9	13.0	0.0
谷塚東部地区 [n=57]	8.8	5.3	7.0	5.3	7.0	1.8	14.0	1.8
無回答 [n=11]	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1

年代別でみると、若い世代ほど「どれも知らない」の割合が多い傾向が見られた。

地区別で「どれも知らない」をみると、草加東部地区、草加稲荷地区の割合が他の地区よりも少ない傾向が見られた。

問6. あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるもの全てに☑)



毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じているのかについて、「災害時の備えに関すること（自分や家族が万が一の時にひとりでは避難できない等）」が20.3%で最も多く、以下、「治安に関すること（近所に空き巣が入った、ひったくりがあった等）」が14.8%、「経済的なこと（失業して収入がない、認知症等で財産管理ができない等）」が14.4%、「家族の介護、障がいのある家族に関すること（介護する人が疲れきっている、自分の老後に障がいのある子どもの面倒を誰がみるのか等）」が11.9%などとなっている。

また、44.6%が「特に感じていない」と回答している。

【その他】

- ・子供のマスク強要問題。
- ・身内にひきこもりがいること。
- ・近所の騒音。
- ・粗大ゴミの不法投棄・ゴミのポイ捨て。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	災害時の備えに関する こと	治安に関する こと	経済的なこ と	家族の介 護、障がい のある家族 に関するこ と	住環境に関 すること	子育てに関 すること
10歳代【n=28】	10.7	7.1	3.6	7.1	3.6	3.6
20歳代【n=99】	16.2	14.1	22.2	9.1	8.1	10.1
30歳代【n=120】	22.5	15.0	18.3	8.3	2.5	27.5
40歳代【n=168】	22.6	17.3	10.1	9.5	11.9	17.9
50歳代【n=148】	22.3	17.6	19.6	20.3	9.5	5.4
60歳代【n=113】	15.0	15.0	15.9	15.9	12.4	0.9
70歳代【n=225】	19.6	9.8	8.9	9.3	12.4	1.3
80歳代以上【n=28】	39.3	25.0	17.9	17.9	21.4	0.0
無回答【n=14】	14.3	35.7	14.3	7.1	14.3	14.3

	近所づきあ いに関する こと	身の回りの こと	その他	特に感じて いない	無回答
10歳代【n=28】	0.0	7.1	0.0	71.4	0.0
20歳代【n=99】	2.0	5.1	4.0	50.5	0.0
30歳代【n=120】	5.8	3.3	3.3	40.0	0.8
40歳代【n=168】	7.1	3.0	2.4	39.3	3.0
50歳代【n=148】	4.7	4.7	4.7	39.2	2.7
60歳代【n=113】	15.0	1.8	3.5	44.2	5.3
70歳代【n=225】	7.6	8.4	1.8	51.1	4.0
80歳代以上【n=28】	14.3	10.7	3.6	39.3	0.0
無回答【n=14】	14.3	7.1	0.0	21.4	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	災害時の備えに関する こと	治安に関する こと	経済的なこ と	家族の介 護、障がい のある家族 に関するこ と	住環境に関 すること	子育てに関 すること
新田西部地区【n=153】	17.6	11.8	16.3	13.1	12.4	9.8
新田東部地区【n=104】	18.3	14.4	12.5	5.8	9.6	9.6
草加川柳地区【n=63】	25.4	17.5	22.2	6.3	17.5	12.7
草加安行地区【n=133】	16.5	12.8	8.3	10.5	6.8	6.0
草加西部地区【n=125】	28.0	18.4	20.8	12.8	6.4	9.6
草加東部地区【n=104】	17.3	12.5	7.7	13.5	8.7	10.6
草加稻荷地区【n=29】	20.7	17.2	20.7	10.3	13.8	6.9
谷塚西部地区【n=95】	15.8	9.5	20.0	15.8	15.8	10.5
谷塚中央地区【n=69】	27.5	17.4	11.6	21.7	5.8	15.9
谷塚東部地区【n=57】	22.8	21.1	7.0	8.8	10.5	1.8
無回答【n=11】	9.1	45.5	18.2	0.0	9.1	0.0

	近所づきあ いに関する こと	身の回りの こと	その他	特に感じて いない	無回答
新田西部地区【n=153】	11.8	3.3	2.0	47.7	2.6
新田東部地区【n=104】	8.7	2.9	1.9	47.1	2.9
草加川柳地区【n=63】	6.3	6.3	7.9	39.7	3.2
草加安行地区【n=133】	8.3	1.5	1.5	54.9	1.5
草加西部地区【n=125】	5.6	9.6	3.2	36.0	0.8
草加東部地区【n=104】	5.8	5.8	1.9	45.2	4.8
草加稻荷地区【n=29】	3.4	6.9	0.0	44.8	3.4
谷塚西部地区【n=95】	5.3	8.4	2.1	41.1	4.2
谷塚中央地区【n=69】	0.0	2.9	7.2	40.6	1.4
谷塚東部地区【n=57】	8.8	5.3	3.5	47.4	3.5
無回答【n=11】	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0

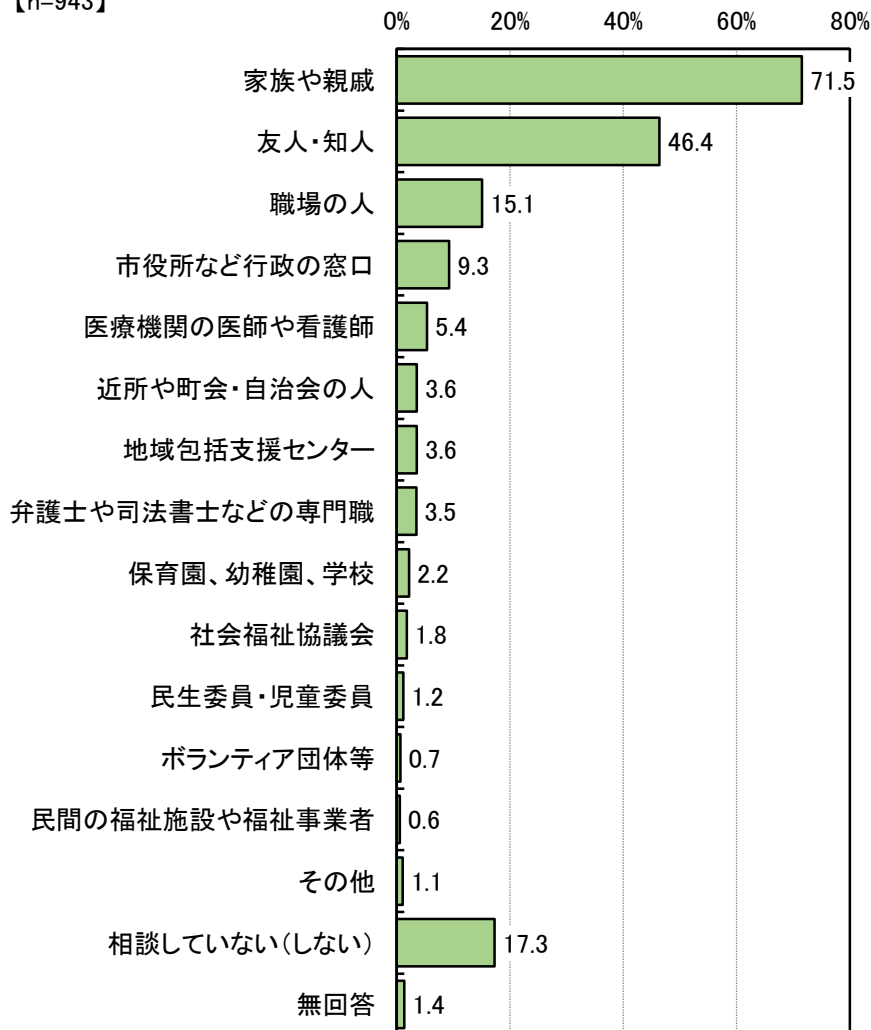
年代別で「災害時の備えに関すること」をみると、80歳代以上の割合が最も多くなっている。「子育てに関すること」では、30歳代、40歳代の割合が他の年齢階層より多くなっている。

また、「特に感じていない」では、10歳代の割合が多くなっている。

地区別で「特に感じていない」をみると、草加安行地区で5割を超えている。

問7. あなたは日常生活で悩んでいることを、次のうち誰（どこ）に相談しますか。
 (あてはまるもの全てに☑)

【n=943】



悩みごとの相談先について、「家族や親戚」が71.5%で最も多く、以下、「友人・知人」が46.4%、「職場の人」が15.1%、「市役所など行政の窓口」が9.3%、「医療機関の医師や看護師」が5.4%などとなっている。

また、17.3%が「相談していない(しない)」と回答している。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	家族や親戚	友人・知人	職場の人	市役所など 行政の窓口	医療機関の 医師や看護 師	近所や町 会・自治会 の人	地域包括支 援センター	弁護士や司 法書士など の専門職
10歳代【n=28】	75.0	78.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=99】	76.8	62.6	13.1	3.0	3.0	2.0	2.0	1.0
30歳代【n=120】	83.3	55.0	27.5	7.5	3.3	0.8	0.8	0.8
40歳代【n=168】	72.0	52.4	25.6	7.7	2.4	3.0	0.6	2.4
50歳代【n=148】	72.3	50.7	21.6	9.5	4.7	2.0	4.7	5.4
60歳代【n=113】	73.5	38.1	9.7	14.2	4.4	8.0	6.2	4.4
70歳代【n=225】	60.4	32.9	3.6	12.0	9.8	5.3	6.2	4.0
80歳代以上【n=28】	67.9	17.9	3.6	17.9	17.9	7.1	7.1	17.9
無回答【n=14】	78.6	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0

	保育園、幼 稚園、学校	社会福祉協 議会	民生委員・ 児童委員	ボランティ ア団体等	民間の福祉 施設や福祉 事業者	その他	相談してい ない	無回答
10歳代【n=28】	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	0.0
20歳代【n=99】	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	13.1	0.0
30歳代【n=120】	5.8	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	13.3	0.0
40歳代【n=168】	6.0	0.0	0.6	0.6	1.2	0.6	13.7	2.4
50歳代【n=148】	0.7	2.7	0.7	0.0	0.0	1.4	12.2	0.7
60歳代【n=113】	0.9	3.5	1.8	0.0	0.0	0.0	17.7	1.8
70歳代【n=225】	0.0	2.2	2.7	1.3	1.8	1.8	27.6	2.7
80歳代以上【n=28】	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0
無回答【n=14】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

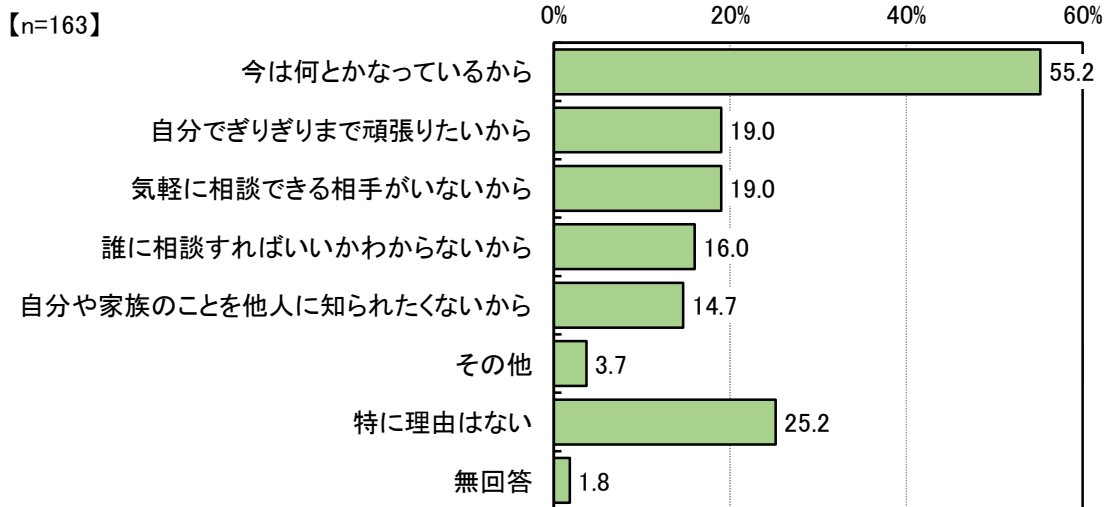
	家族や親戚	友人・知人	職場の人	市役所など 行政の窓口	医療機関の 医師や看護 師	近所や町 会・自治会 の人	地域包括支 援センター	弁護士や司 法書士など の専門職
新田西部地区【n=153】	66.7	46.4	13.7	8.5	4.6	2.6	5.2	2.6
新田東部地区【n=104】	70.2	50.0	14.4	3.8	2.9	5.8	3.8	2.9
草加川柳地区【n=63】	79.4	60.3	17.5	11.1	6.3	4.8	3.2	6.3
草加安行地区【n=133】	70.7	39.8	11.3	12.0	3.8	3.8	3.0	4.5
草加西部地区【n=125】	75.2	48.8	23.2	10.4	7.2	4.0	4.0	4.0
草加東部地区【n=104】	76.0	46.2	14.4	9.6	8.7	2.9	1.9	1.0
草加稲荷地区【n=29】	69.0	41.4	10.3	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4
谷塚西部地区【n=95】	64.2	45.3	14.7	8.4	5.3	4.2	4.2	4.2
谷塚中央地区【n=69】	81.2	47.8	8.7	10.1	7.2	2.9	5.8	4.3
谷塚東部地区【n=57】	64.9	42.1	21.1	14.0	5.3	1.8	1.8	3.5
無回答【n=11】	72.7	27.3	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0

	保育園、幼 稚園、学校	社会福祉協 議会	民生委員・ 児童委員	ボランティ ア団体等	民間の福祉 施設や福祉 事業者	その他	相談してい ない	無回答
新田西部地区【n=153】	0.0	2.0	0.7	0.7	1.3	1.3	17.0	2.6
新田東部地区【n=104】	2.9	1.9	1.9	1.9	1.0	1.0	14.4	1.9
草加川柳地区【n=63】	3.2	3.2	0.0	1.6	0.0	0.0	11.1	1.6
草加安行地区【n=133】	1.5	0.8	1.5	0.0	0.8	0.0	20.3	1.5
草加西部地区【n=125】	4.0	0.0	0.8	1.6	0.0	0.0	15.2	0.8
草加東部地区【n=104】	3.8	1.9	0.0	0.0	1.0	1.0	13.5	1.0
草加稲荷地区【n=29】	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	17.2	0.0
谷塚西部地区【n=95】	1.1	4.2	3.2	1.1	0.0	3.2	20.0	2.1
谷塚中央地区【n=69】	5.8	1.4	1.4	0.0	0.0	2.9	20.3	0.0
谷塚東部地区【n=57】	0.0	1.8	1.8	0.0	1.8	0.0	24.6	0.0
無回答【n=11】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0

年代別で「友人・知人」をみると、若い世代ほど占める割合は多く、年齢階層が上がるに従い、少なくなっている。

地域別で「家族や親戚」をみると、谷塚中央地区で8割を超えている。

問7-1. 問7で「相談していない（しない）」と答えた方にお聞きします。あなたが相談していない（しない）理由は何ですか。（あてはまるもの全てに☑）



「今は何とかなっているから」が55.2%で最も多く、以下、「特に理由はない」が25.2%、「自分でぎりぎりまで頑張りたいから」と「気軽に相談できる相手がないから」が同率の19.0%、「誰に相談すればいいかわからないから」が16.0%などとなっている。

【相談していない理由】

- ・悩んでいることがない。
- ・相談しても解決しない、改善されない。
- ・相談しても的確な回答が得られなくて、自分で調べ対応するしかなかった。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】									
	今は何とかなっているから	自分でぎりぎりまで頑張りたいから	気軽に相談できる相手がないから	誰に相談すればいいかわからないから	自分や家族のことを他人に知られたくないから	その他	特に理由はない	無回答	
10歳代【n=5】	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	
20歳代【n=13】	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	53.8	0.0	
30歳代【n=16】	37.5	6.3	18.8	31.3	18.8	12.5	12.5	0.0	
40歳代【n=23】	34.8	8.7	26.1	21.7	4.3	0.0	21.7	4.3	
50歳代【n=18】	55.6	22.2	22.2	16.7	22.2	0.0	33.3	0.0	
60歳代【n=20】	50.0	30.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	
70歳代【n=62】	71.0	24.2	12.9	9.7	11.3	4.8	21.0	3.2	
80歳代以上【n=3】	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	
無回答【n=3】	100.0	33.3	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	

▶地区別クロス集計

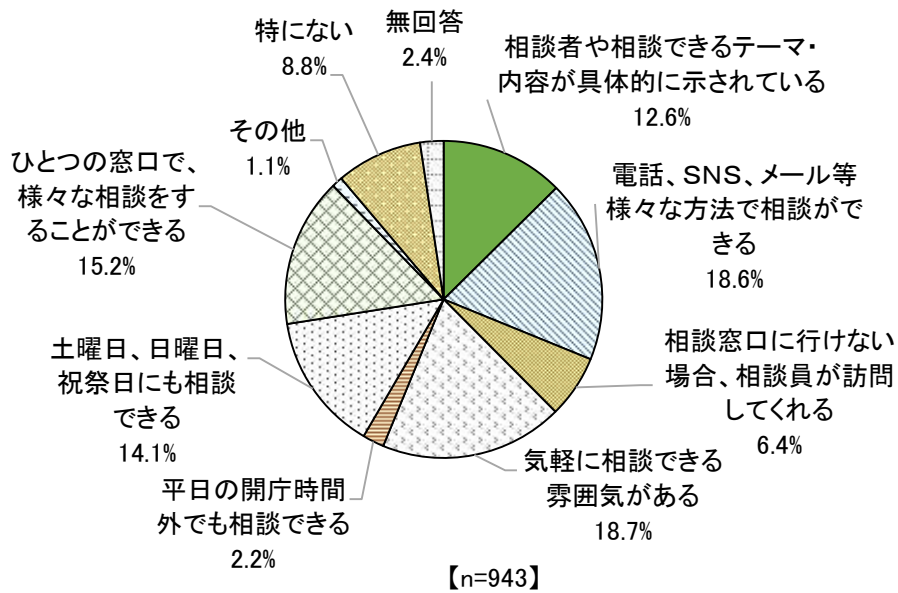
【単位：％】

	今は何とか なっている から	自分でぎり ぎりまで頑 張りたいか ら	気軽に相談 できる相手 がいないか ら	誰に相談す ればいいか わからないか ら	自分や家族 のことを他 人に知られ たくないか ら	その他	特に理由は ない	無回答
新田西部地区【n=26】	73.1	42.3	23.1	23.1	7.7	0.0	19.2	0.0
新田東部地区【n=15】	33.3	26.7	13.3	13.3	20.0	0.0	33.3	6.7
草加川柳地区【n=7】	85.7	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0
草加安行地区【n=27】	48.1	14.8	29.6	29.6	14.8	11.1	18.5	0.0
草加西部地区【n=19】	36.8	10.5	5.3	15.8	10.5	0.0	47.4	5.3
草加東部地区【n=14】	64.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1
草加稲荷地区【n=5】	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
谷塚西部地区【n=19】	57.9	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	26.3	0.0
谷塚中央地区【n=14】	35.7	7.1	28.6	0.0	28.6	14.3	35.7	0.0
谷塚東部地区【n=14】	64.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
無回答【n=3】	100.0	33.3	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0

年代別で見ると、世代が高いほど「自分でぎりぎりまで頑張りたいから」の割合が多い傾向が見られた。

地区別で「自分や家族のことを人に知られたくないから」の割合をみると、草加川柳地区と谷塚中央地区で多い傾向がみられた。

問8. 今後、様々な福祉の相談をすることになったとき、相談窓口にはどのようなことを求めますか。(あてはまるもの1つに☑)



相談窓口に求めることについて、「気軽に相談できる雰囲気がある」が18.7%で最も多く、以下、「電話、SNS、メール等様々な方法で相談ができる」が18.6%、「ひとつの窓口で、様々な相談をすることができる」が15.2%、「土曜日、日曜日、祝祭日にも相談できる」が14.1%、「相談者や相談できるテーマ・内容が具体的に示されている」が12.6%などとなっている。

【その他】

- ・(ヘルプデスク的に)連絡窓口が適切な対応先に繋げてくれるまたは案内してくれる。
- ・どこに相談したら良いのかわからないので、とりあえず聞いてそこから先を教えてください窓口。
- ・相談窓口が身近に在ると良い。(文化センター内等)
- ・その時々すばやく対応、たらい回しにしない。
- ・たらい回しにしない。行政が相談項目と窓口を明確にできていない事は大抵たらい回しになる。
- ・相談内容は複数に渡ることが多いと思う。分業は承知だが、複数の場所で相談する際に情報共有をしてほしい。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	相談者や相談できる テーマ・内容が具体的に示されている	電話、SNS、メール等様々な方法で相談ができる	相談窓口に行けない場合、相談員が訪問してくれる	気軽に相談できる雰囲気がある	平日の開庁時間外でも相談できる	土曜日、日曜日、祝祭日にも相談できる	ひとつの窓口で、様々な相談をすることができる	その他	特にない	無回答
10歳代【n=28】	14.3	32.1	3.6	28.6	0.0	10.7	0.0	0.0	10.7	0.0
20歳代【n=99】	15.2	36.4	1.0	18.2	2.0	13.1	3.0	1.0	10.1	0.0
30歳代【n=120】	15.8	25.0	2.5	20.8	0.8	20.0	9.2	0.0	5.8	0.0
40歳代【n=168】	11.9	20.8	3.0	20.2	4.8	19.6	8.9	1.2	9.5	0.0
50歳代【n=148】	11.5	18.2	3.4	23.0	2.7	18.2	16.9	1.4	4.7	0.0
60歳代【n=113】	10.6	12.4	9.7	19.5	1.8	14.2	20.4	1.8	8.0	1.8
70歳代【n=225】	11.1	9.3	11.6	12.9	1.8	5.8	26.2	1.3	11.1	8.9
80歳代以上【n=28】	10.7	7.1	17.9	14.3	0.0	10.7	17.9	0.0	17.9	3.6
無回答【n=14】	28.6	7.1	21.4	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	相談者や相談できる テーマ・内容が具体的に示されている	電話、SNS、メール等様々な方法で相談ができる	相談窓口に行けない場合、相談員が訪問してくれる	気軽に相談できる雰囲気がある	平日の開庁時間外でも相談できる	土曜日、日曜日、祝祭日にも相談できる	ひとつの窓口で、様々な相談をすることができる	その他	特にない	無回答
新田西部地区【n=153】	11.1	20.9	9.8	17.0	3.9	10.5	13.7	1.3	9.2	2.6
新田東部地区【n=104】	13.5	14.4	5.8	19.2	1.0	16.3	16.3	1.9	8.7	2.9
草加川柳地区【n=63】	17.5	19.0	7.9	11.1	1.6	15.9	15.9	0.0	9.5	1.6
草加安行地区【n=133】	11.3	18.0	6.0	19.5	0.8	16.5	15.0	1.5	8.3	3.0
草加西部地区【n=125】	15.2	20.0	4.8	17.6	4.8	12.0	16.0	0.0	7.2	2.4
草加東部地区【n=104】	18.3	19.2	4.8	18.3	3.8	13.5	14.4	1.0	6.7	0.0
草加稻荷地区【n=29】	6.9	17.2	10.3	27.6	0.0	10.3	10.3	0.0	13.8	3.4
谷塚西部地区【n=95】	8.4	14.7	5.3	26.3	1.1	16.8	13.7	1.1	9.5	3.2
谷塚中央地区【n=69】	10.1	20.3	2.9	17.4	1.4	15.9	17.4	1.4	10.1	2.9
谷塚東部地区【n=57】	8.8	22.8	5.3	15.8	0.0	14.0	17.5	1.8	10.5	3.5
無回答【n=11】	18.2	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0

年代別でみると、若い世代ほど「電話、SNS、メール等様々な方法で相談ができる」の割合は多くなっている。

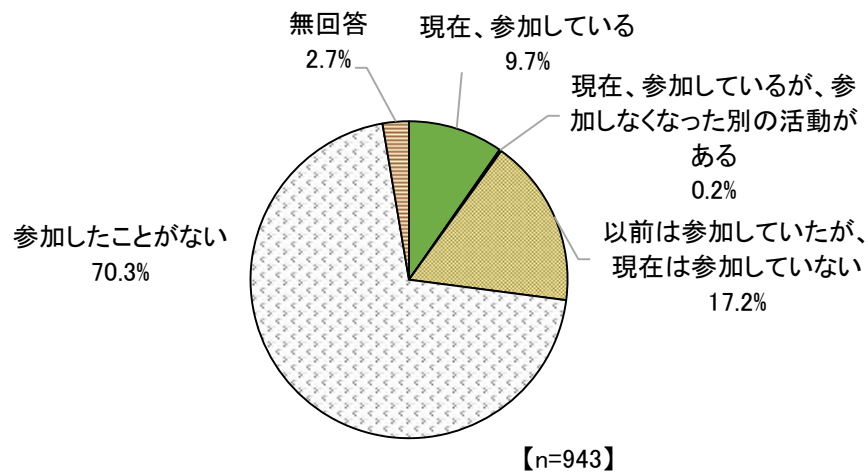
その一方で、「相談窓口に行けない場合、相談員が訪問してくれる」の割合は、年代が上がるにつれて増えている。

地区別で「気軽に相談できる雰囲気がある」をみると、草加稲荷地区、谷塚西部地区では多い傾向がみられる一方で、草加川柳地区など割合が少ない地区もみられた。

問7では、若い世代ほど相談者の選択肢として「家族や親戚」、「友人・知人」と身近にいる人の割合が多く、「市役所などの行政の窓口」といった第三者による相談の割合は限られている。また、問7-1相談しない理由では、少数ではあるが「誰に相談すればいいかわからないから」挙げられていることから、公的機関による相談窓口について周知を図るとともに、相談体制のより一層の充実を図る必要がある。

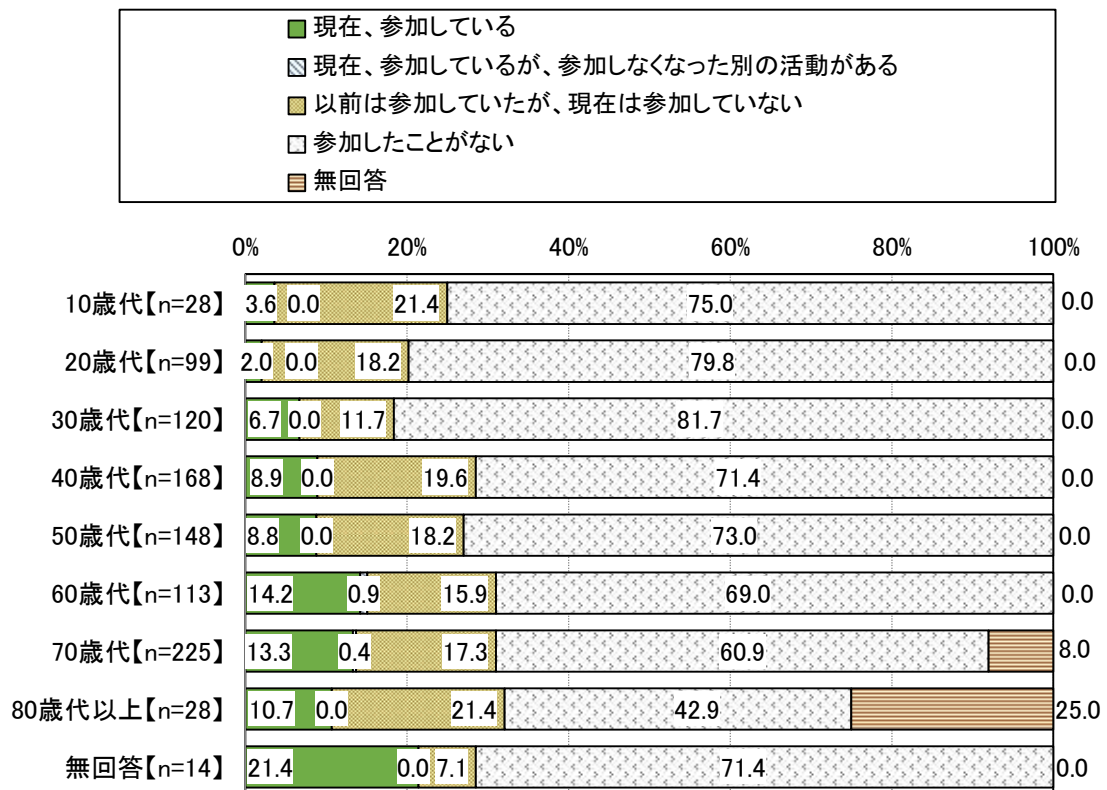
地域活動やボランティア活動について

問9. あなたは地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。
 (あてはまるもの1つに☑)

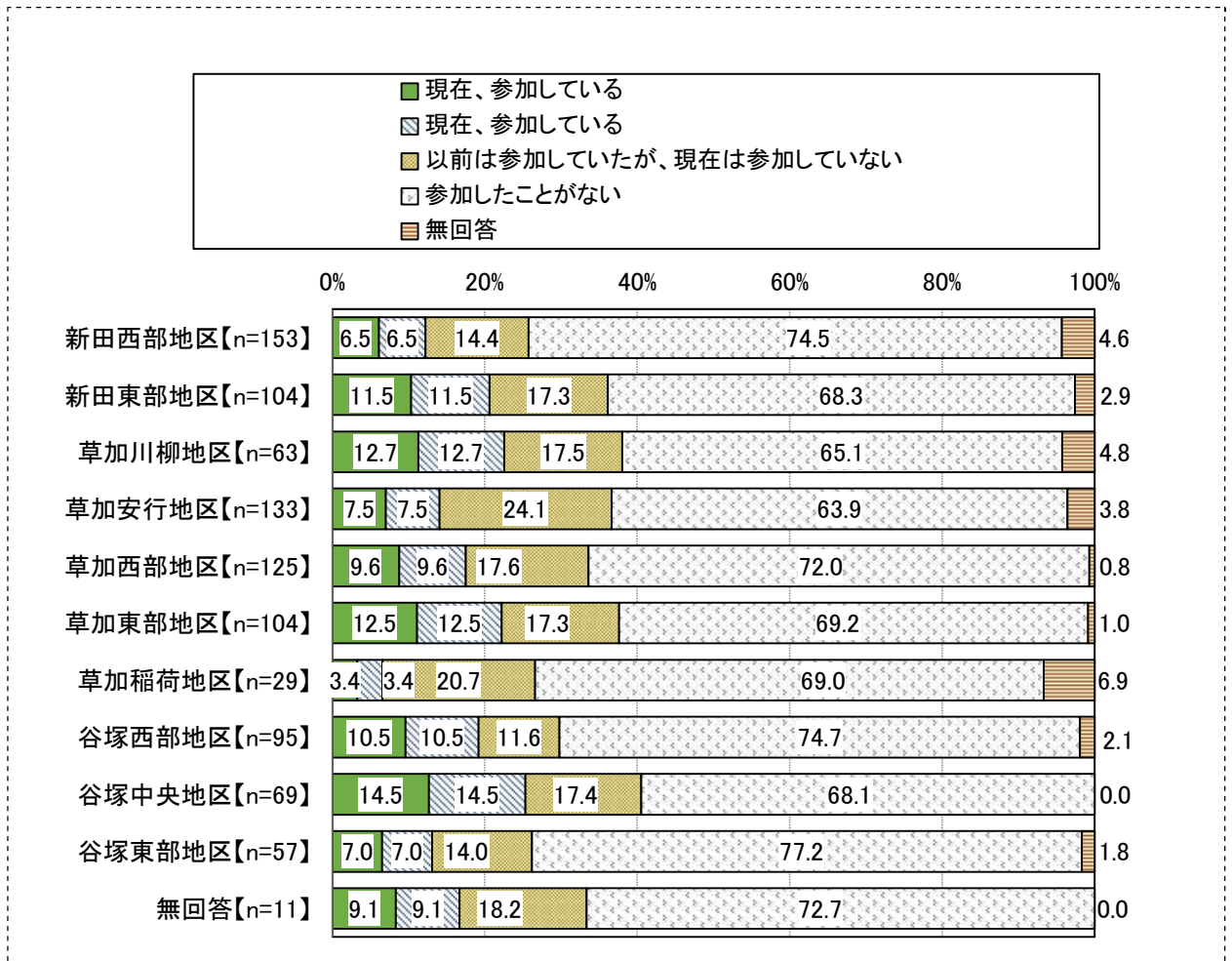


地域活動やボランティア活動への参加について、「参加したことがない」が70.3%で最も多く、以下、「以前は参加していたが、現在は参加していない」が17.2%、「現在、参加している」が9.7%、「現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」が0.2%となっている。

▶年代別クロス集計



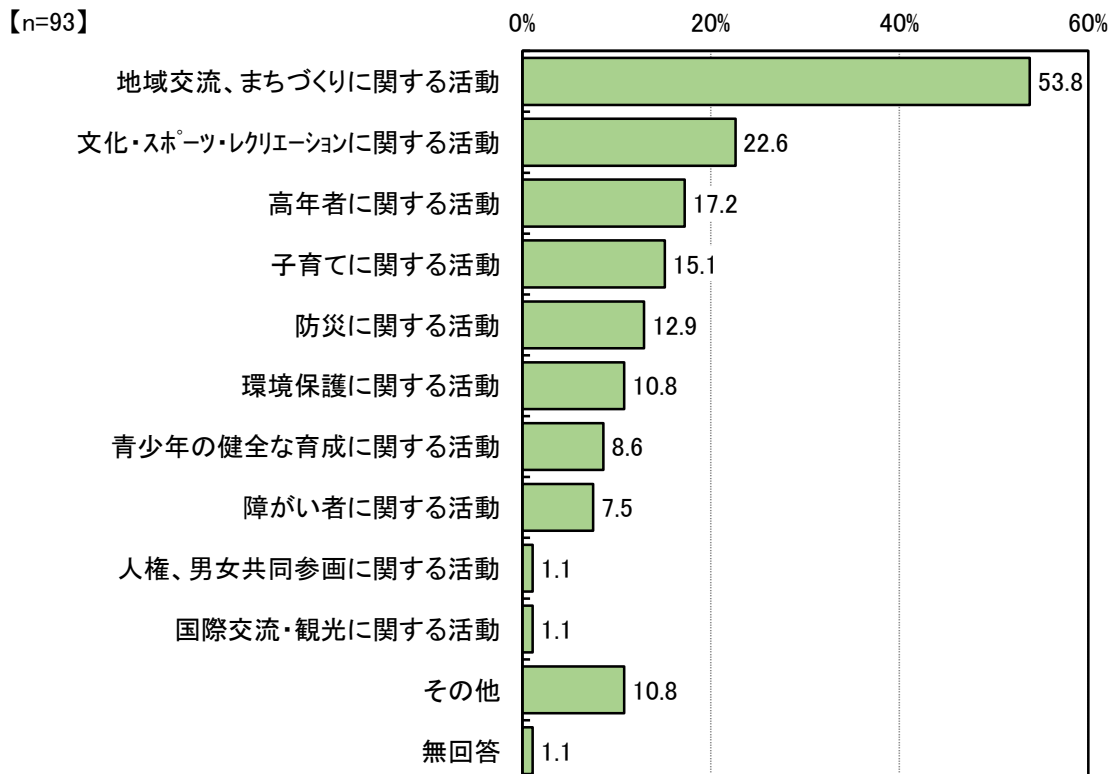
▶ 地区別クロス集計



年代別で見ると、60歳代、70歳代で「現在、参加している」の割合が多くなっている。
 地区別で見ると、草加稲荷地区で「現在、参加している」の割合が他の地区より少ない水準となっている。

問9-1. 問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、現在、次のどのような地域活動やボランティア活動に参加していますか。（あてはまるもの全てに☑）



問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方にどのような活動をしているか尋ねたところ、「地域交流、まちづくりに関する活動（町会・自治会活動を含む）」が53.8%で最も多く、以下、「文化・スポーツ・レクリエーションに関する活動」が22.6%、「高齢者に関する活動」が17.2%、「子育てに関する活動」が15.1%、「防災に関する活動」が12.9%などとなっている。

【その他】

- ・図書館の配架(排架)作業。
- ・小学生の下校の見守り。
- ・野良猫の不妊手術による地域トラブル、環境改善。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	地域交流、まちづくりに関する活動	文化・スポーツ・レクリエーションに関する活動	高齢者に関する活動	子育てに関する活動	防災に関する活動	環境保護に関する活動
10歳代【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代【n=8】	50.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0
40歳代【n=15】	53.3	6.7	0.0	53.3	6.7	20.0
50歳代【n=13】	84.6	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0
60歳代【n=17】	52.9	17.6	17.6	5.9	17.6	5.9
70歳代【n=31】	51.6	41.9	32.3	6.5	12.9	9.7
80歳代以上【n=3】	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
無回答【n=3】	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0

	青少年の健全な育成に関する活動	障がい者に関する活動	人権、男女共同参画に関する活動	国際交流・観光に関する活動	その他	無回答
10歳代【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
30歳代【n=8】	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
40歳代【n=15】	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
50歳代【n=13】	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代【n=17】	5.9	11.8	0.0	0.0	17.6	0.0
70歳代【n=31】	6.5	6.5	0.0	0.0	3.2	3.2
80歳代以上【n=3】	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
無回答【n=3】	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	地域交流、まちづくりに関する活動	文化・スポーツ・レクリエーションに関する活動	高齢者に関する活動	子育てに関する活動	防災に関する活動	環境保護に関する活動
新田西部地区【n=10】	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0
新田東部地区【n=12】	33.3	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0
草加川柳地区【n=8】	75.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5
草加安行地区【n=11】	54.5	9.1	45.5	9.1	18.2	9.1
草加西部地区【n=12】	58.3	25.0	8.3	16.7	8.3	25.0
草加東部地区【n=13】	61.5	30.8	7.7	7.7	0.0	7.7
草加稲荷地区【n=1】	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=11】	63.6	36.4	27.3	18.2	45.5	9.1
谷塚中央地区【n=10】	80.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0
谷塚東部地区【n=4】	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

	青少年の健全な育成に関する活動	障がい者に関する活動	人権、男女共同参画に関する活動	国際交流・観光に関する活動	その他	無回答
新田西部地区【n=10】	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0
新田東部地区【n=12】	25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0
草加川柳地区【n=8】	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
草加安行地区【n=11】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=12】	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
草加東部地区【n=13】	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
草加稲荷地区【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=11】	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=10】	30.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0
谷塚東部地区【n=4】	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

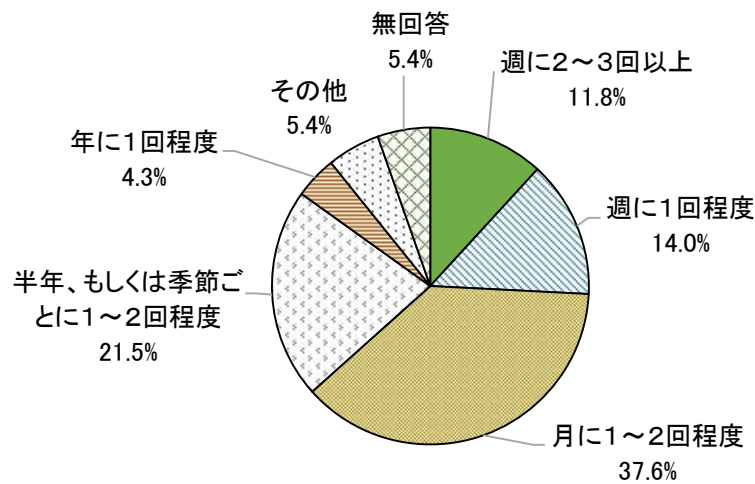
年代別でみると、30歳代以上の世代で「地域交流、まちづくりに関する活動」の割合が最も多くなっている。

また、「文化・スポーツ・レクリエーションに関する活動」を軸にみると、30歳代、70歳代の割合が多くなっている。

地域別でも「地域交流、まちづくりに関する活動」の割合が多い傾向がみられる。

問9-2. 問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、現在、参加している地域活動やボランティア活動にどの程度参加していますか。(あてはまるもの1つに☑)



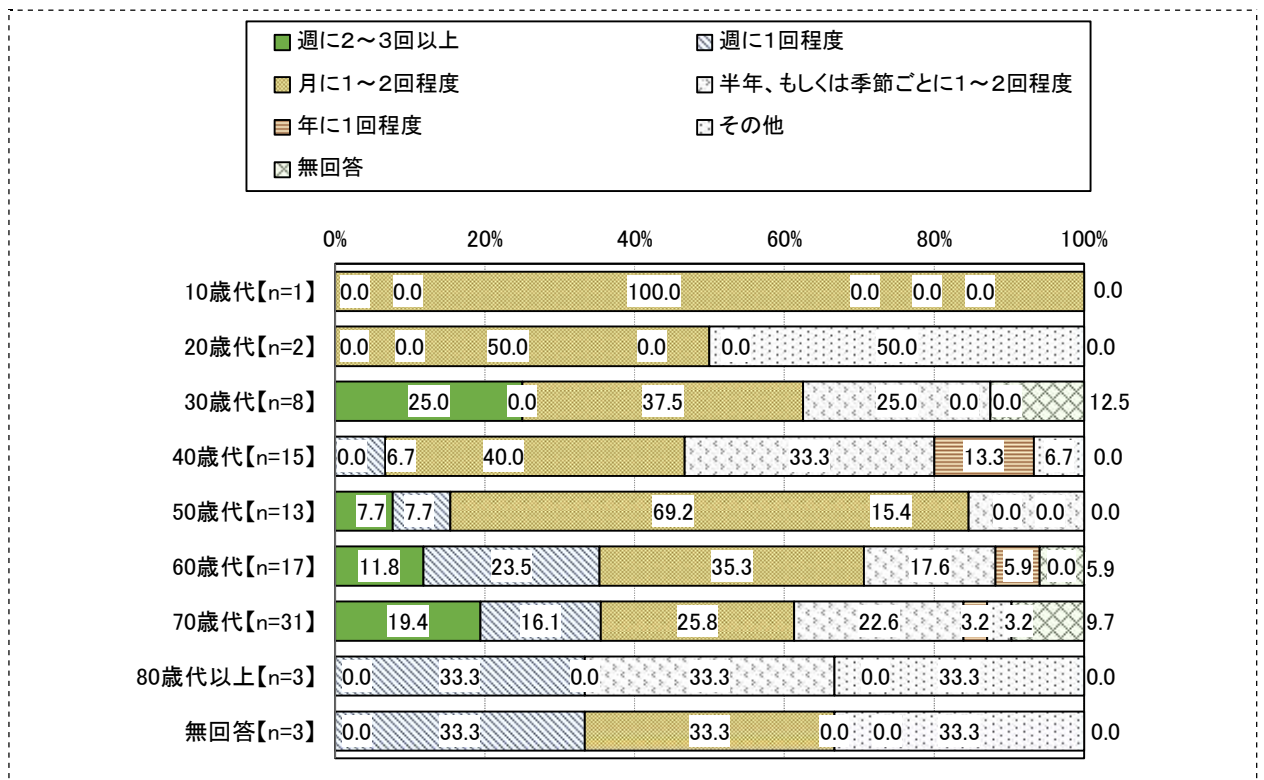
【n=93】

問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方に地域活動やボランティア活動への参加頻度を尋ねたところ、「月に1~2回程度」が37.6%で最も多く、以下、「半年、もしくは季節ごとに1~2回程度」が21.5%、「週に1回程度」が14.0%、「週に2~3回以上」が11.8%となっている。

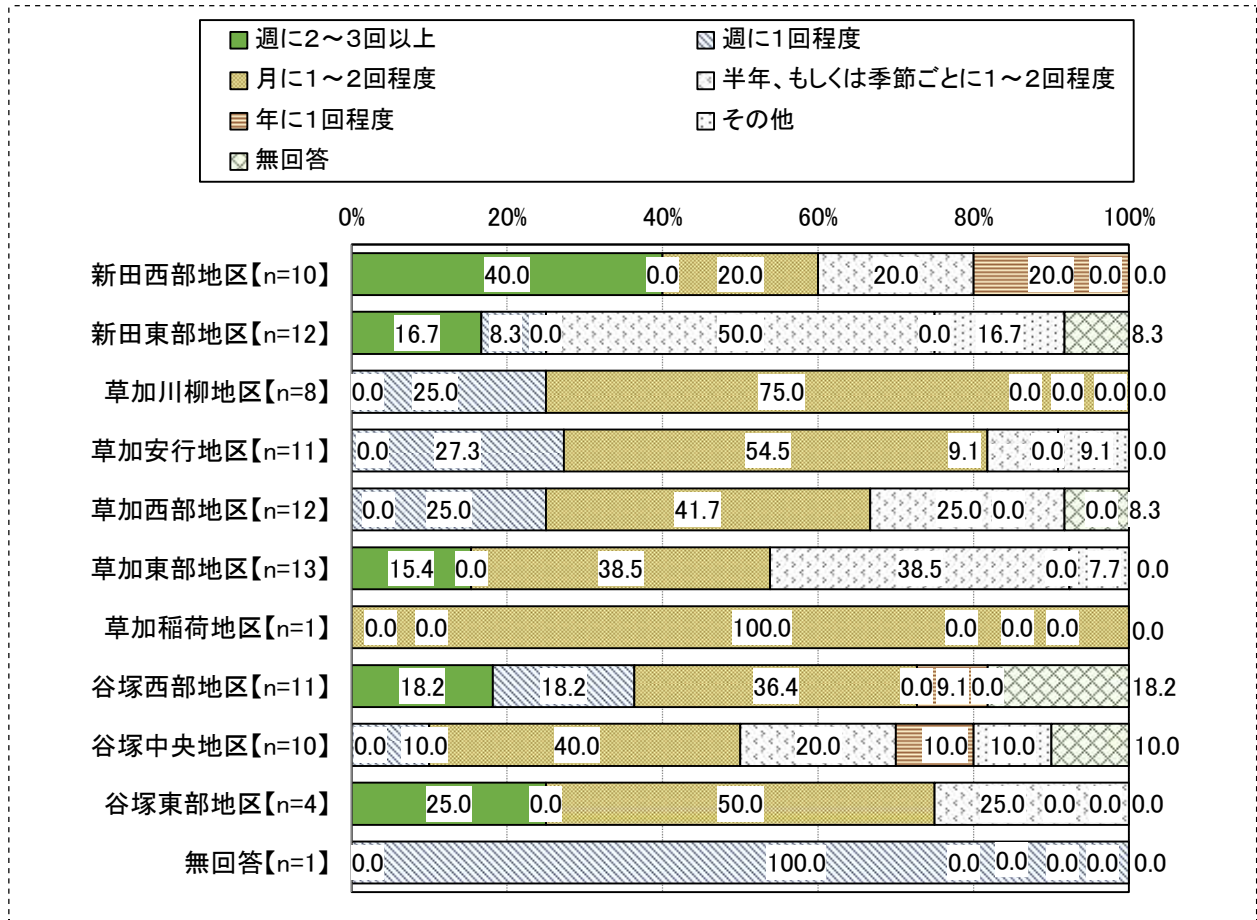
【その他】

- ・町会の班長が順番でまわってくる。
- ・年に4回~6回。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計

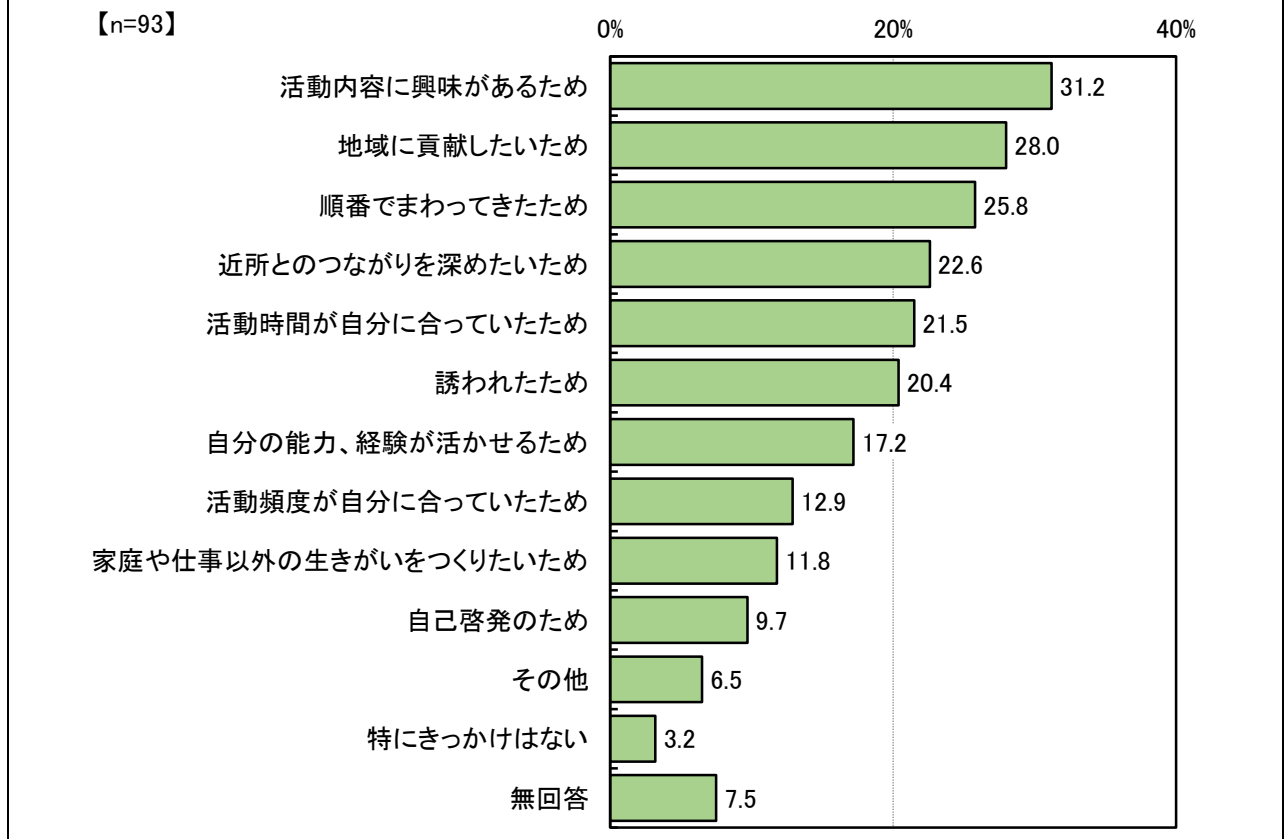


年齢別で見ると、多くの世代で「月に1~2回程度」の割合が多くなっている。

地区別で「月に1~2回程度」を軸にみると、新田東部地区、新田西部地区を除く地区で割合が多い傾向がみられた。新田東部地区では「半年、もしくは季節ごとに1~2回程度」の割合が多く、草加東部地区では、「月に1~2回程度」と「半年、もしくは季節ごとに1~2回程度」の割合が同数となっている。

問9-3. 問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方にお聞きします。

あなたが、現在の地域活動やボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。
(あてはまるもの全てに☑)



問9で「①現在、参加している」又は「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」と答えた方に地域活動やボランティア活動に参加したきっかけを尋ねたところ、「活動内容に興味があるため」が31.2%で最も多く、以下、「地域に貢献したいため」が28.0%、「順番でまわってきたため」が25.8%、「近所とのつながりを深めたいため」が22.6%、「活動時間が自分に合っていたため」が21.5%などとなっている。

【その他】

- ・自治会でゴミ拾いがあったから。
- ・資格取得のため。
- ・大学のボランティアサークルに所属している。
- ・回覧板に参加するように書いてあった。
- ・ボランティアを続けているから。
- ・子供たちのため。
- ・やる人がいない。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	活動内容に興味があるため	地域に貢献したいため	順番でまわってきたため	近所とつながりを深めたいため	活動時間が自分に合っていたため	誘われたため	自分の能力、経験が活かせるため
10歳代【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
30歳代【n=8】	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
40歳代【n=15】	20.0	26.7	53.3	13.3	13.3	33.3	20.0
50歳代【n=13】	23.1	30.8	46.2	23.1	7.7	15.4	7.7
60歳代【n=17】	35.3	23.5	23.5	23.5	11.8	23.5	11.8
70歳代【n=31】	38.7	32.3	9.7	29.0	32.3	19.4	16.1
80歳代以上【n=3】	66.7	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	66.7
無回答【n=3】	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7

	活動頻度が自分に合っていたため	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたいため	自己啓発のため	その他	特にきっかけはない	無回答
10歳代【n=1】	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
30歳代【n=8】	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0
40歳代【n=15】	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0
50歳代【n=13】	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0
60歳代【n=17】	5.9	5.9	29.4	0.0	0.0	11.8
70歳代【n=31】	25.8	19.4	9.7	3.2	6.5	9.7
80歳代以上【n=3】	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=3】	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	活動内容に興味があるため	地域に貢献したいため	順番でまわってきたため	近所とのつながりを深めたいため	活動時間が自分に合っていたため	誘われたため	自分の能力、経験を活かせるため
新田西部地区【n=10】	40.0	30.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0
新田東部地区【n=12】	25.0	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	8.3
草加川柳地区【n=8】	25.0	12.5	62.5	37.5	25.0	25.0	12.5
草加安行地区【n=11】	45.5	45.5	9.1	9.1	36.4	0.0	36.4
草加西部地区【n=12】	16.7	16.7	50.0	41.7	8.3	25.0	8.3
草加東部地区【n=13】	15.4	38.5	7.7	30.8	23.1	15.4	23.1
草加稲荷地区【n=1】	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
谷塚西部地区【n=11】	27.3	36.4	18.2	27.3	9.1	27.3	9.1
谷塚中央地区【n=10】	60.0	30.0	40.0	20.0	20.0	30.0	20.0
谷塚東部地区【n=4】	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0

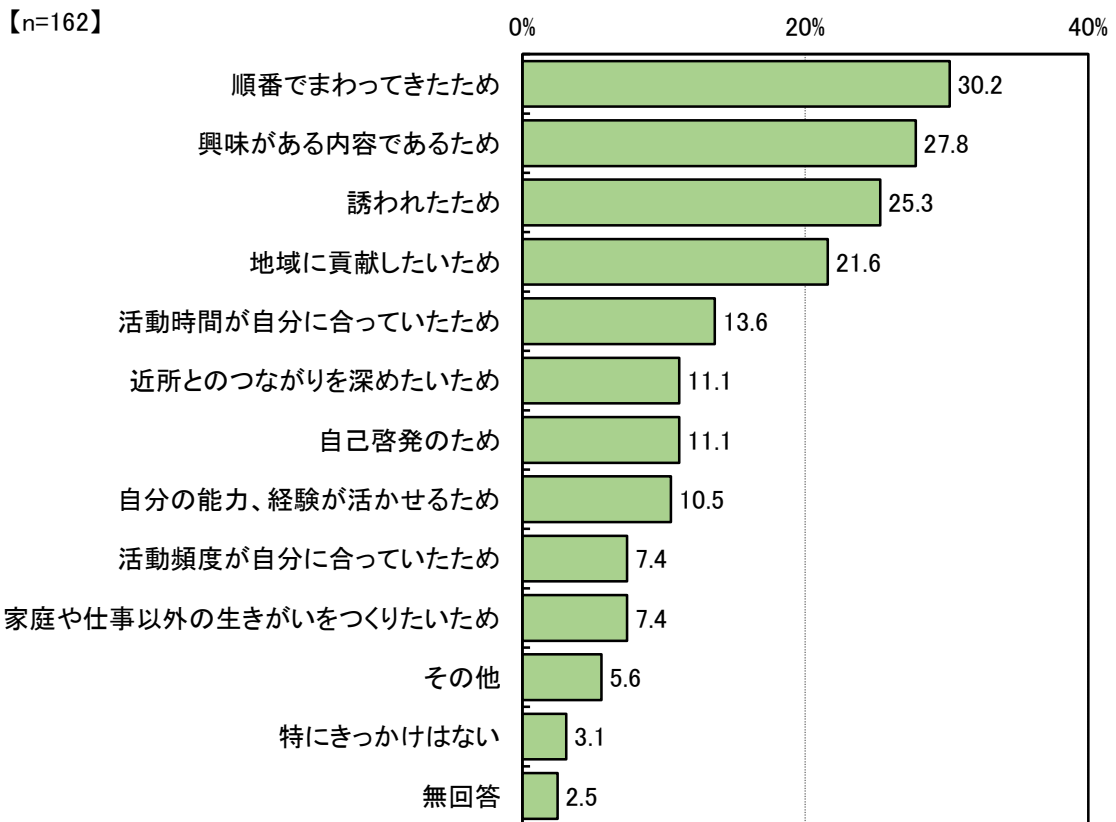
	活動頻度が自分に合っていたため	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたいため	自己啓発のため	その他	特にきっかけはない	無回答
新田西部地区【n=10】	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
新田東部地区【n=12】	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3
草加川柳地区【n=8】	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
草加安行地区【n=11】	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1
草加西部地区【n=12】	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=13】	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	23.1
草加稲荷地区【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=11】	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1
谷塚中央地区【n=10】	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=4】	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別で「活動内容に興味があるため」をみると、年代が高くなるに従い割合が増加している。また、「近所とのつながりを深めたいため」でも同様の傾向がみられる。

地区別で「活動内容に興味があるため」をみると、谷塚中央地区、草加安行地区、新田西部地区で割合が多く、関心の高さが窺える。

問9-4. 問9で「③以前は参加していたが、現在は参加していない」と答えた方にお聞きします。

あなたが、以前に地域活動やボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。
(あてはまるもの全てに☑)



問9で「③以前は参加していたが、現在は参加していない」と答えた方に、以前に地域活動やボランティア活動に参加したきっかけを尋ねたところ、「順番でまわってきたため」が30.2%で最も多く、以下、「興味がある内容であるため」が27.8%、「誘われたため」が25.3%、「地域に貢献したいため」が21.6%、「活動時間が自分に合っていたため」が13.6%などとなっている。

【その他】

- ・資格取得のため。
- ・社会参加、福祉理解のため。
- ・人が困っていたから、助けた。
- ・学生生活で必要だったため。
- ・障がい者(児)と他者とのふれあいを求めて。
- ・子供がやりたいと言ったから。
- ・短大の授業の一環。 など

▶年代別クロス集計

	順番でまわってきたため	興味がある内容であるため	誘われたため	地域に貢献したいため	活動時間が自分に合っていたため	近所とのつながりを深めたいため	自己啓発のため
10歳代【n=6】	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=18】	16.7	38.9	33.3	22.2	11.1	11.1	33.3
30歳代【n=14】	7.1	50.0	42.9	7.1	0.0	7.1	14.3
40歳代【n=33】	42.4	21.2	18.2	18.2	3.0	6.1	6.1
50歳代【n=27】	40.7	29.6	33.3	25.9	14.8	7.4	3.7
60歳代【n=18】	55.6	16.7	22.2	27.8	11.1	16.7	11.1
70歳代【n=39】	25.6	28.2	15.4	25.6	28.2	17.9	10.3
80歳代以上【n=6】	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0
無回答【n=1】	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0

	自分の能力、経験が活かせるため	活動頻度が自分に合っていたため	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたいため	その他	特にきっかけはない	無回答
10歳代【n=6】	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
20歳代【n=18】	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
30歳代【n=14】	21.4	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1
40歳代【n=33】	3.0	0.0	6.1	3.0	0.0	6.1
50歳代【n=27】	14.8	11.1	7.4	7.4	3.7	0.0
60歳代【n=18】	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳代【n=39】	15.4	17.9	15.4	2.6	2.6	2.6
80歳代以上【n=6】	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	順番でまわってきたため	興味がある内容であるため	誘われたため	地域に貢献したいため	活動時間が自分に合っていたため	近所とのつながりを深めたいため	自己啓発のため
新田西部地区【n=22】	36.4	31.8	18.2	18.2	13.6	0.0	18.2
新田東部地区【n=18】	27.8	16.7	16.7	16.7	22.2	5.6	0.0
草加川柳地区【n=11】	36.4	36.4	9.1	45.5	9.1	18.2	18.2
草加安行地区【n=32】	40.6	15.6	18.8	21.9	15.6	12.5	12.5
草加西部地区【n=22】	13.6	31.8	40.9	18.2	0.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=18】	33.3	16.7	27.8	27.8	11.1	22.2	5.6
草加稲荷地区【n=6】	0.0	33.3	50.0	66.7	0.0	16.7	16.7
谷塚西部地区【n=11】	27.3	45.5	36.4	9.1	27.3	0.0	18.2
谷塚中央地区【n=12】	58.3	33.3	25.0	16.7	0.0	25.0	0.0
谷塚東部地区【n=8】	0.0	37.5	37.5	0.0	25.0	25.0	25.0
無回答【n=2】	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	100.0

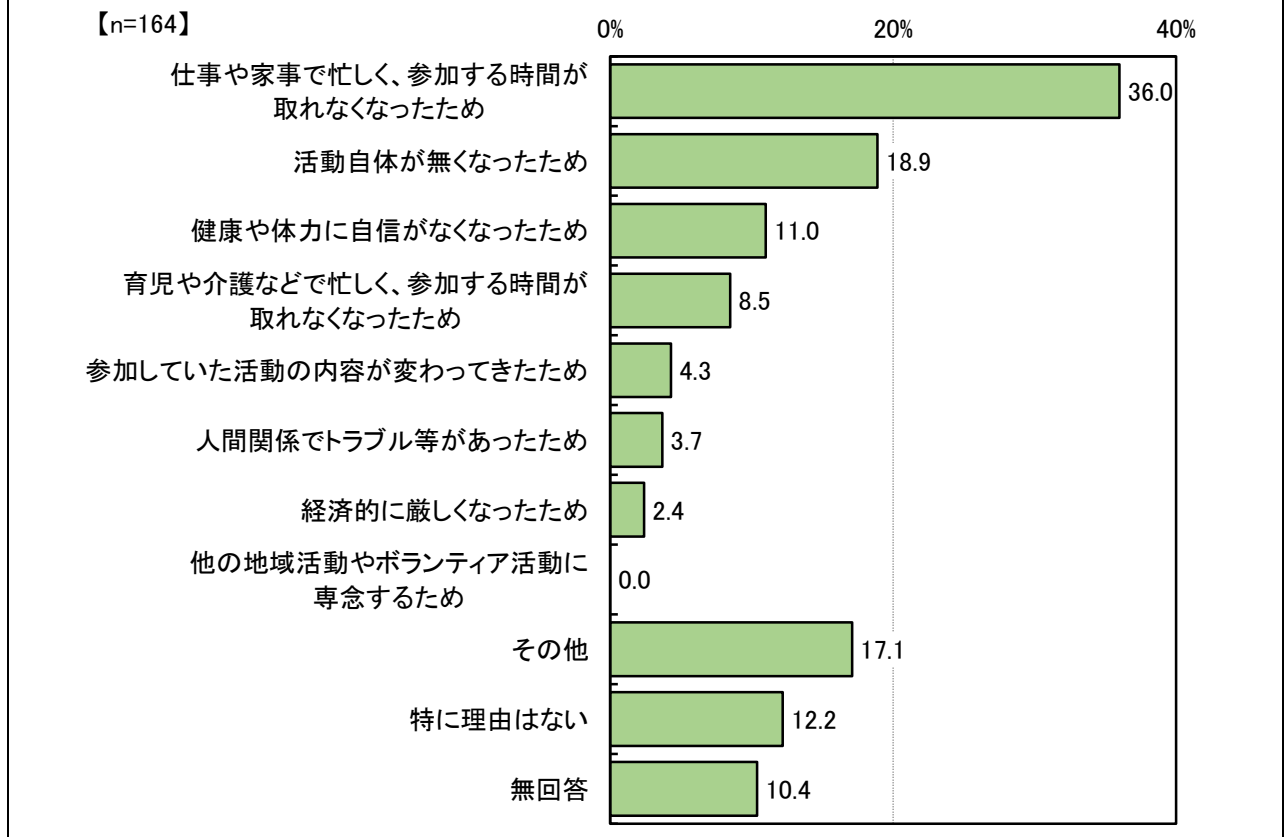
	自分の能力、経験が活かせるため	活動頻度が自分に合っていたため	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたいため	その他	特にきっかけはない	無回答
新田西部地区【n=22】	4.5	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0
新田東部地区【n=18】	22.2	11.1	16.7	5.6	5.6	0.0
草加川柳地区【n=11】	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
草加安行地区【n=32】	6.3	15.6	3.1	6.3	3.1	6.3
草加西部地区【n=22】	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	4.5
草加東部地区【n=18】	0.0	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=6】	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=11】	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=12】	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=8】	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別で「興味がある内容であるため」をみると、30歳代、20歳代と若い世代の割合が多い傾向がみられる。

地区別で「地域に貢献したいため」をみると、草加稲荷地区、草加川柳地区で他の地区よりも多い傾向がみられた。

問9-5. 問9で「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」又は「③以前は参加していたが、現在は参加していない」と答えた方にお聞きします。

あなたが、以前は参加していた地域活動やボランティア活動に参加しなくなった理由は何ですか。（あてはまるもの全てに☑）



問9で「②現在、参加しているが、参加しなくなった別の活動がある」又は「③以前は参加していたが、現在は参加していない」と答えた方に、以前は参加していた地域活動やボランティア活動に参加しなくなった理由を尋ねたところ、「仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れなくなったため」が36.0%で最も多く、以下、「活動自体が無くなったため」が18.9%、「健康や体力に自信がなくなったため」が11.0%などとなっている。

また、12.2%が「特に理由はない」と回答している他、「他の地域活動やボランティア活動に専念するため」の回答はなかった。

【その他】

- ・コロナの影響で地域の活動がなくなったから。
- ・活動期間があったため。
- ・引越、移転したため。
- ・参加者が高齢になり、参加人数が少なくなった。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れなくなったため	活動自体が無くなったため	健康や体力に自信がなくなったため	育児や介護などで忙しく、参加する時間が取れなくなったため	参加していた活動の内容が変わってきたため	人間関係でトラブル等があったため
10歳代【n=6】	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=18】	50.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代【n=14】	50.0	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0
40歳代【n=33】	60.6	3.0	0.0	15.2	3.0	0.0
50歳代【n=27】	33.3	44.4	0.0	7.4	7.4	0.0
60歳代【n=19】	36.8	5.3	0.0	26.3	5.3	10.5
70歳代【n=40】	12.5	30.0	37.5	5.0	2.5	7.5
80歳代以上【n=6】	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

	経済的に厳しくなったため	他の地域活動やボランティア活動に専念するため	その他	特に理由はない	無回答
10歳代【n=6】	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
20歳代【n=18】	0.0	0.0	16.7	22.2	5.6
30歳代【n=14】	0.0	0.0	21.4	7.1	7.1
40歳代【n=33】	6.1	0.0	24.2	6.1	6.1
50歳代【n=27】	3.7	0.0	22.2	3.7	7.4
60歳代【n=19】	0.0	0.0	5.3	26.3	15.8
70歳代【n=40】	2.5	0.0	12.5	5.0	20.0
80歳代以上【n=6】	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れなくなったため	活動自体がなくなったため	健康や体力に自信がなくなったため	育児や介護などで忙しく、参加する時間が取れなくなったため	参加していた活動の内容が変わってきたため	人間関係でトラブル等があったため
新田西部地区【n=22】	45.5	22.7	4.5	18.2	0.0	0.0
新田東部地区【n=18】	27.8	22.2	27.8	11.1	0.0	11.1
草加川柳地区【n=11】	36.4	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0
草加安行地区【n=33】	39.4	24.2	0.0	12.1	6.1	3.0
草加西部地区【n=22】	36.4	13.6	0.0	4.5	9.1	4.5
草加東部地区【n=18】	16.7	16.7	22.2	0.0	5.6	5.6
草加稲荷地区【n=6】	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=12】	50.0	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=12】	41.7	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3
谷塚東部地区【n=8】	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

	経済的に厳しくなったため	他の地域活動やボランティア活動に専念するため	その他	特に理由はない	無回答
新田西部地区【n=22】	0.0	0.0	9.1	13.6	4.5
新田東部地区【n=18】	5.6	0.0	16.7	22.2	5.6
草加川柳地区【n=11】	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2
草加安行地区【n=33】	3.0	0.0	18.2	9.1	12.1
草加西部地区【n=22】	0.0	0.0	36.4	9.1	13.6
草加東部地区【n=18】	0.0	0.0	11.1	16.7	16.7
草加稲荷地区【n=6】	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
谷塚西部地区【n=12】	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3
谷塚中央地区【n=12】	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3
谷塚東部地区【n=8】	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

年代別で「仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れなくなったため」をみると、20歳代～40歳代にかけて、割合が多い傾向がみられた。

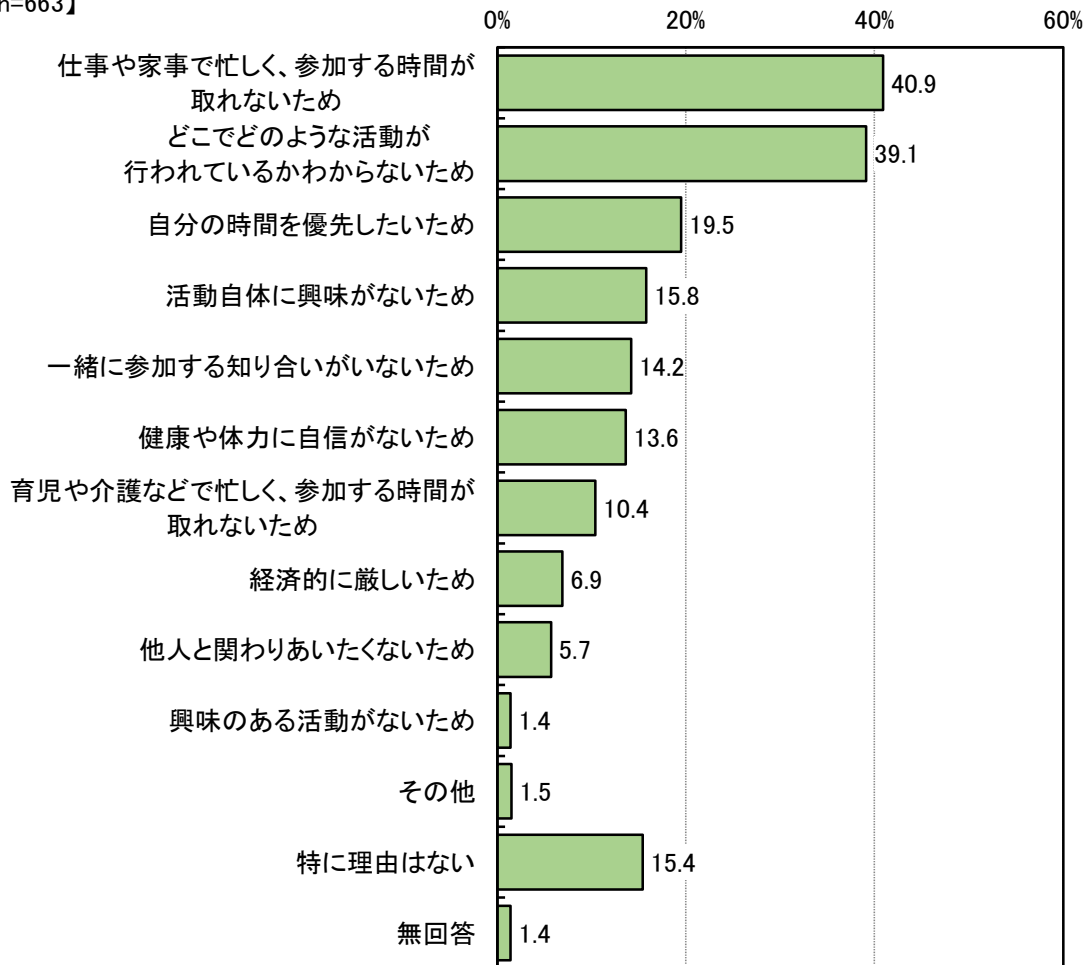
地区別でも、全体と同じ傾向がみられた。

問9-4では「順番でまわってきたため」といった主体的ではない理由の割合が多くなってきている。また、問9-5では「仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れなくなったため」、「活動自体がなくなった」が上位に挙げられていることから、持ち回りの役職が回ってきて地域活動やボランティア活動に関わったが、活動への参加継続が難しくなったことや活動自体の終了により参加しなくなったという割合が少なくないことが読み取れる。

問9-6. 問9で「④参加したことがない」と答えた方にお聞きします。

あなたが地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。
(あてはまるもの全てに☑)

【n=663】



問9で「④参加したことがない」と答えた方に地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由を尋ねたところ、「仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れないため」が40.9%で最も多く、以下、「どこでどのような活動が行われているかわからないため」が39.1%、「自分の時間を優先したいため」が19.5%、「活動自体に興味がないため」が15.8%などとなっている。

また、15.4%が「特に理由はない」と回答している。

【興味のある活動】

- ・以前は清流・溪流釣りが好きで、将来川の環境・水質保全のボランティアに関わりたいと思ったが、年を重ね、自宅からの距離のハンデもあり、思いは果せず。

【その他】

- ・ボランティアのための時間が取れない。
- ・体力に自信がない、病気がち。
- ・家族内で活動をしている人が複数人いるため。
- ・仕事による多忙。
- ・興味ある活動団体が本当に信頼・信用できる団体か不安が残るため。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	仕事や家事 で忙しく、 参加する時 間が取れな いため	どこでどの ような活動 が行われて いるかわか らないため	自分の時間 を優先した いため	活動自体に 興味がない ため	一緒に参加 する知り合 いがいない ため	健康や体力 に自信がな いため	育児や介護 などで忙し く、参加す る時間が取 れないため
10歳代【n=21】	9.5	47.6	28.6	38.1	14.3	4.8	4.8
20歳代【n=79】	29.1	34.2	31.6	17.7	12.7	1.3	5.1
30歳代【n=98】	56.1	45.9	21.4	20.4	14.3	8.2	24.5
40歳代【n=120】	55.0	38.3	17.5	15.8	11.7	10.0	15.0
50歳代【n=108】	51.9	41.7	14.8	16.7	16.7	5.6	6.5
60歳代【n=78】	41.0	38.5	24.4	14.1	16.7	16.7	9.0
70歳代【n=137】	22.6	38.0	13.1	9.5	13.1	31.4	5.1
80歳代以上【n=12】	41.7	16.7	16.7	8.3	8.3	33.3	0.0
無回答【n=10】	10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0

	経済的に厳 しいため	他人と関わ りあいたく ないため	興味のある 活動がない ため	その他	特に理由は ない	無回答
10歳代【n=21】	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0
20歳代【n=79】	3.8	2.5	2.5	0.0	17.7	0.0
30歳代【n=98】	5.1	7.1	0.0	1.0	8.2	0.0
40歳代【n=120】	5.8	4.2	1.7	0.8	13.3	0.8
50歳代【n=108】	9.3	8.3	0.0	1.9	13.0	0.0
60歳代【n=78】	11.5	3.8	1.3	1.3	14.1	2.6
70歳代【n=137】	6.6	8.0	1.5	2.9	23.4	3.6
80歳代以上【n=12】	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3
無回答【n=10】	20.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れないため	どこでどのような活動が行われているかわからないため	自分の時間を優先したため	活動自体に興味がないため	一緒に参加する知りがいないため	健康や体力に自信がないため	育児や介護などで忙しく、参加する時間が取れないため
新田西部地区【n=114】	45.6	37.7	17.5	13.2	16.7	13.2	7.9
新田東部地区【n=71】	46.5	40.8	18.3	18.3	9.9	9.9	8.5
草加川柳地区【n=41】	41.5	41.5	19.5	19.5	2.4	14.6	12.2
草加安行地区【n=85】	38.8	38.8	20.0	15.3	15.3	10.6	11.8
草加西部地区【n=90】	42.2	42.2	17.8	18.9	14.4	15.6	13.3
草加東部地区【n=72】	43.1	41.7	19.4	15.3	16.7	18.1	11.1
草加稲荷地区【n=20】	40.0	25.0	15.0	10.0	30.0	15.0	20.0
谷塚西部地区【n=71】	40.8	39.4	23.9	16.9	15.5	9.9	9.9
谷塚中央地区【n=47】	31.9	44.7	14.9	14.9	8.5	10.6	12.8
谷塚東部地区【n=44】	34.1	29.5	29.5	13.6	11.4	20.5	4.5
無回答【n=8】	0.0	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	0.0

	経済的に厳しいため	他人と関わりあいたくないため	興味のある活動がないため	その他	特に理由は無い	無回答
新田西部地区【n=114】	4.4	7.9	1.8	1.8	18.4	1.8
新田東部地区【n=71】	7.0	1.4	1.4	1.4	14.1	2.8
草加川柳地区【n=41】	9.8	7.3	0.0	0.0	9.8	0.0
草加安行地区【n=85】	11.8	8.2	0.0	0.0	16.5	2.4
草加西部地区【n=90】	7.8	4.4	1.1	3.3	12.2	1.1
草加東部地区【n=72】	2.8	1.4	2.8	1.4	11.1	0.0
草加稲荷地区【n=20】	15.0	5.0	0.0	0.0	15.0	0.0
谷塚西部地区【n=71】	4.2	8.5	1.4	2.8	16.9	1.4
谷塚中央地区【n=47】	6.4	12.8	2.1	0.0	21.3	0.0
谷塚東部地区【n=44】	4.5	0.0	0.0	2.3	18.2	2.3
無回答【n=8】	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0

年代別で「自分の時間を優先したため」をみると、10歳代、20歳代の割合が多くなっている。その一方で「健康や体力に自信がないため」をみると、70歳代、80歳代以上の割合が多くなっている。

地区別で「一緒に参加する知りがいないため」をみると、草加稲荷地区では割合が多く、草加川柳地区では割合が少ない傾向がみられた。

▶問9-6「あなたが地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか」と問11「どのような条件が整えば、地域活動やボランティア活動により参加しやすくなると思いますか」のクロス集計

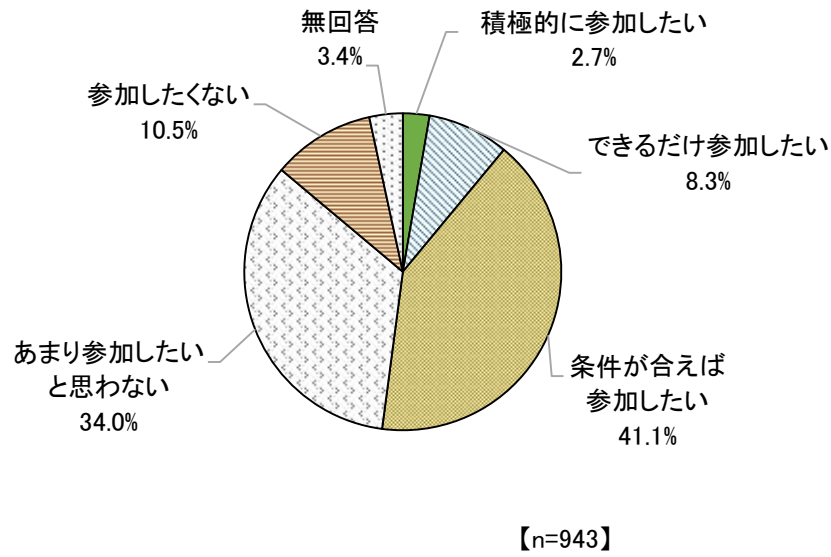
【単位：％】

	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日を自由に選べる	ボランティア活動に関する情報が一つの窓口を集約されている	友人や家族と一緒に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	自分の仕事や特技を生かせる
活動自体に興味がないため【n=105】	37.1	24.8	20.0	10.5	6.7	3.8	11.4
興味のある活動がないため【n=9】	33.3	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1
どこでどのような活動が行われているかわからないため【n=259】	70.3	51.0	46.7	34.7	17.4	20.5	17.0
経済的に厳しいため【n=46】	50.0	32.6	30.4	19.6	6.5	13.0	15.2
健康や体力に自信がないため【n=90】	51.1	38.9	34.4	16.7	8.9	10.0	8.9
仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れないため【n=271】	60.1	41.0	44.3	19.9	16.6	18.8	19.2
育児や介護などで忙しく、参加する時間が取れないため【n=69】	62.3	46.4	40.6	11.6	30.4	15.9	17.4
自分の時間を優先したいため【n=129】	51.9	35.7	40.3	14.7	14.7	11.6	16.3
他人と関わりあいたくないため【n=38】	34.2	28.9	31.6	15.8	2.6	2.6	7.9
一緒に参加する知り合いがないため【n=94】	63.8	41.5	39.4	23.4	18.1	23.4	13.8
その他【n=10】	80.0	40.0	50.0	0.0	10.0	40.0	10.0
特に理由はない【n=102】	40.2	25.5	24.5	9.8	14.7	9.8	6.9
無回答【n=9】	44.4	11.1	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2

	活動資金の補助があるなど経済的な負担が少ない	活動に対する謝礼がある	家族や職場の理解がある	その他	わからない	無回答
活動自体に興味がないため【n=105】	16.2	16.2	4.8	1.0	29.5	2.9
興味のある活動がないため【n=9】	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1
どこでどのような活動が行われているかわからないため【n=259】	16.2	10.0	5.4	1.9	8.5	1.5
経済的に厳しいため【n=46】	26.1	6.5	6.5	2.2	26.1	6.5
健康や体力に自信がないため【n=90】	15.6	3.3	3.3	0.0	27.8	5.6
仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れないため【n=271】	17.3	9.2	9.2	1.5	11.8	1.5
育児や介護などで忙しく、参加する時間が取れないため【n=69】	14.5	11.6	10.1	4.3	7.2	4.3
自分の時間を優先したいため【n=129】	20.2	16.3	7.0	3.9	19.4	0.8
他人と関わりあいたくないため【n=38】	15.8	13.2	7.9	5.3	42.1	2.6
一緒に参加する知り合いがないため【n=94】	18.1	12.8	7.4	0.0	14.9	1.1
その他【n=10】	40.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0
特に理由はない【n=102】	8.8	9.8	3.9	1.0	38.2	2.9
無回答【n=9】	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4

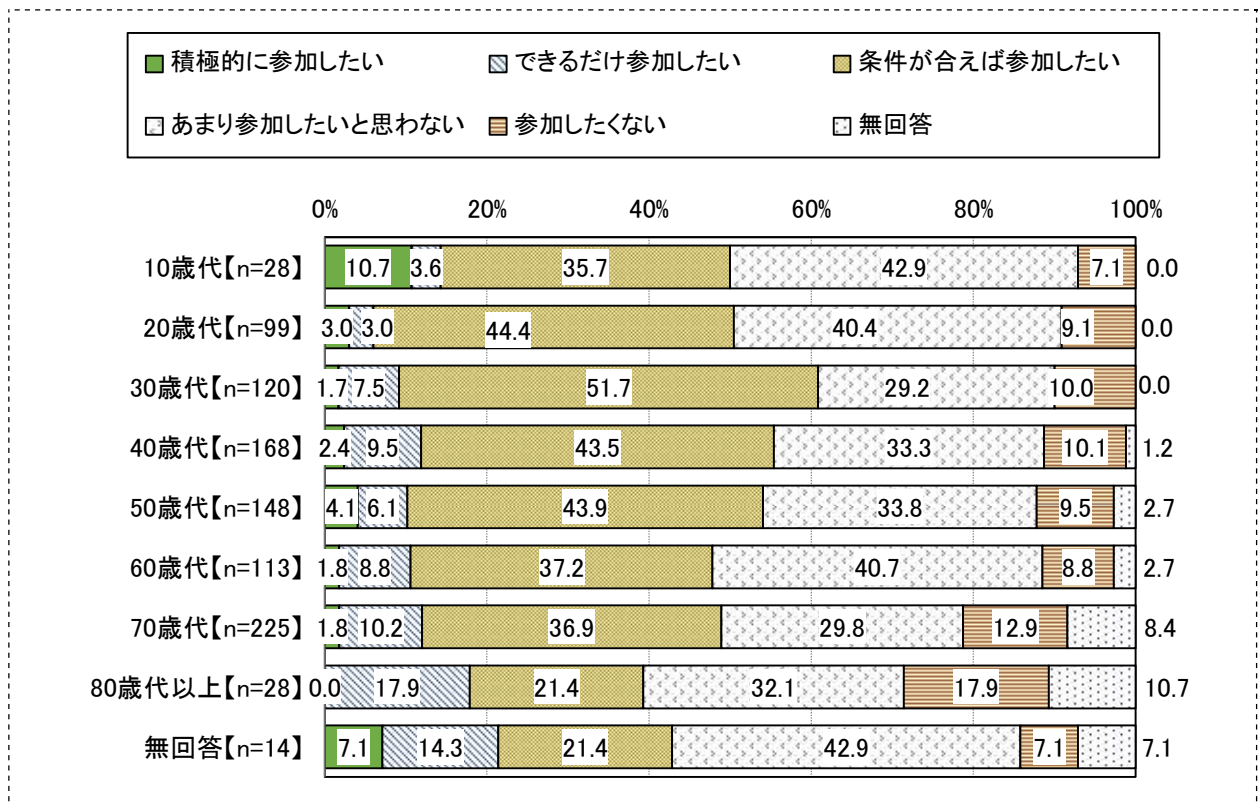
「気軽に参加できる」を軸にみると、「活動自体に興味がないため」、「興味のある活動がないため」、「他人と関わりあいたくないため」の割合が他の理由よりも少ない傾向がみられた。

問10. あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。
 (あてはまるもの1つに☑)

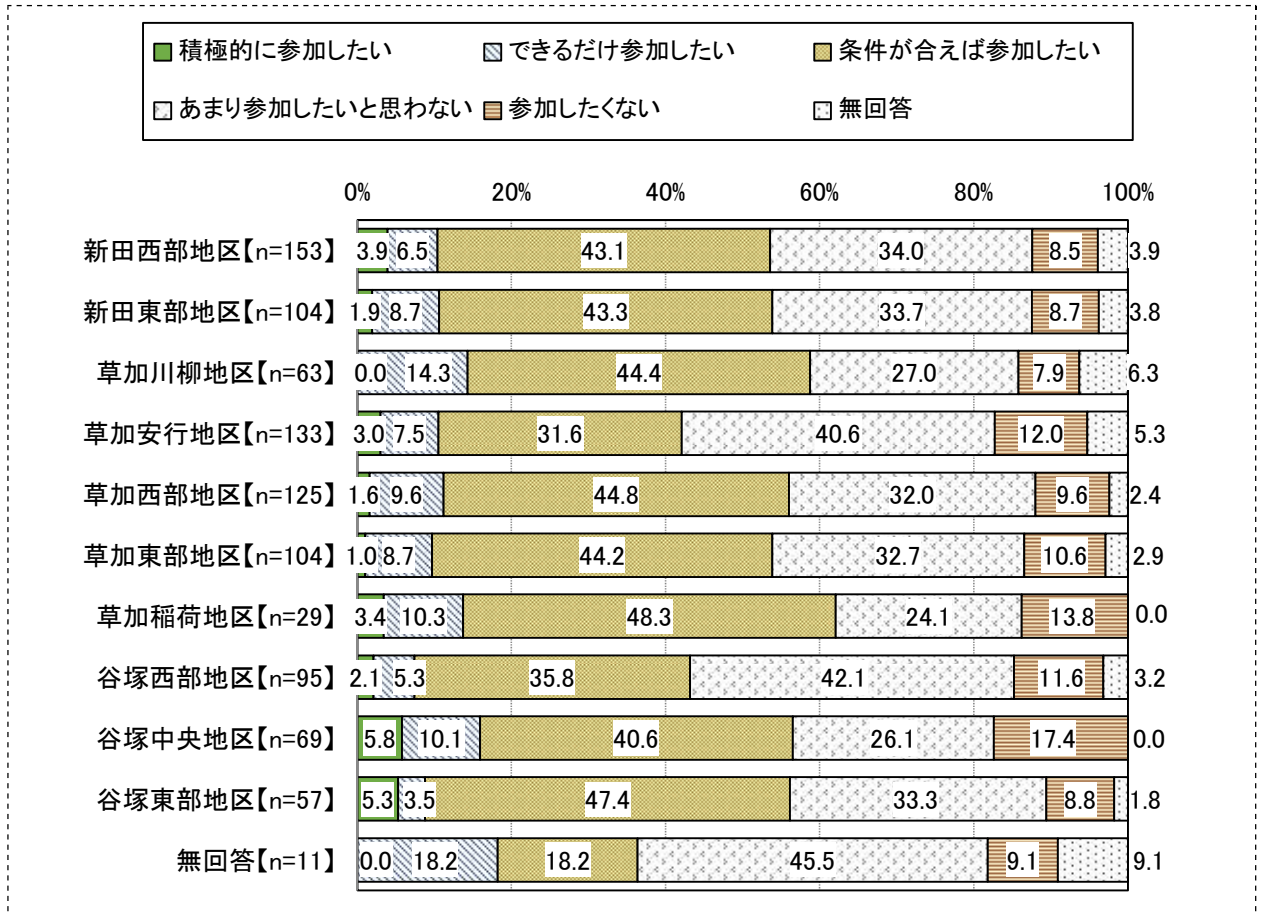


今後、地域活動やボランティア活動に参加したいか尋ねたところ、「条件が合えば参加したい」が41.1%で最も多く、以下、「あまり参加したいと思わない」が34.0%、「参加したくない」が10.5%、「できるだけ参加したい」が8.3%、「積極的に参加したい」が2.7%となっている。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計



年代別で「条件が合えば参加したい」をみると、20歳代～50歳代にかけて他の年齢階層より割合が多い傾向がみられる。

地区別で「参加したくない」をみると、谷塚中央地区の割合が他の地区より多くなっている。

▶問10「あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか」と問11「どのような条件が整えば、地域活動やボランティア活動により参加しやすくなると思いますか」のクロス集計

【単位：％】

	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日を自由に選べる	ボランティア活動に関する情報が一つの窓口を集約されている	適切な指導者やリーダーがいる	友人や家族と一緒に参加できる	活動資金の補助があるなど経済的な負担が少ない
積極的に参加したい【n=25】	72.0	44.0	40.0	40.0	36.0	28.0	20.0
できるだけ参加したい【n=78】	62.8	62.8	39.7	17.9	34.6	16.7	20.5
条件が合えば参加したい【n=388】	71.1	46.9	50.3	29.1	24.2	21.9	17.8
あまり参加したいと思わない【n=321】	44.9	27.1	26.2	11.8	11.5	11.5	11.8
参加したくない【n=99】	18.2	9.1	12.1	6.1	6.1	6.1	9.1
無回答【n=32】	15.6	18.8	9.4	9.4	9.4	6.3	12.5

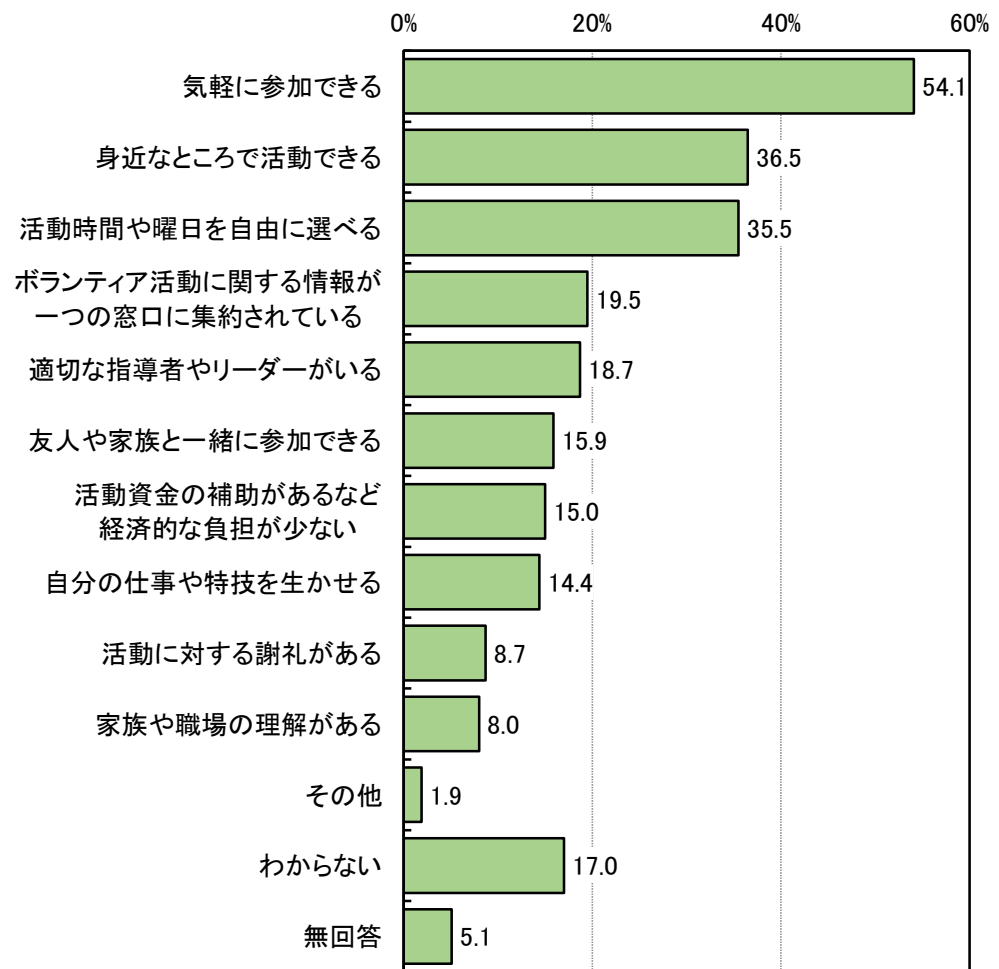
	自分の仕事や特技を生かせる	活動に対する謝礼がある	家族や職場の理解がある	その他	わからない	無回答
積極的に参加したい【n=25】	20.0	4.0	16.0	4.0	4.0	0.0
できるだけ参加したい【n=78】	11.5	5.1	15.4	1.3	1.3	3.8
条件が合えば参加したい【n=388】	20.6	6.2	10.1	1.8	4.6	1.0
あまり参加したいと思わない【n=321】	11.2	12.1	5.0	2.2	27.1	2.2
参加したくない【n=99】	3.0	13.1	2.0	2.0	52.5	10.1
無回答【n=32】	9.4	3.1	6.3	0.0	3.1	75.0

「参加したくない」を軸に上位項目をみると、「気軽に参加できる」が18.2%で最も多く、次いで、「活動に対する謝礼がある」が13.1%、「活動時間や曜日を自由に選べる」が12.1%となっている。

また、「条件が合えば参加したい」を軸に上位項目をみると、「気軽に参加できる」が71.1%で最も多く、次いで、「活動時間や曜日を自由に選べる」が50.3%、「身近なところで活動できる」が46.9%となっている。

問11. どのような条件を整えば、地域活動やボランティア活動により参加しやすくなると思いますか。（あてはまるもの全てに☑）

【n=943】



どのような条件を整えば、地域活動やボランティア活動により参加しやすくなるか尋ねたところ、「可以轻松参加できる（一人で参加できる、1回限りの参加でもよいなど）」が54.1%で最も多く、以下、「身近なところで活動できる」が36.5%、「活动时间や曜日を自由に選べる」が35.5%、「ボランティア活動に関する情報が一つの窓口を集約されている（興味、時間、地域などが簡単に検索できるなど）」が19.5%、「適切な指導者やリーダーがいる」が18.7%などとなっている。

【その他】

- ・自分の日常生活に役立つ。
- ・そのボランティア活動に自分のやりがい、意義を見出せること。
- ・地域の理解を行政から働きかけてほしい。
- ・子供を無料でいつでも預けられる。
- ・目的・方法に賛同できる。仲間の人間関係、役割を強制されない。
- ・活動団体の素情がはっきりして、信頼性が提示されている。
- ・ネットやアプリ等、SNSで気軽に調べられると分かりやすい。
- ・活動に明確な目的がある。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	気軽に参加 できる	身近なところ で活動で きる	活動時間や 曜日を自由 に選べる	ボランティ ア活動に関 する情報が 一つの窓口 に集約され ている	適切な指導 者やリー ダーがいる	友人や家族 と一緒に参 加できる	活動資金の 補助がある など経済的 な負担が少 ない
10歳代【n=28】	50.0	35.7	32.1	25.0	14.3	32.1	17.9
20歳代【n=99】	51.5	31.3	30.3	19.2	10.1	18.2	20.2
30歳代【n=120】	53.3	37.5	45.8	15.8	14.2	29.2	21.7
40歳代【n=168】	54.2	35.1	38.7	20.8	23.2	22.6	14.3
50歳代【n=148】	59.5	39.2	44.6	23.0	20.3	10.1	12.8
60歳代【n=113】	56.6	44.2	36.3	26.5	26.5	8.8	15.9
70歳代【n=225】	53.8	34.7	27.6	13.8	16.0	9.3	11.6
80歳代以上【n=28】	46.4	28.6	17.9	21.4	17.9	14.3	3.6
無回答【n=14】	28.6	35.7	14.3	21.4	35.7	0.0	14.3

	自分の仕事 や特技を生 かせる	活動に対す る謝礼があ る	家族や職場 の理解があ る	その他	わからない	無回答
10歳代【n=28】	7.1	25.0	7.1	3.6	17.9	0.0
20歳代【n=99】	23.2	15.2	7.1	4.0	16.2	0.0
30歳代【n=120】	16.7	15.8	9.2	1.7	13.3	0.0
40歳代【n=168】	16.7	9.5	16.7	2.4	19.6	2.4
50歳代【n=148】	15.5	7.4	8.1	1.4	13.5	2.7
60歳代【n=113】	11.5	3.5	5.3	1.8	17.7	2.7
70歳代【n=225】	10.2	3.1	3.1	1.3	19.1	12.9
80歳代以上【n=28】	10.7	0.0	3.6	0.0	14.3	25.0
無回答【n=14】	7.1	21.4	7.1	0.0	21.4	7.1

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日を自由に選べる	ボランティア活動に関する情報が一つの窓口を集約されている	適切な指導者やリーダーがいる	友人や家族と一緒に参加できる	活動資金の補助があるなど経済的な負担が少ない
新田西部地区【n=153】	57.5	37.9	37.3	20.9	13.7	15.0	15.7
新田東部地区【n=104】	48.1	33.7	38.5	15.4	13.5	11.5	16.3
草加川柳地区【n=63】	52.4	39.7	28.6	23.8	25.4	23.8	11.1
草加安行地区【n=133】	57.1	36.8	33.8	18.8	21.8	18.8	13.5
草加西部地区【n=125】	60.8	33.6	36.8	14.4	20.8	14.4	15.2
草加東部地区【n=104】	56.7	39.4	38.5	27.9	17.3	20.2	14.4
草加稲荷地区【n=29】	58.6	44.8	24.1	13.8	17.2	24.1	13.8
谷塚西部地区【n=95】	41.1	31.6	32.6	21.1	16.8	8.4	16.8
谷塚中央地区【n=69】	58.0	30.4	36.2	18.8	24.6	15.9	17.4
谷塚東部地区【n=57】	52.6	45.6	42.1	17.5	21.1	15.8	12.3
無回答【n=11】	18.2	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2

	自分の仕事や特技を生かせる	活動に対する謝礼がある	家族や職場の理解がある	その他	わからない	無回答
新田西部地区【n=153】	15.7	10.5	6.5	1.3	14.4	5.2
新田東部地区【n=104】	13.5	7.7	5.8	1.9	17.3	7.7
草加川柳地区【n=63】	14.3	3.2	9.5	0.0	17.5	6.3
草加安行地区【n=133】	12.8	8.3	8.3	0.8	24.8	5.3
草加西部地区【n=125】	14.4	9.6	9.6	2.4	14.4	4.0
草加東部地区【n=104】	14.4	5.8	10.6	2.9	12.5	4.8
草加稲荷地区【n=29】	24.1	13.8	6.9	3.4	10.3	3.4
谷塚西部地区【n=95】	12.6	7.4	7.4	1.1	23.2	4.2
谷塚中央地区【n=69】	17.4	10.1	10.1	4.3	13.0	4.3
谷塚東部地区【n=57】	12.3	10.5	5.3	3.5	14.0	3.5
無回答【n=11】	9.1	27.3	0.0	0.0	27.3	9.1

年代別で「家族や職場の理解がある」をみると、40歳代の割合が他の年齢階層よりも多い傾向がみられた。

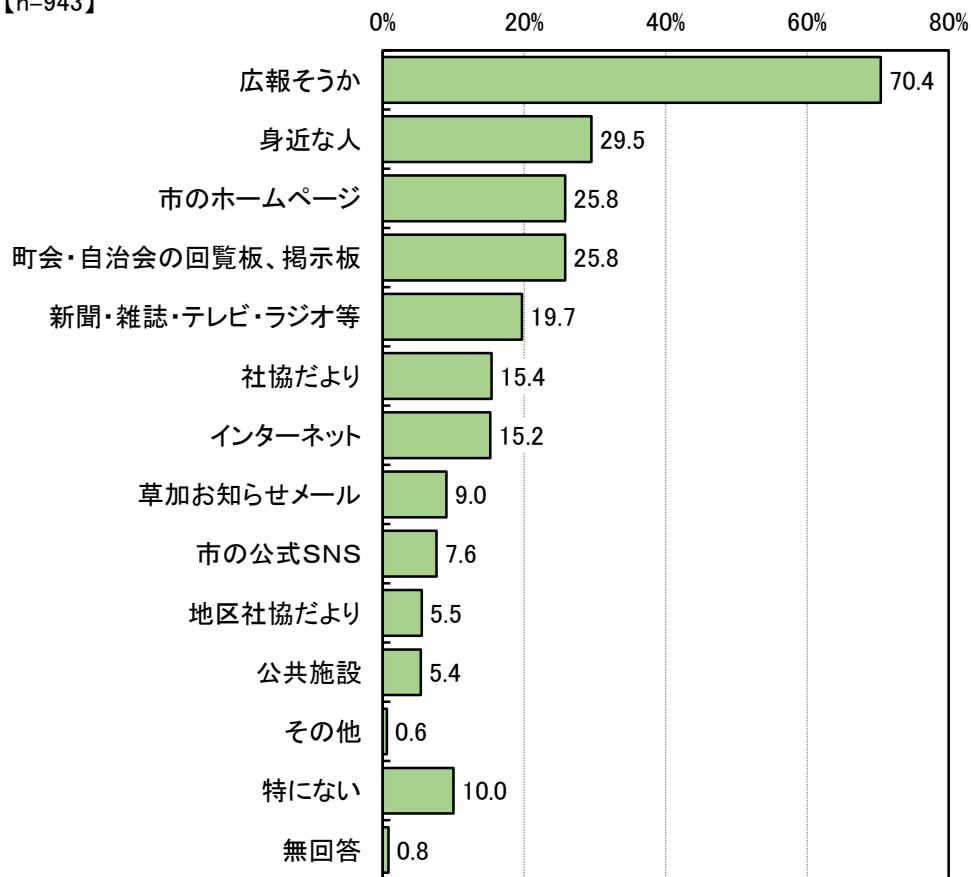
また、「活動に対する謝礼がある」をみると、10歳代～30歳代の回答割合が多くなっている。地区別では、上位項目はどの地区も全体と同じ傾向がみられた。その中で、「自分の仕事や特技を生かせる」を軸にみると、草加稲荷地区の割合が多い傾向がみられた。

問10では、4割超が「条件が合えば参加したい」と回答しており、問11では、「気軽に参加できる（一人で参加できる、1回限りの参加でもよいなど）」、「身近なところで活動できる」、「活動時間や曜日を自由に選べる」と回答していることから、参加者のニーズを確認し、参加しやすい形を見直す必要がある。

情報の入手について

問12. あなたは、生活や地域に関する情報をどこから得ていますか（得ようと思いませんか）。
 （あてはまるもの全てに☑）

【n=943】



生活や地域に関する情報の入手先について、「広報そうか」が70.4%で最も多く、以下、「身近な人（家族・親戚・友人・知人）」が29.5%、「市のホームページ」と「町会・自治会の回覧板、掲示板」が同率の25.8%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等」が19.7%などとなっている。

【その他】

- ・病院などにポスターがあればうれしい。
- ・小中学校のお便りと一緒に配付されるもの。
- ・インターネットは詳しくないのでわかりにくい。
- ・学校。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	広報そうか	身近な人	市のホームページ	町会・自治会の回覧板、掲示板	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	社協だより	インターネット
10歳代【n=28】	28.6	39.3	21.4	14.3	3.6	0.0	21.4
20歳代【n=99】	21.2	26.3	29.3	8.1	8.1	2.0	24.2
30歳代【n=120】	57.5	28.3	33.3	8.3	5.0	7.5	26.7
40歳代【n=168】	70.8	25.6	34.5	18.5	14.3	10.1	22.6
50歳代【n=148】	83.1	30.4	33.1	19.6	14.9	13.5	13.5
60歳代【n=113】	80.5	35.4	29.2	35.4	19.5	20.4	10.6
70歳代【n=225】	88.9	30.2	9.3	45.3	37.8	26.7	4.9
80歳代以上【n=28】	92.9	32.1	10.7	50.0	57.1	39.3	0.0
無回答【n=14】	50.0	14.3	28.6	35.7	14.3	21.4	0.0

	草加お知らせメール	市の公式SNS	地区社協だより	公共施設	その他	特にない	無回答
10歳代【n=28】	3.6	3.6	0.0	7.1	0.0	17.9	0.0
20歳代【n=99】	5.1	16.2	0.0	5.1	1.0	28.3	0.0
30歳代【n=120】	10.0	7.5	3.3	1.7	0.0	14.2	0.8
40歳代【n=168】	10.7	11.9	3.0	6.0	1.8	6.0	1.8
50歳代【n=148】	12.8	8.1	2.0	2.0	0.0	6.8	0.0
60歳代【n=113】	9.7	8.0	7.1	5.3	0.9	8.0	0.0
70歳代【n=225】	6.7	0.9	12.4	9.3	0.0	4.4	1.3
80歳代以上【n=28】	10.7	3.6	10.7	3.6	3.6	7.1	0.0
無回答【n=14】	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	21.4	7.1

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	広報そうか	身近な人	市のホームページ	町会・自治会の回覧板、掲示板	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	社協だより	インターネット
新田西部地区【n=153】	73.2	28.8	24.2	23.5	20.9	15.0	11.1
新田東部地区【n=104】	70.2	31.7	23.1	28.8	24.0	7.7	11.5
草加川柳地区【n=63】	79.4	31.7	28.6	31.7	23.8	11.1	11.1
草加安行地区【n=133】	65.4	37.6	24.1	22.6	22.6	16.5	25.6
草加西部地区【n=125】	68.0	24.8	30.4	23.2	14.4	12.8	20.0
草加東部地区【n=104】	74.0	30.8	33.7	27.9	22.1	21.2	17.3
草加稲荷地区【n=29】	79.3	20.7	20.7	31.0	10.3	20.7	10.3
谷塚西部地区【n=95】	70.5	27.4	22.1	27.4	14.7	15.8	12.6
谷塚中央地区【n=69】	69.6	29.0	23.2	20.3	20.3	17.4	15.9
谷塚東部地区【n=57】	64.9	22.8	24.6	28.1	17.5	19.3	7.0
無回答【n=11】	45.5	27.3	18.2	36.4	18.2	27.3	0.0

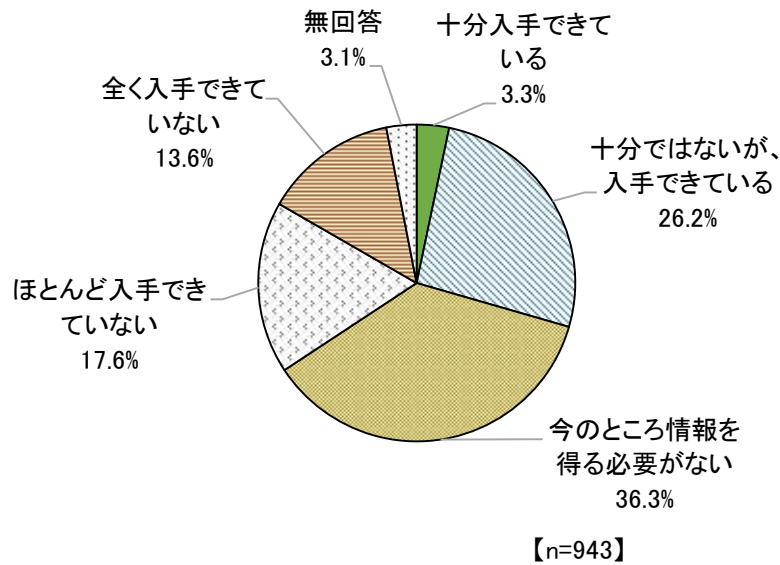
	草加お知らせメール	市の公式SNS	地区社協だより	公共施設	その他	特にない	無回答
新田西部地区【n=153】	9.2	7.8	5.2	6.5	0.7	9.2	0.0
新田東部地区【n=104】	8.7	4.8	6.7	6.7	1.0	12.5	1.0
草加川柳地区【n=63】	14.3	15.9	6.3	7.9	0.0	4.8	3.2
草加安行地区【n=133】	9.0	6.8	6.0	3.8	0.8	9.0	0.8
草加西部地区【n=125】	8.0	8.8	4.0	7.2	0.0	8.0	0.8
草加東部地区【n=104】	9.6	7.7	4.8	2.9	1.0	5.8	0.0
草加稲荷地区【n=29】	20.7	0.0	3.4	3.4	3.4	10.3	0.0
谷塚西部地区【n=95】	8.4	5.3	4.2	2.1	0.0	13.7	0.0
谷塚中央地区【n=69】	7.2	11.6	5.8	7.2	1.4	14.5	0.0
谷塚東部地区【n=57】	3.5	5.3	8.8	5.3	0.0	14.0	3.5
無回答【n=11】	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	18.2	9.1

年代別で「広報そうか」をみると、年齢階層が上がるに従い、割合も増えている。同様の傾向が、「町会・自治会の回覧板、掲示板」、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」でもみられた。

また、「インターネット」では、10歳代～40歳代の割合が多い傾向がみられる。

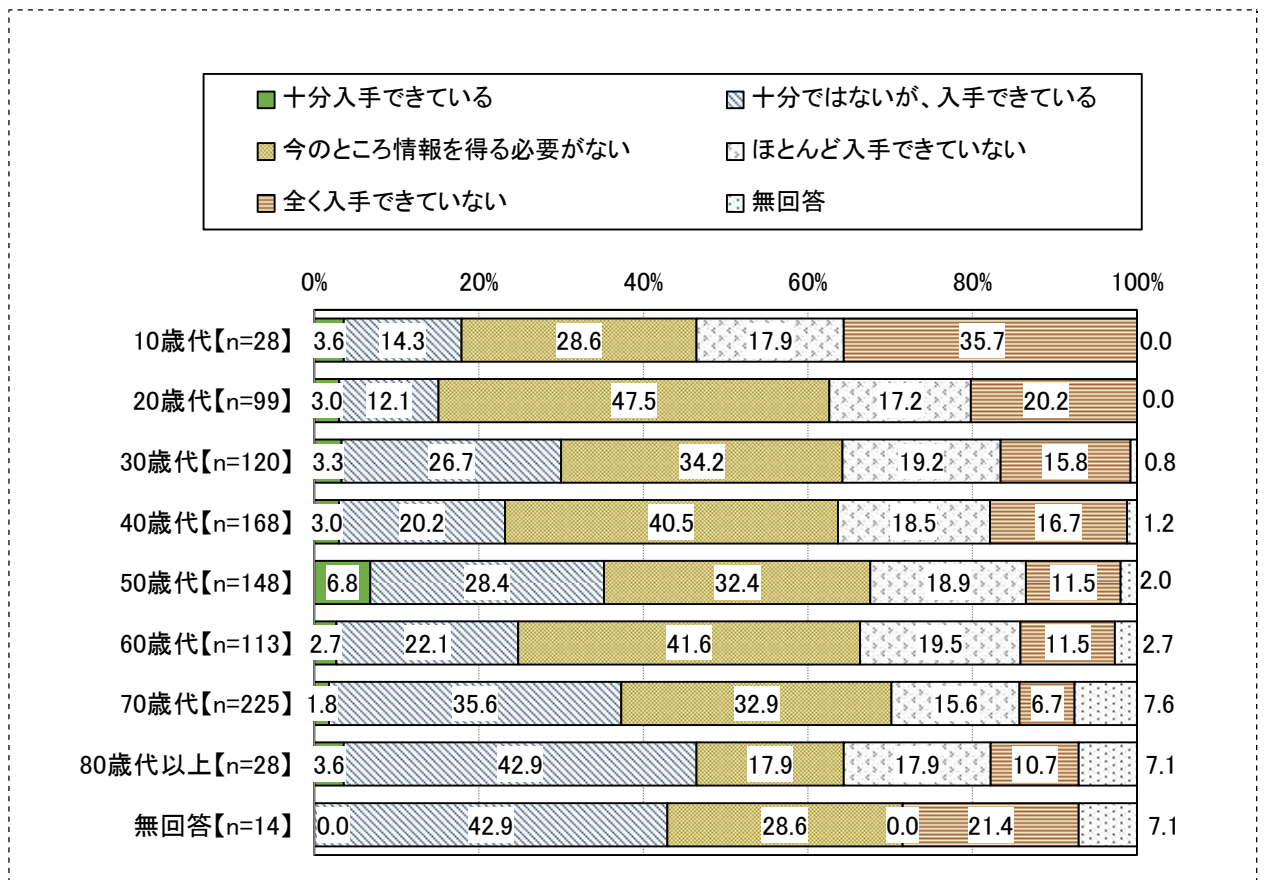
地区別で「草加お知らせメール」をみると、草加稲荷地区と草加川柳地区の割合が多い傾向がみられた。また、「市の公式SNS」についても、草加川柳地区で多くなっている。

問13. あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていますか。
 (あてはまるもの1つに☑)

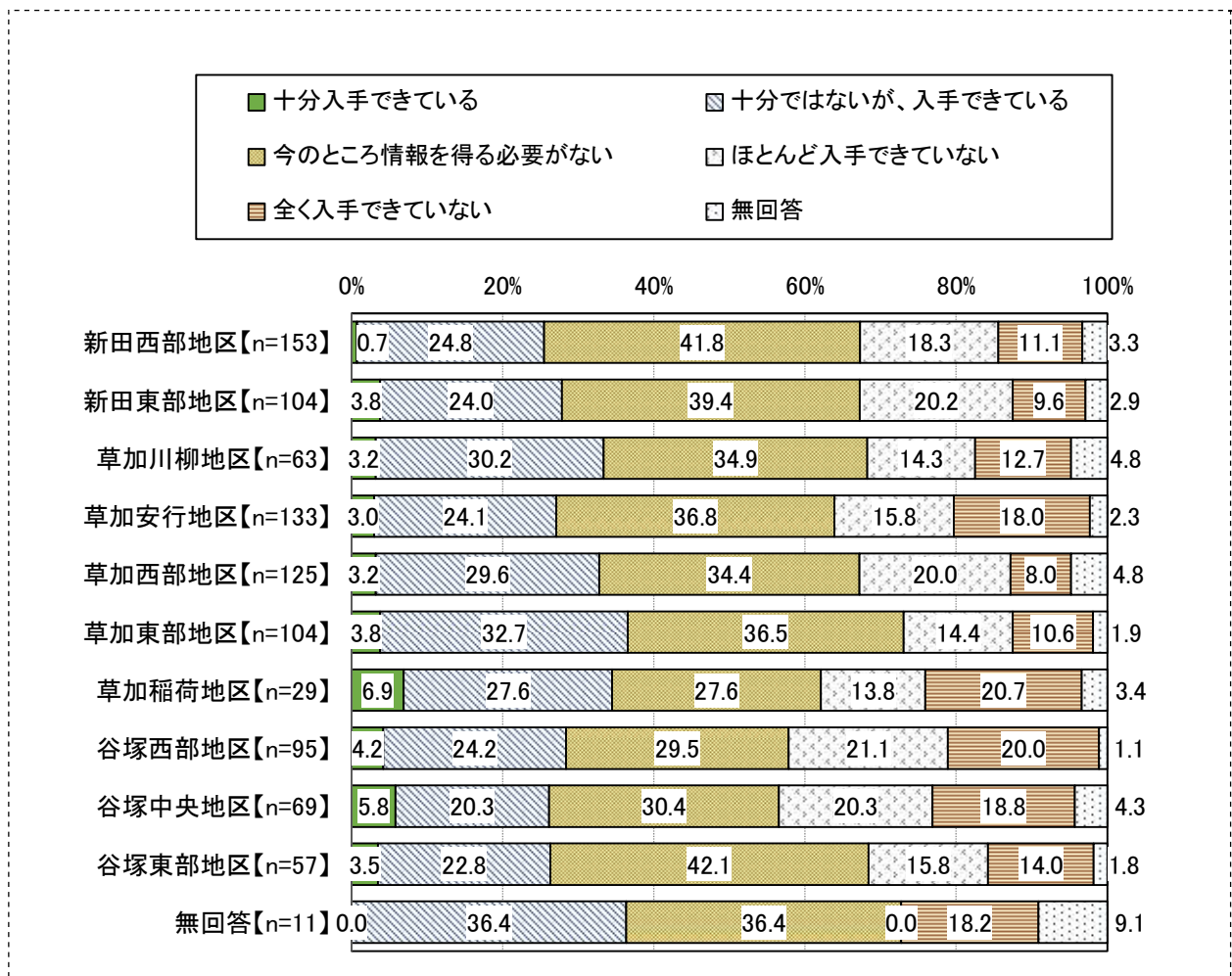


自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況は、「今のところ情報を得る必要がない」が36.3%で最も多く、以下、「十分ではないが、入手できている」が26.2%、「ほとんど入手できていない」が17.6%、「全く入手できていない」が13.6%、「十分入手できている」が3.3%となっている。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計



年代別で「全く入手できていない」をみると、10歳代が35.7%と他の年齢階層よりも多い傾向がみられた。

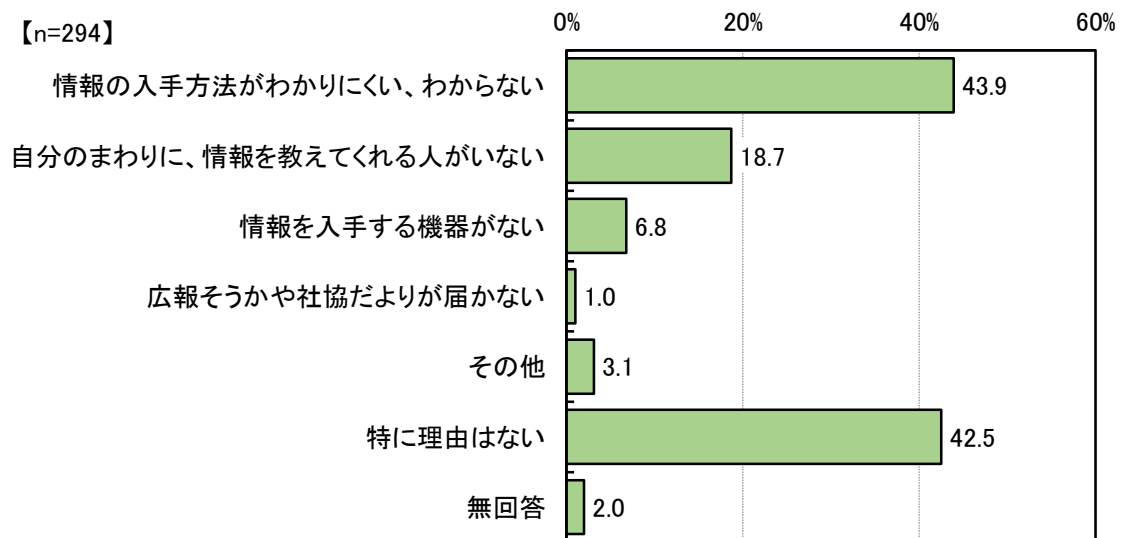
また、80歳代以上では、他の年齢階層よりも「今のところ情報を得る必要がない」の割合は少なく、「十分ではないが、入手できている」の割合が多くなっている。

地区別でみると、谷塚西部地区、谷塚中央地区では、他の地区よりも「ほとんど入手できていない」、「全く入手できていない」の割合が多い傾向がみられた。

問13-1. 問13で「ほとんど入手できていない」又は「全く入手できていない」と答えた方にお聞きします。

それはどのような理由ですか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=294】



問13で「ほとんど入手できていない」又は「全く入手できていない」と答えた方に理由を尋ねたところ、「情報の入手方法がわかりにくい、わからない」が43.9%で最も多く、以下、「自分のまわりに、情報を教えてくれる人がいない」が18.7%、「情報を入手する機器（パソコン、スマホなど）がない」が6.8%などとなっている。

また、42.5%が「特に理由はない」と答えている。

【その他】

- ・市の中心地の事ばかりの事が多い。
- ・身近に福祉が必要な人がいないため
- ・そもそもどんなサービスがあるのか知らない。
- ・情報を入手する時間がない。
- ・見る、読む時間がない。
- ・そのようなサービスの存在を知らなかった。
- ・行政が積極的ではない。HPも分かりにくい。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	情報の入手方法がわかりにくい、わからない	自分のまわりに、情報を教えてくれる人がいない	情報を入力する機器がない	広報そうかや社協だよりが届かない	その他	特に理由はない	無回答
10歳代【n=15】	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
20歳代【n=37】	35.1	13.5	0.0	2.7	5.4	51.4	5.4
30歳代【n=42】	52.4	16.7	0.0	0.0	4.8	35.7	0.0
40歳代【n=59】	37.3	23.7	0.0	0.0	1.7	50.8	0.0
50歳代【n=45】	44.4	20.0	2.2	2.2	4.4	44.4	2.2
60歳代【n=35】	65.7	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	2.9
70歳代【n=50】	34.0	14.0	24.0	2.0	4.0	38.0	4.0
80歳代以上【n=8】	62.5	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答【n=3】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

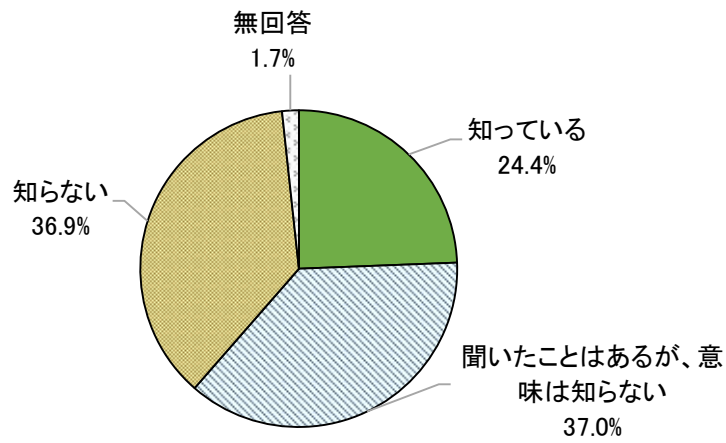
	情報の入手方法がわかりにくい、わからない	自分のまわりに、情報を教えてくれる人がいない	情報を入力する機器（パソコン、スマホなど）がない	広報そうかや社協だよりが届かない	その他	特に理由はない	無回答
新田西部地区【n=45】	28.9	11.1	11.1	2.2	6.7	53.3	2.2
新田東部地区【n=31】	54.8	22.6	6.5	3.2	0.0	29.0	9.7
草加川柳地区【n=17】	47.1	23.5	0.0	0.0	0.0	47.1	0.0
草加安行地区【n=45】	44.4	28.9	11.1	0.0	2.2	40.0	0.0
草加西部地区【n=35】	48.6	20.0	0.0	0.0	0.0	45.7	0.0
草加東部地区【n=26】	50.0	15.4	3.8	0.0	3.8	46.2	0.0
草加稲荷地区【n=10】	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0
谷塚西部地区【n=39】	33.3	12.8	5.1	0.0	7.7	46.2	2.6
谷塚中央地区【n=27】	51.9	18.5	11.1	3.7	3.7	29.6	3.7
谷塚東部地区【n=17】	58.8	17.6	5.9	0.0	0.0	35.3	0.0
無回答【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別でみると、年齢階層が上がるに従い、「自分のまわりに、情報を教えてくれる人がいない」や「情報を入力する機器がない」の割合が多くなる傾向がみられた。

地区別でみると、草加安行地区では「自分のまわりに、情報を教えてくれる人がいない」の割合が多い傾向がみられた。

住民同士の支え合いについて

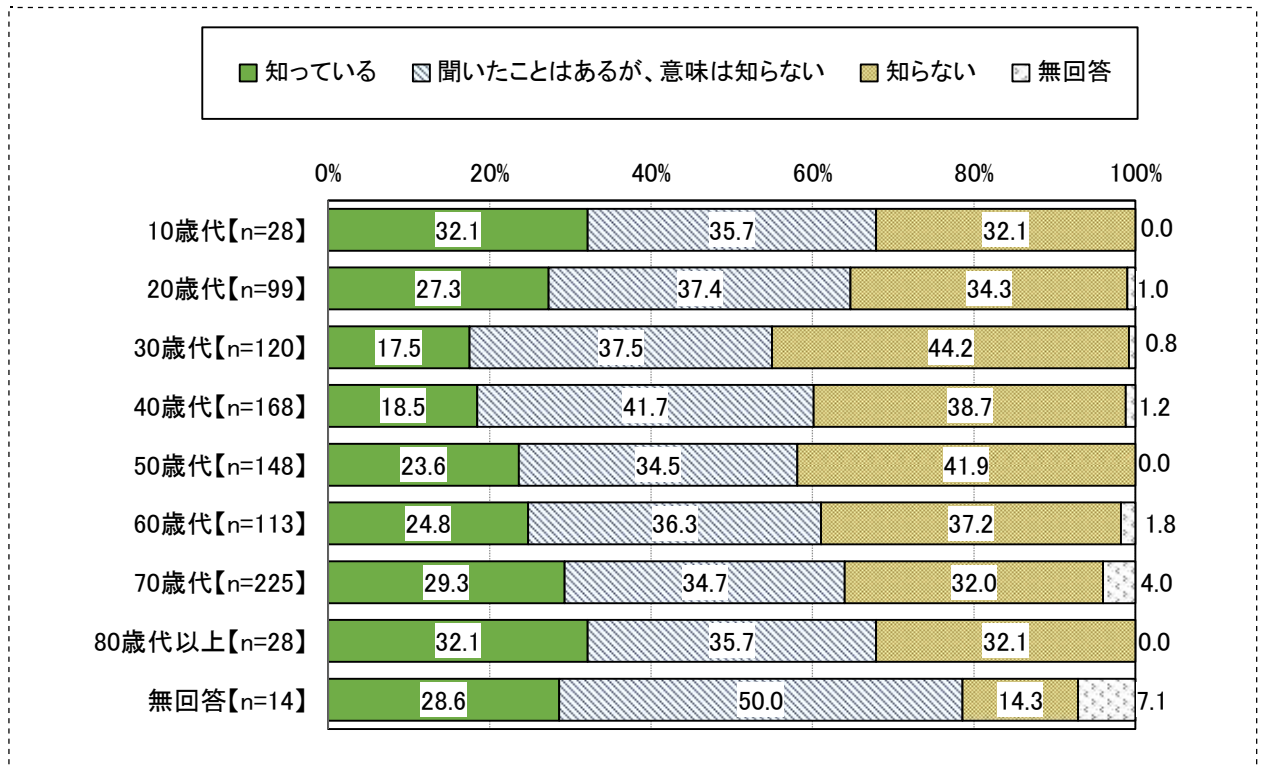
問14. あなたは「地域福祉」という言葉や意味を知っていますか。
(あてはまるもの1つに☑)



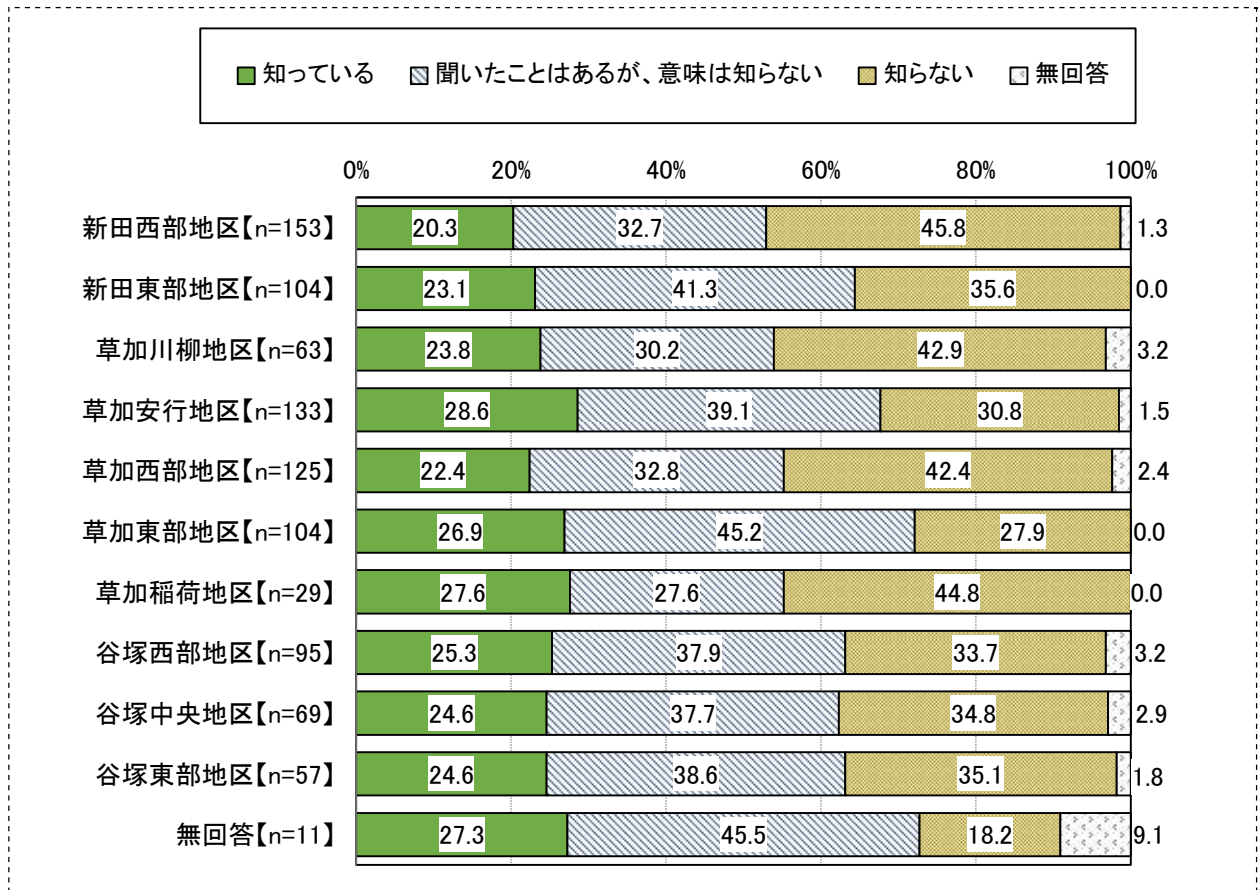
【n=943】

「地域福祉」という言葉について、「知っている」は24.4%、『知らない』（「聞いたことはあるが、意味は知らない」と「知らない」の合計）は73.9%となっている。

▶年代別クロス集計

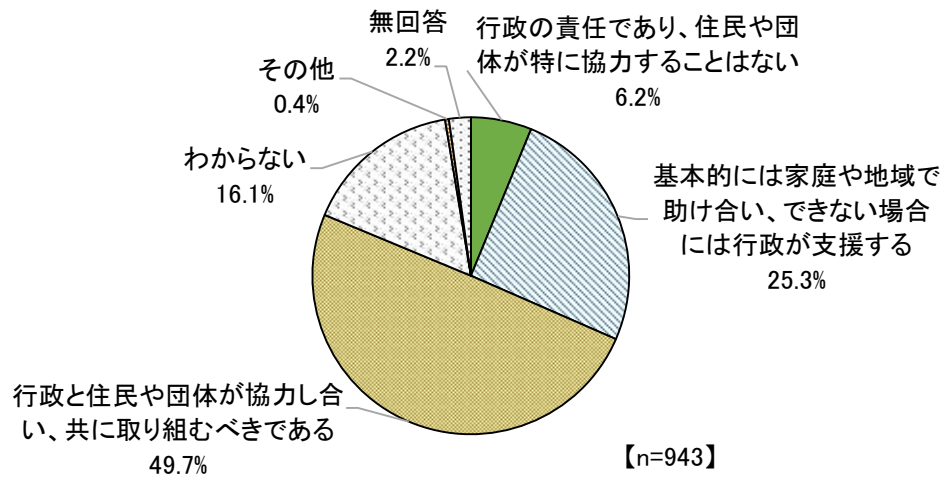


▶ 地区別クロス集計



年代別で見ると、どの年齢階層においても『知らない』の割合が6割を上回っている。
 地区別でも『知らない』の割合は多くなっており、草加安行地区を除くすべての地区で7割を上回っている。

問15. 地域福祉を推進するに当たって、あなたの考え方は、次のどれに近いですか。
 (あてはまるもの1つに☑)

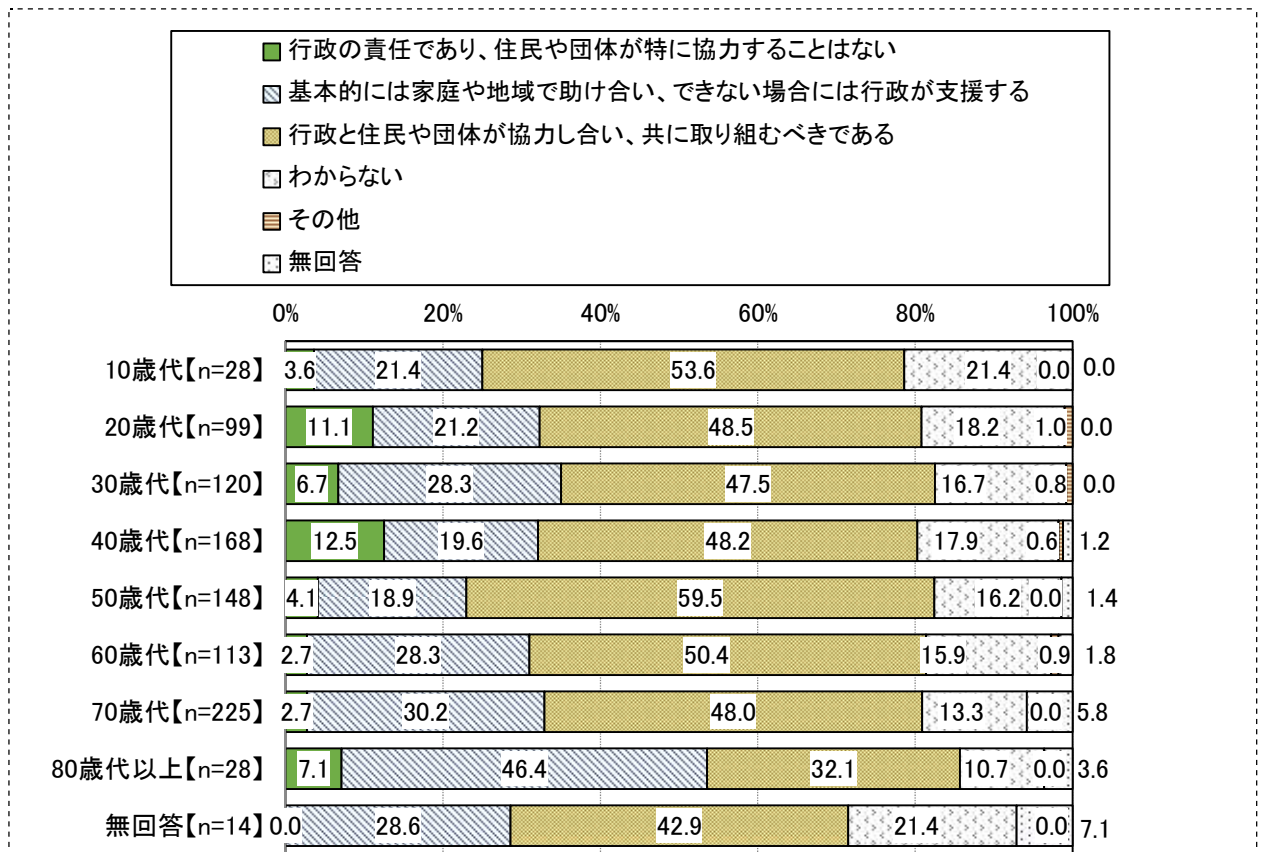


地域福祉を推進するに当たっての考え方を尋ねたところ、「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」が49.7%で最も多く、以下、「基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合には行政が支援する」が25.3%、「わからない」が16.1%、「行政の責任であり、住民や団体が特に協力することはない」が6.2%となっている。

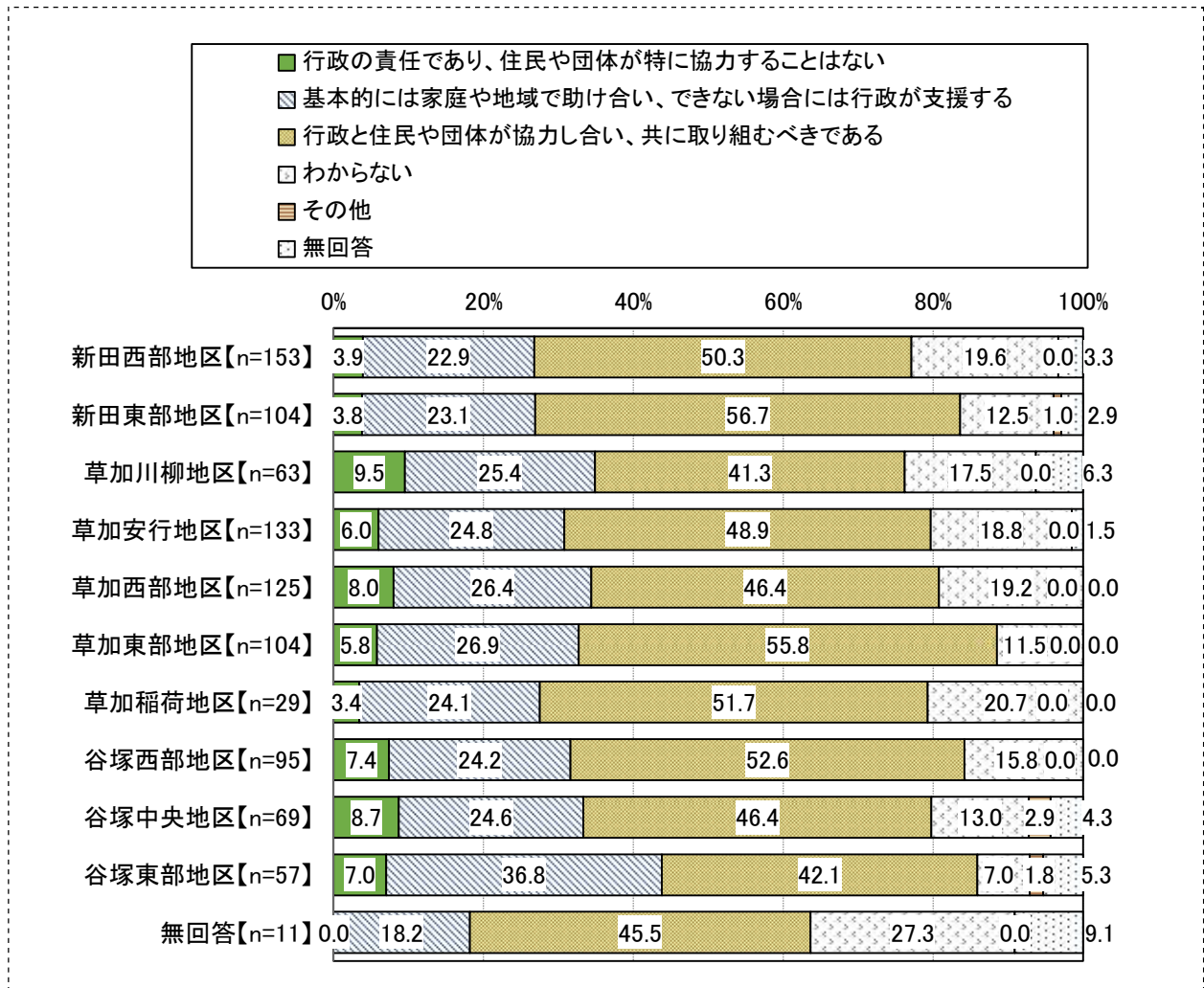
【その他】

- ・もっと気軽にわかりやすく使いやすくなど利用する側の立場になって取り組んでほしい。
- ・行政が出来る部分と民間で出来る部分を明確にして役割分担するべき。 など

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計

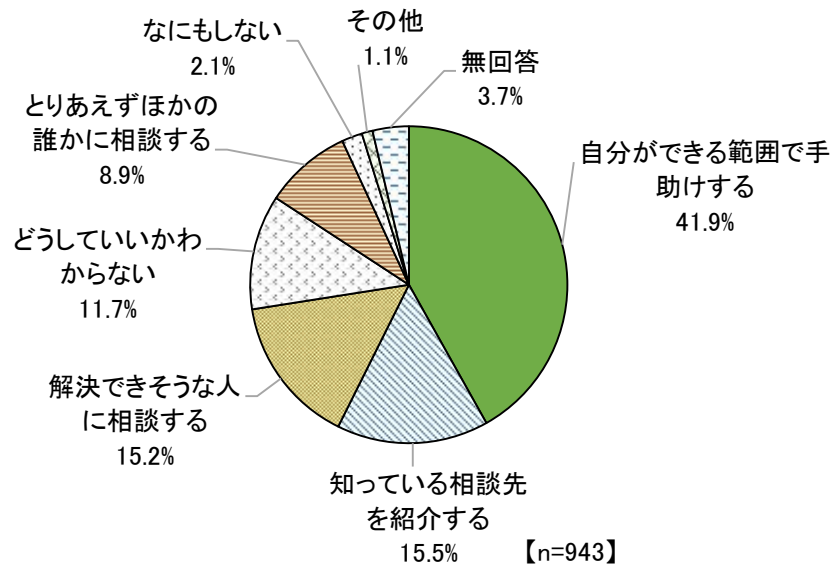


年代別でみると、80歳代以上では「基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合には行政が支援する」の割合が他の年齢階層よりも多い傾向がみられた。

また、20歳代～40歳代では、「行政の責任であり、住民や団体が特に協力することはない」の割合が他の年齢階層よりも多い傾向が見られた。

地区別でみると、谷塚東部地区で「基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合には行政が支援する」の割合が多い傾向がみられた。

問16. あなたの周りで困っている人がいたら、どうしますか（どう考えますか）。
 （あてはまるもの1つに☑）



あなたの周りで困っている人がいたらどうするか尋ねたところ、「自分ができる範囲で手助けする」が41.9%で最も多く、以下、「知っている相談先を紹介する」が15.5%、「解決できそうな人に相談する」が15.2%、「どうしていいかわからない」が11.7%、「とりあえずほかの誰かに相談する」が8.9%などとなっている。

【その他】

- ・ネット検索。
- ・何に困っているかによる。
- ・友人に相談し→解決できる人につなげたい。
- ・現在は困っている事が有っても他人に中に入って欲しくない人が多く、コミュニケーションを取るのが難しい。
- ・行政機関に相談。
- ・困っている内容によると思いますが、何らかのかたちで力にはなりたいです。
- ・相談されれば、できる範囲で対応する。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	自分ができる範囲で手助けする	知っている相談先を紹介する	解決できそうな人に相談する	どうしていいかわからない	とりあえずほかの誰かに相談する	なにもしない	その他	無回答
10歳代【n=28】	50.0	7.1	10.7	17.9	14.3	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=99】	52.5	16.2	14.1	4.0	7.1	4.0	0.0	2.0
30歳代【n=120】	48.3	17.5	15.0	10.0	5.8	1.7	0.8	0.8
40歳代【n=168】	45.2	16.7	14.9	10.1	7.7	1.8	1.2	2.4
50歳代【n=148】	35.1	16.2	20.3	14.9	8.1	2.0	1.4	2.0
60歳代【n=113】	37.2	17.7	13.3	15.9	7.1	1.8	1.8	5.3
70歳代【n=225】	39.1	13.3	14.2	10.7	12.0	2.2	1.3	7.1
80歳代以上【n=28】	32.1	10.7	17.9	14.3	17.9	3.6	0.0	3.6
無回答【n=14】	28.6	14.3	7.1	28.6	7.1	0.0	0.0	14.3

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	自分ができる範囲で手助けする	知っている相談先を紹介する	解決できそうな人に相談する	どうしていいかわからない	とりあえずほかの誰かに相談する	なにもしない	その他	無回答
新田西部地区【n=153】	43.8	18.3	13.1	13.7	7.8	0.7	0.7	2.0
新田東部地区【n=104】	51.0	15.4	13.5	9.6	6.7	1.0	0.0	2.9
草加川柳地区【n=63】	50.8	15.9	7.9	4.8	7.9	4.8	0.0	7.9
草加安行地区【n=133】	42.1	14.3	13.5	15.8	7.5	0.8	1.5	4.5
草加西部地区【n=125】	40.0	17.6	18.4	10.4	8.0	3.2	0.8	1.6
草加東部地区【n=104】	41.3	10.6	20.2	10.6	11.5	2.9	1.0	1.9
草加稲荷地区【n=29】	34.5	13.8	20.7	17.2	10.3	0.0	0.0	3.4
谷塚西部地区【n=95】	36.8	11.6	16.8	11.6	11.6	3.2	3.2	5.3
谷塚中央地区【n=69】	31.9	20.3	17.4	7.2	11.6	2.9	1.4	7.2
谷塚東部地区【n=57】	40.4	19.3	12.3	10.5	8.8	3.5	1.8	3.5
無回答【n=11】	36.4	0.0	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1

年代別で「どうしていいかわからない」をみると、10歳代の割合が多くなっている。また、「知っている相談先を紹介する」の割合が10歳代は少なくなっている。
地区別でみると、草加川柳地区では「解決できそうな人に相談する」の割合が他の地区よりも少ない傾向がみられた。

▶ 問16「あなたの周りで困っている人がいたら、どうしますか」と問17「住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることはどのようなことですか」のクロス集計

【単位：％】

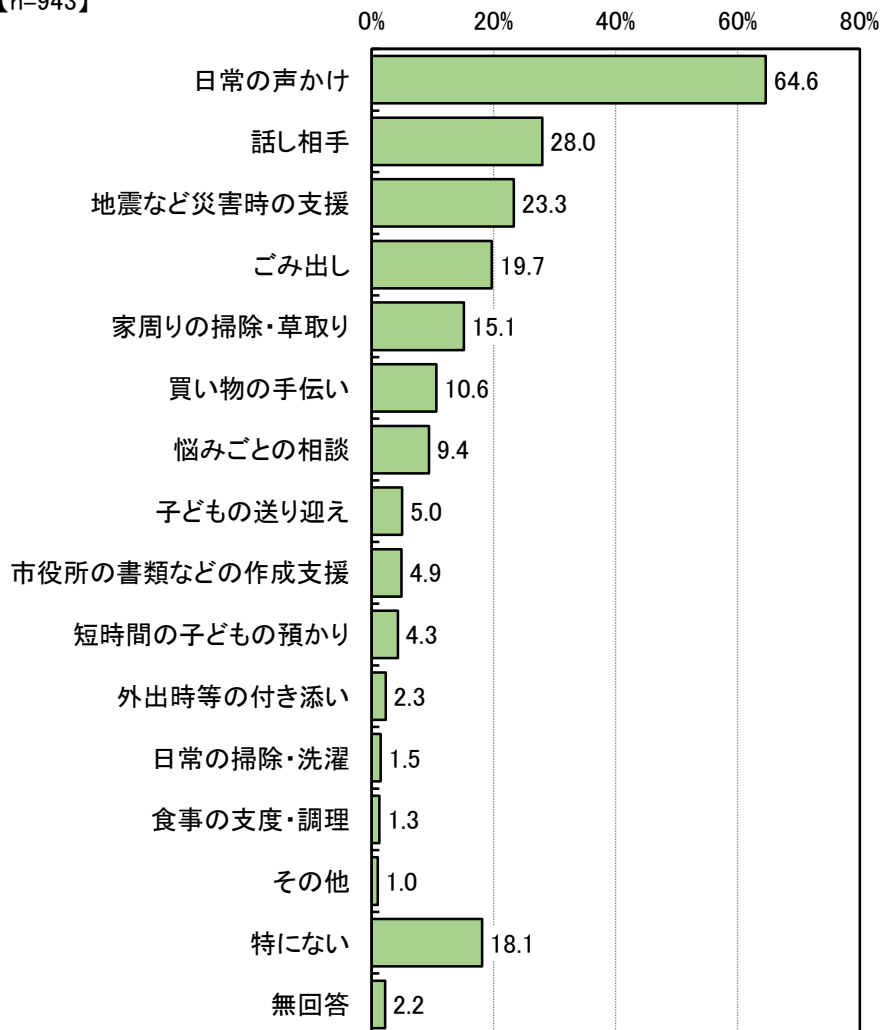
	日常の声かけ	話し相手	地震など災害時の支援	ごみ出し	家周りの掃除・草取り	買い物の手伝い	悩みごとの相談	子どもの送り迎え
自分ができる範囲で手助けする【n=395】	66.8	34.4	27.1	21.5	15.7	14.4	13.2	6.6
知っている相談先を紹介する【n=146】	75.3	28.1	24.7	19.2	15.1	11.0	5.5	6.2
解決できそうな人に相談する【n=143】	72.0	25.9	25.2	23.1	18.2	6.3	9.8	4.9
どうしていいかわからない【n=110】	41.8	10.0	7.3	9.1	3.6	2.7	1.8	0.9
とりあえずほかの誰かに相談する【n=84】	61.9	29.8	20.2	23.8	19.0	7.1	9.5	3.6
なにもしない【n=20】	15.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他【n=10】	70.0	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0
無回答【n=35】	68.6	31.4	34.3	22.9	31.4	20.0	11.4	2.9

	市役所の書類などの作成支援	短時間の子どもの預かり	外出時等の付き添い	日常の掃除・洗濯	食事の支度・調理	その他	特にない	無回答
自分ができる範囲で手助けする【n=395】	5.1	5.1	2.5	1.8	1.8	0.5	13.7	2.0
知っている相談先を紹介する【n=146】	6.8	5.5	2.7	2.1	1.4	2.1	11.6	0.0
解決できそうな人に相談する【n=143】	4.2	4.9	2.1	0.7	0.7	1.4	11.9	0.0
どうしていいかわからない【n=110】	1.8	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	42.7	5.5
とりあえずほかの誰かに相談する【n=84】	1.2	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	15.5	3.6
なにもしない【n=20】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
その他【n=10】	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0
無回答【n=35】	11.4	8.6	5.7	8.6	5.7	0.0	14.3	11.4

「自分ができる範囲で手助けする」を軸にみると、「買い物の手伝い」、「悩みごとの相談」の占める割合が、「知っている相談先を紹介する」、「解決できそうな人に相談する」などよりも多い傾向がみられた。

問17. 住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることはどのようなことですか。
(あてはまるもの全てに☑)

【n=943】



住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることは、「日常の声かけ」が64.6%で最も多く、以下、「話し相手」が28.0%、「地震など災害時の支援」が23.3%、「ごみ出し」が19.7%、「家周りの掃除・草取り」が15.1%などとなっている。

【その他】

- ・子どもは、何か起きた際に責任が持てない。家の中での作業は、金銭トラブルに巻き込まれかねない。(泥棒、紛失物の冤罪にされるなど)
- ・まずはできることから。信頼関係なくしては心を開かない。声かけのきっかけを地域社会で作れると良い。

▶年代別クロス集計

	日常の声かけ	話し相手	地震など災害時の支援	ごみ出し	家周りの掃除・草取り	買い物の手伝い	悩みごとの相談	子どもの送り迎え
10歳代【n=28】	50.0	32.1	17.9	14.3	3.6	7.1	7.1	3.6
20歳代【n=99】	54.5	29.3	28.3	12.1	7.1	7.1	11.1	8.1
30歳代【n=120】	65.0	30.8	24.2	12.5	5.0	7.5	15.0	6.7
40歳代【n=168】	63.7	28.0	25.0	11.3	6.0	10.1	11.3	4.8
50歳代【n=148】	74.3	29.1	27.7	18.9	16.9	11.5	7.4	4.7
60歳代【n=113】	65.5	25.7	23.9	29.2	19.5	12.4	8.8	5.3
70歳代【n=225】	64.9	28.0	18.2	25.3	25.8	14.2	6.2	3.1
80歳代以上【n=28】	67.9	17.9	21.4	50.0	28.6	3.6	10.7	3.6
無回答【n=14】	50.0	14.3	7.1	28.6	35.7	7.1	7.1	7.1

	市役所の書類などの作成支援	短時間の子どもの預かり	外出時等の付き添い	日常の掃除・洗濯	食事の支度・調理	その他	特にない	無回答
10歳代【n=28】	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	32.1	0.0
20歳代【n=99】	4.0	6.1	2.0	2.0	0.0	0.0	21.2	1.0
30歳代【n=120】	4.2	6.7	0.8	0.8	0.0	2.5	13.3	0.8
40歳代【n=168】	8.3	6.0	2.4	0.6	1.2	1.8	18.5	1.8
50歳代【n=148】	4.7	4.7	2.7	1.4	0.7	0.0	16.2	1.4
60歳代【n=113】	4.4	1.8	4.4	1.8	1.8	0.0	23.9	0.9
70歳代【n=225】	3.6	2.2	1.8	2.2	2.7	0.9	16.4	4.0
80歳代以上【n=28】	7.1	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	14.3	3.6
無回答【n=14】	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4

▶地区別クロス集計

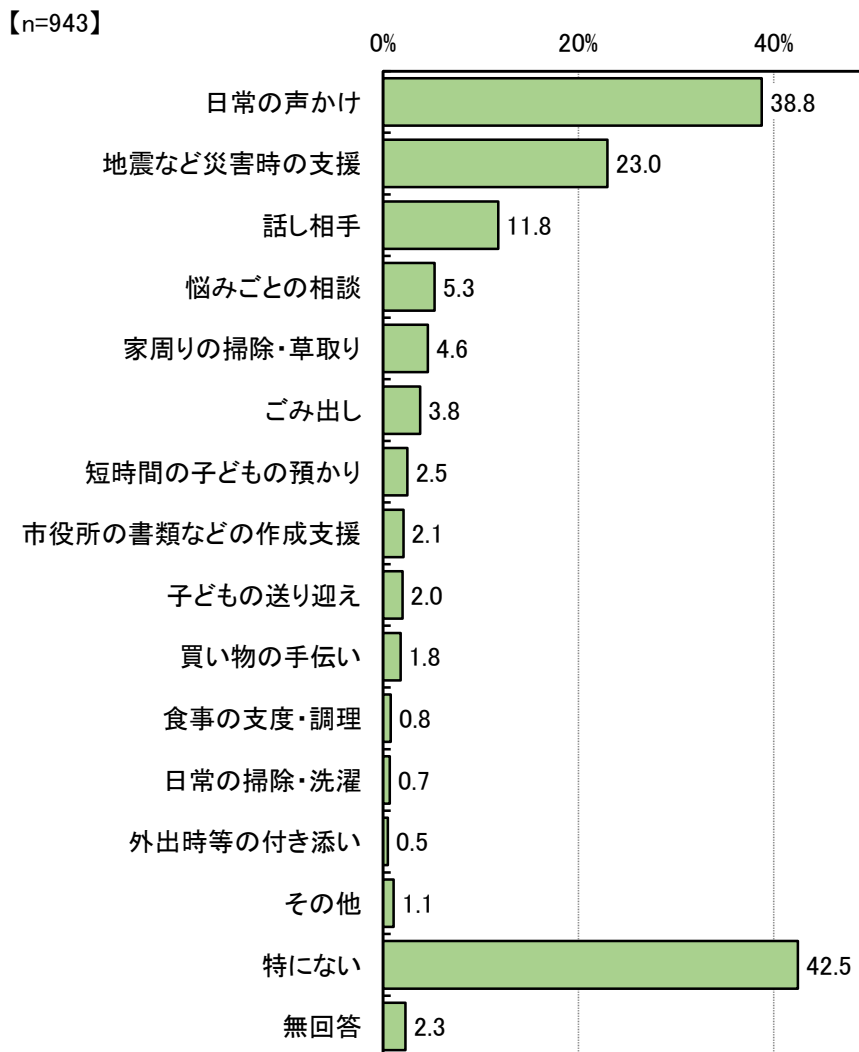
【単位：％】

	日常の声かけ	話し相手	地震など災害時の支援	ごみ出し	家周りの掃除・草取り	買い物の手伝い	悩みごとの相談	子どもの送り迎え
新田西部地区【n=153】	64.1	32.0	25.5	20.3	16.3	12.4	9.2	3.9
新田東部地区【n=104】	64.4	34.6	21.2	19.2	13.5	12.5	14.4	3.8
草加川柳地区【n=63】	65.1	23.8	19.0	19.0	12.7	11.1	9.5	3.2
草加安行地区【n=133】	58.6	26.3	22.6	18.8	11.3	8.3	6.8	4.5
草加西部地区【n=125】	70.4	23.2	26.4	18.4	12.0	12.0	8.0	4.0
草加東部地区【n=104】	67.3	29.8	23.1	20.2	16.3	6.7	8.7	3.8
草加稲荷地区【n=29】	62.1	37.9	27.6	20.7	17.2	10.3	17.2	6.9
谷塚西部地区【n=95】	62.1	25.3	24.2	15.8	12.6	5.3	7.4	4.2
谷塚中央地区【n=69】	72.5	31.9	26.1	23.2	27.5	18.8	10.1	10.1
谷塚東部地区【n=57】	63.2	17.5	19.3	24.6	17.5	12.3	10.5	10.5
無回答【n=11】	36.4	18.2	0.0	27.3	18.2	0.0	9.1	9.1

	市役所の書類などの作成支援	短時間の子どもの預かり	外出時等の付き添い	日常の掃除・洗濯	食事の支度・調理	その他	特にない	無回答
新田西部地区【n=153】	5.9	3.3	3.3	3.9	2.0	0.0	17.6	1.3
新田東部地区【n=104】	2.9	3.8	2.9	1.9	1.9	0.0	19.2	1.0
草加川柳地区【n=63】	3.2	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	19.0	4.8
草加安行地区【n=133】	4.5	4.5	2.3	1.5	1.5	1.5	22.6	1.5
草加西部地区【n=125】	6.4	5.6	1.6	0.0	0.0	1.6	16.8	1.6
草加東部地区【n=104】	5.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	1.9
草加稲荷地区【n=29】	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	17.2	3.4
谷塚西部地区【n=95】	4.2	3.2	2.1	0.0	0.0	2.1	20.0	3.2
谷塚中央地区【n=69】	4.3	11.6	4.3	2.9	4.3	4.3	17.4	0.0
谷塚東部地区【n=57】	7.0	3.5	1.8	1.8	1.8	0.0	15.8	3.5
無回答【n=11】	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	27.3

年代別でみると、「ごみ出し」の割合が80歳代以上で多くなっている。
 地区別では、谷塚中央地区で「短時間の子どもの預かり」が多い傾向がみられた。

問18. 住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にしてもらいたいことはどのようなことですか。（あてはまるもの全てに☑）



住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にしてもらいたいことは、「日常の声かけ」が38.8%で最も多く、以下、「地震など災害時の支援」が23.0%、「話し相手」が11.8%、「悩みごとの相談」が5.3%、「家周りの掃除・草取り」が4.6%などとなっている。

また、42.5%が「特にない」と回答している。

【その他】

- ・不審者や防犯の共有。
- ・求めている。
- ・子育てに関するサービスは近所の人だけでなく市として、もっと充実したサービスを期待したい。今は全く支援してもらっていると感じていない。
- ・不在時のペットのケア。（どうしても自分で調整できない時） など

問17では、近所の人に“できること”として「日常の声かけ」の割合が64.6%となっているが、近所の人に“してもらいたいこと”として「日常の声かけ」が38.8%と差がみられることから、住民同士の支え合いについて、支え手側と受け手側の意識の差がみられる。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	日常の声かけ	地震など災害時の支援	話し相手	悩みごとの相談	家周りの掃除・草取り	ごみ出し	短時間の子どもの預かり	市役所の書類などの作成支援
10歳代【n=28】	25.0	10.7	10.7	7.1	0.0	3.6	0.0	0.0
20歳代【n=99】	31.3	28.3	11.1	5.1	4.0	2.0	1.0	0.0
30歳代【n=120】	31.7	22.5	10.0	7.5	1.7	0.8	5.8	1.7
40歳代【n=168】	38.7	22.6	10.7	7.7	1.2	2.4	7.1	1.8
50歳代【n=148】	43.9	20.3	12.2	4.1	2.7	0.7	0.7	0.0
60歳代【n=113】	45.1	22.1	13.3	6.2	7.1	6.2	0.9	3.5
70歳代【n=225】	39.6	24.4	14.2	3.1	7.6	4.9	0.9	2.7
80歳代以上【n=28】	53.6	32.1	3.6	3.6	21.4	32.1	0.0	17.9
無回答【n=14】	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	子どもの送り迎え	買い物の手伝い	食事の支度・調理	日常の掃除・洗濯	外出時等の付き添い	その他	特になし	無回答
10歳代【n=28】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3	0.0
20歳代【n=99】	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	44.4	2.0
30歳代【n=120】	5.0	0.8	1.7	1.7	0.0	1.7	44.2	0.8
40歳代【n=168】	6.0	1.2	0.6	1.2	0.0	1.8	41.7	0.6
50歳代【n=148】	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	47.3	1.4
60歳代【n=113】	0.9	1.8	0.0	0.9	0.9	0.0	45.1	0.0
70歳代【n=225】	0.4	3.6	1.3	0.9	1.8	1.3	36.4	5.3
80歳代以上【n=28】	0.0	10.7	3.6	0.0	0.0	3.6	28.6	0.0
無回答【n=14】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	28.6

▶地区別クロス集計

【単位：％】

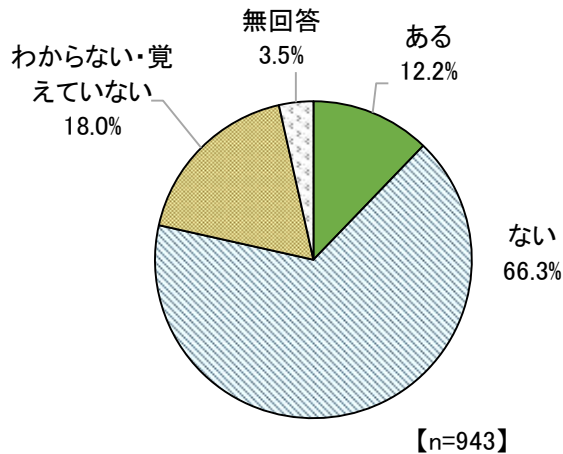
	日常の声かけ	地震など災害時の支援	話し相手	悩みごとの相談	家周りの掃除・草取り	ごみ出し	短時間の子どもの預かり	市役所の書類などの作成支援
新田西部地区【n=153】	35.3	22.2	12.4	5.9	4.6	3.9	1.3	1.3
新田東部地区【n=104】	36.5	23.1	16.3	8.7	3.8	6.7	2.9	1.0
草加川柳地区【n=63】	38.1	25.4	11.1	7.9	1.6	1.6	1.6	0.0
草加安行地区【n=133】	39.8	21.1	8.3	3.8	3.8	3.8	4.5	4.5
草加西部地区【n=125】	45.6	25.6	12.0	5.6	5.6	4.0	3.2	0.8
草加東部地区【n=104】	48.1	30.8	15.4	2.9	7.7	2.9	1.9	1.9
草加稲荷地区【n=29】	27.6	17.2	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4
谷塚西部地区【n=95】	32.6	23.2	10.5	5.3	3.2	3.2	0.0	2.1
谷塚中央地区【n=69】	42.0	18.8	11.6	8.7	7.2	5.8	7.2	4.3
谷塚東部地区【n=57】	35.1	17.5	10.5	1.8	5.3	3.5	0.0	3.5
無回答【n=11】	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	子どもの送り迎え	買い物の手伝い	食事の支度・調理	日常の掃除・洗濯	外出時等の付き添い	その他	特になし	無回答
新田西部地区【n=153】	0.7	2.6	0.7	0.7	2.0	0.7	44.4	2.0
新田東部地区【n=104】	1.0	3.8	1.0	0.0	0.0	0.0	41.3	1.9
草加川柳地区【n=63】	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	36.5	6.3
草加安行地区【n=133】	3.8	1.5	1.5	0.8	0.0	2.3	46.6	0.8
草加西部地区【n=125】	4.8	2.4	0.0	0.0	0.8	1.6	35.2	2.4
草加東部地区【n=104】	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	31.7	0.0
草加稲荷地区【n=29】	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.2	3.4
谷塚西部地区【n=95】	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	47.4	3.2
谷塚中央地区【n=69】	5.8	2.9	2.9	5.8	1.4	4.3	46.4	0.0
谷塚東部地区【n=57】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	52.6	1.8
無回答【n=11】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	36.4

年代別でみると、「ごみ出し」、「家周りの掃除・草取り」、「市役所の書類などの作成支援」における80歳代以上の割合が多くなっている。

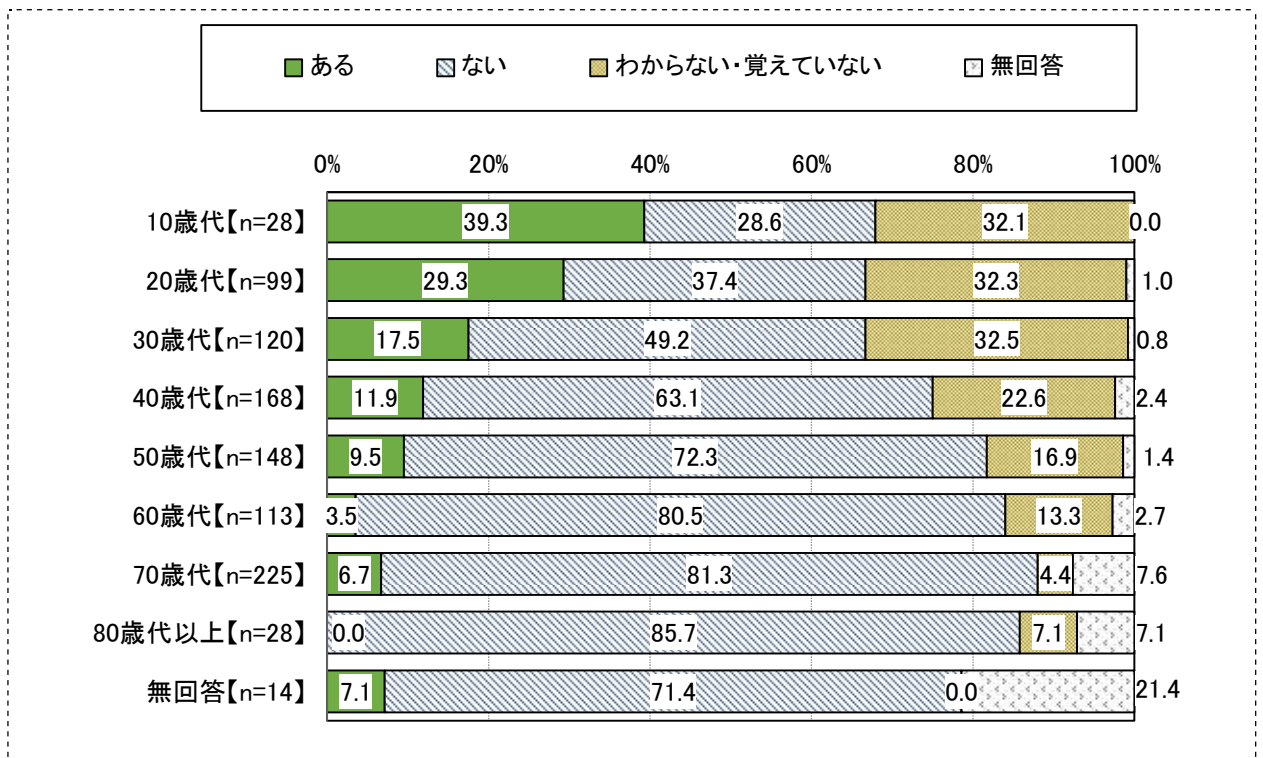
地区別でみると、草加稲荷地区において「日常の声かけ」、「地震などの災害時の支援」の割合が少ない傾向がみられた。

問19. あなたは、福祉教育・福祉学習（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習）を受けた経験がありますか。（あてはまるもの1つに☑）

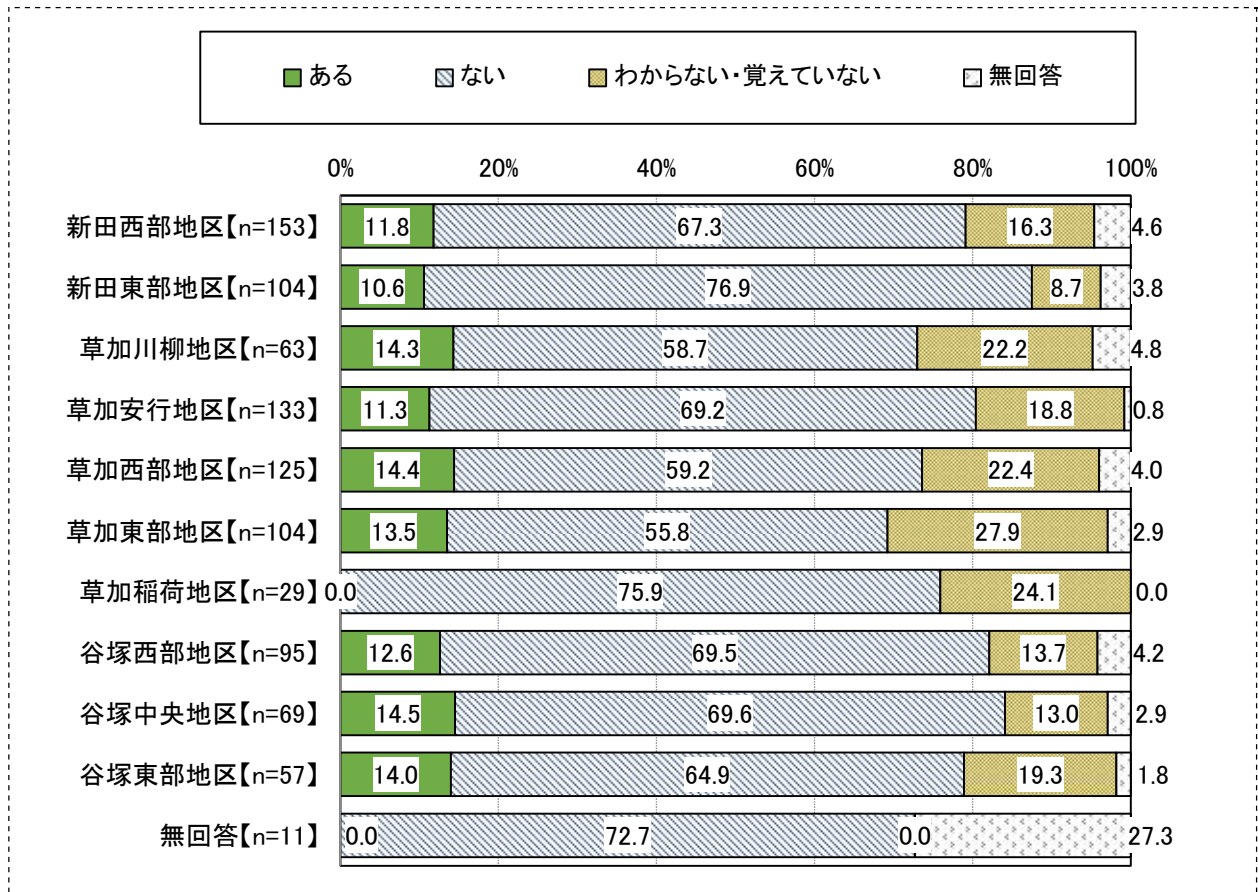


福祉教育・福祉学習（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習）を受けた経験について、「ある」が12.2%、「ない」が66.3%などとなっている。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計



年代別では、年齢階層が上がるに従い、「ない」の割合が増えている。
地区別でも「ない」の割合が多くなっている。

▶問19「あなたは、福祉教育・福祉学習を受けた経験がありますか」と問16「あなたの周りで困っている人がいたら、どうしますか」のクロス集計

【単位：％】

	自分ができる範囲で手助けする	知っている相談先を紹介する	解決できそうな人に相談する	どうしていいかわからない	とりあえずほかの誰かに相談する	なにもしない	その他	無回答
ある【n=115】	51.3	16.5	13.9	5.2	7.0	1.7	1.7	2.6
ない【n=625】	42.2	16.0	15.5	12.0	8.6	1.6	0.6	3.4
わからない・覚えていない【n=170】	38.8	14.1	15.9	13.5	8.8	3.5	2.4	2.9
無回答【n=33】	18.2	9.1	9.1	18.2	21.2	6.1	0.0	18.2

福祉教育・福祉学習を受けた経験が「ある」と回答した人ほど「どうしていいかわからない」の割合が少ない傾向がみられた。

また、「自分でできる範囲で手助けする」が割合も多くなっている。

▶問19「あなたは、福祉教育・福祉学習を受けた経験がありますか」と問17「住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にできることはどのようなことですか」のクロス集計

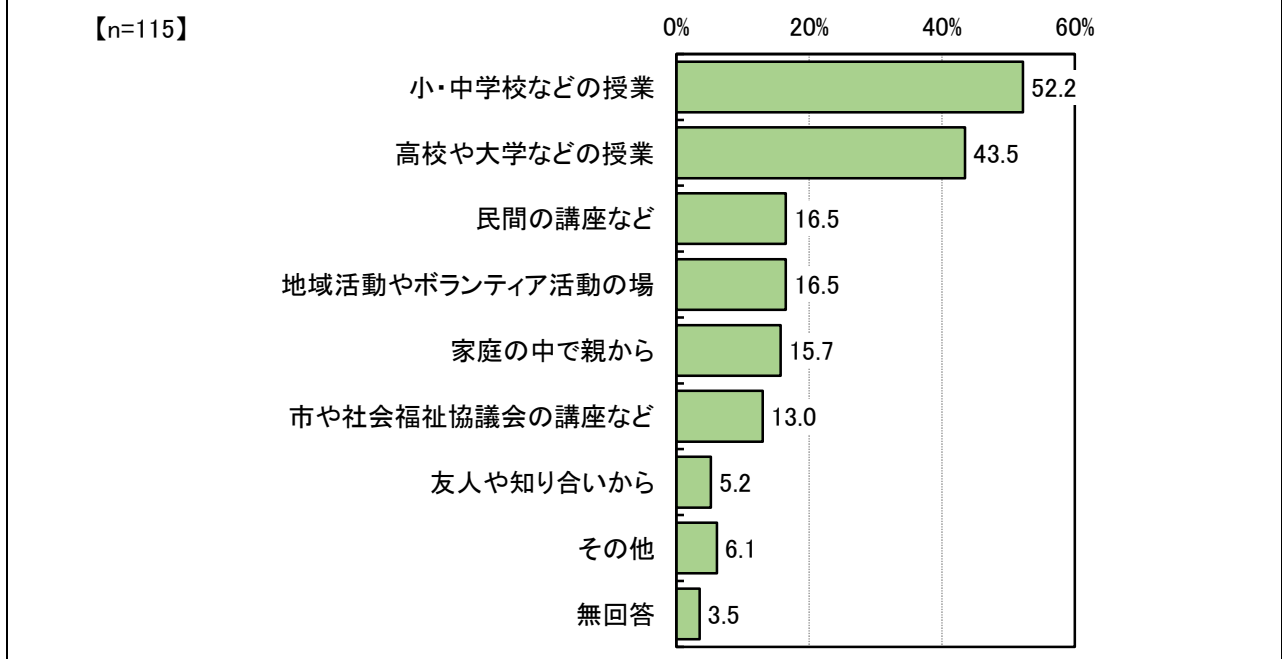
【単位：％】

	日常の声かけ	話し相手	地震など災害時の支援	ごみ出し	家周りの掃除・草取り	買い物の手伝い	悩みごとの相談	子どもの送り迎え
ある【n=115】	73.0	39.1	39.1	20.9	19.1	11.3	17.4	11.3
ない【n=625】	66.6	26.9	21.1	20.3	15.8	11.0	8.0	4.0
わからない・覚えていない【n=170】	56.5	27.1	24.1	17.1	9.4	8.8	9.4	4.7
無回答【n=33】	39.4	15.2	6.1	18.2	15.2	9.1	9.1	3.0

	市役所の書類などの作成支援	短時間の子どもの預かり	外出時等の付き添い	日常の掃除・洗濯	食事の支度・調理	その他	特にない	無回答
ある【n=115】	7.0	10.4	4.3	2.6	2.6	1.7	5.2	0.9
ない【n=625】	4.8	2.6	1.9	1.3	1.3	1.0	18.7	1.3
わからない・覚えていない【n=170】	4.7	7.1	2.9	1.2	0.0	0.6	24.7	1.2
無回答【n=33】	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	18.2	30.3

福祉教育・福祉学習を受けた経験が「ある」と回答した人ほど、経験が「ない」や「わからない・覚えていない」と回答した人よりもそれぞれの項目において、割合が多い傾向がみられた。

問19-1. 問19で「ある」と答えた方にお聞きします。あなたは、どこで福祉教育・福祉学習を受けましたか。（あてはまるもの全てに☑）



問19で「ある」と答えた方にどこで福祉教育・福祉学習を受けたか尋ねたところ、「小・中学校などの授業」が52.2%で最も多く、以下、「高校や大学などの授業」が43.5%、「民間の講座など」と「地域活動やボランティア活動の場」が同率の16.5%「家庭の中で親から」15.7%などとなっている。

【その他】

- ・草加文化会館 認知症についてなど。
- ・デイホームのドライバーとして。（アルバイト）
- ・ダウン症の方たちとハガキを作った。手話を見に行った。
- ・高校の部活。
- ・短期大学。
- ・勤務先における社内セミナー。 など

▶年代別クロス集計

	【単位：％】									
	小・中学校などの授業	高校や大学などの授業	民間の講座など	地域活動やボランティア活動の場	家庭の中で親から	市や社会福祉協議会の講座など	友人や知り合いから	その他	無回答	
10歳代【n=11】	90.9	45.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
20歳代【n=29】	69.0	48.3	3.4	6.9	6.9	3.4	0.0	3.4	6.9	
30歳代【n=21】	66.7	57.1	0.0	9.5	9.5	4.8	0.0	9.5	0.0	
40歳代【n=20】	35.0	55.0	25.0	25.0	20.0	10.0	0.0	5.0	0.0	
50歳代【n=14】	42.9	28.6	28.6	21.4	14.3	14.3	14.3	0.0	7.1	
60歳代【n=4】	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	0.0	
70歳代【n=15】	13.3	20.0	40.0	26.7	40.0	40.0	20.0	13.3	6.7	
80歳代以上【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	小・中学校などの授業	高校や大学などの授業	民間の講座など	地域活動やボランティア活動の場	家庭の中で親から	市や社会福祉協議会の講座など	友人や知り合いから	その他	無回答
新田西部地区【n=18】	61.1	38.9	22.2	11.1	16.7	22.2	16.7	5.6	5.6
新田東部地区【n=11】	54.5	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0
草加川柳地区【n=9】	55.6	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1
草加安行地区【n=15】	60.0	46.7	0.0	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=18】	61.1	55.6	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0
草加東部地区【n=14】	64.3	50.0	21.4	21.4	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0
草加稲荷地区【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=12】	33.3	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3
谷塚中央地区【n=10】	20.0	50.0	10.0	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0
谷塚東部地区【n=8】	37.5	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別でみると、若い世代ほど「小・中学校などの授業」、「高校や大学などの授業」の割合が多くなっている。一方で、「民間の講座など」、「地域活動やボランティア活動の場」では、40歳代～70歳代の割合が多くなっている。

▶問19-1「あなたは、どこで福祉教育・福祉学習を受けましたか」と問19-2「福祉教育・福祉学習を受けたことでどのような影響がありましたか」のクロス集計

【単位：％】

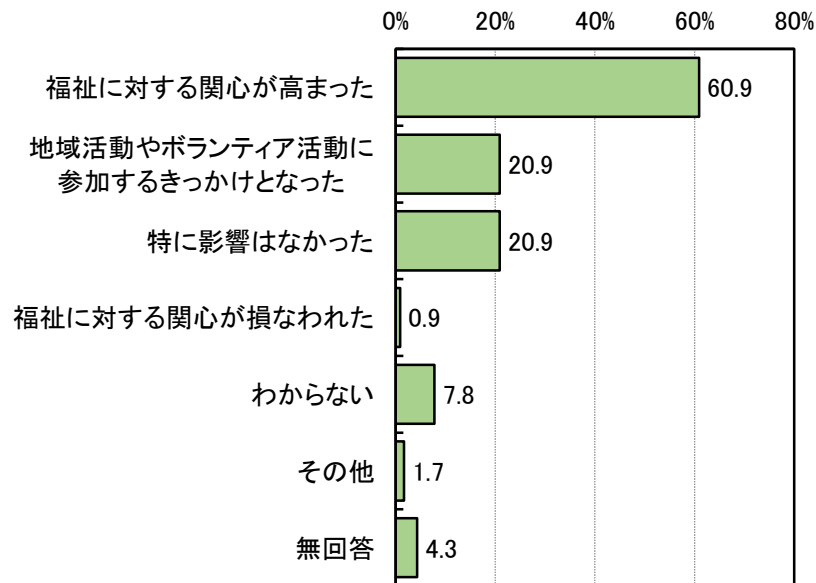
	福祉に対する関心が高まった	地域活動やボランティア活動に参加するきっかけとなった	特に影響はなかった	福祉に対する関心が損なわれた	わからない	その他	無回答
小・中学校などの授業【n=60】	53.3	10.0	28.3	1.7	10.0	1.7	5.0
高校や大学などの授業【n=50】	66.0	26.0	18.0	2.0	4.0	2.0	4.0
家庭の中で親から【n=18】	66.7	33.3	27.8	0.0	5.6	0.0	0.0
友人や知り合いから【n=6】	83.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
民間の講座など【n=19】	78.9	42.1	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0
市や社会福祉協議会の講座など【n=15】	80.0	53.3	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0
地域活動やボランティア活動の場【n=19】	68.4	57.9	15.8	0.0	10.5	0.0	0.0
その他【n=7】	85.7	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
無回答【n=4】	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

受講場所、形態に関係なく、福祉教育・福祉学習を受けた経験により、「福祉に対する関心が高まった」割合は多くなっている。

また、「地域活動やボランティア活動」や「市や社会福祉協議会の講座」を通して福祉教育・福祉学習を受けることにより、地域活動やボランティア活動につながる割合も多くみられた。

問19-2. 問19で「ある」と答えた方にお聞きします。福祉教育・福祉学習を受けたことでどのような影響がありましたか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=115】



問19で「ある」と答えた方に福祉教育・福祉学習を受けたことによる影響について尋ねたところ、「福祉に対する関心が高まった」が60.9%で最も多く、以下、「地域活動やボランティア活動に参加するきっかけとなった」が20.9%、「福祉に対する関心が損なわれた」が0.9%となっている。

また、20.9%が「特に影響はなかった」、7.8%が「わからない」と回答している。

【その他】

- ・仕事にしている。
- ・知識を得られた。

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	福祉に対する関心が高まった	地域活動やボランティア活動に参加するきっかけとなった	特に影響はなかった	福祉に対する関心が損なわれた	わからない	その他	無回答
10歳代【n=11】	54.5	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1
20歳代【n=29】	62.1	17.2	17.2	0.0	6.9	3.4	3.4
30歳代【n=21】	52.4	19.0	19.0	4.8	19.0	0.0	4.8
40歳代【n=20】	60.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	5.0
50歳代【n=14】	71.4	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0
60歳代【n=4】	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳代【n=15】	53.3	53.3	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7
80歳代以上【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

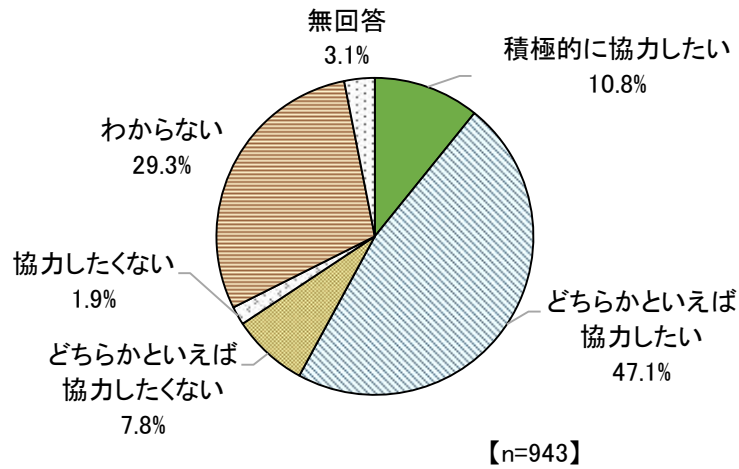
▶地区別クロス集計

【単位：％】

	福祉に対する関心が高まった	地域活動やボランティア活動に参加するきっかけとなった	特に影響はなかった	福祉に対する関心が損なわれた	わからない	その他	無回答
新田西部地区【n=18】	61.1	22.2	5.6	5.6	11.1	5.6	11.1
新田東部地区【n=11】	45.5	18.2	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1
草加川柳地区【n=9】	88.9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加安行地区【n=15】	66.7	13.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=18】	55.6	16.7	33.3	0.0	5.6	0.0	5.6
草加東部地区【n=14】	64.3	28.6	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=12】	50.0	25.0	25.0	0.0	8.3	0.0	8.3
谷塚中央地区【n=10】	60.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=8】	62.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別で「特に影響はなかった」をみると、70歳代、10歳代の割合が多くなっている。また、60歳代では、回答者全員が「福祉に対する関心が高まった」と答えている。地区別でみると、草加川柳地区において「福祉に対する関心が高まった」の割合が多い傾向がみられた。

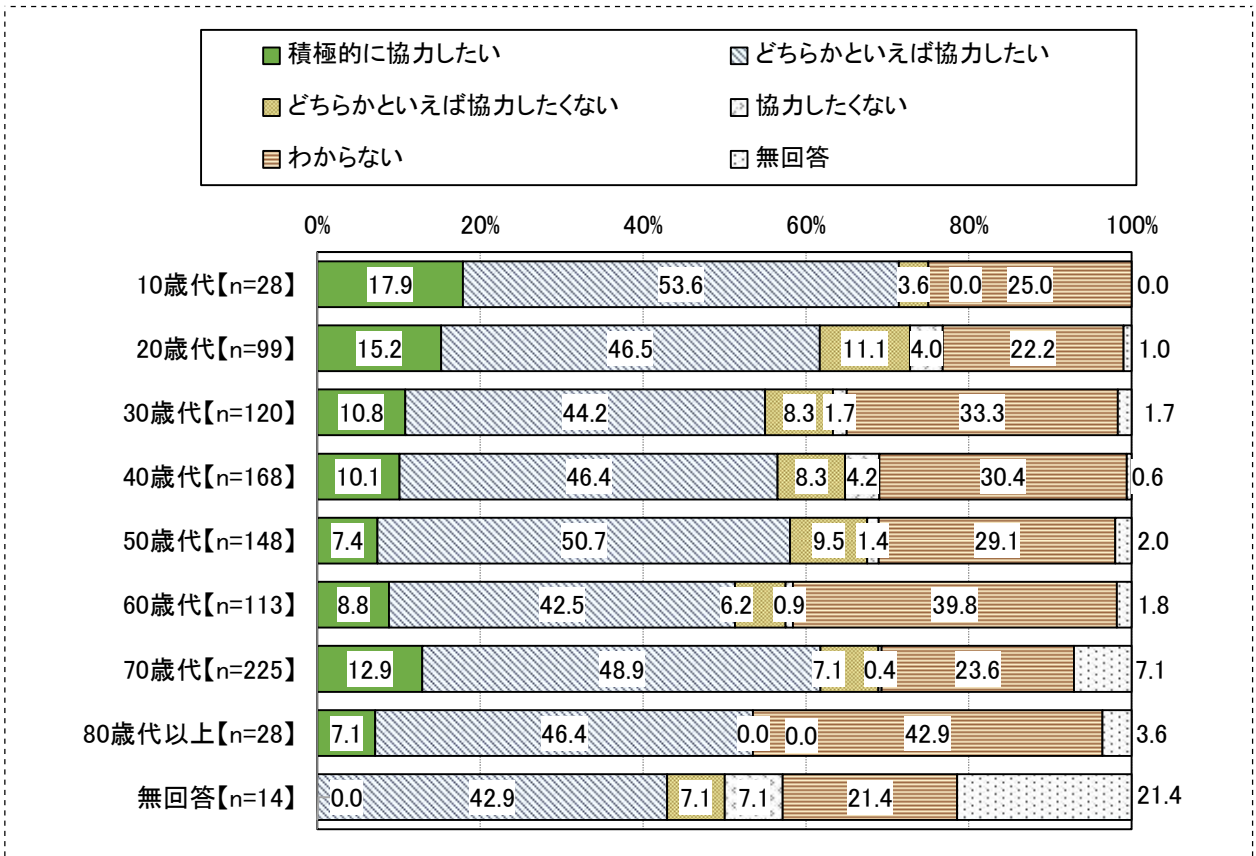
問20. 市では、災害時に自力で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が地域の助け合いにより避難できるよう「避難行動要支援者名簿」を作成しています。このような方が近所にいたら手助け（安否確認や避難誘導等）する人として協力したいですか。
 （あてはまるもの1つに☑）



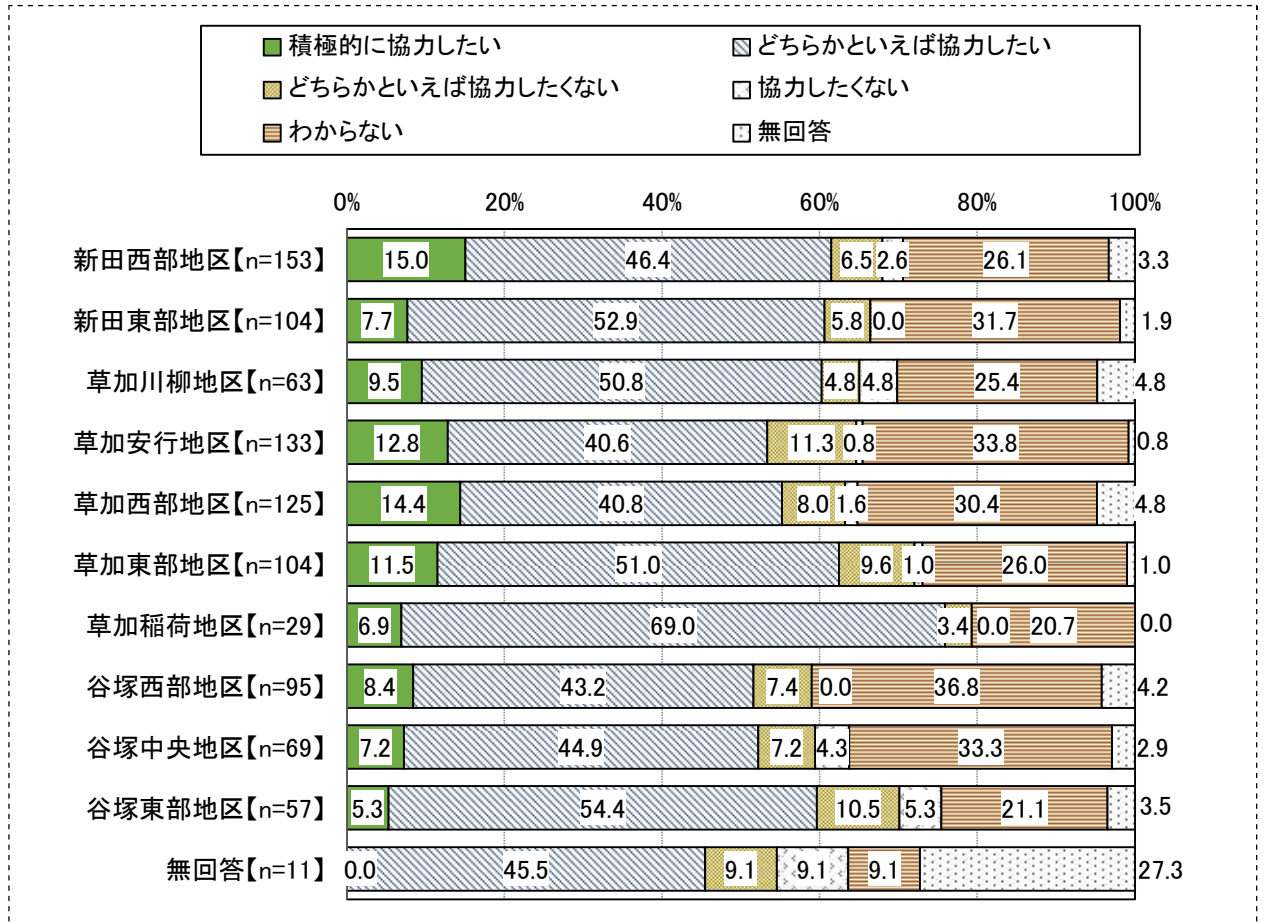
避難行動要支援者に対する手助けについて、『協力したい』（「積極的に協力したい」と「どちらかといえば協力したい」の合計）は、5割強であった。

問18「住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にしてもらいたいこと」では、「地震など災害時の支援」の割合が多いことから、今後、協力者を積極的に増やしていく必要がある。

▶年代別クロス集計



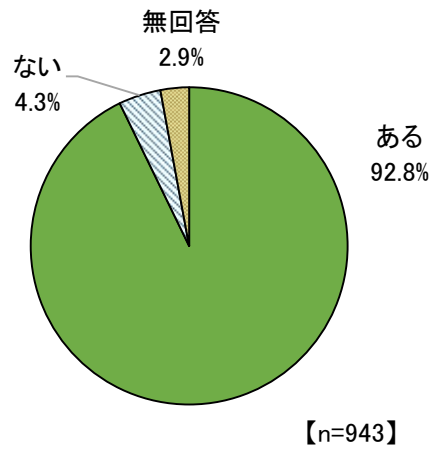
▶ 地区別クロス集計



年代別で『協力したい』の割合をみると、10歳代が最も多くなっている。
 地区別でみると、草加稻荷地区の『協力したい』割合は他の地区よりも多い傾向がみられた。

居場所について

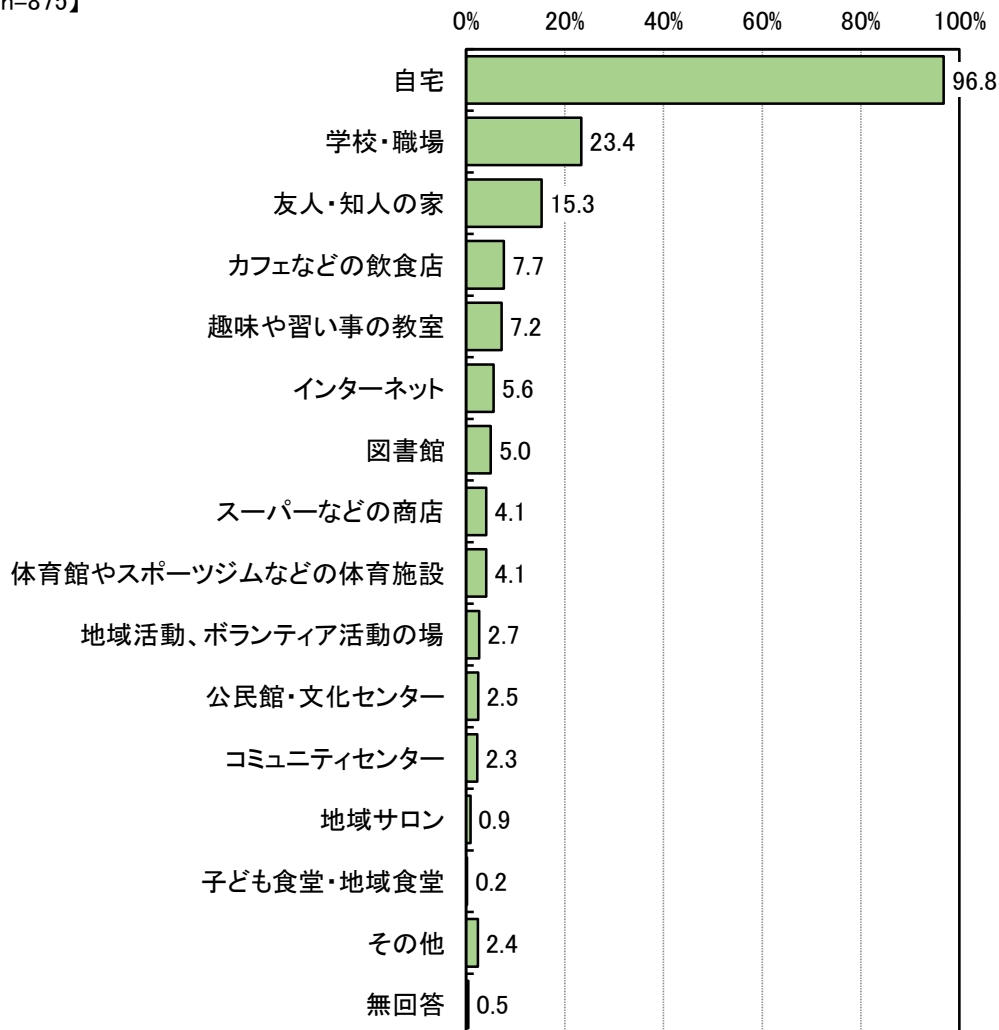
問21. あなたにとって「居場所」と感じられる場所がありますか。
(あてはまるもの1つに☑)



「居場所」と感じられる場所があるか尋ねたところ、9割が「ある」と回答している。

問21-1. 問21で「ある」と答えた方にお聞きます。あなたにとって「居場所」と感じられる場所は、どこですか。（あてはまるもの全てに☑）

【n=875】



問21で「ある」と答えた方に、あなたにとっての「居場所」を尋ねたところ、「自宅」が96.8%で最も多く、以下、「学校・職場」が23.4%、「友人・知人の家」が15.3%、「カフェなどの飲食店」が7.7%、「趣味や習い事の教室」が7.2%などとなっている。

【その他】

- ・実家。
- ・趣味の釣り場所。
- ・老人ホーム。
- ・教会。
- ・社会福祉センターのカラオケルーム。
- ・自分の事務所。
- ・家族といる時、場所はどこでも。
- ・健康マージャン。
- ・商工会議所青年部。
- ・ゲームの中。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	自宅	学校・職場	友人・知人の家	カフェなどの飲食店	趣味や習い事の教室	インターネット	図書館	スーパーなどの商店
10歳代【n=26】	96.2	34.6	26.9	3.8	0.0	7.7	3.8	0.0
20歳代【n=95】	92.6	35.8	33.7	8.4	7.4	15.8	2.1	3.2
30歳代【n=114】	99.1	28.9	18.4	9.6	5.3	7.0	2.6	0.9
40歳代【n=160】	96.9	31.3	9.4	6.3	4.4	6.9	3.8	1.9
50歳代【n=139】	97.1	30.9	10.8	7.2	5.0	2.9	2.9	4.3
60歳代【n=102】	98.0	17.6	13.7	8.8	9.8	3.9	5.9	6.9
70歳代【n=202】	98.0	7.9	12.9	6.9	12.9	2.5	8.4	6.9
80歳代以上【n=27】	85.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	14.8	3.7
無回答【n=10】	100.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0

	体育館やスポーツジムなどの体育施設	地域活動、ボランティア活動の場	公民館・文化センター	コミュニティセンター	地域サロン	子ども食堂・地域食堂	その他	無回答
10歳代【n=26】	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代【n=95】	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	1.1	2.1
30歳代【n=114】	2.6	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	2.6	0.0
40歳代【n=160】	1.9	1.3	0.0	0.6	0.0	0.0	3.1	0.0
50歳代【n=139】	2.2	2.9	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	0.7
60歳代【n=102】	7.8	4.9	2.9	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
70歳代【n=202】	5.9	4.5	7.4	5.4	1.0	0.5	2.5	0.0
80歳代以上【n=27】	11.1	3.7	7.4	18.5	3.7	0.0	11.1	0.0
無回答【n=10】	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	自宅	学校・職場	友人・知人の家	カフェなどの飲食店	趣味や習い事の教室	インターネット	図書館	スーパーなどの商店
新田西部地区【n=142】	95.1	21.1	19.7	10.6	6.3	7.0	4.9	4.2
新田東部地区【n=101】	97.0	25.7	13.9	6.9	5.9	4.0	5.0	5.9
草加川柳地区【n=58】	98.3	27.6	17.2	6.9	13.8	3.4	3.4	6.9
草加安行地区【n=121】	95.9	26.4	16.5	7.4	5.8	6.6	8.3	4.1
草加西部地区【n=115】	97.4	21.7	12.2	5.2	7.0	7.0	3.5	5.2
草加東部地区【n=100】	94.0	29.0	15.0	12.0	9.0	7.0	4.0	4.0
草加稲荷地区【n=27】	100.0	29.6	11.1	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0
谷塚西部地区【n=88】	98.9	18.2	14.8	4.5	6.8	4.5	2.3	1.1
谷塚中央地区【n=63】	98.4	19.0	19.0	6.3	9.5	4.8	6.3	3.2
谷塚東部地区【n=54】	98.1	18.5	9.3	9.3	7.4	3.7	7.4	1.9
無回答【n=6】	100.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7

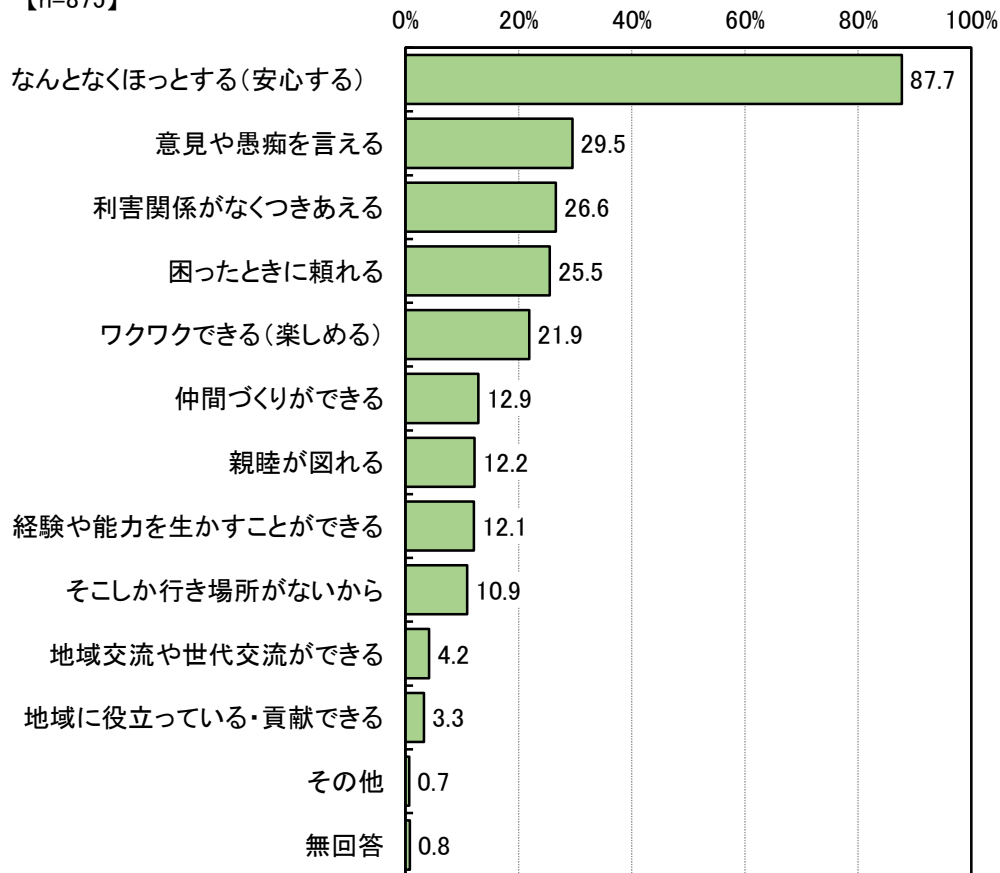
	体育館やスポーツジムなどの体育施設	地域活動、ボランティア活動の場	公民館・文化センター	コミュニティセンター	地域サロン	子ども食堂・地域食堂	その他	無回答
新田西部地区【n=142】	6.3	2.8	3.5	0.7	0.0	0.0	2.8	0.0
新田東部地区【n=101】	2.0	3.0	2.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
草加川柳地区【n=58】	3.4	0.0	3.4	3.4	1.7	0.0	3.4	0.0
草加安行地区【n=121】	4.1	4.1	0.0	0.8	1.7	0.0	2.5	0.8
草加西部地区【n=115】	1.7	0.9	2.6	1.7	0.0	0.0	1.7	0.9
草加東部地区【n=100】	6.0	5.0	4.0	3.0	1.0	0.0	1.0	1.0
草加稲荷地区【n=27】	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=88】	1.1	2.3	2.3	5.7	0.0	0.0	2.3	0.0
谷塚中央地区【n=63】	4.8	1.6	3.2	1.6	3.2	1.6	6.3	0.0
谷塚東部地区【n=54】	7.4	3.7	1.9	7.4	1.9	0.0	1.9	0.0
無回答【n=6】	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

年代別で「友人・知人の家」をみると、10歳代～30歳代の割合が多い傾向がみられた。また、「地域活動、ボランティア活動の場」では、50歳代～80歳代以上の割合が多くなっている。

地区別で「体育館やスポーツジムなどの体育施設」をみると、新田西部地区、草加東部地区、谷塚東部地区では、他の地区より割合が多い傾向がみられた。

問21-2. 問21で「ある」と答えた方にお聞きします。問21-1でその場所を居場所だと答えた理由は何ですか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=875】



その場所が居場所の理由では、「なんとなくほっとする(安心する)」が87.7%で最も多く、以下、「意見や愚痴を言える」が29.5%、「利害関係がなくつきあえる」が26.6%、「困ったときに頼れる」が25.5%、「ワクワクできる(楽しめる)」が21.9%などとなっている。

【その他】

- ・自宅だから。
- ・パートで勤務しているので生きがいになっています。
- ・家族が協力し合い厳しくも楽しい場所を自分が中心になって創り出しているのだから。
- ・家族が集まる場所だから。
- ・産まれてからずっと住んでいるから。
- ・ここしかいるところがない。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	なんとなく ほっとする	意見や愚痴 を言える	利害関係が なくつきあ える	困ったとき に頼れる	ワクワクで きる	仲間づくり ができる	親睦が図れ る
10歳代【n=26】	80.8	34.6	34.6	34.6	19.2	19.2	11.5
20歳代【n=95】	90.5	34.7	30.5	38.9	36.8	13.7	15.8
30歳代【n=114】	92.1	42.1	33.3	39.5	25.4	7.0	8.8
40歳代【n=160】	86.3	30.6	20.0	20.6	22.5	9.4	6.9
50歳代【n=139】	87.8	25.9	21.6	26.6	25.9	12.2	14.4
60歳代【n=102】	87.3	25.5	29.4	21.6	15.7	12.7	6.9
70歳代【n=202】	85.6	21.3	24.8	15.3	14.4	17.3	16.8
80歳代以上【n=27】	88.9	29.6	37.0	18.5	7.4	18.5	14.8
無回答【n=10】	90.0	60.0	50.0	40.0	40.0	20.0	30.0

	経験や能力 を生かすこ とができる	そこしか行 き場所がな いから	地域交流や 世代交流が できる	地域に役 立ってい る・貢献で きる	その他	無回答
10歳代【n=26】	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0
20歳代【n=95】	15.8	7.4	2.1	5.3	0.0	0.0
30歳代【n=114】	9.6	7.0	4.4	1.8	0.9	0.0
40歳代【n=160】	14.4	9.4	3.1	2.5	0.6	0.0
50歳代【n=139】	16.5	11.5	2.2	3.6	0.7	0.7
60歳代【n=102】	10.8	16.7	7.8	3.9	0.0	0.0
70歳代【n=202】	8.9	14.4	5.0	3.5	1.0	2.5
80歳代以上【n=27】	7.4	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7
無回答【n=10】	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

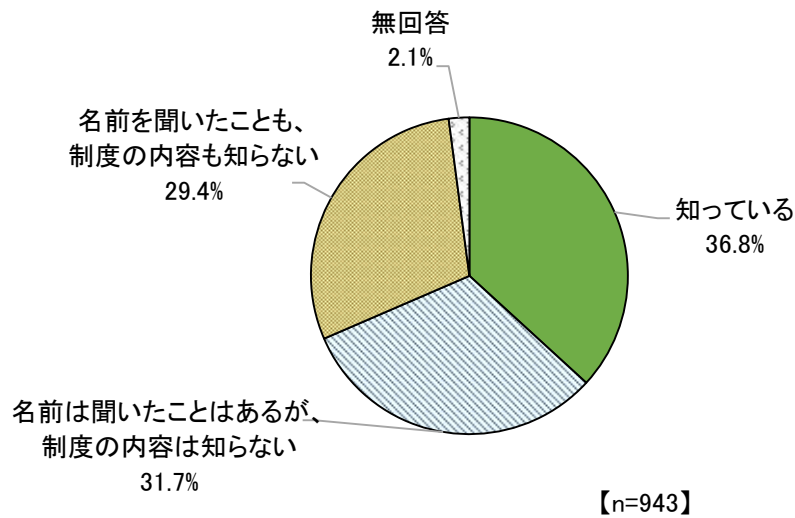
	なんとなくほっとする	意見や愚痴を言える	利害関係がなくつきあえる	困ったときに頼れる	ワクワクできる	仲間づくりができる	親睦が図れる
新田西部地区【n=142】	82.4	26.1	24.6	20.4	20.4	12.7	9.9
新田東部地区【n=101】	90.1	26.7	19.8	17.8	16.8	14.9	8.9
草加川柳地区【n=58】	84.5	29.3	20.7	27.6	31.0	12.1	8.6
草加安行地区【n=121】	86.0	31.4	31.4	28.1	20.7	13.2	13.2
草加西部地区【n=115】	85.2	35.7	26.1	34.8	29.6	13.0	9.6
草加東部地区【n=100】	93.0	31.0	38.0	29.0	18.0	12.0	24.0
草加稲荷地区【n=27】	96.3	22.2	25.9	14.8	22.2	14.8	7.4
谷塚西部地区【n=88】	88.6	20.5	20.5	19.3	17.0	10.2	12.5
谷塚中央地区【n=63】	88.9	38.1	25.4	31.7	31.7	12.7	12.7
谷塚東部地区【n=54】	92.6	27.8	31.5	25.9	14.8	14.8	9.3
無回答【n=6】	83.3	66.7	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3

	経験や能力を生かすことができる	そこしか行き場所がないから	地域交流や世代交流ができる	地域に役立っている・貢献できる	その他	無回答
新田西部地区【n=142】	14.8	15.5	2.8	1.4	1.4	0.0
新田東部地区【n=101】	11.9	5.9	5.0	2.0	1.0	1.0
草加川柳地区【n=58】	10.3	12.1	5.2	3.4	0.0	0.0
草加安行地区【n=121】	8.3	14.0	4.1	5.0	0.8	1.7
草加西部地区【n=115】	8.7	13.0	4.3	0.9	0.0	1.7
草加東部地区【n=100】	16.0	8.0	4.0	7.0	0.0	1.0
草加稲荷地区【n=27】	11.1	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=88】	8.0	6.8	3.4	4.5	1.1	0.0
谷塚中央地区【n=63】	19.0	7.9	3.2	6.3	1.6	1.6
谷塚東部地区【n=54】	14.8	14.8	5.6	0.0	0.0	0.0
無回答【n=6】	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0

年代別で「困った時に頼れる」を軸にみると、10歳代～30歳代の割合が多い傾向がみられた。同様に「意見や愚痴を言える」を軸にみると、10歳代～40歳代の割合が多くなっている。地区別で「利害関係がなくつきあえる」をみると、草加東部地区、谷塚東部地区、草加安行地区で割合が多くなっている。

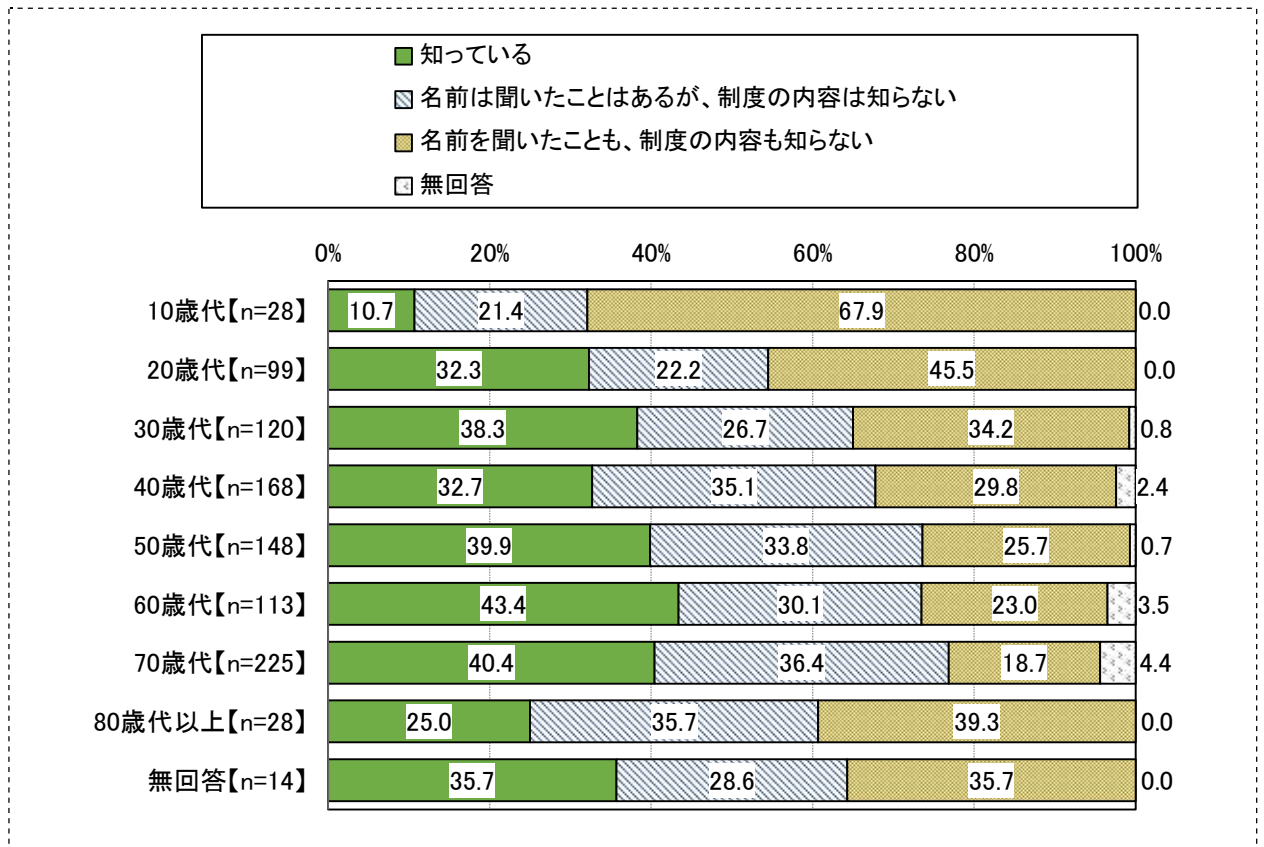
判断能力が低下した方への支援について

問22. あなたは「成年後見制度」について知っていますか。(あてはまるもの1つに☑)

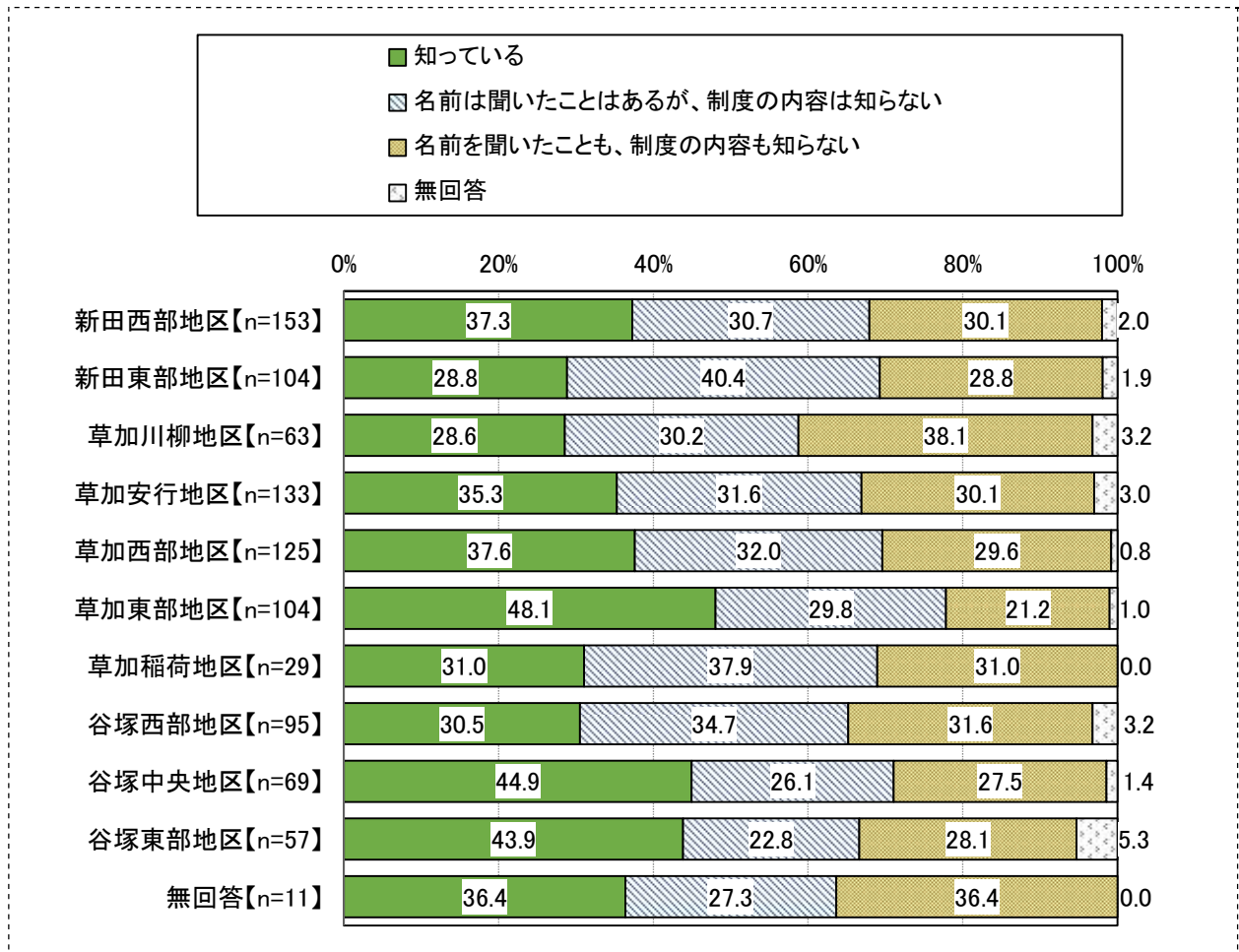


成年後見制度の認知度について、6割が『知らない』（「前は聞いたことはあるが制度の内容は知らない」と「名前を聞いたことも、制度の内容も知らない」の合計）と回答している。

▶年代別クロス集計



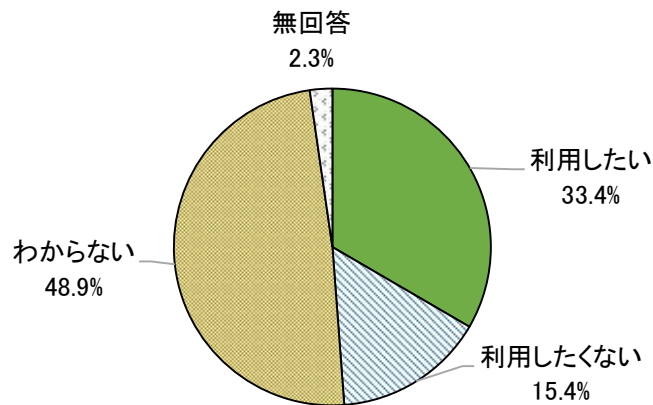
▶ 地区別クロス集計



年代別で『知らない』をみると、10歳代が約9割と最も高くなっている。

地区別で「知っている」をみると、草加東部地区、谷塚中央地区、谷塚東部市区で割合が高くなっている。

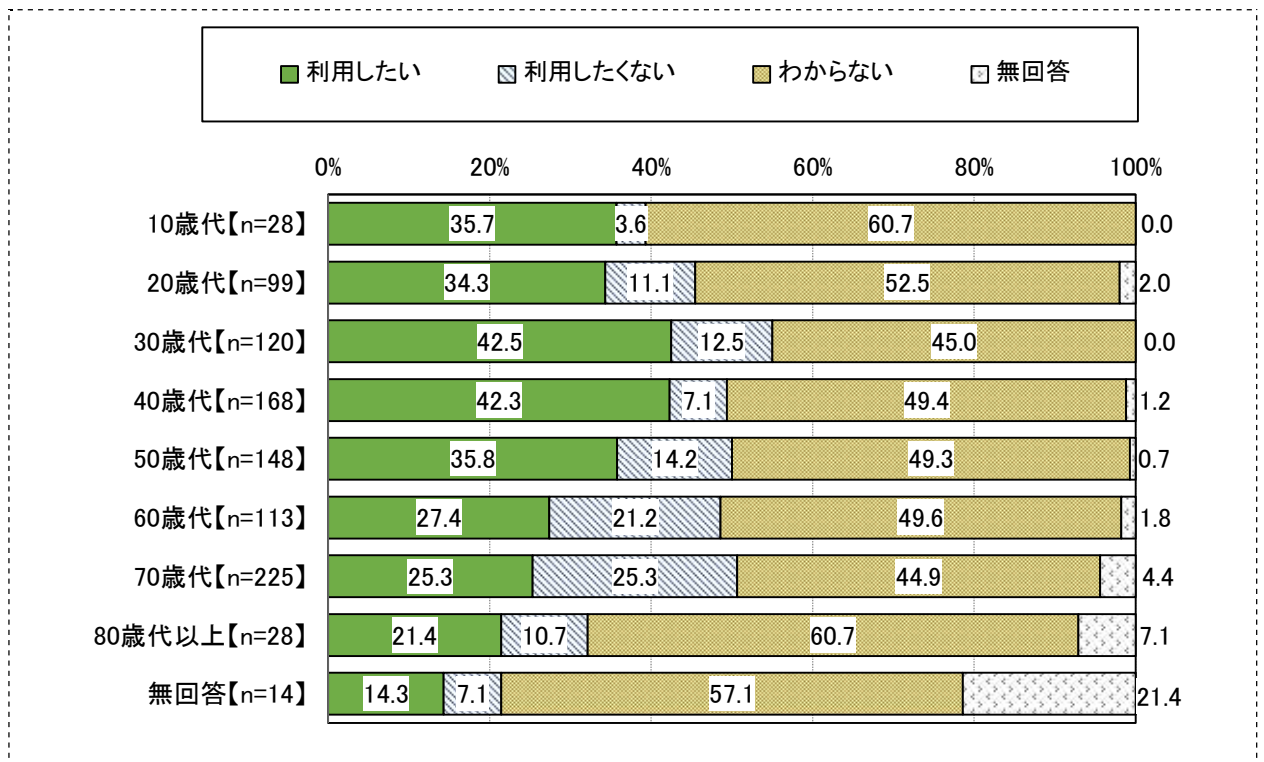
問23. 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいですか。（あてはまるもの1つに☑）



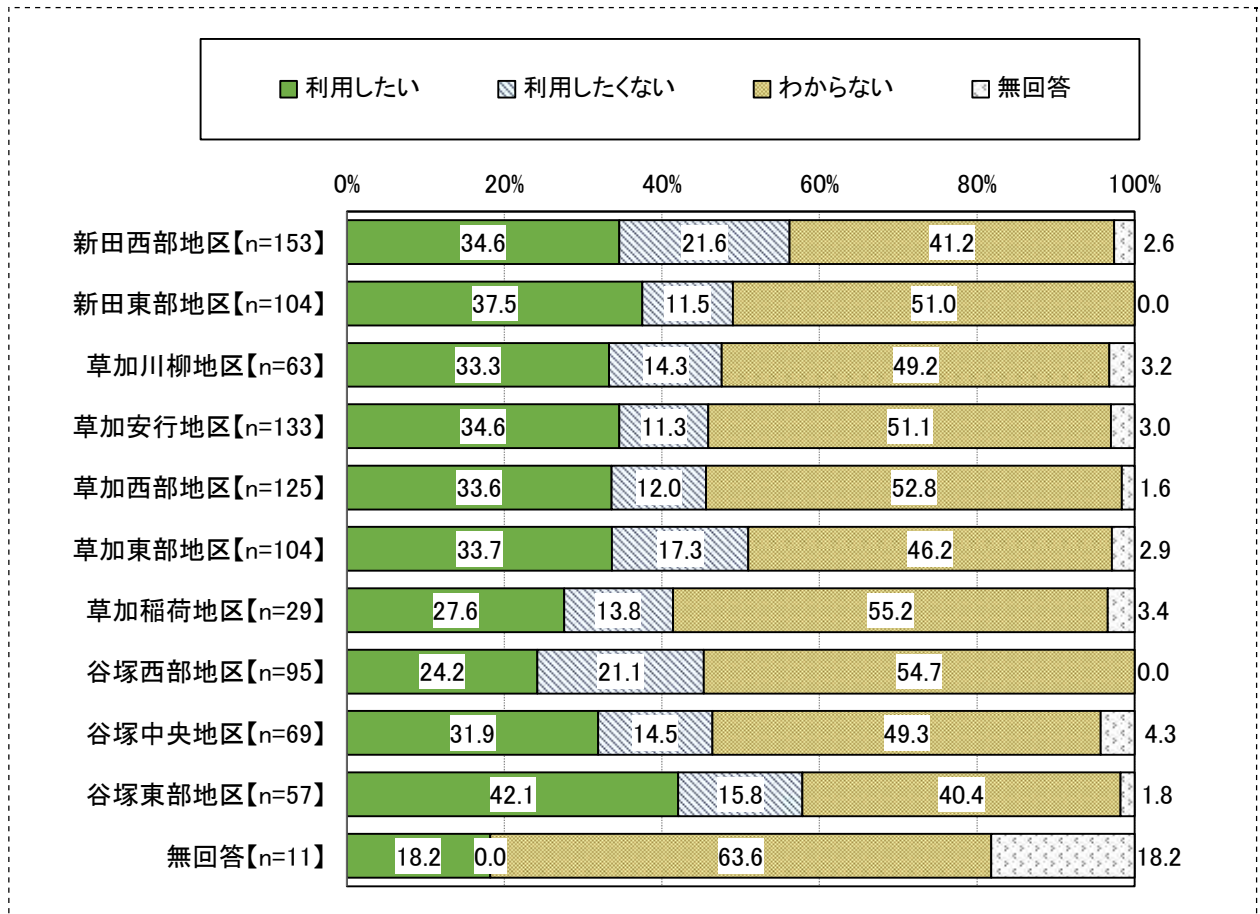
【n=943】

成年後見制度の利用意向は、33.4%が「利用したい」、15.4%が「利用したくない」、48.9%が「わからない」と回答している。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計



年代別でみると、いずれの年齢階層も「わからない」の割合が多くなっている。

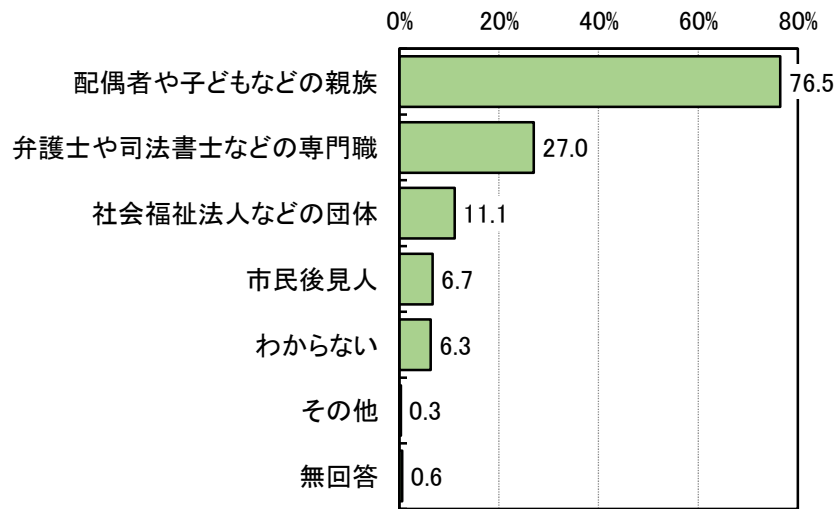
10歳代と40歳代では「利用したくない」の割合が少ない傾向がみられたが、60歳代、70歳代ではその割合が多くなっている。

地区別でみると、谷塚東部地区では「利用したい」の割合が他の地区より多い傾向がみられた。

問23-1. 問23で「①利用したい」と答えた方にお聞きします。成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか。

(あてはまるもの全てに☑)

【n=315】



成年後見制度利用時の後見人については、「配偶者や子どもなどの親族」が76.5%で最も多く、以下、「弁護士や司法書士などの専門職」が27.0%、「社会福祉法人などの団体」が11.1%、「市民後見人」が6.7%、「わからない」が6.3%などとなっている。

▶年代別クロス集計

【単位：%】

	配偶者や子どもなどの親族	弁護士や司法書士などの専門職	社会福祉法人などの団体	市民後見人	わからない	その他	無回答
10歳代【n=10】	70.0	30.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0
20歳代【n=34】	82.4	29.4	8.8	5.9	5.9	0.0	0.0
30歳代【n=51】	74.5	35.3	9.8	5.9	2.0	0.0	0.0
40歳代【n=71】	78.9	28.2	5.6	2.8	9.9	0.0	1.4
50歳代【n=53】	67.9	18.9	11.3	3.8	11.3	0.0	1.9
60歳代【n=31】	74.2	45.2	16.1	16.1	3.2	0.0	0.0
70歳代【n=57】	82.5	15.8	15.8	8.8	1.8	1.8	0.0
80歳代以上【n=6】	66.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▶ 地区別クロス集計

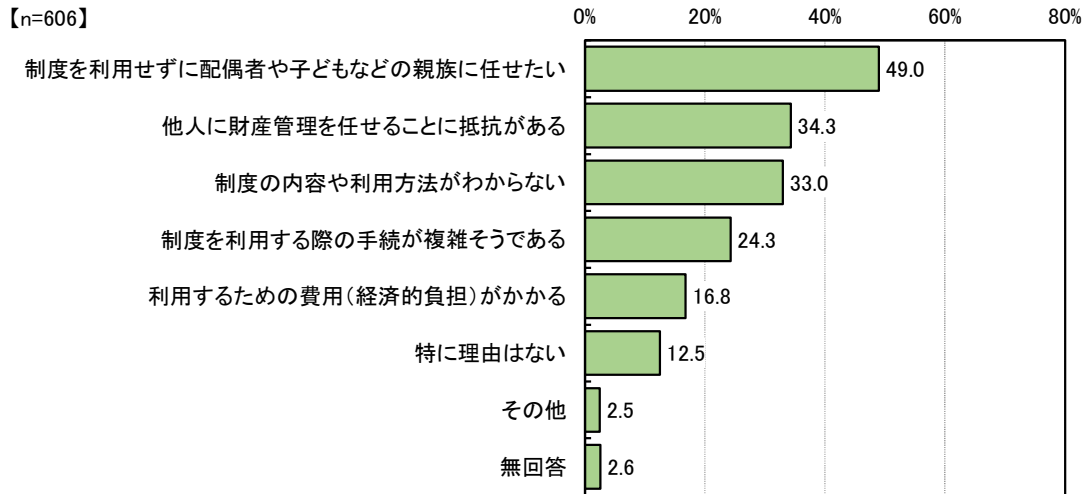
【単位：％】

	配偶者や子どもなどの親族	弁護士や司法書士などの専門職	社会福祉法人などの団体	市民後見人	わからない	その他	無回答
新田西部地区【n=53】	73.6	26.4	17.0	9.4	5.7	0.0	0.0
新田東部地区【n=39】	87.2	23.1	10.3	2.6	2.6	0.0	2.6
草加川柳地区【n=21】	90.5	14.3	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0
草加安行地区【n=46】	76.1	15.2	8.7	2.2	10.9	2.2	2.2
草加西部地区【n=42】	71.4	23.8	2.4	7.1	9.5	0.0	0.0
草加東部地区【n=35】	74.3	40.0	22.9	2.9	2.9	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=8】	75.0	25.0	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=23】	78.3	43.5	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=22】	77.3	31.8	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=24】	62.5	37.5	8.3	8.3	12.5	0.0	0.0
無回答【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別で「弁護士や司法書士などの専門職」をみると、60歳代、30歳代で割合が多い傾向がみられる。また、80歳代以上では、「社会福祉法人などの団体」の割合が他の年齢階層より多い傾向がみられた。

地区別で「弁護士や司法書士などの専門職」をみると、草加東部地区、谷塚西部地区、谷塚東部地区で割合が多い傾向がみられた。

問23-2. 問23で「②利用したくない」又は「③わからない」と答えた方にお聞きします。
 「利用したくない」又は「わからない」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまるもの全てに☑)



成年後見制度を利用したくない理由は、「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」が49.0%で最も多く、以下、「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」が34.3%、「制度の内容や利用方法がわからない」が33.0%、「制度を利用する際の手続が複雑そうである」が24.3%、「利用するための費用(経済的負担)がかかる」が16.8%などとなっている。

【その他】

- ・だまされそう、他人は信用できない。
- ・残すほど財産がない。
- ・親族がいる。
- ・まだ先のことで分からない。
- ・継続するための手続きが大変そう。後見人の方に負荷がかかる。自分が死ぬまで後見人をしぼってしまう。
- ・その時になって考えたい。(子どもがどう考えているか)。
- ・ニュースや報道でごまかす人などがいて犯罪になったと聞いているから。
- ・家族以外の方に迷惑をかけたくないから。 など

▶年代別クロス集計

【単位：%】

	制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい	他人に財産管理を任せることに抵抗がある	制度の内容や利用方法がわからない	制度を利用する際の手続が複雑そうである	利用するための費用(経済的負担)がかかる	特に理由はない	その他	無回答
10歳代【n=18】	5.6	22.2	55.6	22.2	5.6	27.8	5.6	0.0
20歳代【n=63】	28.6	44.4	31.7	27.0	20.6	20.6	1.6	0.0
30歳代【n=69】	39.1	40.6	42.0	34.8	26.1	13.0	2.9	1.4
40歳代【n=95】	42.1	42.1	44.2	29.5	20.0	8.4	3.2	0.0
50歳代【n=94】	44.7	30.9	33.0	19.1	17.0	12.8	3.2	2.1
60歳代【n=80】	61.3	32.5	25.0	22.5	13.8	13.8	3.8	1.3
70歳代【n=158】	66.5	29.7	24.1	19.6	12.7	8.9	1.3	5.7
80歳代以上【n=20】	60.0	25.0	35.0	25.0	20.0	20.0	0.0	10.0
無回答【n=9】	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい	他人に財産管理を任せることに抵抗がある	制度の内容や利用方法がわからない	制度を利用する際の手続が複雑そうである	利用するための費用（経済的負担）がかかる	特に理由はない	その他	無回答
新田西部地区【n=96】	55.2	35.4	32.3	24.0	21.9	12.5	4.2	4.2
新田東部地区【n=65】	50.8	27.7	30.8	29.2	15.4	16.9	1.5	3.1
草加川柳地区【n=40】	52.5	40.0	35.0	20.0	17.5	5.0	5.0	0.0
草加安行地区【n=83】	48.2	37.3	41.0	33.7	19.3	18.1	1.2	1.2
草加西部地区【n=81】	35.8	35.8	39.5	28.4	16.0	11.1	2.5	2.5
草加東部地区【n=66】	48.5	27.3	31.8	19.7	10.6	10.6	3.0	4.5
草加稲荷地区【n=20】	45.0	40.0	20.0	15.0	25.0	15.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=72】	52.8	34.7	26.4	13.9	16.7	9.7	0.0	2.8
谷塚中央地区【n=44】	50.0	40.9	36.4	25.0	13.6	13.6	4.5	0.0
谷塚東部地区【n=32】	50.0	34.4	25.0	18.8	12.5	12.5	3.1	3.1
無回答【n=7】	57.1	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3

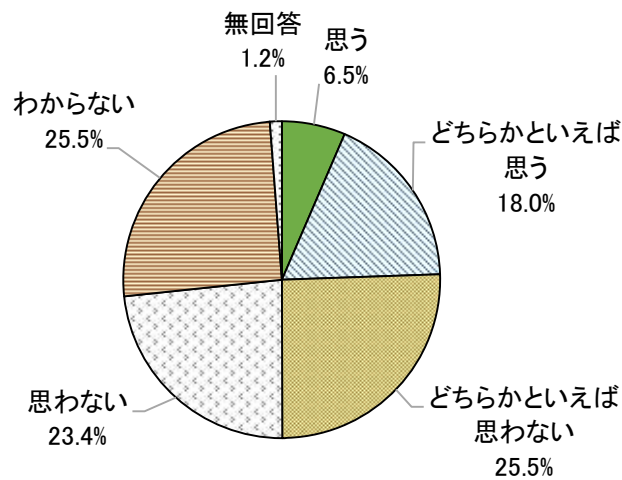
年代別で「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」をみると、60歳代～80歳代以上の割合が多くなっている。

また、「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」では、20歳代～40歳代の回答割合が他の年齢階層よりも多くなっている。

地区別で「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」をみると、草加西部地区の回答割合が他の地区より少ない傾向がみられた。

再犯防止について

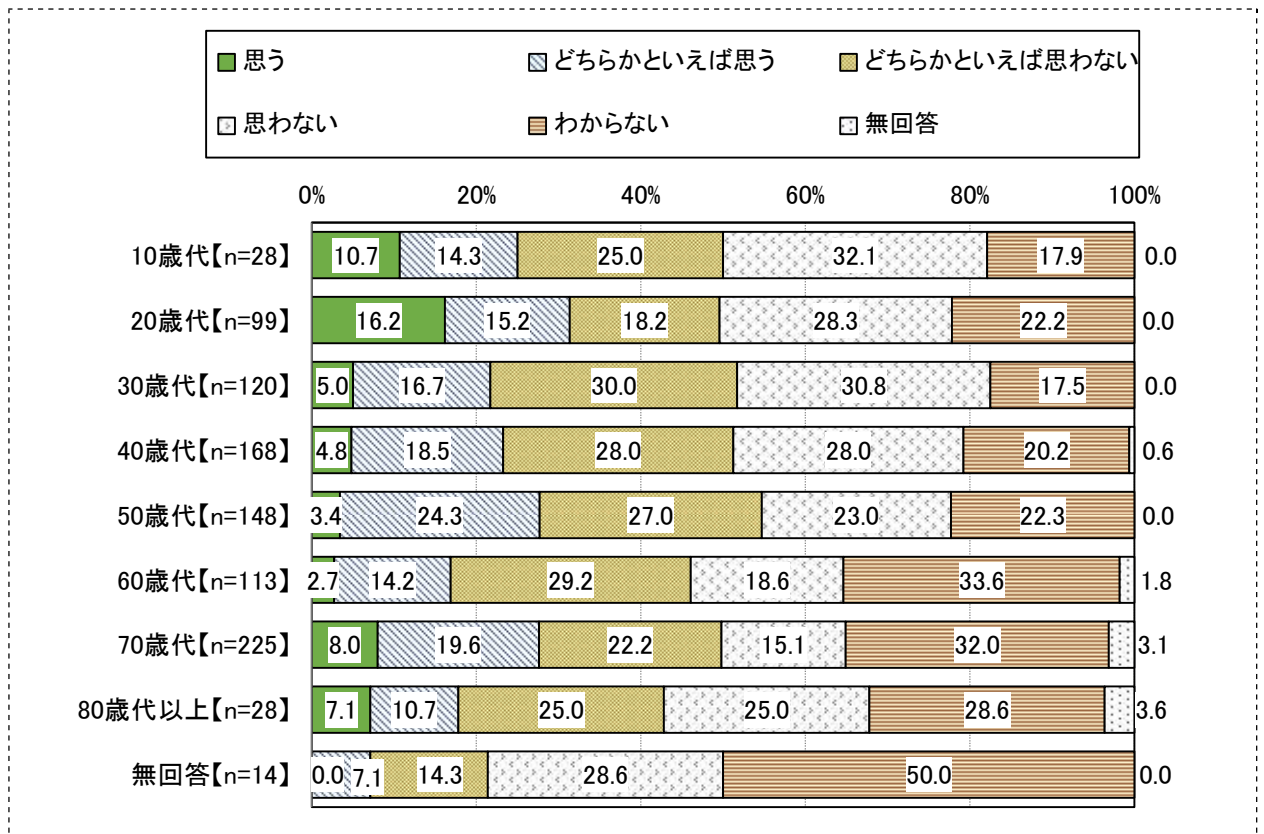
問24. あなたは犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに☑)



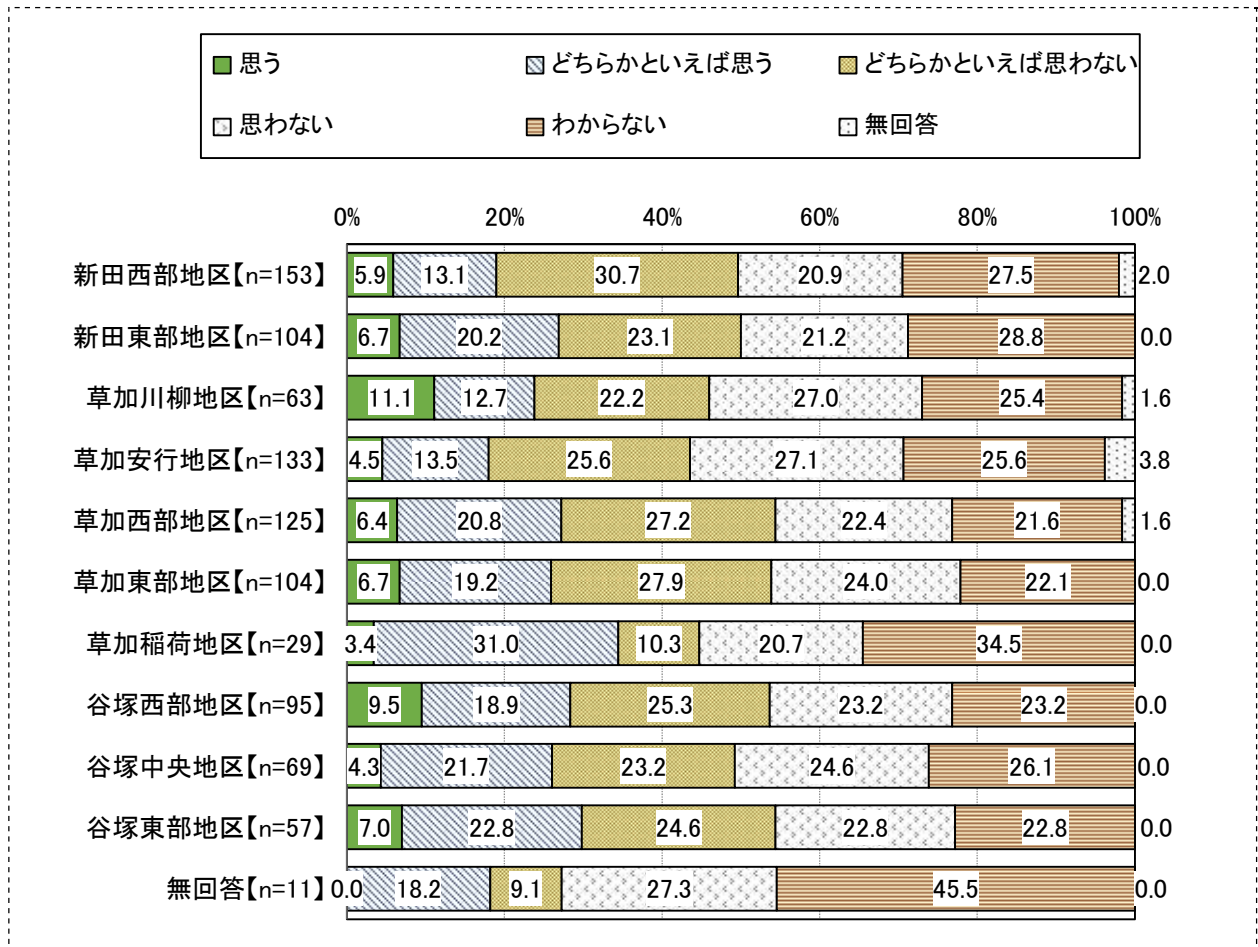
【n=943】

犯罪をした人の立ち直りへの協力について、24.5%が『思う（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）』、48.9%が『思わない（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計）』、25.5%が「わからない」と回答している。

▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計

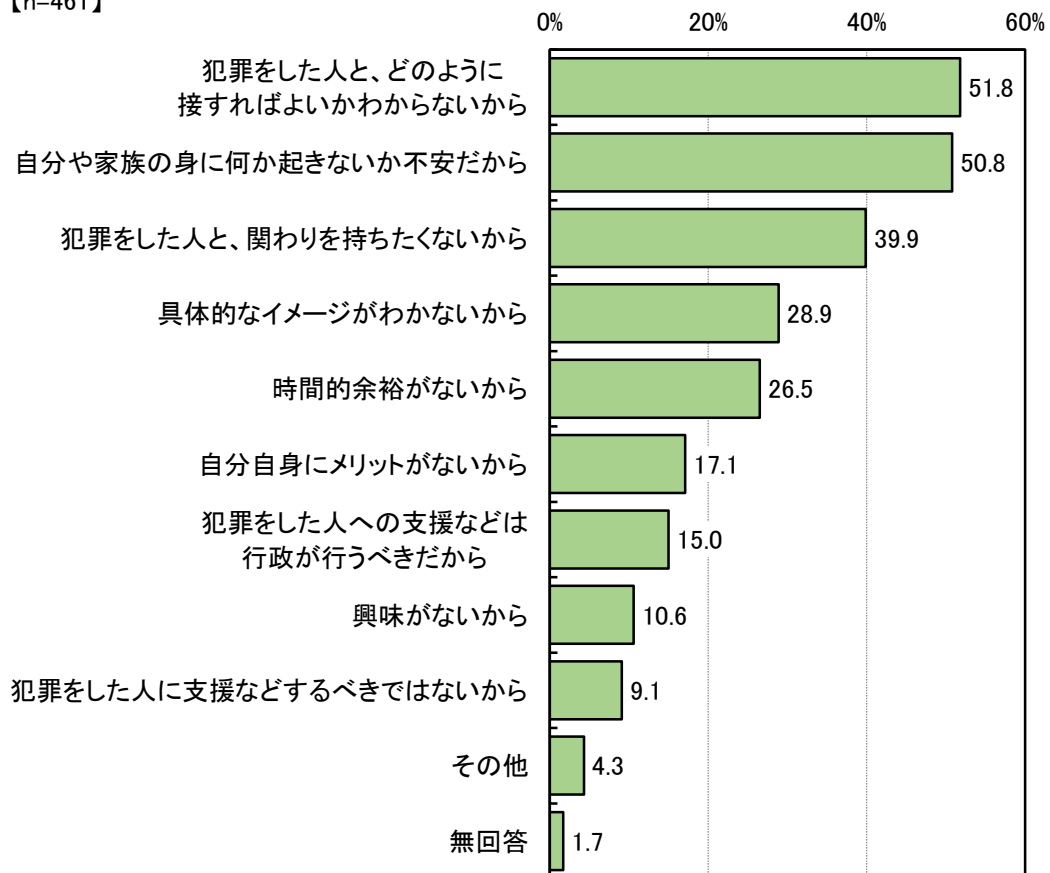


年代別でみると、若い世代ほど『思わない』の割合が多い傾向がみられる。年齢階層が上がるに従い、「わからない」の割合が多くなっている。

地区別では、草加稲荷地区で『思う』の割合が多い傾向がみられた。

問24-1. 問24で「どちらかといえば思わない」又は「思わない」と答えた方にお聞きします。思わないと答えた理由は何ですか。（あてはまるもの全てに☑）

【n=461】



問24で「どちらかといえば思わない」又は「思わない」と答えた方に、『思わない』と答えた理由を尋ねたところ、「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が51.8%で最も多く、以下、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が50.8%、「犯罪をした人と、関わりを持ちたくないから」が39.9%、「具体的なイメージがわからないから」が28.9%、「時間的余裕がないから」が26.5%などとなっている。

【その他】

- ・子どもに悪い影響を与える可能性がある。
- ・犯罪の内容による。
- ・世間の人目が気になる。
- ・犯罪の内容によるが、犯罪をした人は同じことをまた行う。
- ・犯罪のレベルにもよると思うので。またその人の人柄にもよる。
- ・心理的余裕がないから。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	犯罪をした人と、関わりを持ちたくないから	具体的なイメージがわからないから	時間的余裕がないから	自分自身にメリットがないから
10歳代【n=16】	43.8	37.5	43.8	25.0	12.5	18.8
20歳代【n=46】	28.3	52.2	47.8	21.7	21.7	39.1
30歳代【n=73】	43.8	58.9	39.7	31.5	35.6	28.8
40歳代【n=94】	50.0	56.4	37.2	26.6	29.8	16.0
50歳代【n=74】	62.2	54.1	47.3	27.0	33.8	18.9
60歳代【n=54】	63.0	44.4	38.9	38.9	29.6	7.4
70歳代【n=84】	63.1	45.2	35.7	26.2	13.1	2.4
80歳代以上【n=14】	50.0	42.9	35.7	42.9	21.4	14.3
無回答【n=6】	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0

	犯罪をした人への支援などは行政が行うべきだから	興味がないから	犯罪をした人に支援などするべきではないから	その他	無回答
10歳代【n=16】	6.3	25.0	12.5	0.0	0.0
20歳代【n=46】	19.6	10.9	15.2	6.5	0.0
30歳代【n=73】	17.8	17.8	12.3	6.8	0.0
40歳代【n=94】	9.6	10.6	11.7	3.2	0.0
50歳代【n=74】	10.8	9.5	2.7	5.4	2.7
60歳代【n=54】	14.8	7.4	3.7	0.0	1.9
70歳代【n=84】	20.2	4.8	7.1	6.0	1.2
80歳代以上【n=14】	28.6	14.3	21.4	0.0	0.0
無回答【n=6】	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	犯罪をした人と、関わりを持ちたくないから	具体的なイメージがわからないから	時間的余裕がないから	自分自身にメリットがないから
新田西部地区【n=79】	53.2	55.7	48.1	29.1	24.1	15.2
新田東部地区【n=46】	54.3	54.3	37.0	30.4	26.1	17.4
草加川柳地区【n=31】	51.6	48.4	41.9	9.7	25.8	12.9
草加安行地区【n=70】	42.9	57.1	42.9	24.3	25.7	18.6
草加西部地区【n=62】	41.9	38.7	35.5	35.5	19.4	12.9
草加東部地区【n=54】	61.1	50.0	40.7	29.6	38.9	24.1
草加稲荷地区【n=9】	55.6	66.7	11.1	22.2	11.1	0.0
谷塚西部地区【n=46】	52.2	47.8	28.3	28.3	30.4	13.0
谷塚中央地区【n=33】	66.7	51.5	48.5	54.5	33.3	24.2
谷塚東部地区【n=27】	59.3	51.9	44.4	18.5	22.2	25.9
無回答【n=4】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	犯罪をした人への支援などは行政が行うべきだから	興味がないから	犯罪をした人に支援などすべきではないから	その他	無回答
新田西部地区【n=79】	17.7	8.9	7.6	3.8	1.3
新田東部地区【n=46】	15.2	10.9	6.5	6.5	0.0
草加川柳地区【n=31】	3.2	19.4	12.9	3.2	0.0
草加安行地区【n=70】	10.0	10.0	10.0	2.9	2.9
草加西部地区【n=62】	24.2	16.1	14.5	3.2	0.0
草加東部地区【n=54】	13.0	7.4	7.4	5.6	0.0
草加稲荷地区【n=9】	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0
谷塚西部地区【n=46】	10.9	17.4	4.3	8.7	0.0
谷塚中央地区【n=33】	24.2	3.0	6.1	3.0	3.0
谷塚東部地区【n=27】	14.8	3.7	14.8	0.0	0.0
無回答【n=4】	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

年代別で「自分自身にメリットがないから」を軸にみると、20歳代、30歳代の割合が多くなっている。

また、「犯罪をした人とどのように接すればよいかわからないから」では、20歳代の割合は少ない傾向にある一方で、50歳代～70歳代の割合は多くなっている。

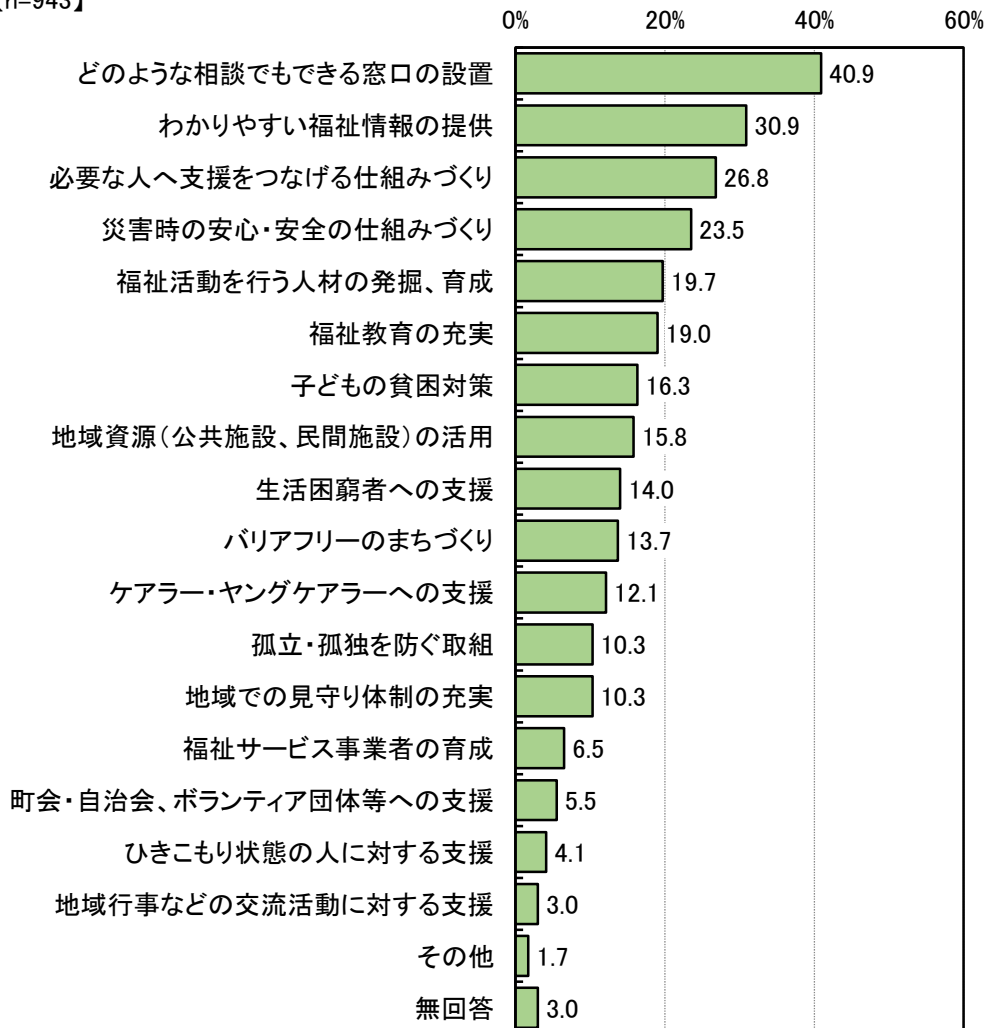
地区別で「犯罪をした人と関わりを持ちたくないから」を軸にみると、草加稲荷地区の割合は少ない一方、新田西部地区、谷塚中央地区では多い傾向がみられる。

問24の結果から、「犯罪をした人の立ち直りへの協力」に対する取組が十分ではない様子が窺えることから、現行の取組内容を見直すことが必要と考える。

地域福祉推進に向けた取組について

問25. 地域福祉を進めていくために、市はどのようなことを優先的に取り組む必要があると思いますか。（あてはまるもの3つ以内に☑）

【n=943】



地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むことでは、「どのような相談でもできる窓口の設置」が40.9%で最も多く、以下、「わかりやすい福祉情報の提供」が30.9%、「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」が26.8%、「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が23.5%、「福祉活動を行う人材の発掘、育成」が19.7%などとなっている。

【その他】

- ・近隣市。（川口・越谷等とのバスの連携）
- ・地域での子育て支援。
- ・「とっかかり」を明確にして貰い、そのあとは専門知識（スキル）のある部門にリンクできるシステムづくり。
- ・SDGs。
- ・草加らしさは残すべきだと思う。
- ・町会、自治会がない。
- ・民間施設への正しい補助金の支給及び活動支援、又公的施設（学校など）との協力体制の強化、実態の調査。（小学校内での支援児のフォローの実態）
- ・全てに於いてもっと真剣に取り組んでほしい。
- ・役所にとって不都合不利益であっても住民にとってメリットがあるならば行う。
- ・そもそもストレスのない街にする。 など

▶年代別クロス集計

【単位：％】

	どのような相談でもできる窓口の設置	わかりやすい福祉情報の提供	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	災害時の安心・安全の仕組みづくり	福祉活動を行う人材の発掘、育成	福祉教育の充実	子どもの貧困対策	地域資源の活用	生活困窮者への支援	バリアフリーのまちづくり
10歳代【n=28】	32.1	32.1	32.1	17.9	21.4	10.7	17.9	32.1	17.9	17.9
20歳代【n=99】	25.3	37.4	19.2	19.2	11.1	24.2	29.3	20.2	9.1	12.1
30歳代【n=120】	30.0	32.5	30.8	24.2	15.0	21.7	25.8	22.5	9.2	10.0
40歳代【n=168】	36.3	29.2	31.0	21.4	16.7	23.2	19.0	16.1	10.7	12.5
50歳代【n=148】	48.0	30.4	31.8	25.0	23.0	16.9	11.5	13.5	14.2	15.5
60歳代【n=113】	51.3	28.3	27.4	26.5	29.2	16.8	9.7	12.4	15.9	21.2
70歳代【n=225】	48.9	30.2	22.2	24.9	23.1	15.6	12.0	11.6	20.0	12.4
80歳代以上【n=28】	53.6	42.9	17.9	32.1	14.3	25.0	3.6	17.9	10.7	14.3
無回答【n=14】	7.1	0.0	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0

	ケアラー・ヤングケアラーへの支援	孤立・孤独を防ぐ取組	地域での見守り体制の充実	福祉サービス事業者の育成	町会・自治会、ボランティア団体等への支援	ひきこもり状態の人に対する支援	地域行事などの交流活動に対する支援	その他	無回答
10歳代【n=28】	10.7	3.6	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	7.1	0.0
20歳代【n=99】	20.2	7.1	13.1	1.0	2.0	5.1	2.0	3.0	0.0
30歳代【n=120】	12.5	10.0	6.7	5.0	2.5	4.2	4.2	0.8	0.0
40歳代【n=168】	15.5	10.1	11.9	5.4	4.2	4.8	1.2	1.8	0.6
50歳代【n=148】	11.5	9.5	6.8	5.4	2.7	2.7	3.4	1.4	0.7
60歳代【n=113】	11.5	15.0	15.0	9.7	7.1	3.5	3.5	1.8	3.5
70歳代【n=225】	8.0	11.6	10.7	11.1	9.3	4.4	3.6	0.9	5.3
80歳代以上【n=28】	3.6	7.1	14.3	0.0	14.3	7.1	3.6	3.6	0.0
無回答【n=14】	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	71.4

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	どのような相談でもできる窓口の設置	わかりやすい福祉情報の提供	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	災害時の安心・安全の仕組みづくり	福祉活動を行う人材の発掘、育成	福祉教育の充実	子どもの貧困対策	地域資源の活用	生活困窮者への支援	バリアフリーのまちづくり
新田西部地区【n=153】	43.1	34.6	26.1	17.0	16.3	17.6	17.6	15.0	19.0	13.1
新田東部地区【n=104】	45.2	32.7	32.7	24.0	21.2	20.2	13.5	19.2	11.5	10.6
草加川柳地区【n=63】	49.2	31.7	30.2	30.2	9.5	19.0	11.1	6.3	17.5	9.5
草加安行地区【n=133】	45.9	38.3	25.6	26.3	22.6	22.6	15.0	15.0	18.0	13.5
草加西部地区【n=125】	33.6	26.4	27.2	20.8	22.4	16.8	13.6	19.2	11.2	14.4
草加東部地区【n=104】	38.5	28.8	29.8	23.1	20.2	22.1	16.3	15.4	11.5	18.3
草加稲荷地区【n=29】	31.0	27.6	20.7	20.7	34.5	27.6	31.0	20.7	20.7	6.9
谷塚西部地区【n=95】	47.4	24.2	27.4	24.2	21.1	14.7	15.8	20.0	9.5	15.8
谷塚中央地区【n=69】	31.9	31.9	26.1	33.3	17.4	15.9	20.3	14.5	15.9	21.7
谷塚東部地区【n=57】	38.6	28.1	19.3	26.3	21.1	21.1	24.6	12.3	7.0	8.8
無回答【n=11】	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

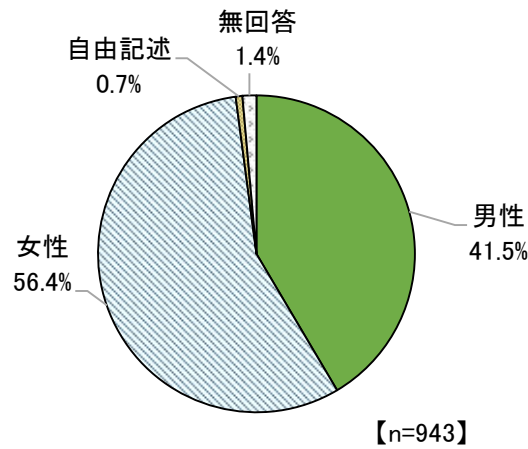
	ケアラー・ヤングケアラーへの支援	孤立・孤独を防ぐ取組	地域での見守り体制の充実	福祉サービス事業者の育成	町会・自治会、ボランティア団体等への支援	ひきこもり状態の人に対する支援	地域行事などの交流活動に対する支援	その他	無回答
新田西部地区【n=153】	11.1	13.1	11.1	4.6	2.6	3.9	2.0	3.3	2.6
新田東部地区【n=104】	8.7	9.6	11.5	8.7	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0
草加川柳地区【n=63】	9.5	6.3	7.9	3.2	4.8	4.8	1.6	0.0	0.0
草加安行地区【n=133】	15.8	9.0	9.8	6.8	5.3	4.5	2.3	0.8	3.0
草加西部地区【n=125】	10.4	9.6	12.8	8.0	5.6	3.2	2.4	0.8	1.6
草加東部地区【n=104】	13.5	12.5	8.7	6.7	6.7	1.0	7.7	1.0	0.0
草加稲荷地区【n=29】	17.2	10.3	6.9	3.4	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=95】	10.5	7.4	10.5	11.6	8.4	5.3	4.2	3.2	6.3
谷塚中央地区【n=69】	10.1	10.1	11.6	4.3	4.3	1.4	4.3	2.9	1.4
谷塚東部地区【n=57】	19.3	15.8	8.8	3.5	8.8	7.0	3.5	1.8	1.8
無回答【n=11】	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	90.9

年代別でみると「どのような相談でもできる窓口の設置」は年齢階層が上がるに従い、割合が増えている。また、「ケアラー・ヤングケアラーへの支援」は20歳代の割合が多くなっている。

地区別で「子どもの貧困対策」をみると、草加稲荷地区の割合が他の地区よりも多くなっている。

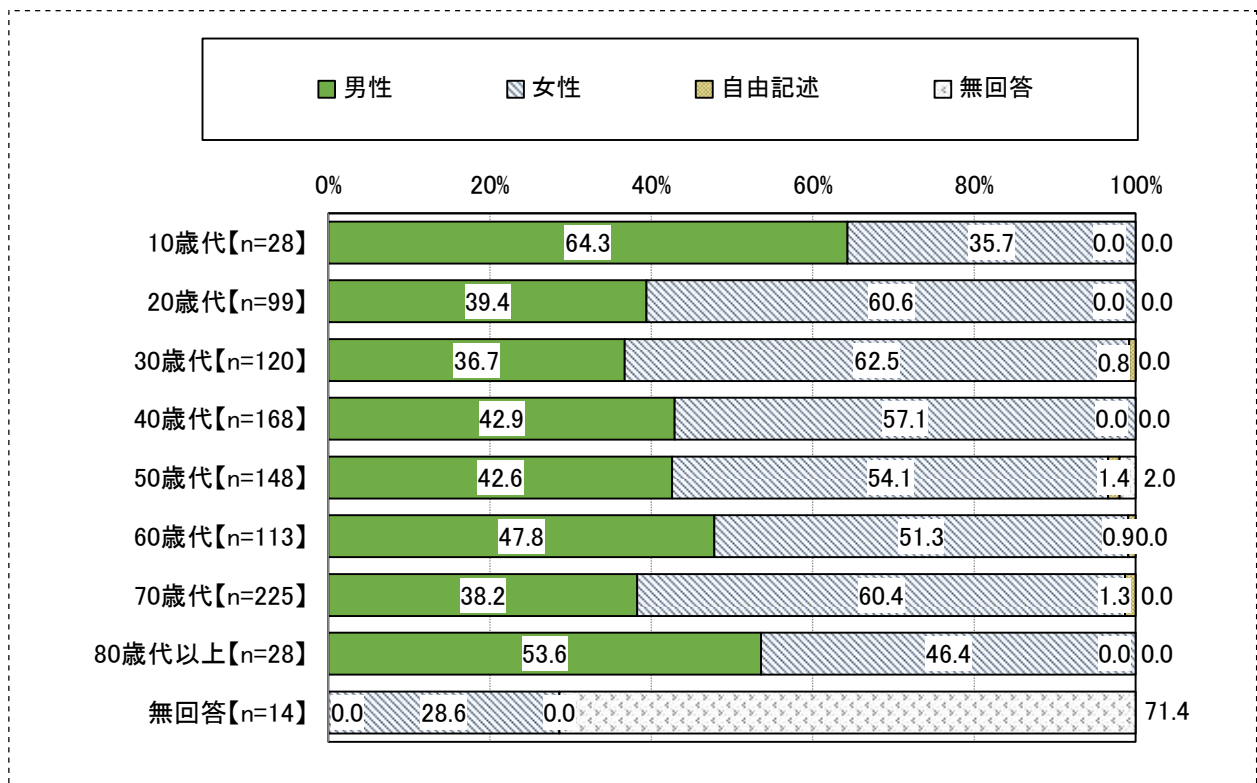
あなたご自身について

問26. あなたの性別をお聞かせください。（あてはまるもの1つに☑）



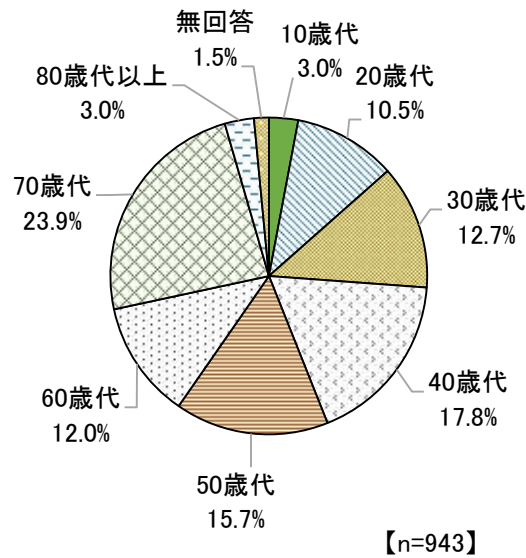
性別は、「男性」が41.5%、「女性」が56.4%、「自由記述」が0.7%となっている。

▶年代別クロス集計



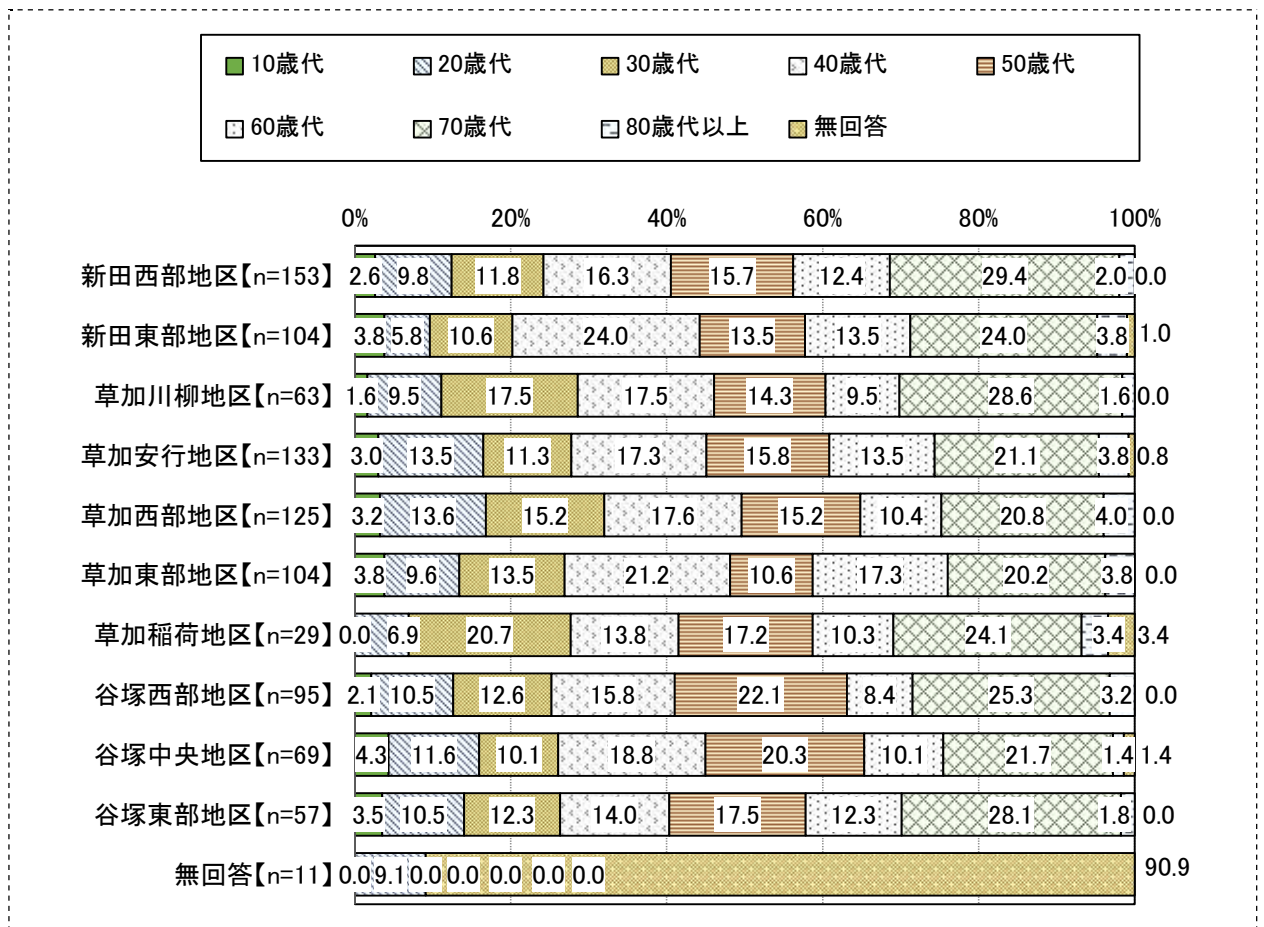
年齢別でみると、10歳代、80歳以上で男性の割合が多くなっている。

問27. あなたの年齢（令和4年（2022年）10月1日現在）をお聞かせください。
 （あてはまるもの1つに☑）

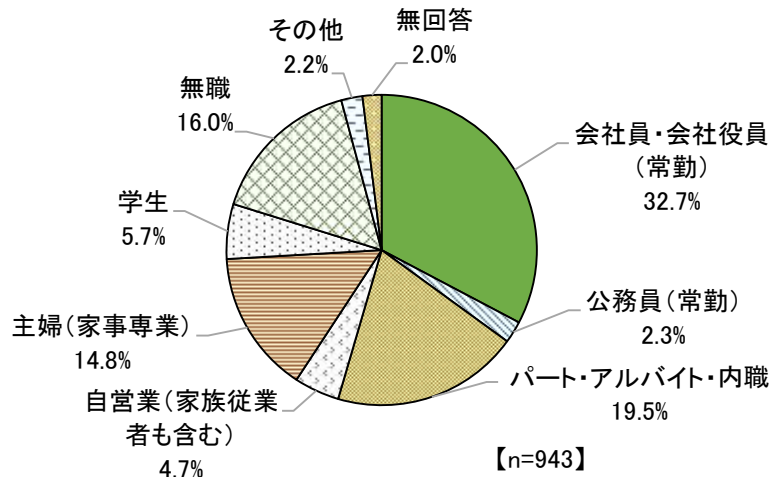


年齢は、「10歳代」が3.0%、「20歳代」が10.5%、「30歳代」が12.7%、「40歳代」が17.8%、「50歳代」が15.7%、「60歳代」が12.0%、「70歳代」が23.9%、「80歳以上」が3.0%となっている。

▶ 地区別クロス集計



問28. あなたの職業をお聞かせください。（あてはまるもの1つに☑）



職業は、「会社員・会社役員（常勤）」が32.7%、「公務員（常勤）」が2.3%、「パート・アルバイト・内職」が19.5%、「自営業（家族従業者も含む）」が4.7%、「主婦（家事専業）」が14.8%、「学生」が5.7%、「無職」が16.0%となっている。

【その他】

- ・医療職
- ・日雇い派遣
- ・年金生活
- ・会計年度職員 など

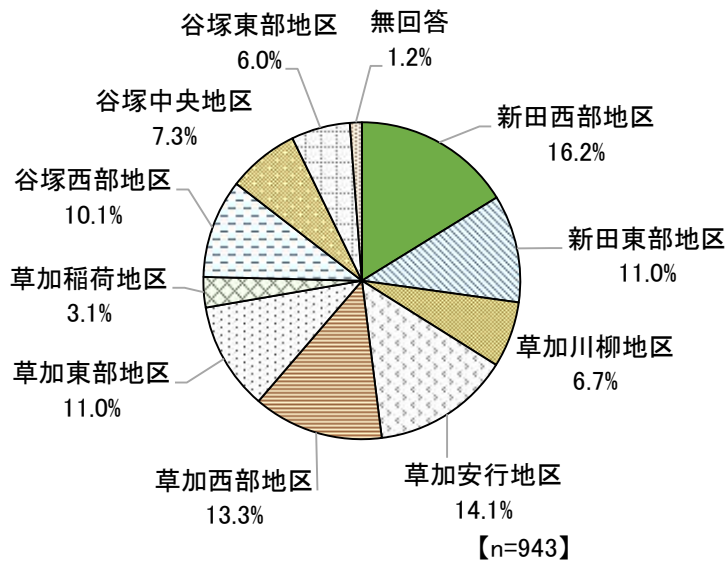
▶年代別クロス集計

	会社員・会社役員	パート・アルバイト・内職	無職	主婦（家事専業）	学生	自営業	公務員	その他	無回答
10歳代 [n=28]	7.1	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 [n=99]	43.4	13.1	7.1	1.0	27.3	2.0	4.0	2.0	0.0
30歳代 [n=120]	55.8	20.8	4.2	8.3	0.8	3.3	4.2	1.7	0.8
40歳代 [n=168]	51.8	27.4	1.8	8.9	0.0	3.0	4.8	2.4	0.0
50歳代 [n=148]	45.3	28.4	5.4	10.8	0.0	5.4	0.7	2.7	1.4
60歳代 [n=113]	23.0	24.8	15.9	20.4	0.0	8.8	3.5	3.5	0.0
70歳代 [n=225]	5.8	12.9	40.9	30.7	0.0	5.8	0.0	2.2	1.8
80歳代以上 [n=28]	7.1	3.6	64.3	17.9	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
無回答 [n=14]	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7

▶地区別クロス集計

	会社員・会社役員	パート・アルバイト・内職	無職	主婦（家事専業）	学生	自営業	公務員	その他	無回答
新田西部地区 [n=153]	26.8	20.9	19.0	18.3	5.9	3.3	2.0	2.6	1.3
新田東部地区 [n=104]	32.7	22.1	12.5	16.3	3.8	4.8	3.8	3.8	0.0
草加川柳地区 [n=63]	36.5	15.9	17.5	19.0	6.3	3.2	1.6	0.0	0.0
草加安行地区 [n=133]	30.1	22.6	15.8	12.8	6.0	5.3	1.5	4.5	1.5
草加西部地区 [n=125]	38.4	20.0	19.2	9.6	6.4	2.4	4.0	0.0	0.0
草加東部地区 [n=104]	35.6	17.3	16.3	14.4	6.7	5.8	1.9	1.0	1.0
草加稲荷地区 [n=29]	31.0	20.7	10.3	20.7	0.0	6.9	3.4	3.4	3.4
谷塚西部地区 [n=95]	30.5	18.9	14.7	13.7	7.4	8.4	2.1	2.1	2.1
谷塚中央地区 [n=69]	42.0	15.9	11.6	15.9	5.8	1.4	2.9	2.9	1.4
谷塚東部地区 [n=57]	29.8	19.3	19.3	15.8	5.3	8.8	0.0	1.8	0.0
無回答 [n=11]	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9

問29. あなたがお住まいの地域（令和4年（2022年）10月1日現在）をお聞かせください。
（あてはまるもの1つに☑）



居住地域は、「新田西部地区」が16.2%、「新田東部地区」が11.0%、「草加川柳地区」が6.7%、「草加安行地区」が14.1%、「草加西部地区」が13.3%、「草加東部地区」が11.0%、「草加稲荷地区」が3.1%、「谷塚西部地区」が10.1%、「谷塚中央地区」が7.3%、「谷塚東部地区」が6.0%となっている。

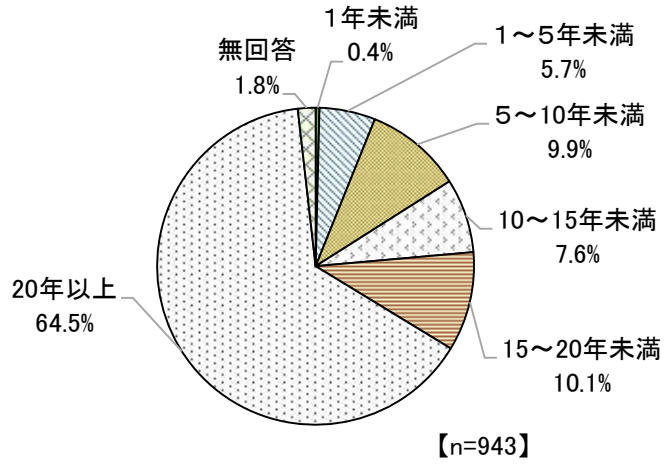
▶年代別クロス集計

【単位：％】

	新田西部地区	新田東部地区	草加川柳地区	草加安行地区	草加西部地区	草加東部地区
10歳代【n=28】	14.3	14.3	3.6	14.3	14.3	14.3
20歳代【n=99】	15.2	6.1	6.1	18.2	17.2	10.1
30歳代【n=120】	15.0	9.2	9.2	12.5	15.8	11.7
40歳代【n=168】	14.9	14.9	6.5	13.7	13.1	13.1
50歳代【n=148】	16.2	9.5	6.1	14.2	12.8	7.4
60歳代【n=113】	16.8	12.4	5.3	15.9	11.5	15.9
70歳代【n=225】	20.0	11.1	8.0	12.4	11.6	9.3
80歳代以上【n=28】	10.7	14.3	3.6	17.9	17.9	14.3
無回答【n=14】	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0

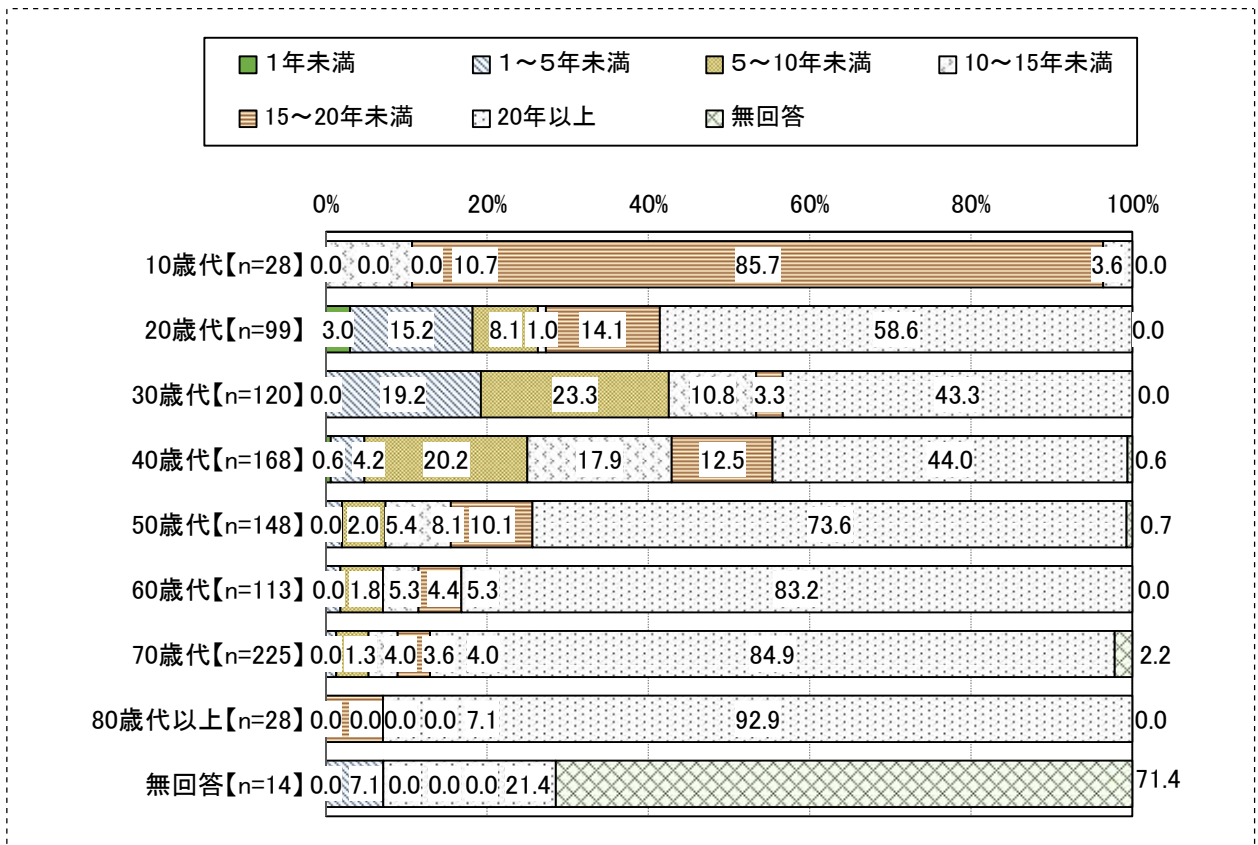
	草加稲荷地区	谷塚西部地区	谷塚中央地区	谷塚東部地区	無回答
10歳代【n=28】	0.0	7.1	10.7	7.1	0.0
20歳代【n=99】	2.0	10.1	8.1	6.1	1.0
30歳代【n=120】	5.0	10.0	5.8	5.8	0.0
40歳代【n=168】	2.4	8.9	7.7	4.8	0.0
50歳代【n=148】	3.4	14.2	9.5	6.8	0.0
60歳代【n=113】	2.7	7.1	6.2	6.2	0.0
70歳代【n=225】	3.1	10.7	6.7	7.1	0.0
80歳代以上【n=28】	3.6	10.7	3.6	3.6	0.0
無回答【n=14】	7.1	0.0	7.1	0.0	71.4

問30. あなたは草加市に住み始めて何年になりますか。(あてはまるもの1つに☑)

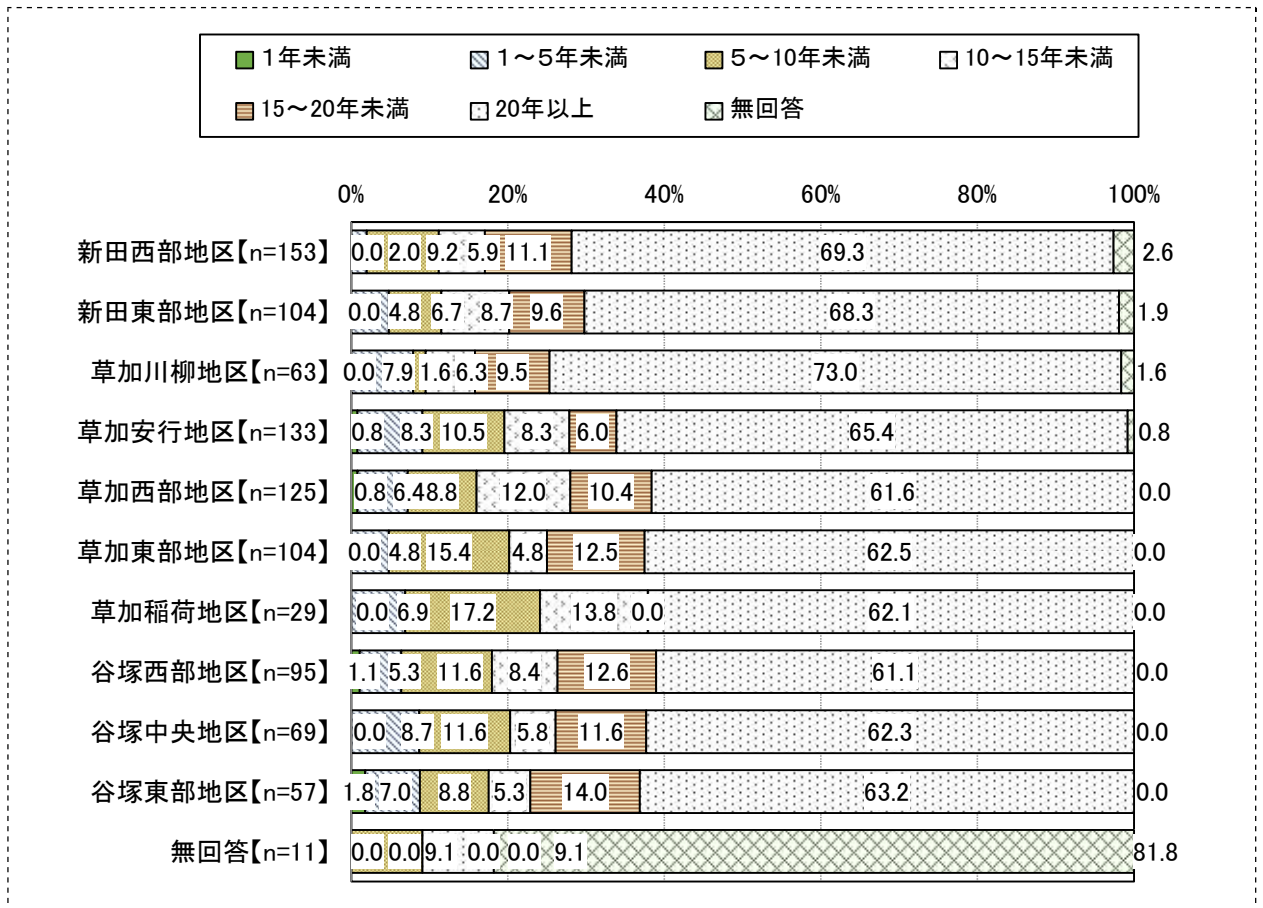


居住年数は、「1年未満」が0.4%、「1～5年未満」が5.7%、「5～10年未満」が9.9%、「10～15年未満」が7.6%、「15～20年未満」が10.1%、「20年以上」が64.5%となっている。

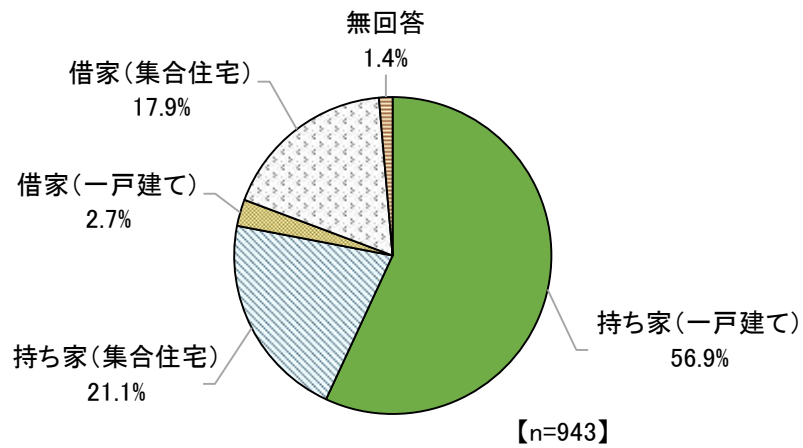
▶年代別クロス集計



▶ 地区別クロス集計

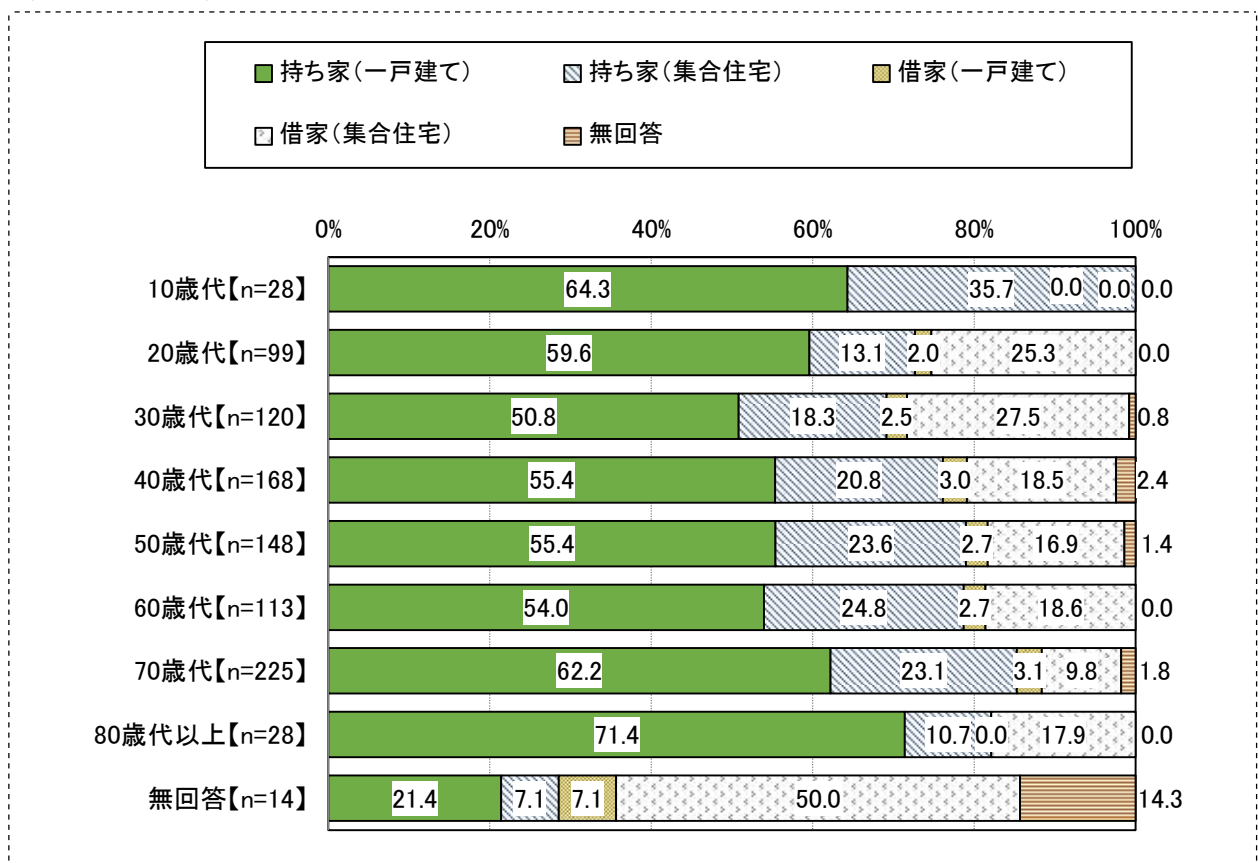


問31. あなたのお住まいについてお聞かせください。（あてはまるもの1つに☑）

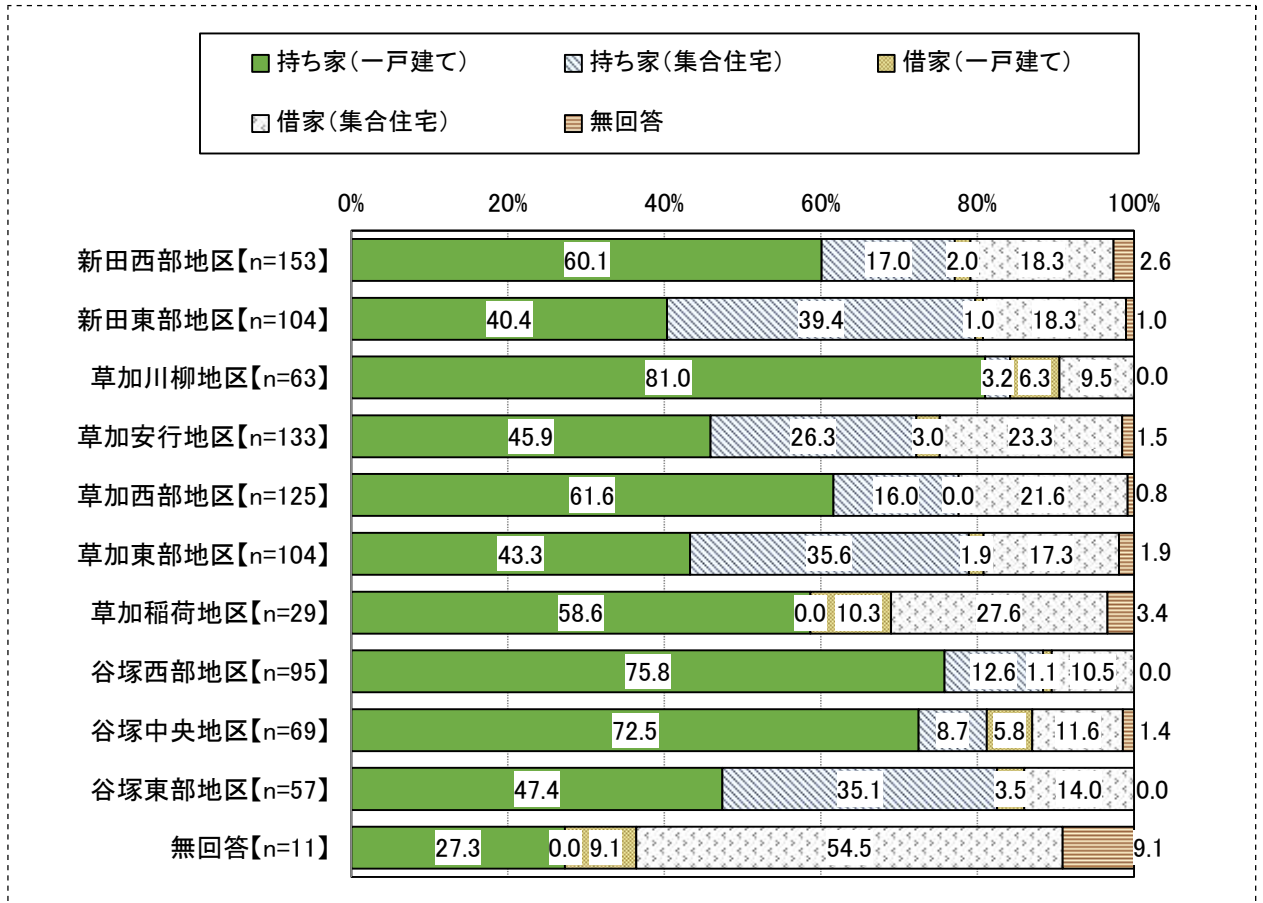


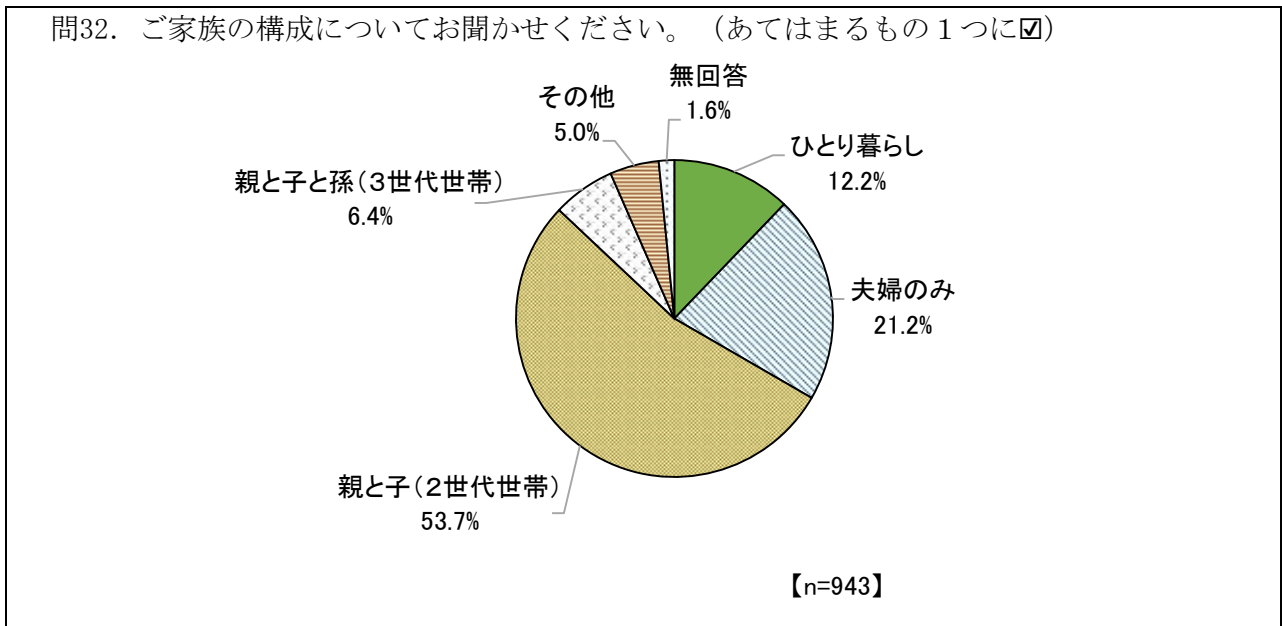
住まいは、「持ち家（一戸建て）」が56.9%、「持ち家（集合住宅）」が21.1%、「借家（一戸建て）」が2.7%、「借家（集合住宅）」が17.9%となっている。

▶年代別クロス集計



▶地区別クロス集計



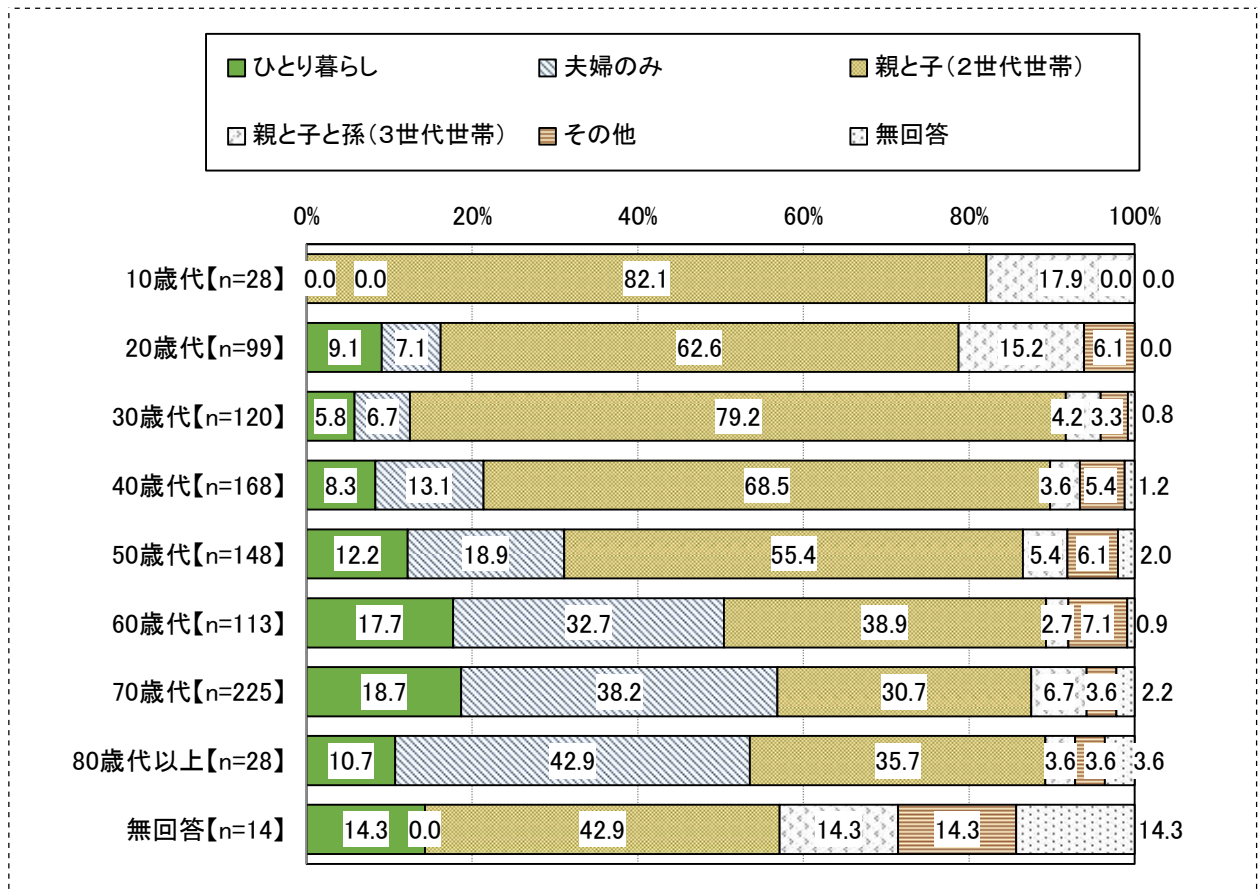


家族構成は、「ひとり暮らし」が12.2%、「夫婦のみ」が21.2%、「親と子(2世代世帯)」が53.7%、「親と子と孫(3世代世帯)」が6.4%、となっている。

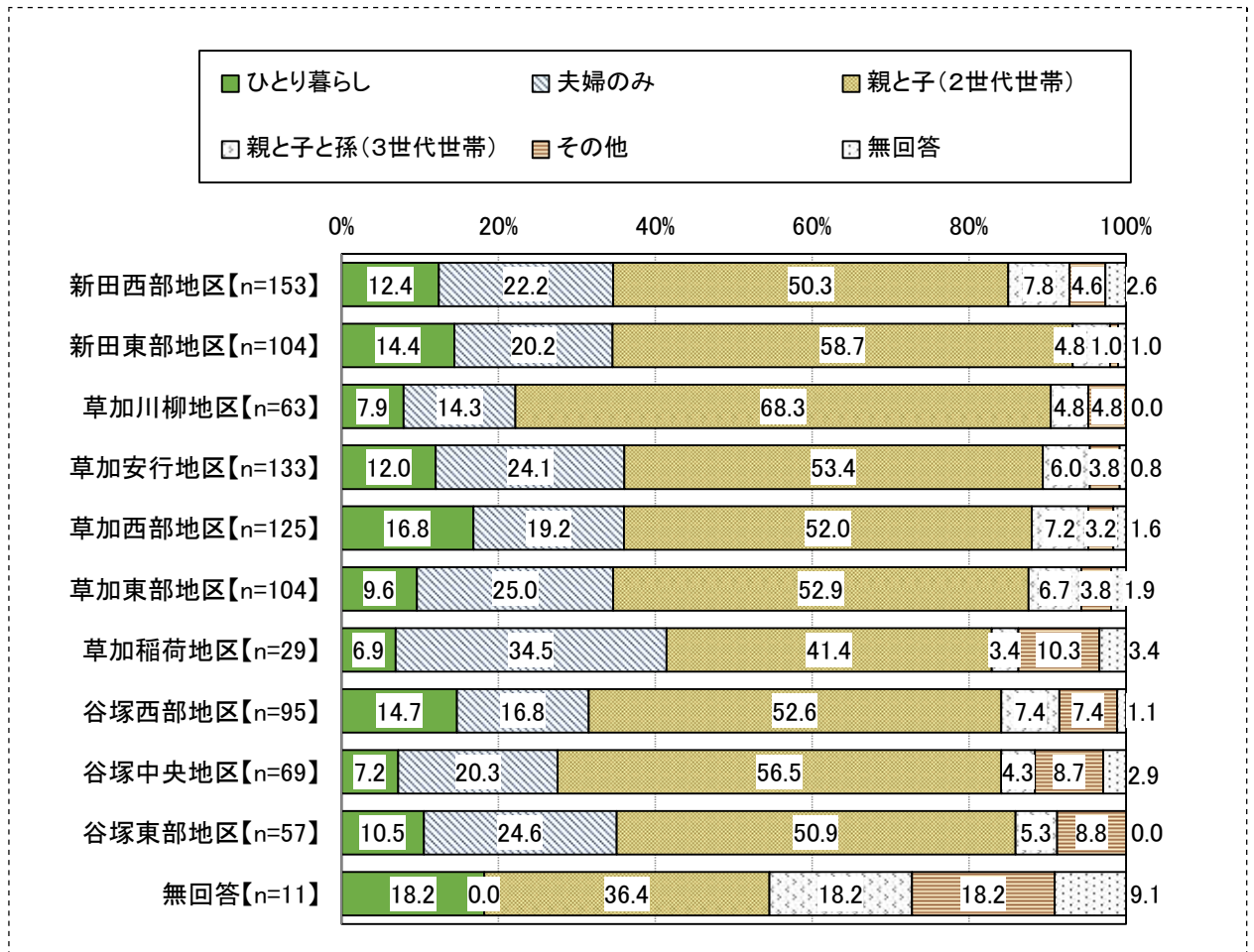
【その他】

- ・妻と子、夫と子
- ・親と子と叔父
- ・姉、兄、妹、弟
- ・内縁関係
- ・ルームメイト など

▶年代別クロス集計



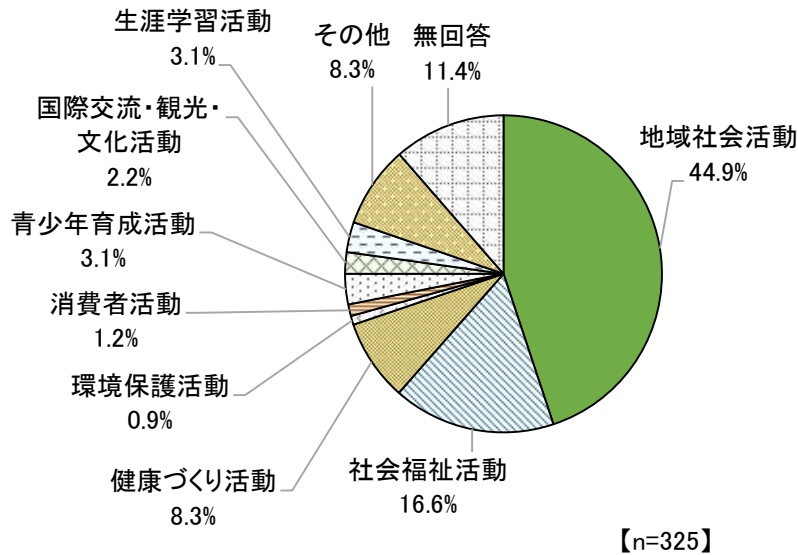
▶ 地区別クロス集計



②地域活動団体調査

貴団体について

問1. 貴団体の活動分野をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)



活動分野は、「地域社会活動」が44.9%で最も多く、以下、「社会福祉活動」が16.6%、「健康づくり活動」が8.3%、「青少年育成活動」と「生涯学習活動」がともに3.1%などとなっている。

【その他】

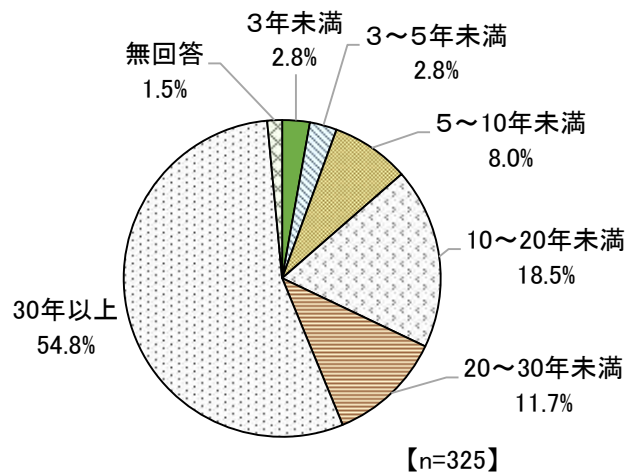
スポーツ活動、団体防犯活動、障害児通所支援事業、相談支援事業
自治会、商店会、税理士会、学校PTA など

▶地区別クロス集計

【単位：%】

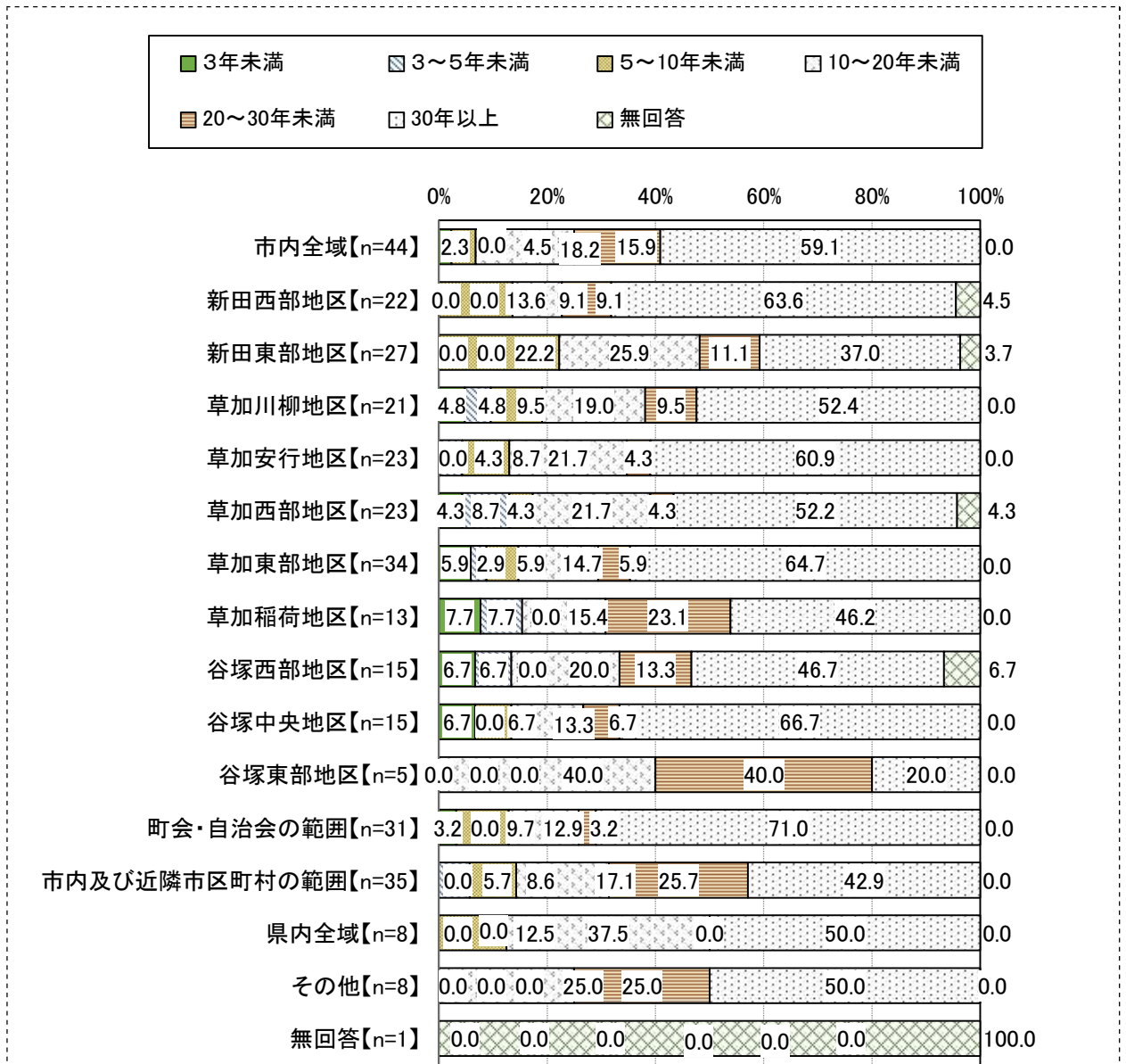
	地域社会活動	社会福祉活動	健康づくり活動	環境保護活動	消費者活動	青少年育成活動	国際交流・観光・文化活動	生涯学習活動	その他	無回答
市内全域【n=44】	25.0	20.5	15.9	2.3	0.0	9.1	2.3	2.3	11.4	11.4
新田西部地区【n=22】	45.5	13.6	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	9.1	18.2
新田東部地区【n=27】	37.0	29.6	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	11.1	14.8
草加川柳地区【n=21】	52.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	9.5
草加安行地区【n=23】	60.9	21.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3
草加西部地区【n=23】	60.9	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0	4.3	0.0
草加東部地区【n=34】	52.9	5.9	2.9	0.0	5.9	2.9	5.9	0.0	2.9	20.6
草加稲荷地区【n=13】	53.8	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4
谷塚西部地区【n=15】	60.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7
谷塚中央地区【n=15】	46.7	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0
谷塚東部地区【n=5】	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	77.4	3.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	9.7
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	20.0	37.1	11.4	2.9	0.0	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7
県内全域【n=8】	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0
その他【n=8】	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問2. 貴団体の活動年数（令和4年（2022年）10月1日現在）をお聞かせください。
 （あてはまるもの1つに☑）

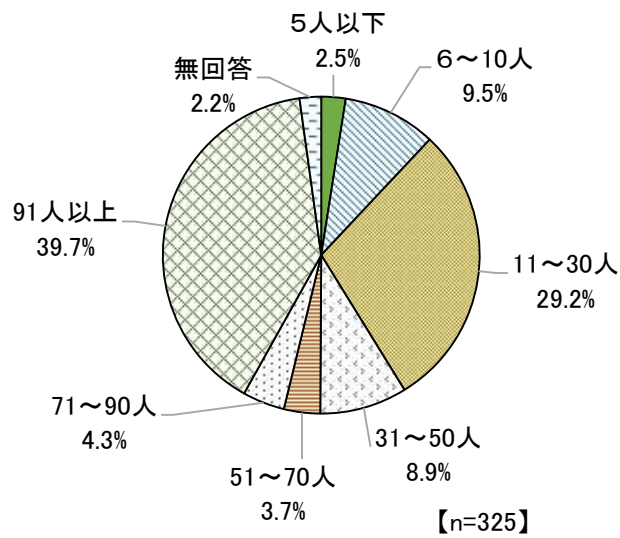


活動年数は「30年以上」が54.8%で最も多く、以下、「10～20年未満」が18.5%、「20～30年未満」が11.7%、「5～10年未満」が8.0%、「3年未満」が2.8%などとなっている。

▶ 地区別クロス集計



問3. 貴団体の活動人数（会員数）をお聞かせください。（あてはまるもの1つに☑）



活動人数は、「5人以下」が2.5%、「6~10人」が9.5%、「11~30人」が29.2%、「31~50人」が8.9%、「51~70人」が3.7%、「71~90人」が4.3%、「91人以上」が39.7%となっている。

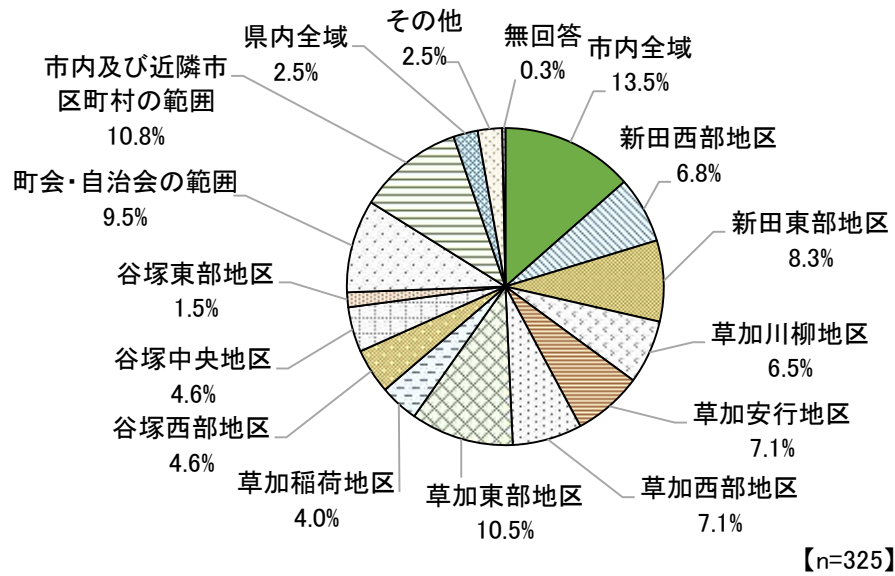
▶ 地区別クロス集計

【単位：%】

	5人以下	6~10人	11~30人	31~50人	51~70人	71~90人	91人以上	無回答
市内全域【n=44】	40.9	36.4	6.8	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3
新田西部地区【n=22】	31.8	36.4	9.1	9.1	0.0	4.5	9.1	0.0
新田東部地区【n=27】	22.2	29.6	22.2	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7
草加川柳地区【n=21】	38.1	33.3	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0
草加安行地区【n=23】	52.2	26.1	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0
草加西部地区【n=23】	26.1	34.8	8.7	13.0	0.0	4.3	4.3	8.7
草加東部地区【n=34】	41.2	29.4	5.9	17.6	2.9	0.0	2.9	0.0
草加稲荷地区【n=13】	53.8	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=15】	40.0	13.3	20.0	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	40.0	33.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
谷塚東部地区【n=5】	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	71.0	12.9	6.5	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	28.6	34.3	11.4	11.4	2.9	2.9	5.7	2.9
県内全域【n=8】	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
その他【n=8】	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

活動状況等について

問4. 貴団体の主な活動地域をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)

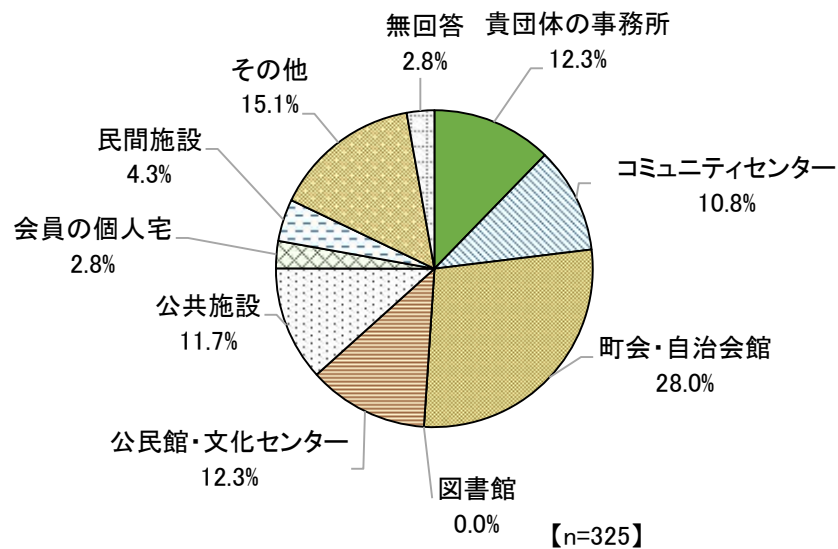


主な活動地域は、「市内全域」が13.5%で最も多く、以下、「市内及び近隣市区町村の範囲」が10.8%、「草加東部地区」が10.5%、「町会・自治会の範囲」が9.5%、「新田東部地区」が8.3%などとなっている。

【その他】

全国、川口税務署管内、草加駅東西口周辺 など

問5. 貴団体の主な活動場所（拠点）をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)



主な活動場所は、「町会・自治会館（集会所含む）」が28.0%で最も多く、以下、「その他」が15.1%、「貴団体の事務所」と「公民館・文化センター」が同率の12.3%、「公共施設（図書館、文化センター・公民館以外）」が11.7%などとなっている。

【その他】

体育館、小学校、全国のポリテクセンター、会員店舗、学校、草加公園、小学校内のPTA会議室、文化センター会議室、街頭活動 など

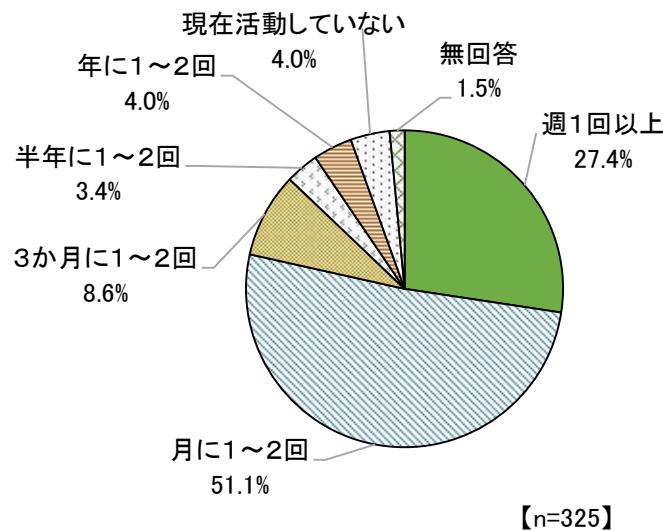
▶地区別クロス集計

【単位：％】

	貴団体の事務所	コミュニティセンター	町会・自治会館	図書館	公民館・文化センター	公共施設	会員の個人宅	民間施設	その他	無回答
市内全域 [n=44]	15.9	0.0	9.1	0.0	13.6	29.5	2.3	4.5	25.0	0.0
新田西部地区 [n=22]	22.7	4.5	27.3	0.0	4.5	9.1	0.0	4.5	22.7	4.5
新田東部地区 [n=27]	14.8	11.1	29.6	0.0	14.8	0.0	7.4	3.7	18.5	0.0
草加川柳地区 [n=21]	9.5	0.0	19.0	0.0	19.0	23.8	0.0	9.5	19.0	0.0
草加安行地区 [n=23]	8.7	17.4	56.5	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3
草加西部地区 [n=23]	8.7	21.7	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	26.1	13.0
草加東部地区 [n=34]	8.8	11.8	38.2	0.0	11.8	8.8	8.8	0.0	8.8	2.9
草加稲荷地区 [n=13]	7.7	38.5	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
谷塚西部地区 [n=15]	6.7	13.3	40.0	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0
谷塚中央地区 [n=15]	6.7	6.7	26.7	0.0	33.3	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7
谷塚東部地区 [n=5]	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	3.2	16.1	67.7	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	17.1	5.7	2.9	0.0	28.6	11.4	0.0	14.3	20.0	0.0
県内全域 [n=8]	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0
その他 [n=8]	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答 [n=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

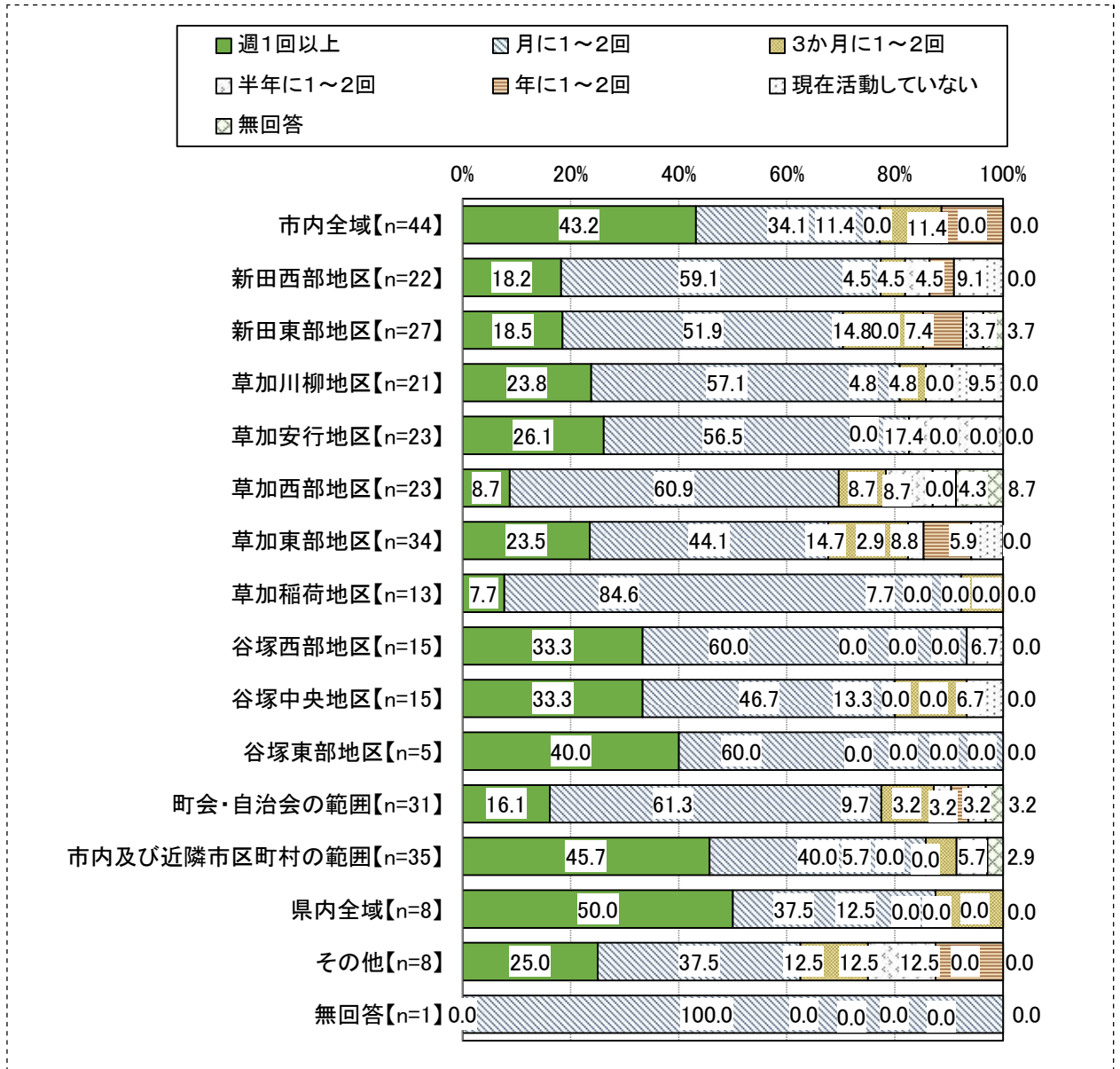
地区別で「町会・自治会館」をみると、町会・自治会の範囲、草加安行地区で割合が5割を上回っている。

問6. 貴団体はどのくらいの頻度で活動を行っていますか。(あてはまるもの1つに☑)



活動頻度は、「月に1~2回」が51.1%で最も多く、以下、「週1回以上」が27.4%、「3か月に1~2回」が8.6%、「年に1~2回」が4.0%、「現在活動していない」が4.0%などとなっている。

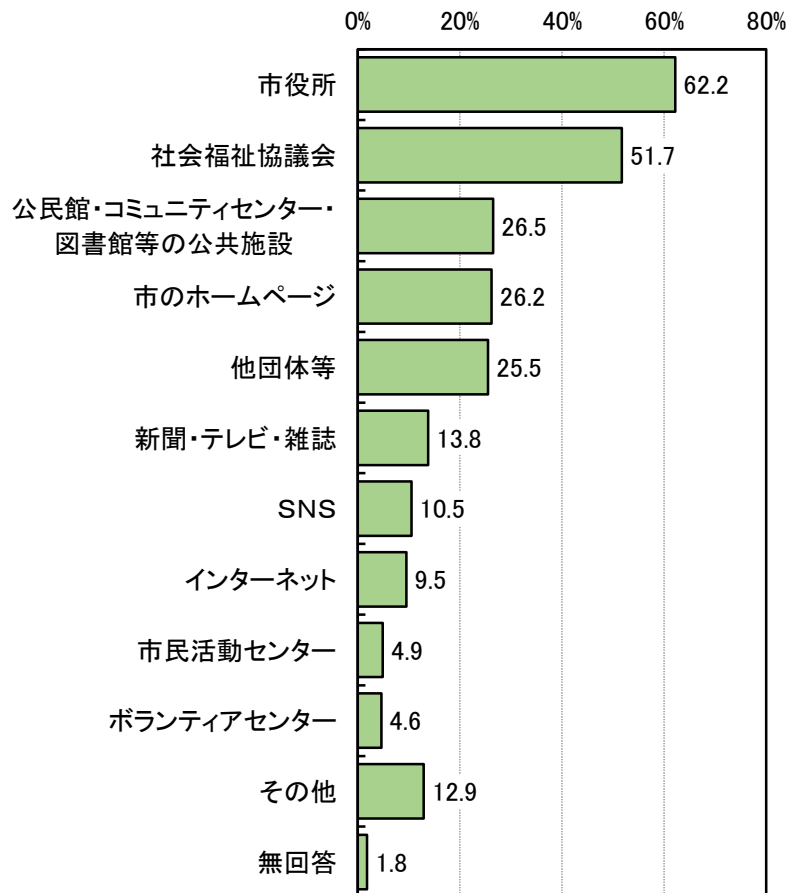
▶ 地区別クロス集計



地区別で見ると、「月に1~2回」の割合が多い地区が半数を占めているが「週1回以上」の割合が多い地区も見られることから、二極化している様子が窺える。

問7. 貴団体が活動に必要な情報はどこから入手していますか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



活動に必要な情報の入手先は、「市役所」が62.2%で最も多く、以下、「社会福祉協議会」が51.7%、「公民館・コミュニティセンター・図書館等の公共施設」が26.5%、「市のホームページ」が26.2%、「他団体等」が25.5%などとなっている。

【インターネットの具体例】

- ・埼玉県ホームページ
- ・草加市PTA連合会ホームページ
- ・草加お知らせメール
- ・各種ニュース記事

【その他】

- ・スポーツ協会
- ・学校
- ・建築学会、溶接学会、非破壊検査学会
- ・市役所、警察署
- ・利用者からの聞きとり情報
- ・メーリングリスト など

▶地区別クロス集計

【単位：％】

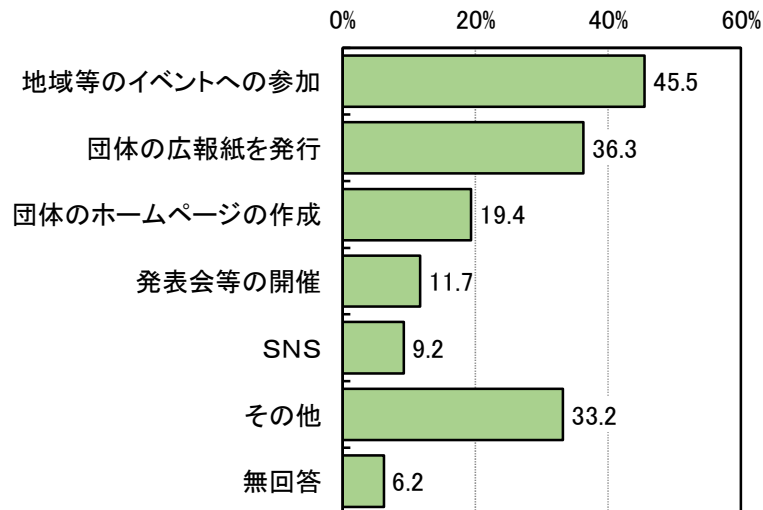
	市役所	社会福祉協 議会	公民館・コ ミュニティ センター・ 図書館等の 公共施設	市のホーム ページ	他団体等	新聞・テレ ビ・雑誌
市内全域【n=44】	59.1	25.0	20.5	22.7	27.3	13.6
新田西部地区【n=22】	77.3	68.2	27.3	9.1	22.7	13.6
新田東部地区【n=27】	51.9	59.3	22.2	18.5	22.2	18.5
草加川柳地区【n=21】	61.9	33.3	28.6	33.3	38.1	14.3
草加安行地区【n=23】	60.9	73.9	26.1	47.8	30.4	13.0
草加西部地区【n=23】	60.9	52.2	26.1	13.0	17.4	0.0
草加東部地区【n=34】	67.6	44.1	20.6	26.5	20.6	14.7
草加稲荷地区【n=13】	61.5	76.9	53.8	38.5	30.8	15.4
谷塚西部地区【n=15】	80.0	73.3	66.7	26.7	26.7	13.3
谷塚中央地区【n=15】	73.3	73.3	6.7	6.7	13.3	6.7
谷塚東部地区【n=5】	60.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	67.7	74.2	45.2	29.0	22.6	6.5
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	62.9	42.9	11.4	34.3	42.9	31.4
県内全域【n=8】	12.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5
その他【n=8】	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	S N S	インター ネット	市民活動セ ンター	ボランティ アセンター	その他	無回答
市内全域【n=44】	15.9	18.2	2.3	2.3	22.7	2.3
新田西部地区【n=22】	4.5	4.5	0.0	9.1	9.1	0.0
新田東部地区【n=27】	7.4	3.7	3.7	11.1	7.4	7.4
草加川柳地区【n=21】	9.5	9.5	4.8	0.0	9.5	0.0
草加安行地区【n=23】	17.4	13.0	0.0	0.0	17.4	0.0
草加西部地区【n=23】	4.3	4.3	4.3	0.0	8.7	4.3
草加東部地区【n=34】	8.8	0.0	0.0	0.0	5.9	2.9
草加稲荷地区【n=13】	0.0	0.0	15.4	15.4	15.4	0.0
谷塚西部地区【n=15】	13.3	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	6.7	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0
谷塚東部地区【n=5】	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	6.5	0.0	3.2	3.2	12.9	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	14.3	22.9	14.3	11.4	11.4	0.0
県内全域【n=8】	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0
その他【n=8】	12.5	25.0	0.0	12.5	50.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「社会福祉協議会」をみると、草加安行地区、草加稲荷地区、谷塚西部地区、谷塚中央地区で7割を超えるなど割合が多くなっているが、市内全域、草加川柳地区では割合は2～3割程度と差がみられた。

問8. 貴団体の活動をどのような方法でPRしていますか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



活動のPR方法は、「地域等のイベントへの参加」が45.5%で最も多く、以下、「団体の広報紙を発行」が36.3%、「団体のホームページの作成」が19.4%、「発表会等の開催」が11.7%などとなっている。

【その他】

- ・ 競技大会の開催
- ・ 公施設でのパネル展、講演会等
- ・ 活動地域掲示板にポスター提示、町会回覧板にて回覧依頼
- ・ 草加市広報「そうか」
- ・ 月に1回の役員会議事録及び公共からの依頼事項の回覧
- ・ 活動時に町会長、商店会長、店舗等に挨拶
- ・ スポーツ協会HP など

▶ 地区別クロス集計

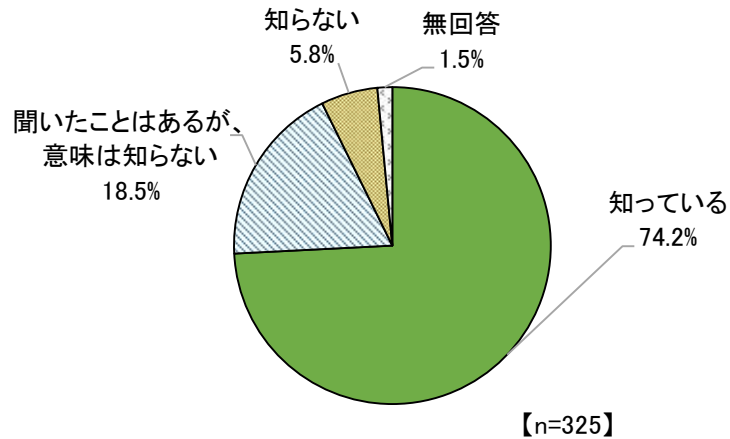
【単位：％】

	地域等のイベントへの参加	団体の広報紙を発行	団体のホームページの作成	発表会等の開催	SNS	その他	無回答
市内全域【n=44】	36.4	20.5	29.5	13.6	11.4	47.7	2.3
新田西部地区【n=22】	59.1	36.4	13.6	22.7	4.5	40.9	0.0
新田東部地区【n=27】	25.9	44.4	11.1	3.7	11.1	37.0	18.5
草加川柳地区【n=21】	42.9	42.9	28.6	4.8	4.8	14.3	4.8
草加安行地区【n=23】	43.5	43.5	8.7	8.7	17.4	30.4	4.3
草加西部地区【n=23】	30.4	47.8	0.0	0.0	0.0	34.8	17.4
草加東部地区【n=34】	58.8	29.4	23.5	8.8	11.8	20.6	5.9
草加稲荷地区【n=13】	61.5	53.8	7.7	23.1	0.0	15.4	7.7
谷塚西部地区【n=15】	60.0	60.0	0.0	20.0	6.7	20.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	46.7	26.7	0.0	6.7	0.0	40.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	40.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	54.8	29.0	0.0	6.5	3.2	41.9	9.7
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	54.3	37.1	48.6	20.0	20.0	42.9	2.9
県内全域【n=8】	0.0	12.5	50.0	25.0	25.0	37.5	0.0
その他【n=8】	37.5	25.0	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5
無回答【n=1】	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域別では、谷塚西部地区、谷塚東部地区では「団体の広報紙を発行」の割合が多くなっている。

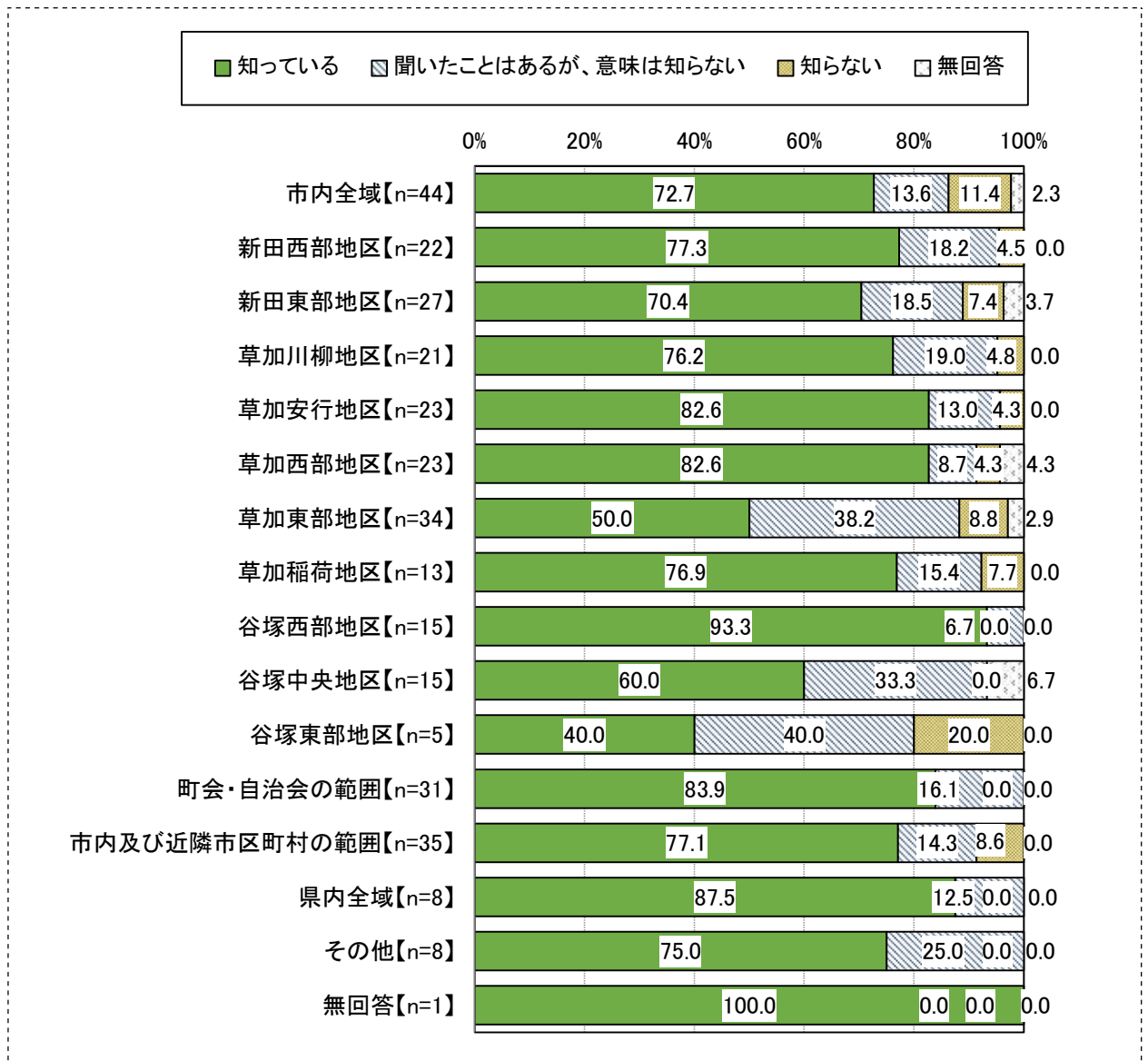
また、市内全域や市内及び近隣市区町村の範囲では、「イベントの参加」や「団体の広報紙を発行」、「SNS」などバランスよく取り入れている様子が窺える。

問9. 「地域福祉」という言葉や意味を知っていますか。(あてはまるもの1つに☑)



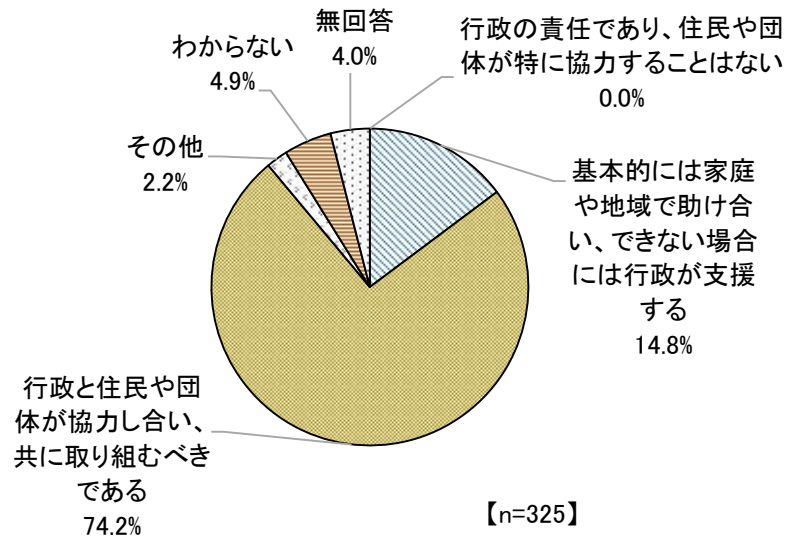
「地域福祉」について、7割が「知っている」と回答している。

▶地区別クロス集計



地区別で「知っている」をみると、草加東部地区と谷塚東部地区を除くいずれの地区でも割合が高い傾向がみられた。

問10. 地域福祉を推進するに当たって、貴団体の考え方は、次のどれに近いですか。
 (あてはまるもの1つに☑)



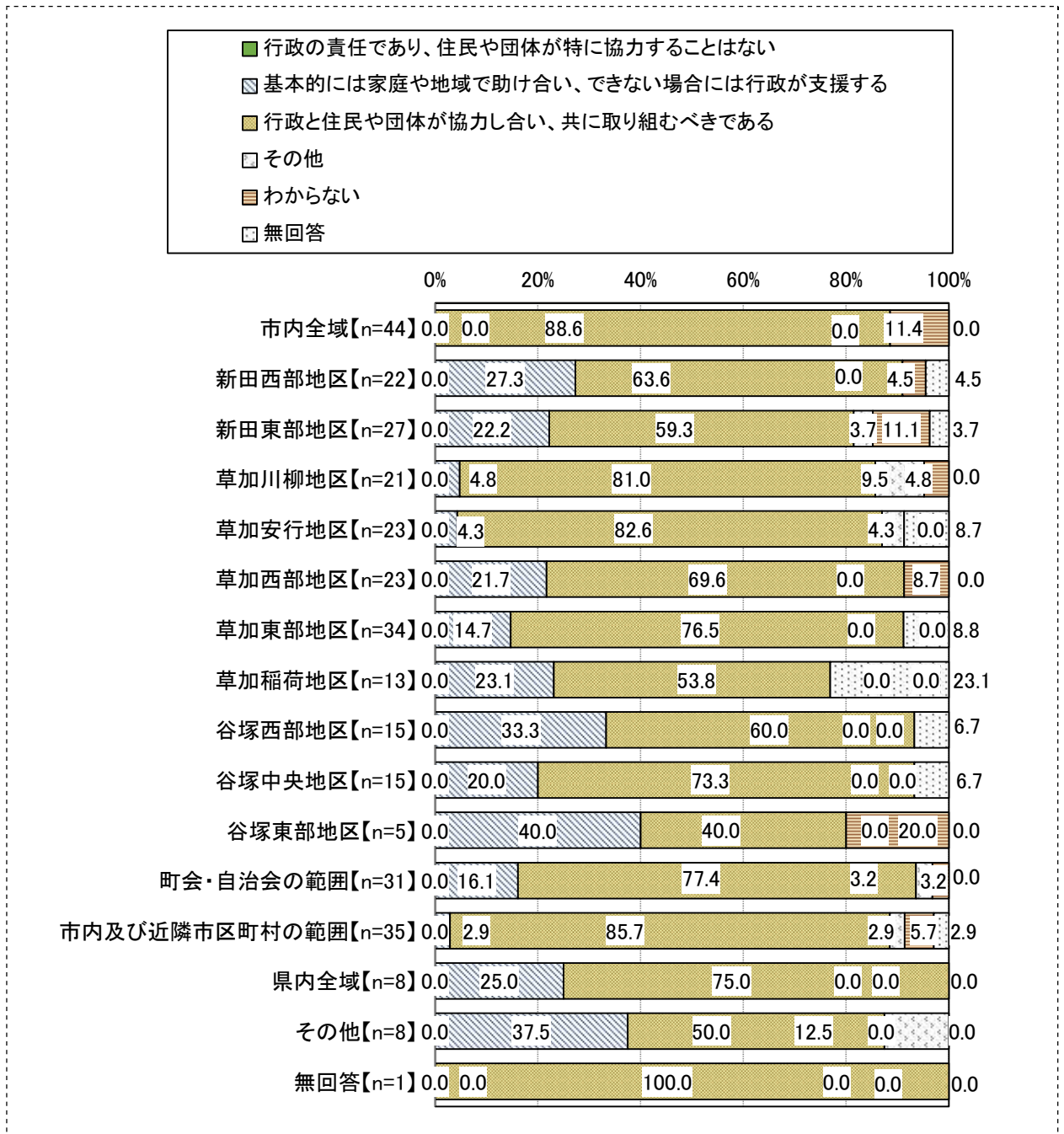
「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」が74.2%で最も多く、以下、「基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合には行政が支援する」が14.8%となっている。

また、4.9%が「わからない」と回答している。

【その他】

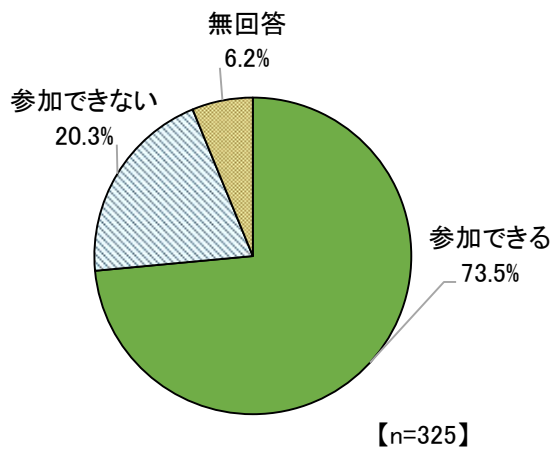
- ・商店会活動に加入促進することさえ難しい
- ・行政が主体となり住民や団体との協議、意見を吸い上げて、協力を求めて共に取り組むべきである
- ・行政の占める責任の割合は大きいと思う。しかし、住民や団体が協力することも大切だと思う。

▶地区別クロス集計



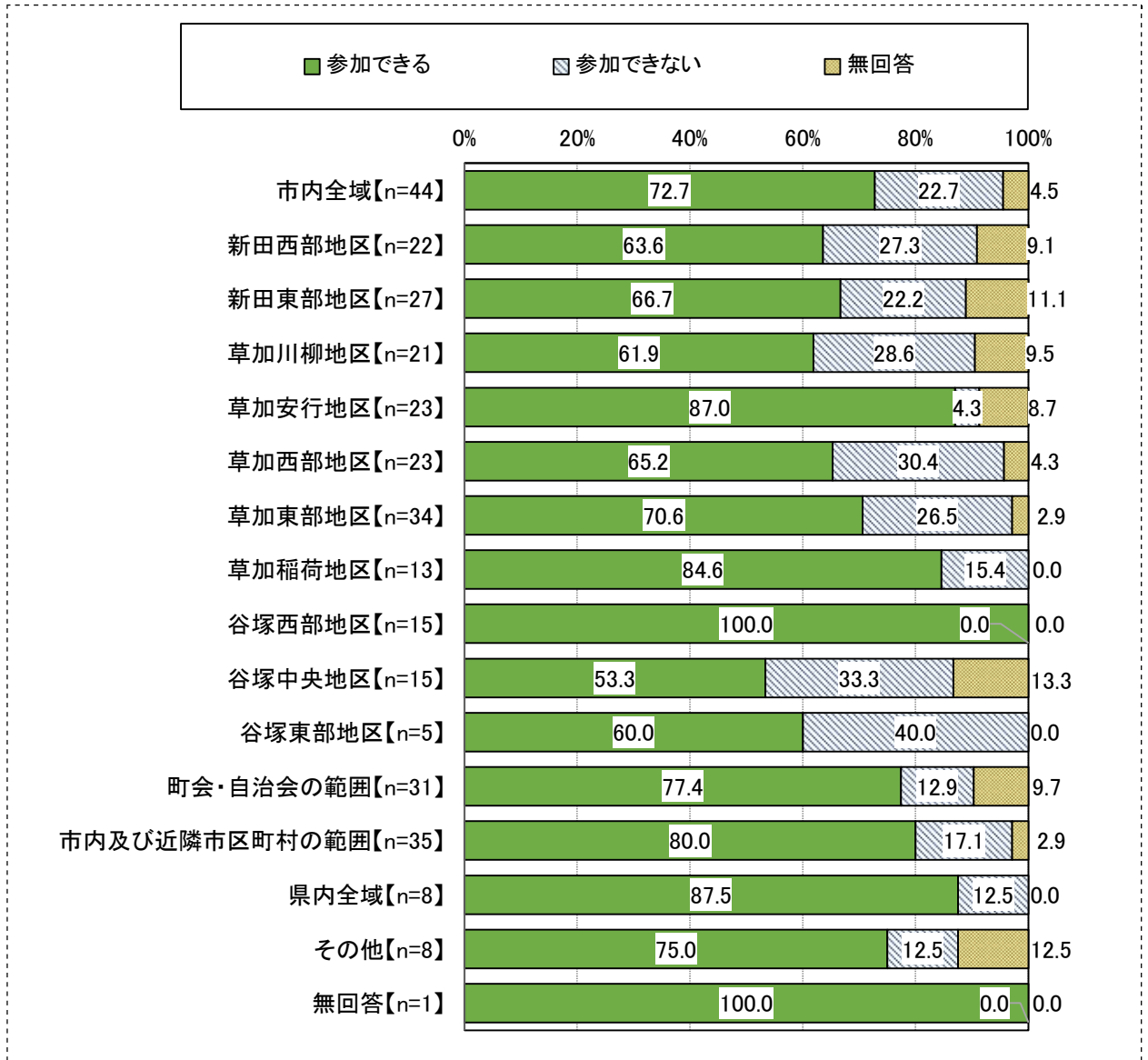
地区別で見ると、谷塚東部地区を除くいずれの地区も「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」の割合が多くなっている。谷塚東部地区では、「基本的には家庭や地域で助け合い、できない場合には行政が支援する」と「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」が同率であった。

問11. 貴団体の活動の協力者として、住民や他団体が参加できますか。
(あてはまるもの1つに☑)



貴団体の活動の協力者として、住民や他団体が参加できるか尋ねたところ、「参加できる」が73.5%、「参加できない」が20.3%となっている。

▶ 地区別クロス集計



地区別で見ると、谷塚東部地区では「参加できない」の割合が多い傾向がみられた。

▶問11「貴団体の活動の協力者として、住民や他団体が参加できますか」と問15「地域活動やボランティア活動を活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか」のクロス集計

【単位：％】

	団体や活動についてのPR	団体運営上のアドバイス	活動場所の確保	活動発表の場	指導者や他団体の活動に関する情報	参加者募集の支援	その他	無回答
参加できる【n=239】	47.7	9.2	7.5	2.1	10.9	11.3	5.4	5.9
参加できない【n=66】	31.8	1.5	13.6	0.0	10.6	13.6	12.1	16.7
無回答【n=20】	50.0	5.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	20.0

「参加できる」を軸にみると、「団体や活動についてのPR」、「団体運営上のアドバイス」が多い傾向がみられた。

▶問11「貴団体の活動の協力者として、住民や他団体が参加できますか」と問16「今後、福祉分野と福祉分野以外で活動している団体等が交流・連携するためには、こういった環境が必要だと思います」のクロス集計

【単位：％】

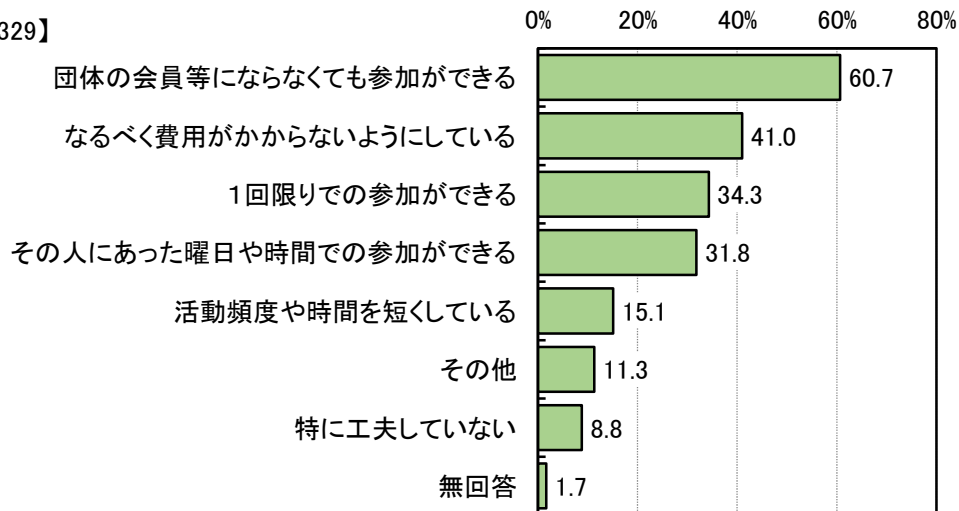
	それぞれの活動をつなぐ人材の育成	合同イベントなどの開催	情報共有ツールの活用	定期的な会議の開催	広報紙の作成	その他	無回答
参加できる【n=239】	47.7	41.4	41.8	17.2	9.6	2.1	4.6
参加できない【n=66】	33.3	39.4	27.3	22.7	7.6	9.1	12.1
無回答【n=20】	35.0	30.0	25.0	25.0	20.0	5.0	5.0

「参加できる」を軸にみると、「それぞれの活動をつなぐ人材の育成」、「合同イベントなどの開催」、「情報共有ツールの活用」の割合が「参加できない」よりも多くなっている。

問11-1. 問11で「①参加できる」と答えた団体にお聞きします。

貴団体では住民などが気軽に参加できるよう、何か工夫していることはありますか。（あてはまるもの全てに☑）

【n=329】



住民などが気軽に参加できるよう、工夫している点を尋ねたところ、「団体の会員等にならなくても参加ができる」が60.7%で最も多く、以下、「なるべく費用がかからないようにしている」が41.0%、「1回限りでの参加ができる」が34.3%、「その人にあった曜日や時間での参加ができる」が31.8%、「活動頻度や時間を短くしている」が15.1%などとなっている。

【その他】

- ・ボランティアの受け入れ。
- ・現実には研修やスキルが必要であり、気軽に参加できるとは言いがたいが、事業の利用者自身もつ特性を發揮してもらうことで気軽に参加できる場を見つけられるように工夫している。

▶地区別クロス集計

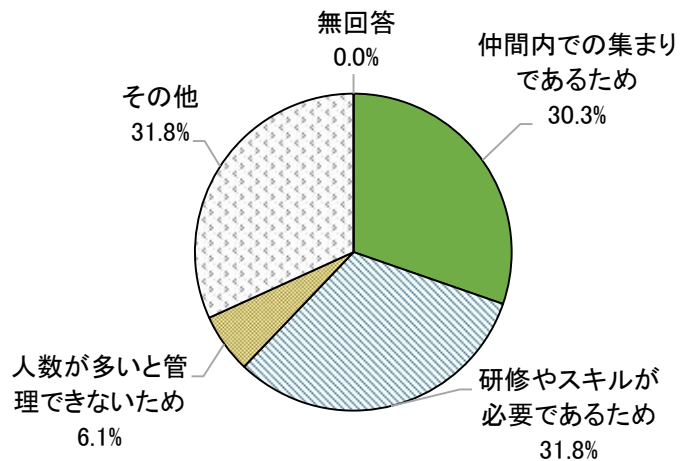
【単位：%】

	団体の会員等にならなくても参加ができる	なるべく費用がかからないようにしている	1回限りでの参加ができる	その人にあつた曜日や時間での参加ができる	活動頻度や時間を短くしている	その他	特に工夫していない	無回答
市内全域【n=32】	62.5	43.8	43.8	34.4	12.5	15.6	3.1	3.1
新田西部地区【n=14】	78.6	42.9	35.7	35.7	28.6	14.3	0.0	0.0
新田東部地区【n=18】	77.8	27.8	38.9	27.8	11.1	22.2	0.0	0.0
草加川柳地区【n=13】	61.5	30.8	38.5	30.8	7.7	0.0	23.1	0.0
草加安行地区【n=20】	40.0	55.0	20.0	45.0	35.0	10.0	0.0	5.0
草加西部地区【n=15】	66.7	46.7	53.3	13.3	13.3	13.3	0.0	0.0
草加東部地区【n=24】	50.0	29.2	12.5	45.8	12.5	8.3	29.2	0.0
草加稲荷地区【n=11】	81.8	81.8	27.3	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=15】	53.3	40.0	33.3	26.7	6.7	6.7	13.3	0.0
谷塚中央地区【n=8】	75.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0
谷塚東部地区【n=3】	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=24】	37.5	37.5	25.0	29.2	20.8	20.8	8.3	4.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=28】	71.4	42.9	53.6	21.4	0.0	10.7	14.3	0.0
県内全域【n=7】	57.1	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3
その他【n=6】	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で見ると、草加稲荷地区では、「団体の会員等にならなくても参加できる」、「なるべく費用がかからないようにしている」の割合が他の地区より多くなっている。

問11-2. 問11で「②参加できない」と答えた団体にお聞きします。

参加できない理由をお聞かせください。（あてはまるもの全てに☑）



【n=66】

問11で「②参加できない」と答えた団体に参加できない理由を尋ねたところ、「研修やスキルが必要であるため」と「その他」が31.8%で最も多く、以下、「仲間内での集まりであるため」が30.3%、「人数が多いと管理できないため」が6.1%となっている。

【その他】

- ・自治会のため
- ・経済活動のつながりが中心の団体である為
- ・会員は会費を払っているため
- ・大多数が45年程前に設立。現在高齢者がほとんどで自治会継続に不安がある。
- ・商店会のため など

▶地区別クロス集計

【単位：％】

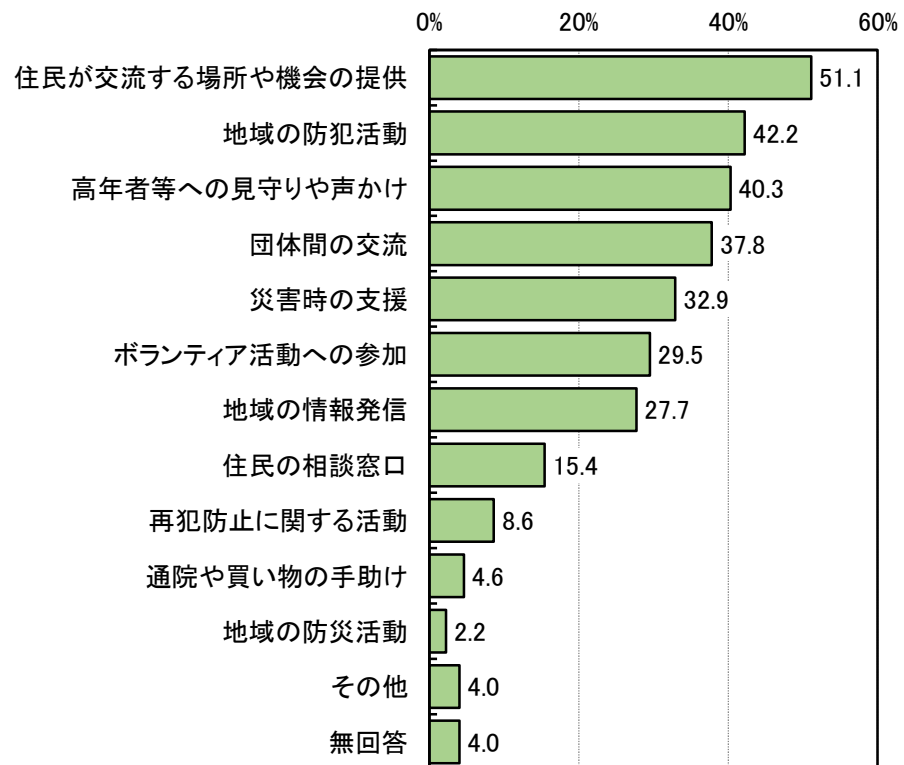
	仲間内での集まりであるため	研修やスキルが必要であるため	人数が多いと管理できないため	その他	無回答
市内全域【n=10】	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
新田西部地区【n=6】	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0
新田東部地区【n=6】	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
草加川柳地区【n=6】	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0
草加安行地区【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=7】	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0
草加東部地区【n=9】	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0
草加稲荷地区【n=2】	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=5】	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0
谷塚東部地区【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=4】	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲【n=6】	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
県内全域【n=1】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他【n=1】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で見ると、市内地域では「仲間内での集まりであるため」と「研修やスキルが必要であるため」が同数となっている。草加東部地区では、「研修やスキルが必要であるため」の割合が多い傾向がみられた。

問12. 貴団体が実施している、実施できそうな活動は次のうちどれですか。

(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



実施している、実施できそうな活動では、「住民が交流する場所や機会の提供」が51.1%で最も多く、以下、「地域の防犯活動」が42.2%、「高年者等への見守りや声かけ」が40.3%、「団体間の交流」が37.8%、「災害時の支援」が32.9%などとなっている。

【その他】

- ・ 税務相談
- ・ 大震災、大洪水時の人命救助、緊急物資輸送
- ・ イベント(祭等)への協力
- ・ 祭礼等は委員会で活動し回覧通知
- ・ 高齢者の健康維持の為の諸々活動、軽い運動等
- ・ みはるくん活動（子供登校下校時のみはる）
- ・ 町会の防犯・防災部担当
- ・ 市内各地・場所に花の植樹。子ども食堂に野菜を育て提供
- ・ 地域の外国人住民への日本語・生活・文化指導
- ・ 子どもと子育て中の親との交流
- ・ 介護相談
- ・ 防災時に、自治会館にどのような備蓄があるかの周知し、また、防災時にどのようにそれらの備蓄を利用するかについても周知する。また、防災訓練を通じて、隣近所の交流を促進する。 など

▶地区別クロス集計

【単位：％】

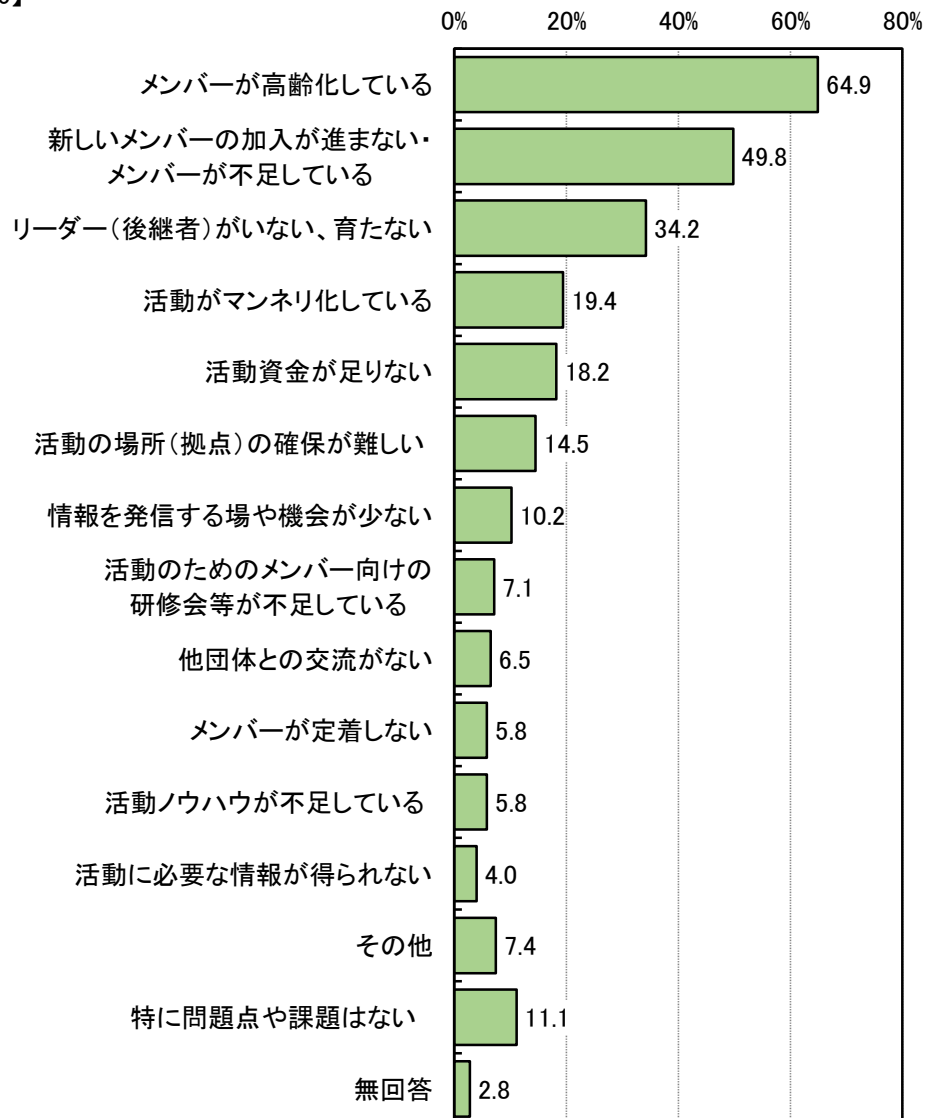
	住民が交流する場所や機会の提供	地域の防犯活動	高齢者等への見守りや声かけ	団体間の交流	災害時の支援	ボランティア活動への参加	地域の情報発信
市内全域【n=44】	36.4	15.9	15.9	45.5	20.5	43.2	22.7
新田西部地区【n=22】	59.1	54.5	54.5	36.4	45.5	18.2	31.8
新田東部地区【n=27】	59.3	40.7	44.4	33.3	25.9	25.9	18.5
草加川柳地区【n=21】	42.9	38.1	38.1	38.1	38.1	19.0	33.3
草加安行地区【n=23】	65.2	43.5	56.5	21.7	21.7	26.1	30.4
草加西部地区【n=23】	52.2	34.8	43.5	30.4	21.7	17.4	26.1
草加東部地区【n=34】	47.1	61.8	44.1	35.3	38.2	26.5	32.4
草加稲荷地区【n=13】	53.8	76.9	76.9	53.8	61.5	46.2	53.8
谷塚西部地区【n=15】	73.3	53.3	60.0	33.3	33.3	26.7	46.7
谷塚中央地区【n=15】	26.7	66.7	40.0	13.3	46.7	20.0	20.0
谷塚東部地区【n=5】	80.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	71.0	77.4	54.8	41.9	54.8	35.5	35.5
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	48.6	5.7	14.3	60.0	28.6	34.3	22.9
県内全域【n=8】	37.5	25.0	25.0	37.5	12.5	37.5	0.0
その他【n=8】	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	住民の相談窓口	再犯防止に関する活動	通院や買い物の手助け	地域の防災活動	その他	無回答
市内全域【n=44】	15.9	4.5	2.3	0.0	6.8	0.0
新田西部地区【n=22】	13.6	9.1	4.5	4.5	0.0	4.5
新田東部地区【n=27】	14.8	7.4	7.4	3.7	0.0	7.4
草加川柳地区【n=21】	19.0	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8
草加安行地区【n=23】	4.3	8.7	4.3	0.0	13.0	8.7
草加西部地区【n=23】	8.7	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7
草加東部地区【n=34】	5.9	11.8	0.0	0.0	2.9	0.0
草加稲荷地区【n=13】	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7
谷塚西部地区【n=15】	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	6.7
谷塚東部地区【n=5】	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	12.9	6.5	3.2	9.7	0.0	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	25.7	5.7	8.6	5.7	8.6	2.9
県内全域【n=8】	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
その他【n=8】	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で見ると、「地域の防犯活動」、「高齢者等への見守りや声かけ」では、市内全域や近隣市区町村、県内全域といった広域で活動している団体の割合は少なくなっている。

問13. 貴団体の活動全般での問題点や課題はありますか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



活動全般での問題点や課題では、「メンバーが高齢化している」が64.9%で最も多く、以下、「新しいメンバーの加入が進まない・メンバーが不足している」が49.8%、「リーダー(後継者)がいない、育たない」が34.2%、「活動がマンネリ化している」が19.4%、「活動資金が足りない」が18.2%などとなっている。

【その他】

- ・行政の子育て支援策の補助なので、自団体の思いだけでは、どうにもならない事がある。
- ・学校や地域との共通認識が取れていないことがある。
- ・コロナ禍による活動制限。
- ・強制加入の自治会のため、役員をやりたがる人がいない。
- ・共稼ぎがあたり前で活動の時間がとりにくい。
- ・住民の高齢化。若い人達は自分の家庭を守るため地域活動に関心がない。
- ・定年や都合で辞められる方の後継者を探すのが大変 など

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

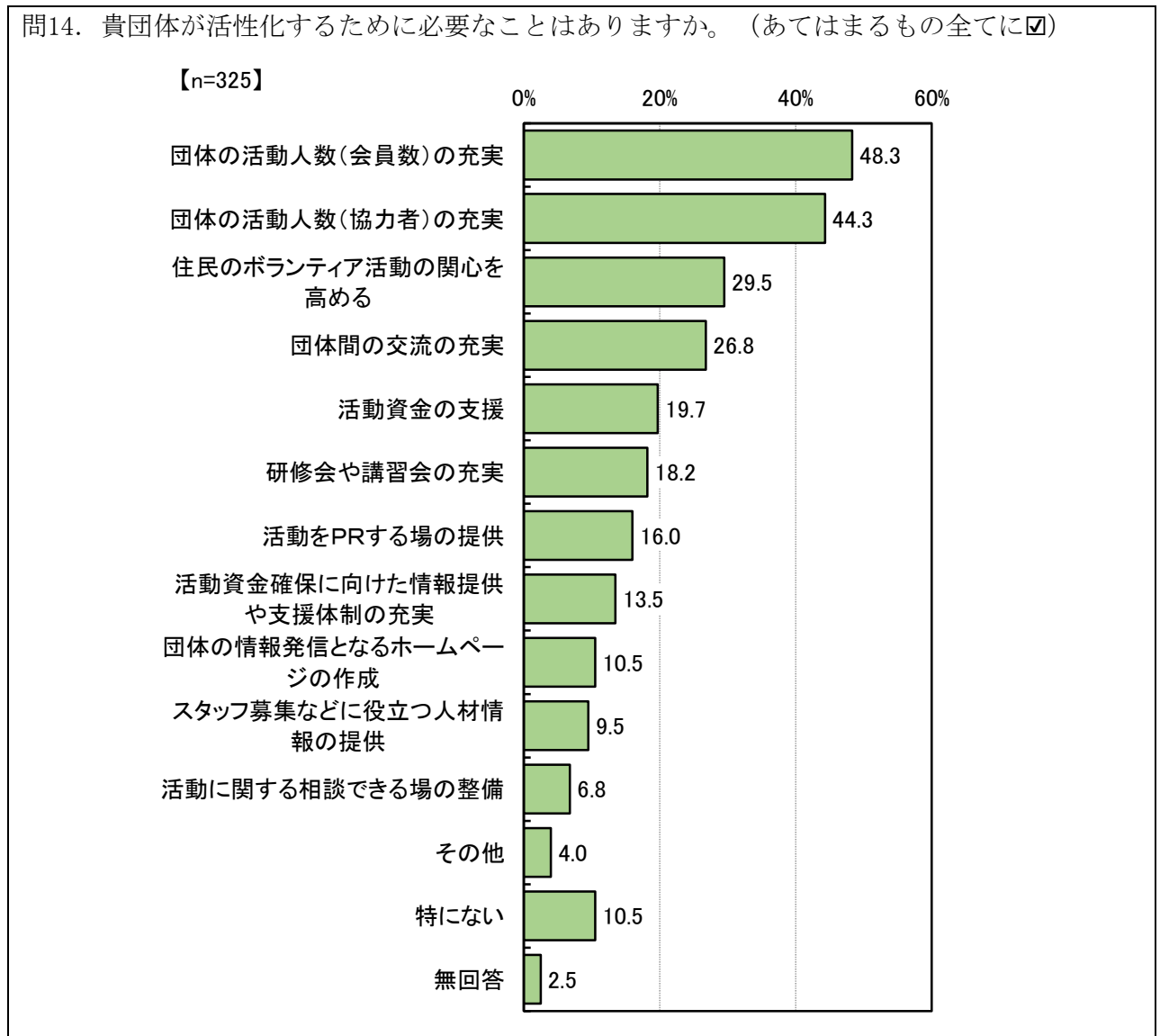
	メンバーが高齢化している	新しいメンバーの加入が進まない・メンバーが不足している	リーダー（後継者）がいない、育たない	活動がマンネリ化している	活動資金が足りない	活動の場所（拠点）の確保が難しい	情報を発信する場や機会が少ない	活動のためのメンバー向けの研修会等が不足している
市内全域【n=44】	63.6	50.0	22.7	9.1	25.0	25.0	11.4	4.5
新田西部地区【n=22】	63.6	63.6	31.8	27.3	22.7	4.5	9.1	13.6
新田東部地区【n=27】	55.6	51.9	29.6	11.1	22.2	18.5	11.1	22.2
草加川柳地区【n=21】	61.9	47.6	38.1	14.3	9.5	14.3	9.5	0.0
草加安行地区【n=23】	69.6	60.9	30.4	4.3	8.7	17.4	8.7	0.0
草加西部地区【n=23】	65.2	43.5	30.4	30.4	13.0	8.7	0.0	13.0
草加東部地区【n=34】	67.6	44.1	29.4	41.2	14.7	14.7	0.0	5.9
草加稲荷地区【n=13】	61.5	38.5	53.8	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0
谷塚西部地区【n=15】	73.3	73.3	53.3	20.0	40.0	6.7	20.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	80.0	66.7	33.3	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0
谷塚東部地区【n=5】	60.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	74.2	51.6	51.6	22.6	12.9	12.9	9.7	6.5
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	57.1	40.0	31.4	20.0	22.9	22.9	17.1	14.3
県内全域【n=8】	50.0	37.5	37.5	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
その他【n=8】	62.5	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	他団体との交流がない	メンバーが定着しない	活動ノウハウが不足している	活動に必要な情報が得られない	その他	特に問題点や課題はない	無回答
市内全域【n=44】	6.8	6.8	4.5	2.3	11.4	11.4	0.0
新田西部地区【n=22】	0.0	13.6	9.1	13.6	22.7	13.6	0.0
新田東部地区【n=27】	7.4	7.4	7.4	7.4	18.5	18.5	11.1
草加川柳地区【n=21】	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0
草加安行地区【n=23】	8.7	4.3	0.0	0.0	8.7	8.7	0.0
草加西部地区【n=23】	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	8.7	4.3
草加東部地区【n=34】	8.8	2.9	5.9	5.9	2.9	8.8	2.9
草加稲荷地区【n=13】	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4
谷塚西部地区【n=15】	0.0	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0
谷塚中央地区【n=15】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	6.7
谷塚東部地区【n=5】	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	3.2	3.2	9.7	0.0	6.5	6.5	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	11.4	0.0	5.7	2.9	2.9	5.7	2.9
県内全域【n=8】	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0
その他【n=8】	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別でみると、いずれの地区においても「メンバーが高齢化している」、「新しいメンバーの加入が進まない・メンバーが不足している」の割合が多い傾向がみられる。

また、草加稲荷地区、谷塚西部地区、町会・自治会の範囲では「リーダー（後継者）がいない、育たない」の割合が他の地区より多くなっている。

問14. 貴団体が活性化するために必要なことはありますか。(あてはまるもの全てに☑)



団体が活性化するために必要なことでは、「団体の活動人数（会員数）の充実」が48.3%で最も多く、以下、「団体の活動人数（協力者）の充実」が44.3%、「住民のボランティア活動の関心を高める」が29.5%、「団体間の交流の充実」が26.8%、「活動資金の支援」が19.7%などとなっている。

【その他】

- ・ 団体内の交流
- ・ 学校や地域との共通認識を図ること
- ・ ボランティア活動する人がいない。入ってこないのが現実。今の時代、自分の好きな習い事や活動、又は仕事の人が多いと思う。
- ・ 町会内部役員の若がえり
- ・ 住民の興味関心に合うよう、活動内容を変える
- ・ コロナ禍の制限の解除
- ・ より上部団体（市、社会福祉協議会、町会連合など）からの依頼について、各住民ができれば、気軽に断れる環境づくり。もちろん、ボランティア募集の案内は自治会内で配布するが、そこで、希望者がいなければ、それは致し方のないことである。
- ・ 活動内容の見直しをし、デジタル化できるところを学習する など

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	団体の活動 人数（会員 数）の充実	団体の活動 人数（協力 者）の充実	住民のボラ ンティア活 動の関心を 高める	団体間の交 流の充実	活動資金の 支援	研修会や講 習会の充実	活動をPR する場の提 供
市内全域【n=44】	56.8	34.1	13.6	20.5	18.2	15.9	29.5
新田西部地区【n=22】	54.5	36.4	27.3	22.7	27.3	13.6	4.5
新田東部地区【n=27】	37.0	48.1	22.2	22.2	25.9	25.9	11.1
草加川柳地区【n=21】	42.9	33.3	28.6	23.8	23.8	19.0	9.5
草加安行地区【n=23】	43.5	47.8	47.8	34.8	17.4	13.0	0.0
草加西部地区【n=23】	34.8	43.5	26.1	17.4	21.7	13.0	8.7
草加東部地区【n=34】	50.0	61.8	35.3	26.5	17.6	14.7	11.8
草加稲荷地区【n=13】	30.8	30.8	23.1	69.2	23.1	15.4	15.4
谷塚西部地区【n=15】	46.7	53.3	46.7	53.3	20.0	20.0	33.3
谷塚中央地区【n=15】	53.3	60.0	26.7	13.3	20.0	13.3	13.3
谷塚東部地区【n=5】	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
町会・自治会の範囲【n=31】	45.2	54.8	64.5	32.3	6.5	22.6	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	54.3	45.7	17.1	25.7	25.7	25.7	37.1
県内全域【n=8】	75.0	25.0	0.0	12.5	25.0	37.5	25.0
その他【n=8】	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

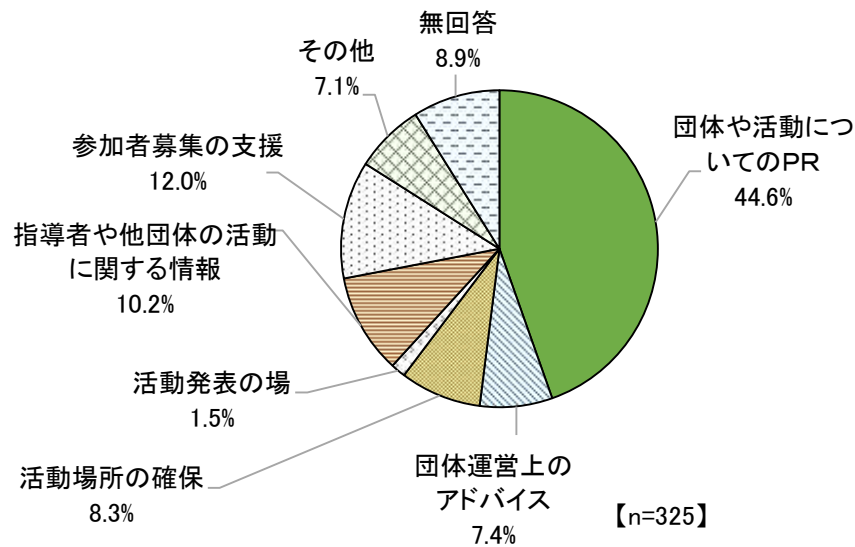
	活動資金確 保に向けた 情報提供や 支援体制の 充実	団体の情報 発信となる ホームペー ジの作成	スタッフ募 集などに役 立つ人材情 報の提供	活動に関す る相談でき る場の整備	その他	特にない	無回答
市内全域【n=44】	13.6	4.5	11.4	2.3	6.8	6.8	2.3
新田西部地区【n=22】	18.2	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	4.5
新田東部地区【n=27】	11.1	11.1	11.1	14.8	3.7	14.8	3.7
草加川柳地区【n=21】	9.5	28.6	14.3	9.5	0.0	19.0	0.0
草加安行地区【n=23】	13.0	13.0	8.7	13.0	8.7	4.3	0.0
草加西部地区【n=23】	17.4	0.0	8.7	8.7	0.0	8.7	4.3
草加東部地区【n=34】	0.0	2.9	2.9	5.9	2.9	5.9	0.0
草加稲荷地区【n=13】	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7
谷塚西部地区【n=15】	26.7	20.0	6.7	13.3	0.0	13.3	0.0
谷塚中央地区【n=15】	20.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	13.3
谷塚東部地区【n=5】	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	6.5	9.7	16.1	3.2	3.2	12.9	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	17.1	25.7	11.4	2.9	0.0	11.4	0.0
県内全域【n=8】	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
その他【n=8】	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「住民のボランティア活動の関心を高める」をみると、草加安行地区、谷塚西部地区、町会・自治会の範囲の割合が多い傾向がみられる。

また、「団体間の交流の充実」では、草加稲荷地区、谷塚西部地区の割合が多くなっている。

問13、14により、団体の高齢化、メンバー不足の現状が浮き彫りになっており、メンバーを増やすための工夫として、問11-1で挙げた工夫をしている現状が読み取れる。イベントなどに参加した住民が継続して活動に参加したくなるように、必要な支援や動機づけを検討することが重要である。

問15. 地域活動やボランティア活動を活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの1つに☑）



地域活動やボランティア活動を活性化するために必要なことでは、「団体や活動についてのPR」が44.6%で最も多く、以下、「参加者募集の支援」が12.0%、「指導者や他団体の活動に関する情報」が10.2%、「活動場所の確保」が8.3%、「団体運営上のアドバイス」が7.4%などとなっている。

問8では「地域等のイベントへの参加」、「団体の広報紙を発行」、「団体のホームページの作成」等の形でPR活動に取り組んでいるが、問15では「団体や活動についてのPR」の割合が多くなっていることから、PRが十分ではないという団体側の認識が窺える内容となっている。

【その他】

- ・開発のため店舗が減っているので移動できる店舗の確保をお願いしたい
- ・ボランティアに人件費を支払うことが出来るようになれば、活動に参加してみたいという人が増えると思う。ボランティアと行政が本気になって取り組む情熱が必要
- ・若い町会役員の増加
- ・行政といっしょに他団体との協力
- ・大変すぎないこと。若い人にやらせようとする意識を改めること。必要としている本人も活動していること。
- ・住民のボランティア意識の底上げ
- ・学校教育
- ・サロンの横断幕とか目立つものがほしい
- ・コロナ禍の制限の解除
- ・上部の団体からの依頼は、各個人の判断で、自分が出来なければ断れる環境づくり。また、可能性として、自分が何かをしたいなと思ったときにそれができる環境づくり。
- ・ボランティア活動は慣れてない人にはハードルが高く感じられてしまう。（やらされ感）できれば子供のうちからやりなれているといい。自分が楽しんでいることが社会貢献をしていると気づくとまたやりたくなる。（役割を持つ、責任感）

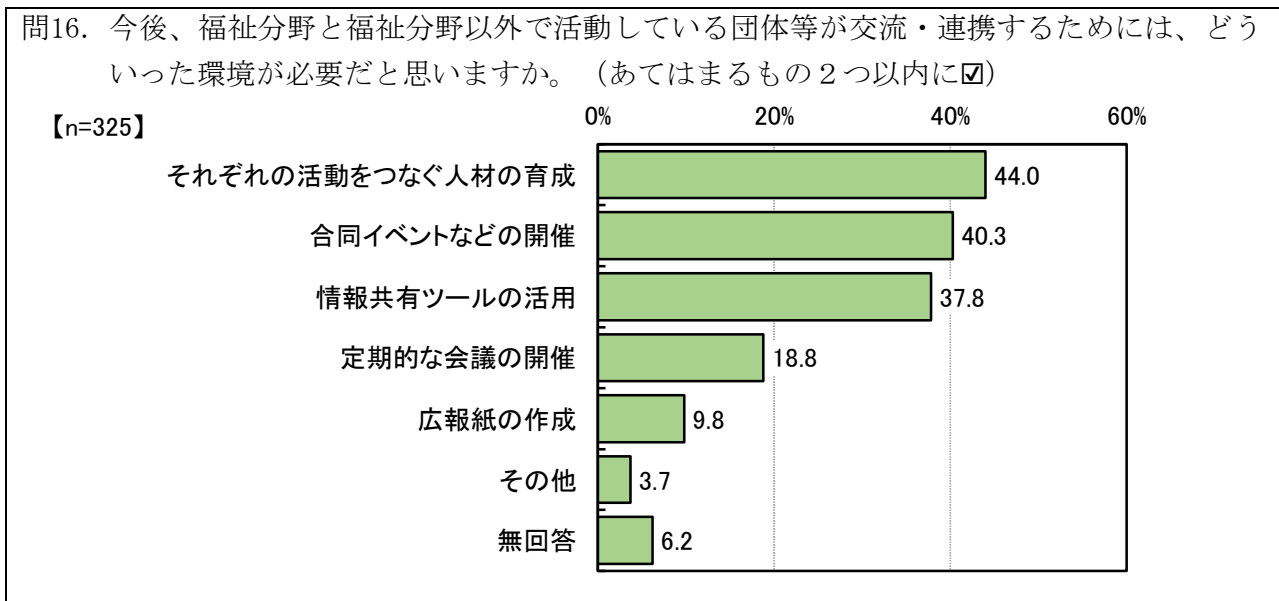
▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

	団体や活動 についての PR	団体運営上 のアドバイス	活動場所の 確保	活動発表の 場	指導者や他 団体の活動 に関する情報	参加者募集 の支援	その他	無回答
市内全域【n=44】	40.9	9.1	9.1	2.3	6.8	22.7	4.5	4.5
新田西部地区【n=22】	45.5	9.1	0.0	4.5	9.1	13.6	9.1	9.1
新田東部地区【n=27】	44.4	0.0	7.4	3.7	11.1	3.7	11.1	18.5
草加川柳地区【n=21】	47.6	0.0	9.5	4.8	9.5	23.8	4.8	0.0
草加安行地区【n=23】	43.5	21.7	0.0	0.0	8.7	13.0	8.7	4.3
草加西部地区【n=23】	34.8	17.4	4.3	0.0	4.3	4.3	8.7	26.1
草加東部地区【n=34】	52.9	2.9	5.9	0.0	14.7	8.8	0.0	14.7
草加稲荷地区【n=13】	61.5	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4
谷塚西部地区【n=15】	33.3	6.7	6.7	0.0	40.0	13.3	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	33.3	6.7	13.3	0.0	13.3	13.3	13.3	6.7
谷塚東部地区【n=5】	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	41.9	9.7	12.9	0.0	9.7	6.5	16.1	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	54.3	5.7	14.3	0.0	2.9	8.6	5.7	8.6
県内全域【n=8】	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
その他【n=8】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別でみると、谷塚西部地区では「指導者や他団体の活動に関する情報」の割合が多くなっている。

また、県内全域では他の地区より「活動場所の確保」の割合が多くなっている。



福祉分野と福祉分野以外で活動している団体等が交流・連携するために必要な環境について尋ねたところ、「それぞれの活動をつなぐ人材の育成」が44.0%で最も多く、以下、「合同イベントなどの開催」が40.3%、「情報共有ツールの活用」が37.8%、「定期的な会議の開催」が18.8%、「広報紙の作成」が9.8%となっている。

【その他】

- ・商店会が無くなりそうなのに分かりません
- ・交流・連携する意味や価値を、お互いの立場から伝え合うこと。おべっかや耳ざわりの良い言葉では人は動けない。
- ・認知証サポーター受講者や各種受講者に次のステップアップ活用モデルを紹介する
- ・交流会の開催 など

▶地区別クロス集計

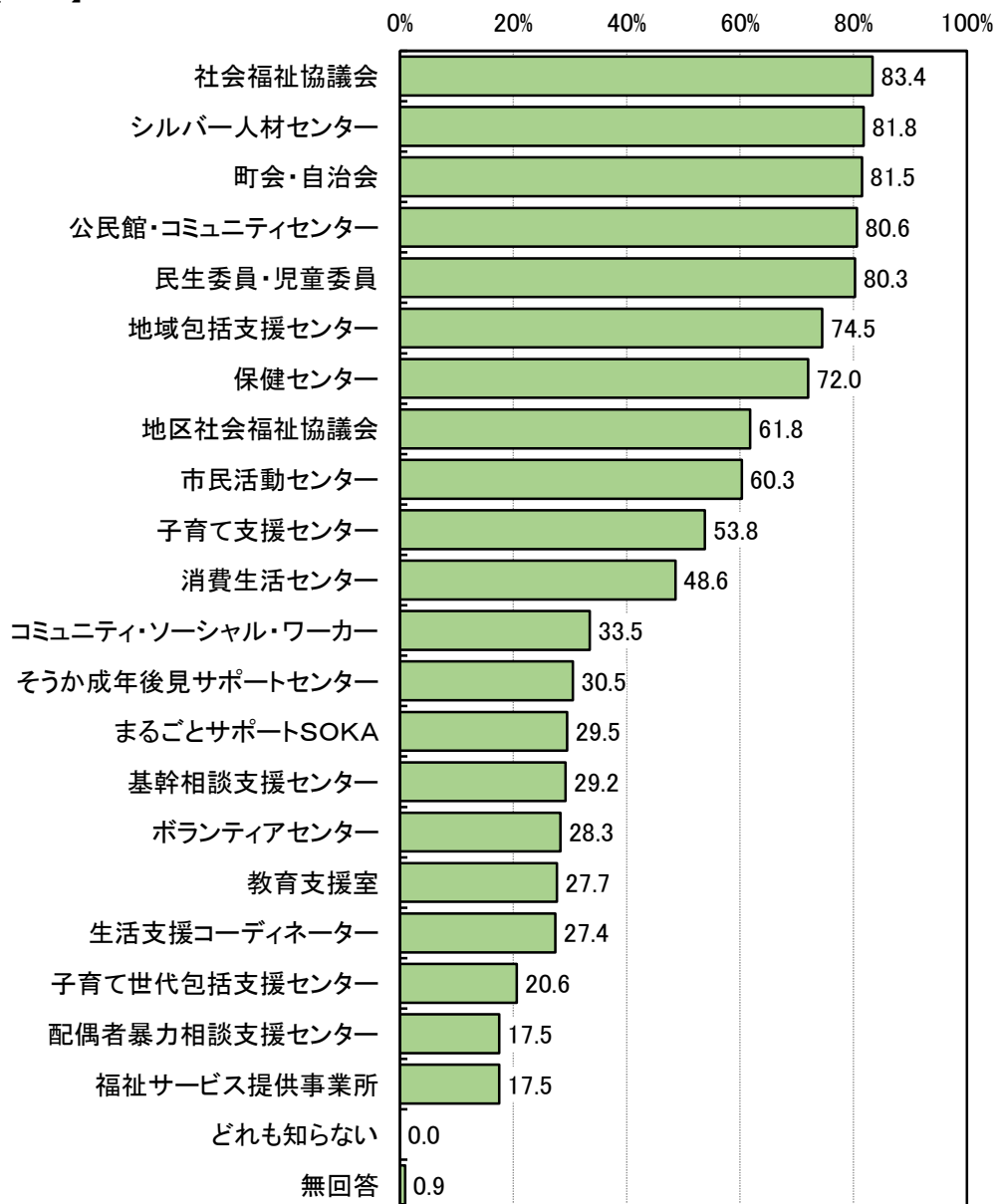
【単位：％】

	それぞれの活動をつなぐ人材の育成	合同イベントなどの開催	情報共有ツールの活用	定期的な会議の開催	広報紙の作成	その他	無回答
市内全域【n=44】	38.6	34.1	43.2	9.1	13.6	0.0	11.4
新田西部地区【n=22】	50.0	36.4	27.3	18.2	13.6	9.1	4.5
新田東部地区【n=27】	40.7	29.6	48.1	29.6	7.4	7.4	3.7
草加川柳地区【n=21】	47.6	33.3	47.6	38.1	4.8	4.8	0.0
草加安行地区【n=23】	34.8	43.5	47.8	21.7	8.7	4.3	4.3
草加西部地区【n=23】	47.8	34.8	26.1	21.7	4.3	4.3	8.7
草加東部地区【n=34】	58.8	47.1	32.4	8.8	8.8	0.0	11.8
草加稲荷地区【n=13】	38.5	69.2	23.1	23.1	15.4	0.0	15.4
谷塚西部地区【n=15】	20.0	60.0	60.0	20.0	6.7	6.7	0.0
谷塚中央地区【n=15】	40.0	20.0	26.7	20.0	26.7	0.0	6.7
谷塚東部地区【n=5】	40.0	40.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	51.6	35.5	32.3	12.9	3.2	6.5	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	45.7	48.6	40.0	17.1	5.7	2.9	2.9
県内全域【n=8】	50.0	50.0	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0
その他【n=8】	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5
無回答【n=1】	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で見ると、谷塚西部地区では「それぞれの活動をつなぐ人材の育成」の割合が他の地区より少ない傾向がみられる。また、谷塚東部地区では「広報紙の作成」の割合が他の地区より多くなっている。

問17. 貴団体は次の相談窓口・組織を知っていますか。(知っているもの全てに☑)

【n=325】



相談窓口、組織の認知度では、「社会福祉協議会」が83.4%で最も多く、以下、「シルバー人材センター（高年者の就業等に関すること）」が81.8%、「町会・自治会」が81.5%、「公民館・コミュニティセンター」が80.6%、「民生委員・児童委員」が80.3%などとなっている。また、「どれも知らない」の回答はなかった。

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	社会福祉協議会	シルバー人材センター	町会・自治会	公民館・コミュニティセンター	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	保健センター	地区社会福祉協議会
市内全域 [n=44]	84.1	77.3	84.1	79.5	81.8	63.6	81.8	52.3
新田西部地区 [n=22]	77.3	86.4	72.7	68.2	77.3	81.8	72.7	45.5
新田東部地区 [n=27]	81.5	81.5	77.8	85.2	81.5	85.2	63.0	66.7
草加川柳地区 [n=21]	85.7	85.7	81.0	76.2	81.0	61.9	61.9	52.4
草加安行地区 [n=23]	87.0	91.3	69.6	78.3	82.6	78.3	65.2	73.9
草加西部地区 [n=23]	87.0	69.6	82.6	73.9	87.0	65.2	78.3	65.2
草加東部地区 [n=34]	85.3	88.2	88.2	85.3	70.6	73.5	88.2	55.9
草加稲荷地区 [n=13]	76.9	69.2	76.9	84.6	84.6	76.9	69.2	92.3
谷塚西部地区 [n=15]	80.0	86.7	86.7	80.0	93.3	86.7	80.0	73.3
谷塚中央地区 [n=15]	100.0	86.7	93.3	86.7	86.7	80.0	66.7	73.3
谷塚東部地区 [n=5]	100.0	80.0	100.0	80.0	80.0	80.0	80.0	100.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	93.5	83.9	90.3	90.3	87.1	83.9	71.0	74.2
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	80.0	80.0	77.1	88.6	80.0	74.3	68.6	45.7
県内全域 [n=8]	62.5	87.5	62.5	50.0	62.5	62.5	37.5	75.0
その他 [n=8]	50.0	62.5	75.0	75.0	50.0	62.5	62.5	50.0
無回答 [n=1]	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

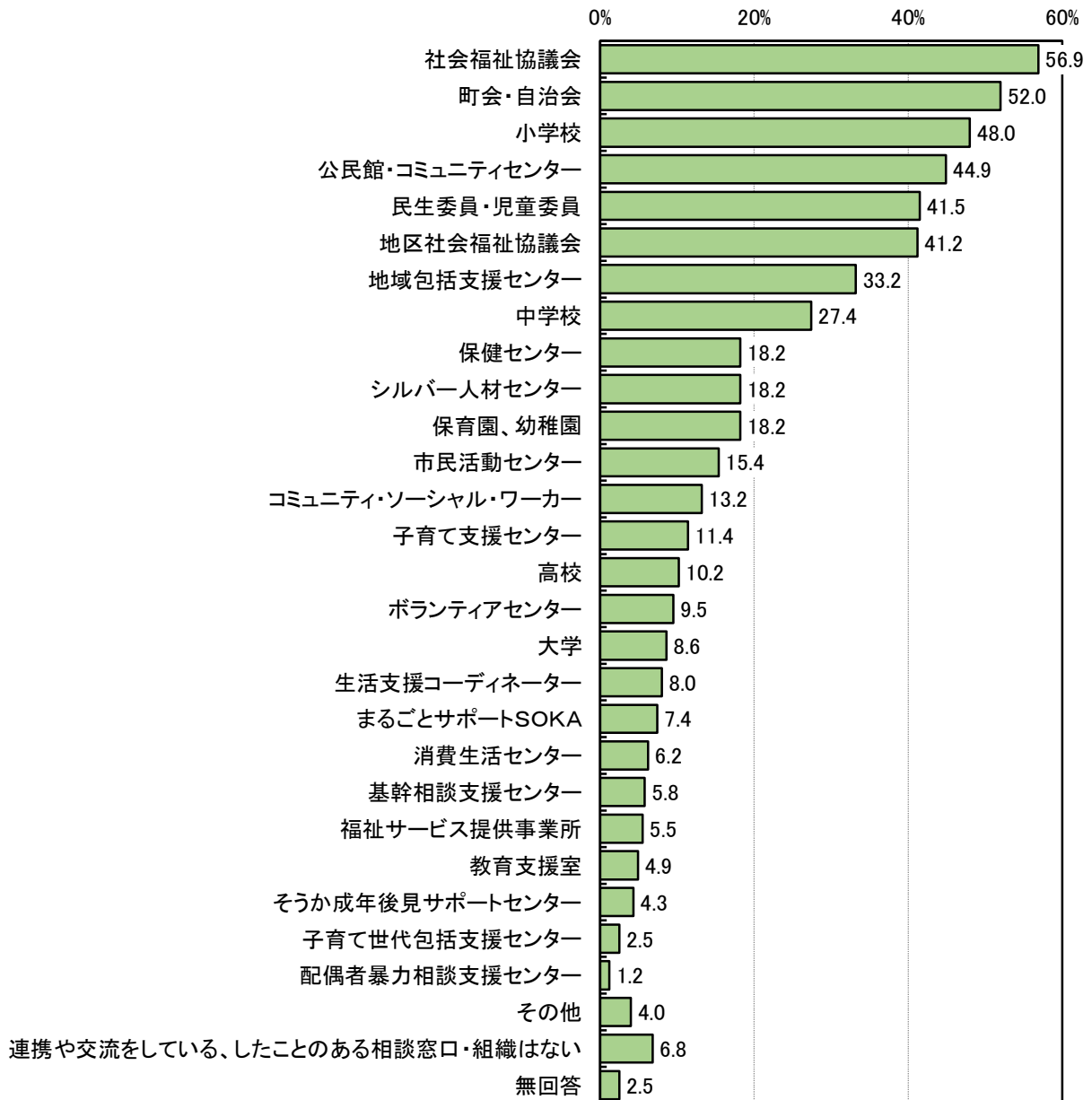
	市民活動センター	子育て支援センター	消費生活センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	そうか成年後見サポートセンター	まるごとサポートSO KA	基幹相談支援センター	ボランティアセンター
市内全域 [n=44]	65.9	68.2	43.2	36.4	34.1	34.1	40.9	38.6
新田西部地区 [n=22]	54.5	72.7	63.6	22.7	22.7	18.2	22.7	18.2
新田東部地区 [n=27]	48.1	55.6	70.4	55.6	29.6	40.7	37.0	29.6
草加川柳地区 [n=21]	38.1	47.6	42.9	28.6	23.8	19.0	19.0	9.5
草加安行地区 [n=23]	60.9	52.2	39.1	39.1	21.7	30.4	17.4	17.4
草加西部地区 [n=23]	52.2	47.8	47.8	26.1	39.1	21.7	17.4	26.1
草加東部地区 [n=34]	50.0	41.2	38.2	26.5	23.5	26.5	23.5	20.6
草加稲荷地区 [n=13]	61.5	61.5	46.2	30.8	46.2	53.8	53.8	46.2
谷塚西部地区 [n=15]	73.3	53.3	66.7	53.3	40.0	40.0	40.0	33.3
谷塚中央地区 [n=15]	93.3	33.3	26.7	40.0	20.0	20.0	33.3	6.7
谷塚東部地区 [n=5]	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	67.7	48.4	51.6	32.3	19.4	35.5	19.4	32.3
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	62.9	62.9	60.0	28.6	51.4	31.4	37.1	45.7
県内全域 [n=8]	62.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0
その他 [n=8]	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5
無回答 [n=1]	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

	教育支援室（教育に関すること）	生活支援コーディネーター	子育て世代包括支援センター	配偶者暴力相談支援センター	福祉サービス提供事業所	どれも知らない	無回答
市内全域 [n=44]	43.2	31.8	20.5	27.3	29.5	0.0	0.0
新田西部地区 [n=22]	9.1	22.7	13.6	13.6	22.7	0.0	0.0
新田東部地区 [n=27]	25.9	37.0	25.9	18.5	22.2	0.0	0.0
草加川柳地区 [n=21]	38.1	14.3	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0
草加安行地区 [n=23]	26.1	17.4	21.7	17.4	8.7	0.0	4.3
草加西部地区 [n=23]	17.4	30.4	21.7	21.7	17.4	0.0	0.0
草加東部地区 [n=34]	26.5	20.6	26.5	14.7	11.8	0.0	0.0
草加稲荷地区 [n=13]	61.5	46.2	53.8	46.2	23.1	0.0	0.0
谷塚西部地区 [n=15]	13.3	53.3	20.0	13.3	33.3	0.0	0.0
谷塚中央地区 [n=15]	13.3	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0
谷塚東部地区 [n=5]	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	16.1	19.4	22.6	9.7	9.7	0.0	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	40.0	28.6	17.1	20.0	20.0	0.0	2.9
県内全域 [n=8]	0.0	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
その他 [n=8]	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5
無回答 [n=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「社会福祉協議会」をみると、いずれの地区も7割を大きく上回っているが、その中でも谷塚中央地区、谷塚東部地区では100.0%となっている。

問18. 貴団体が連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はありますか。
(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



これまでに連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織では、「社会福祉協議会」が56.9%で最も多く、以下、「町会・自治会」が52.0%、「小学校」が48.0%、「公民館・コミュニティセンター」が44.9%、「民生委員・児童委員」が41.5%などとなっている。

また、6.8%が「連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はない」と回答している。

【その他】

- ・スポーツ協会
- ・コミセンにおける相談会の実施

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	社会福祉協議会	町会・自治会	小学校	公民館・コミュニティセンター	民生委員・児童委員	地区社会福祉協議会	地域包括支援センター	中学校	保健センター	シルバー人材センター
市内全域 [n=44]	43.2	18.2	40.9	40.9	22.7	22.7	13.6	22.7	27.3	11.4
新田西部地区 [n=22]	63.6	40.9	63.6	27.3	54.5	45.5	45.5	40.9	22.7	22.7
新田東部地区 [n=27]	59.3	55.6	33.3	51.9	33.3	33.3	48.1	18.5	22.2	18.5
草加川柳地区 [n=21]	33.3	47.6	42.9	33.3	28.6	38.1	33.3	57.1	14.3	14.3
草加安行地区 [n=23]	69.6	65.2	52.2	43.5	43.5	52.2	39.1	30.4	13.0	30.4
草加西部地区 [n=23]	39.1	60.9	34.8	30.4	34.8	30.4	39.1	21.7	21.7	8.7
草加東部地区 [n=34]	55.9	61.8	58.8	55.9	44.1	44.1	17.6	17.6	17.6	26.5
草加稲荷地区 [n=13]	84.6	84.6	84.6	69.2	84.6	76.9	61.5	53.8	30.8	38.5
谷塚西部地区 [n=15]	86.7	73.3	80.0	66.7	73.3	66.7	66.7	53.3	33.3	40.0
谷塚中央地区 [n=15]	66.7	80.0	80.0	33.3	66.7	60.0	26.7	20.0	6.7	13.3
谷塚東部地区 [n=5]	60.0	60.0	40.0	60.0	80.0	60.0	80.0	20.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	71.0	83.9	58.1	51.6	58.1	71.0	35.5	22.6	6.5	12.9
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	57.1	28.6	31.4	51.4	20.0	11.4	22.9	20.0	11.4	17.1
県内全域 [n=8]	62.5	37.5	12.5	12.5	37.5	50.0	37.5	12.5	12.5	0.0
その他 [n=8]	12.5	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0
無回答 [n=1]	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	保育園、幼稚園	市民活動センター	CSW (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)	子育て支援センター	高校	ボランティアセンター	大学	生活支援コーディネーター	まるとサポートSO KA	消費生活センター
市内全域 [n=44]	25.0	18.2	15.9	15.9	22.7	13.6	15.9	11.4	9.1	4.5
新田西部地区 [n=22]	22.7	13.6	9.1	13.6	4.5	4.5	0.0	4.5	4.5	4.5
新田東部地区 [n=27]	14.8	11.1	22.2	14.8	3.7	14.8	3.7	22.2	7.4	11.1
草加川柳地区 [n=21]	4.8	9.5	9.5	14.3	14.3	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0
草加安行地区 [n=23]	26.1	21.7	21.7	8.7	4.3	8.7	13.0	4.3	17.4	0.0
草加西部地区 [n=23]	8.7	21.7	13.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	8.7
草加東部地区 [n=34]	8.8	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	5.9	0.0	0.0	2.9
草加稲荷地区 [n=13]	69.2	30.8	38.5	30.8	7.7	23.1	0.0	15.4	15.4	15.4
谷塚西部地区 [n=15]	33.3	20.0	26.7	13.3	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3	20.0
谷塚中央地区 [n=15]	20.0	33.3	13.3	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3
谷塚東部地区 [n=5]	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	9.7	3.2	9.7	3.2	0.0	6.5	3.2	3.2	3.2	6.5
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	14.3	17.1	8.6	17.1	14.3	20.0	17.1	5.7	8.6	2.9
県内全域 [n=8]	12.5	25.0	0.0	12.5	37.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0
その他 [n=8]	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
無回答 [n=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

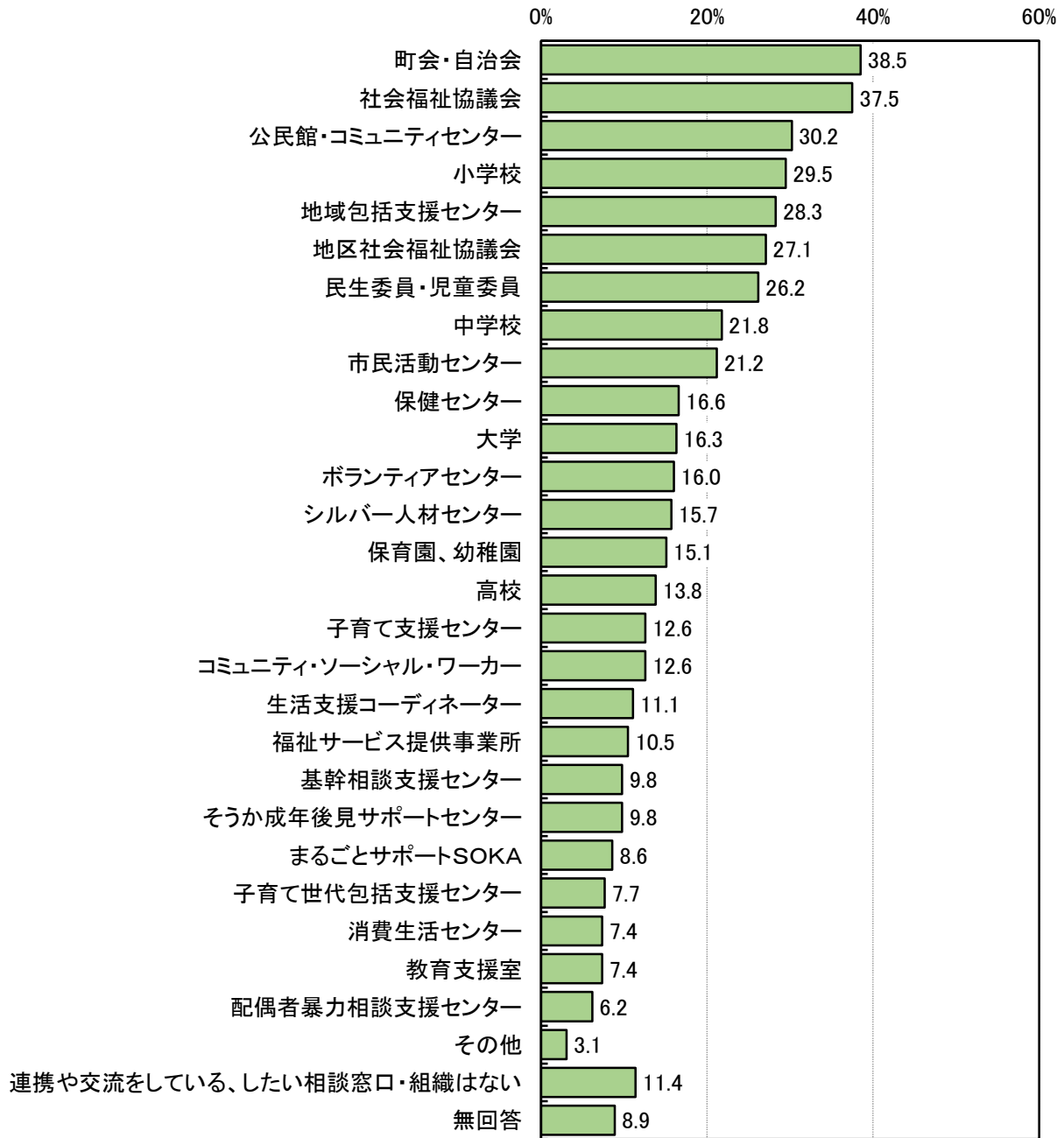
	基幹相談支援センター	福祉サービス提供事業所	教育支援室	そうか成年後見サポートセンター	子育て世代包括支援センター「妊娠・出産相談室 ほかほか」	配偶者暴力相談支援センター	その他	連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はない	無回答
市内全域 [n=44]	6.8	13.6	18.2	4.5	4.5	2.3	15.9	6.8	2.3
新田西部地区 [n=22]	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5	4.5	0.0
新田東部地区 [n=27]	7.4	7.4	7.4	11.1	7.4	3.7	0.0	14.8	0.0
草加川柳地区 [n=21]	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
草加安行地区 [n=23]	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加西部地区 [n=23]	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
草加東部地区 [n=34]	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9	0.0
草加稲荷地区 [n=13]	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0
谷塚西部地区 [n=15]	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区 [n=15]	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
谷塚東部地区 [n=5]	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
町会・自治会の範囲 [n=31]	0.0	9.7	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	9.7	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲 [n=35]	11.4	5.7	11.4	5.7	0.0	2.9	11.4	8.6	5.7
県内全域 [n=8]	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
その他 [n=8]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答 [n=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「社会福祉協議会」をみると、草加稲荷地区、谷塚西部地区で8割を上回っているが、草加川柳地区、草加西部地区では3割と差がみられた。

問19. 貴団体が、今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織はありますか。

(あてはまるもの全てに☑)

【n=325】



今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「町会・自治会」が38.5%で最も多く、以下、「社会福祉協議会」が37.5%、「公民館・コミュニティセンター」が30.2%、「小学校」が29.5%、「地域包括支援センター」が28.3%などとなっている。

また、11.4%が「連携や交流をしている、したい相談窓口・組織はない」と回答している。

【その他】

- ・スポーツ協会
- ・異なる分野へ活動が広がる可能性がある所、組織

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	町会・自治会	社会福祉協議会	公民館・コミュニティセンター	小学校	地域包括支援センター	地区社会福祉協議会	民生委員・児童委員	中学校	市民活動センター
市内全域【n=44】	27.3	29.5	38.6	36.4	15.9	11.4	13.6	34.1	29.5
新田西部地区【n=22】	40.9	36.4	18.2	31.8	31.8	36.4	36.4	27.3	22.7
新田東部地区【n=27】	37.0	29.6	14.8	11.1	29.6	18.5	14.8	3.7	7.4
草加川柳地区【n=21】	33.3	42.9	38.1	33.3	28.6	28.6	28.6	33.3	9.5
草加安行地区【n=23】	47.8	30.4	21.7	34.8	26.1	21.7	21.7	21.7	26.1
草加西部地区【n=23】	43.5	34.8	26.1	13.0	26.1	17.4	30.4	8.7	4.3
草加東部地区【n=34】	38.2	26.5	23.5	32.4	17.6	20.6	20.6	20.6	14.7
草加稲荷地区【n=13】	61.5	53.8	46.2	61.5	53.8	61.5	53.8	53.8	30.8
谷塚西部地区【n=15】	53.3	46.7	46.7	33.3	53.3	33.3	40.0	26.7	40.0
谷塚中央地区【n=15】	40.0	53.3	20.0	26.7	46.7	46.7	33.3	13.3	33.3
谷塚東部地区【n=5】	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	58.1	54.8	35.5	32.3	32.3	45.2	45.2	12.9	22.6
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	17.1	42.9	40.0	28.6	25.7	25.7	20.0	22.9	25.7
県内全域【n=8】	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5
その他【n=8】	50.0	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0

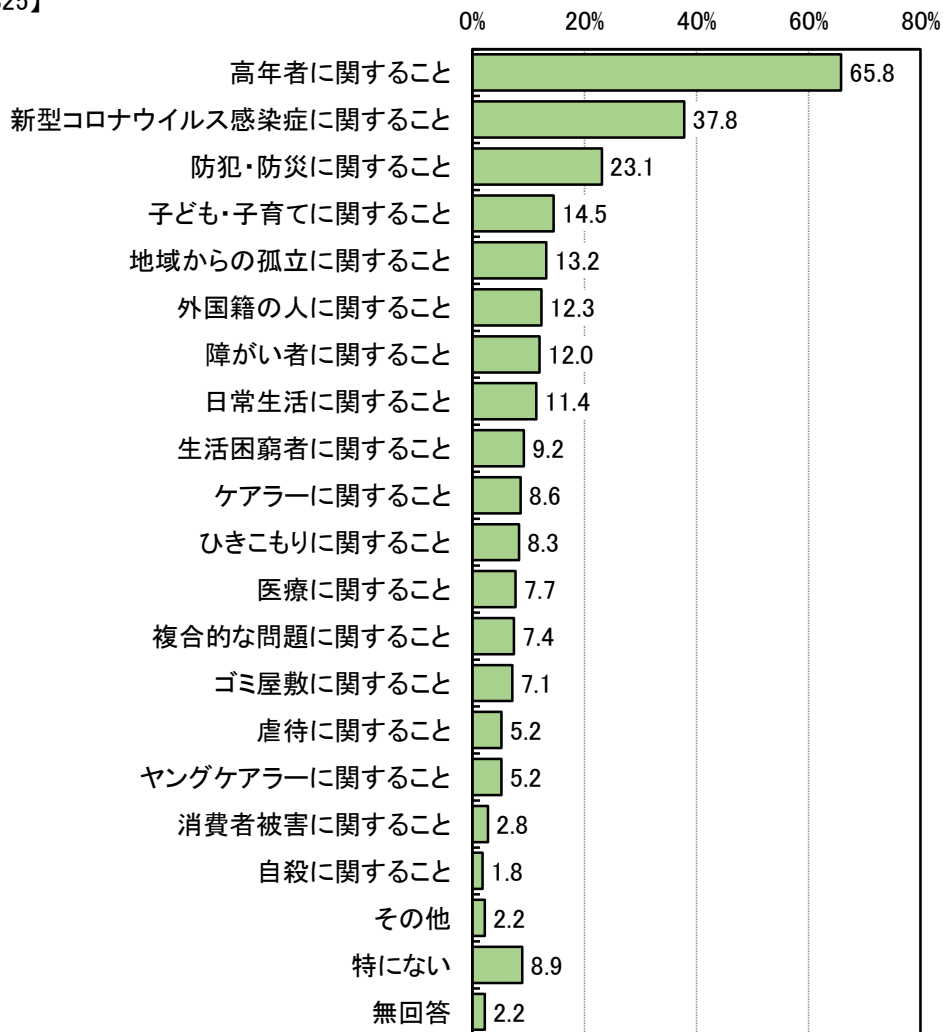
	大学	ボランティアセンター	シルバー人材センター	保育園、幼稚園	高校	子育て支援センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	生活支援コーディネーター	福祉サービス提供事業所
市内全域【n=44】	34.1	20.5	15.9	22.7	31.8	9.1	4.5	2.3	13.6
新田西部地区【n=22】	4.5	18.2	9.1	22.7	9.1	18.2	4.5	13.6	13.6
新田東部地区【n=27】	7.4	11.1	14.8	7.4	3.7	11.1	18.5	14.8	11.1
草加川柳地区【n=21】	9.5	14.3	19.0	0.0	14.3	23.8	9.5	19.0	14.3
草加安行地区【n=23】	26.1	13.0	13.0	21.7	13.0	17.4	8.7	13.0	0.0
草加西部地区【n=23】	0.0	13.0	13.0	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	4.3
草加東部地区【n=34】	14.7	5.9	23.5	14.7	14.7	8.8	8.8	8.8	0.0
草加稲荷地区【n=13】	23.1	23.1	23.1	53.8	23.1	30.8	38.5	23.1	23.1
谷塚西部地区【n=15】	6.7	13.3	26.7	13.3	6.7	6.7	26.7	13.3	13.3
谷塚中央地区【n=15】	6.7	6.7	26.7	20.0	6.7	13.3	20.0	13.3	26.7
谷塚東部地区【n=5】	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
町会・自治会の範囲【n=31】	6.5	12.9	9.7	6.5	6.5	6.5	9.7	12.9	6.5
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	31.4	28.6	14.3	8.6	22.9	11.4	14.3	11.4	11.4
県内全域【n=8】	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
その他【n=8】	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

	そうか成年後見サポートセンター	まるごとサポートSO KA	子育て世代包括支援センター	消費生活センター	教育支援室	配偶者暴力相談支援センター	その他	連携や交流をしている、したい相談窓口・組織はない	無回答
市内全域【n=44】	2.3	4.5	4.5	2.3	6.8	4.5	4.5	11.4	4.5
新田西部地区【n=22】	22.7	9.1	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1
新田東部地区【n=27】	14.8	7.4	11.1	7.4	11.1	7.4	7.4	22.2	18.5
草加川柳地区【n=21】	19.0	9.5	14.3	4.8	23.8	4.8	0.0	19.0	0.0
草加安行地区【n=23】	8.7	8.7	4.3	8.7	4.3	13.0	4.3	4.3	17.4
草加西部地区【n=23】	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
草加東部地区【n=34】	2.9	8.8	0.0	11.8	2.9	0.0	2.9	14.7	14.7
草加稲荷地区【n=13】	23.1	30.8	23.1	23.1	23.1	38.5	0.0	0.0	7.7
谷塚西部地区【n=15】	6.7	20.0	0.0	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0
谷塚中央地区【n=15】	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3
谷塚東部地区【n=5】	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	12.9	6.5	6.5	6.5	3.2	6.5	3.2	12.9	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	11.4	11.4	5.7	2.9	8.6	2.9	2.9	11.4	8.6
県内全域【n=8】	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
その他【n=8】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「町会・自治会」みると、草加稲荷地区、町会・自治会の範囲、谷塚西部地区で5割を上回っている。その一方で、市内及び近隣市区町村の範囲、谷塚東部地区、市内全域では、1～2割台と低くなっている。

問20. 貴団体が活動する中で、増えてきたと特に感じる地域の問題、課題等がありますか。
 (あてはまるもの3つ以内に☑)

【n=325】



活動する中で、増えてきたと特に感じる地域の問題、課題を尋ねたところ、「高齢者に関すること」が65.8%で最も多く、以下、「新型コロナウイルス感染症に関すること」が37.8%、「防犯・防災に関すること」が23.1%、「子ども・子育てに関すること」が14.5%、「地域からの孤立に関すること」が13.2%などとなっている。

また、8.9%が「特にない」と回答している。

【その他】

- ・年齢を問わず公園の使用規則を守らない人が多過ぎる。
- ・知らなかっただけで特に増えたということではないと思う。
- ・登下校時の児童の安全について。

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	高年者に関すること	新型コロナウイルス感染症に関すること	防犯・防災に関すること	子ども・子育てに関すること	地域からの孤立に関すること	外国籍の人に関すること	障がい者に関すること
市内全域【n=44】	61.4	36.4	6.8	15.9	13.6	18.2	18.2
新田西部地区【n=22】	63.6	50.0	31.8	13.6	13.6	13.6	4.5
新田東部地区【n=27】	66.7	37.0	29.6	11.1	25.9	7.4	7.4
草加川柳地区【n=21】	61.9	61.9	23.8	23.8	14.3	19.0	19.0
草加安行地区【n=23】	65.2	13.0	17.4	17.4	13.0	0.0	13.0
草加西部地区【n=23】	73.9	34.8	26.1	21.7	8.7	4.3	8.7
草加東部地区【n=34】	61.8	35.3	32.4	5.9	0.0	11.8	8.8
草加稲荷地区【n=13】	69.2	46.2	38.5	30.8	7.7	23.1	23.1
谷塚西部地区【n=15】	80.0	60.0	46.7	6.7	26.7	13.3	13.3
谷塚中央地区【n=15】	73.3	33.3	33.3	13.3	13.3	13.3	6.7
谷塚東部地区【n=5】	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	87.1	35.5	29.0	12.9	12.9	12.9	0.0
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	54.3	34.3	8.6	14.3	11.4	17.1	22.9
県内全域【n=8】	50.0	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	25.0
その他【n=8】	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

	日常生活に関すること	生活困窮者に関すること	ケアラーに関すること	ひきこもりに関すること	医療に関すること	複合的な問題に関すること	ゴミ屋敷に関すること
市内全域【n=44】	9.1	15.9	11.4	6.8	9.1	11.4	0.0
新田西部地区【n=22】	9.1	4.5	4.5	9.1	9.1	9.1	9.1
新田東部地区【n=27】	14.8	11.1	7.4	3.7	11.1	11.1	3.7
草加川柳地区【n=21】	9.5	9.5	9.5	28.6	14.3	14.3	4.8
草加安行地区【n=23】	21.7	4.3	8.7	17.4	4.3	8.7	4.3
草加西部地区【n=23】	21.7	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	21.7
草加東部地区【n=34】	8.8	0.0	2.9	5.9	0.0	5.9	5.9
草加稲荷地区【n=13】	0.0	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4
谷塚西部地区【n=15】	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0	6.7	0.0
谷塚中央地区【n=15】	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7
谷塚東部地区【n=5】	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
町会・自治会の範囲【n=31】	12.9	0.0	9.7	6.5	0.0	0.0	12.9
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	8.6	14.3	17.1	8.6	11.4	14.3	5.7
県内全域【n=8】	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
その他【n=8】	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	虐待に関すること	ヤングケアラーに関すること	消費者被害に関すること	自殺に関すること	その他	特になし	無回答
市内全域【n=44】	4.5	4.5	2.3	0.0	0.0	6.8	0.0
新田西部地区【n=22】	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
新田東部地区【n=27】	3.7	0.0	7.4	0.0	3.7	3.7	7.4
草加川柳地区【n=21】	4.8	9.5	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0
草加安行地区【n=23】	8.7	8.7	0.0	4.3	4.3	13.0	0.0
草加西部地区【n=23】	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	13.0
草加東部地区【n=34】	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0
草加稲荷地区【n=13】	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0
谷塚西部地区【n=15】	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=15】	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町会・自治会の範囲【n=31】	3.2	0.0	6.5	3.2	3.2	6.5	3.2
市内及び近隣市区町村の範囲【n=35】	11.4	11.4	8.6	5.7	2.9	14.3	0.0
県内全域【n=8】	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
その他【n=8】	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「高年者に関すること」をみると、町会・自治会の範囲は8割を上回るなど多い傾向がみられた。その一方で、市内及び近隣市区町村の範囲、県内全域では5割程度と差がみられた。

問 20-1. 問 20 のうち、特に気になっている事例を具体的に教えてください。

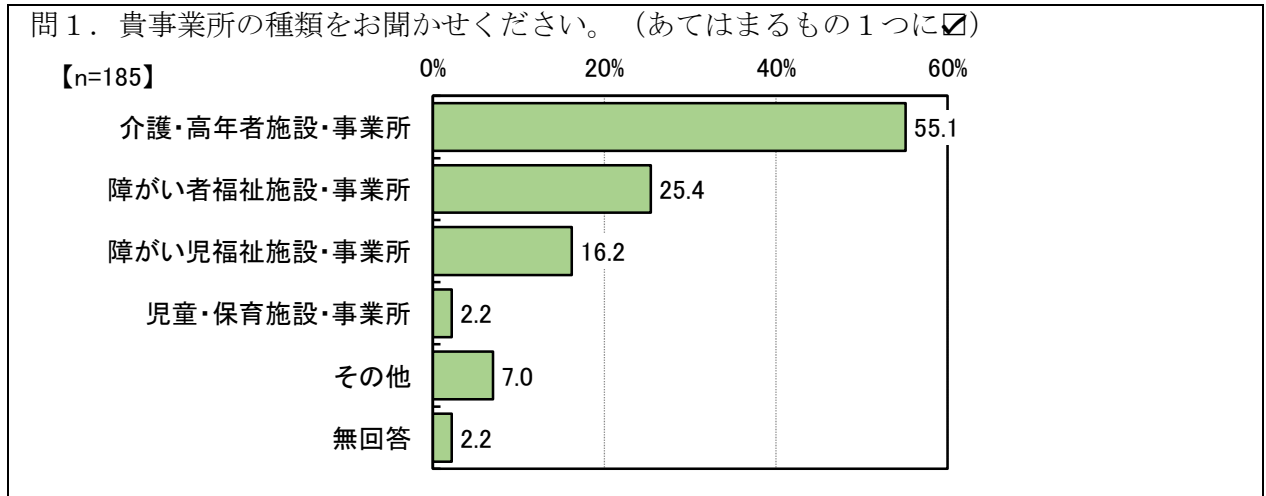
- ・児童・保護者、地域の交流が新型コロナウイルスの影響により減少していること。
- ・外国籍の人に、団体の活動を説明しにくい。
- ・高年者の一人暮らしの方が増えているように感じる。
- ・高齢者世帯が増えてきているので、市が主体で行なっているその方達が参加できる活動やサービスがあれば連絡先や内容等を分かりやすくポスターにして配布してほしい。(掲示します)
- ・コロナ対策が大変です。
- ・高年者が確定申告会場へ出向くのが困難になっている。
- ・子ども子育てに関することを。女性の社会進出推進施策により、乳幼児の小規模保育所が増えた、実際その生活状況をだれがどこまで把握しているだろうか、庭のない小部屋、長時間の預かり研修の行われていない保育士、親は仕事に出かけて、子どもの実態をみる術がない。
- ・登校の難しい生徒が増加している。それぞれに対しての学校との連携に関して。(手紙が届かない、オンラインで授業を受けられない。)
- ・会員が高齢化し(役員の最低年齢 79 才)後継者を育てたい。
- ・相続、遺言、成年後見、その他いわゆる終活
- ・屋外競技ですが、新型コロナウイルス感染症に対する注意。
- ・新型コロナウイルス感染症による学校行事の制限
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況がどうなっているのか分からない。どこの地域でどの程度流行しているのか等。
- ・パトロール中に高齢者や障がい者の移動支援、高齢者の迷い人の保護を行うケースが増えている。
- ・不登校児童生徒の増加。
- ・ケアラー、ヤングケアラーの人たちの精神的な健康を保つ相談所があるのか?望まない妊娠をした時に人に知られず相談出来るところがあるのか?もしあったとして周知がなされていなかったら無いも同然だと思う。
- ・交通指導員や見守り隊の人員数をもっと確保していただきたい。
- ・コロナもあってか、不登校気味の児童生徒が増えた。

問 20-2. 問 20-1 に記入した事例・問題に対し、新たな取組や活動等、解決に向けたアイデアがありましたら、ご記入ください。

- ・長時間にわたる子どもの保育を制限する。代替策として、多岐にわたる支援体制を用意する。何よりも働いている人達の乳幼児ケアが利用しやすくなるように配慮する。
- ・今まで以上に感染対策をしっかりと行うこと。
- ・ちょっとした散歩や買い物の付き添いなどを行うボランティア活動の拡大。(一人でもできるボランティア制度の確立)
- ・教育支援室だけではなく、教育センターの設立。
- ・相談所に連絡する時って、もう既に心が限界の時だと思う。そんな時に「1ヶ月後に予約取れますよ」と言われても何の意味もない。連絡したその時に相談できて、さらに的確なアドバイスをもらえる場所の設置をするのが重要だと思う。
- ・登下校時の児童の安全性を高めるため、シルバー人材を活用する。
- ・市としてシルバー人材を生かす「人材バンク」を作成する

③福祉サービス提供事業所調査

貴事業所について



活動分野は、「介護・高齢者施設・事業所」が55.1%で最も多く、以下、「障がい者福祉施設・事業所」が25.4%、「障がい児福祉施設・事業所」が16.2%、「児童・保育施設・事業所」が2.2%などとなっている。

【その他】

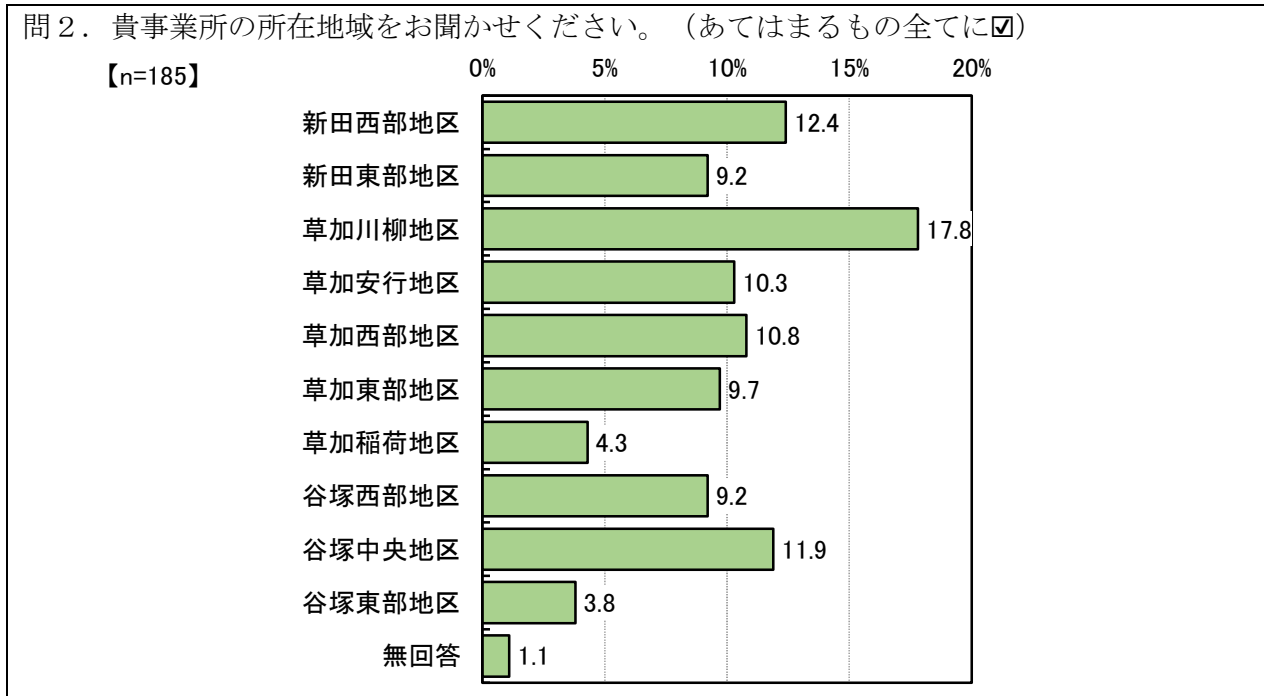
- ・居宅介護支援事業所
- ・相談支援事業所
- ・訪問看護
- ・障がい児、障がい者の相談支援事業所
- ・介護保険事業所
- ・地域福祉事業

▶地区別クロス集計

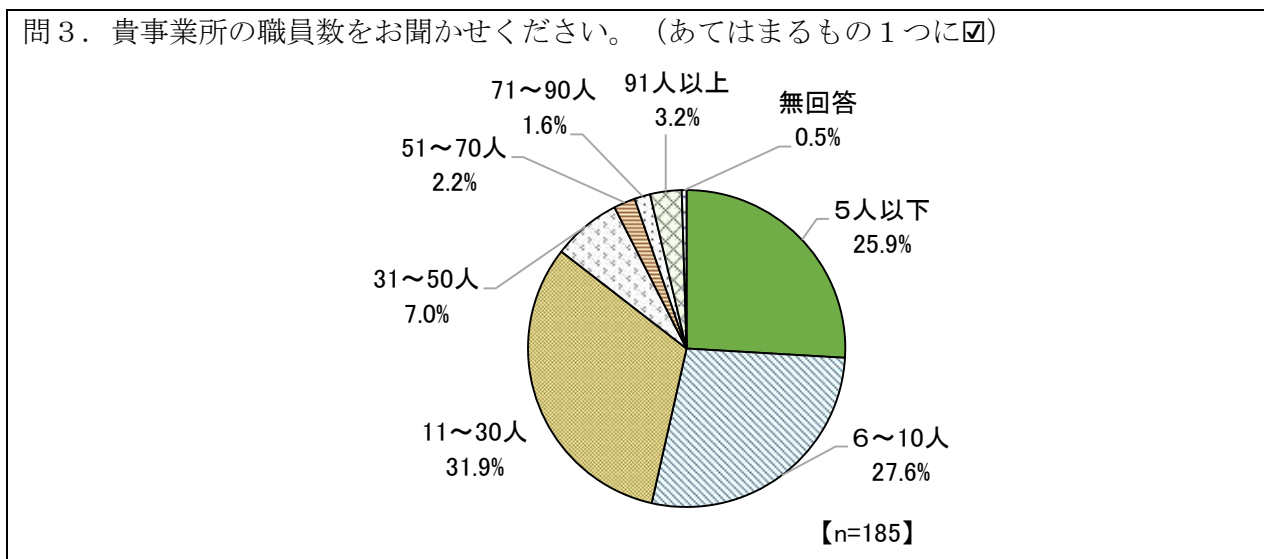
【単位：％】

	介護・高齢者施設・事業所	障がい者福祉施設・事業所	障がい児福祉施設・事業所	児童・保育施設・事業所	その他	無回答
新田西部地区【n=23】	65.2	21.7	17.4	0.0	4.3	0.0
新田東部地区【n=17】	47.1	52.9	5.9	11.8	11.8	0.0
草加川柳地区【n=33】	57.6	27.3	9.1	3.0	9.1	0.0
草加安行地区【n=19】	47.4	15.8	15.8	5.3	15.8	5.3
草加西部地区【n=20】	45.0	40.0	10.0	0.0	5.0	0.0
草加東部地区【n=18】	50.0	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0
草加稲荷地区【n=8】	37.5	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	58.8	23.5	17.6	0.0	0.0	5.9
谷塚中央地区【n=22】	72.7	18.2	9.1	4.5	4.5	0.0
谷塚東部地区【n=7】	42.9	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3
無回答【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

地区別で「介護・高齢者施設・事業所」をみると、新田東部地区、草加稲荷地区、谷塚東部地区を除く地区で、多い傾向がみられた。新田東部地区では「障がい者福祉施設・事業所」、草加稲荷地区では「障がい児福祉施設・事業所」の割合が多く、谷塚東部地区では、「介護・高齢者施設・事業所」と「障がい児福祉施設・事業所」の割合は同率であった。



事業所の所在地域は、「草加川柳地区」が17.8%で最も多く、以下、「新田西部地区」が12.4%、「谷塚中央地区」が11.9%、「草加西部地区」が10.8%、「草加安行地区」が10.3%などとなっている。



事業所の職員数は、「11~30人」が31.9%で最も多く、以下、「6~10人」が27.6%、「5人以下」が25.9%、「31~50人」が7.0%、「91人以上」が3.2%となっている。

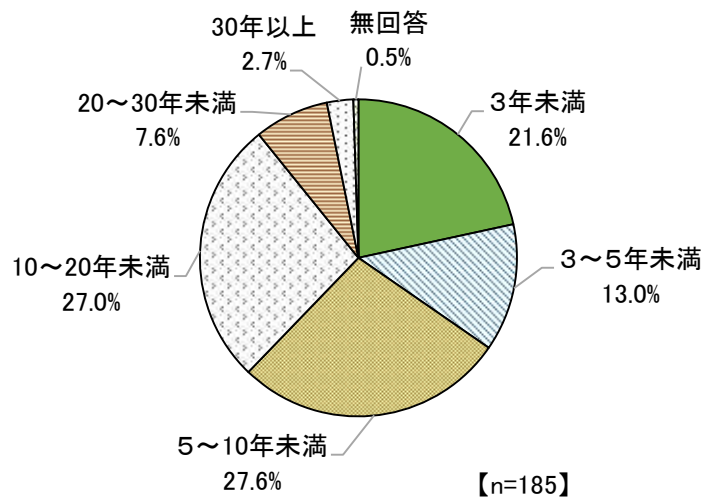
▶地区別クロス集計

【単位：％】

	5人以下	6～10人	11～30人	31～50人	51～70人	71～90人	91人以上	無回答
新田西部地区【n=23】	4.3	39.1	34.8	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0
新田東部地区【n=17】	29.4	29.4	23.5	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0
草加川柳地区【n=33】	24.2	18.2	45.5	6.1	0.0	0.0	6.1	0.0
草加安行地区【n=19】	31.6	15.8	36.8	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0
草加西部地区【n=20】	15.0	20.0	35.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0
草加東部地区【n=18】	50.0	27.8	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=8】	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	17.6	29.4	35.3	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0
谷塚中央地区【n=22】	31.8	36.4	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=7】	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

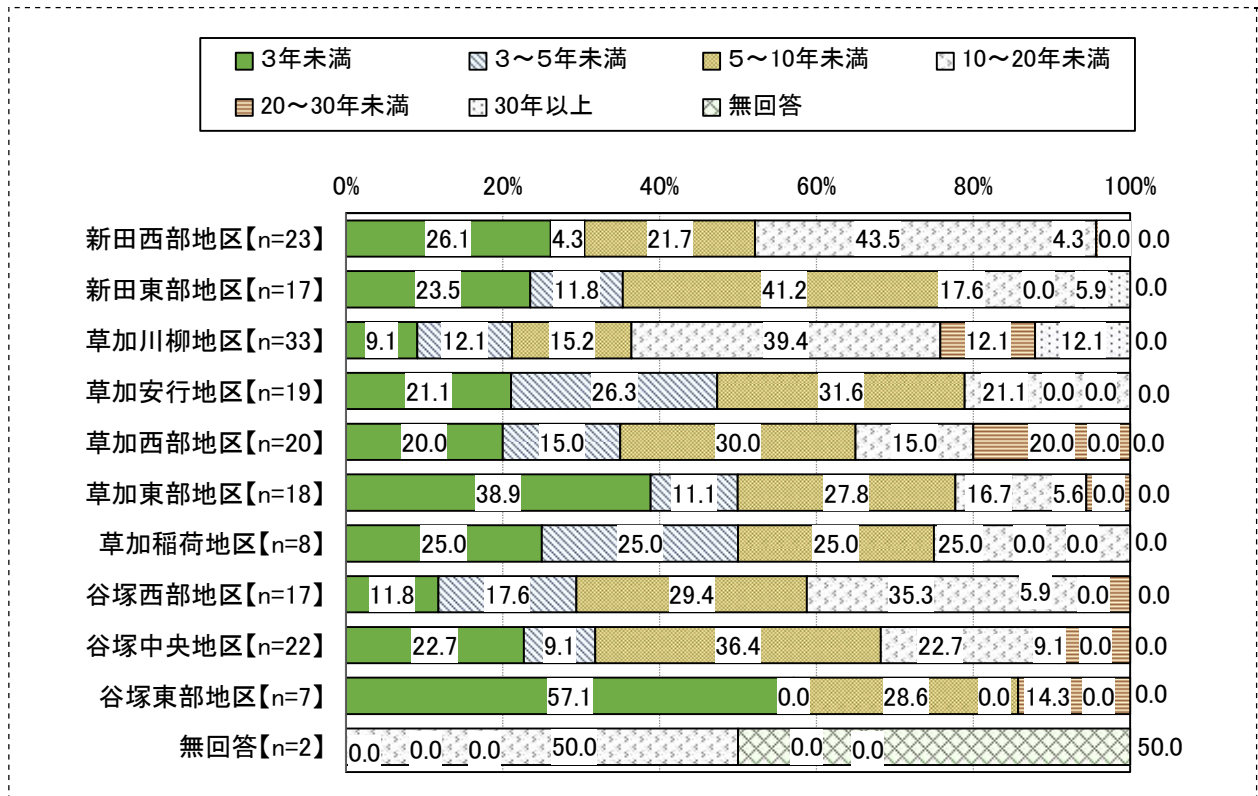
地域別で「5人以下」をみると、谷塚東部地区、草加東部地区で多い傾向がみられた。

問4. 貴事業所の活動年数をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)



事業所の活動年数は「5～10年未満」が27.6%で最も多く、以下、「10～20年未満」が27.0%、「3年未満」が21.6%、「3～5年未満」が13.0%、「20～30年未満」が7.6%などとなっている。

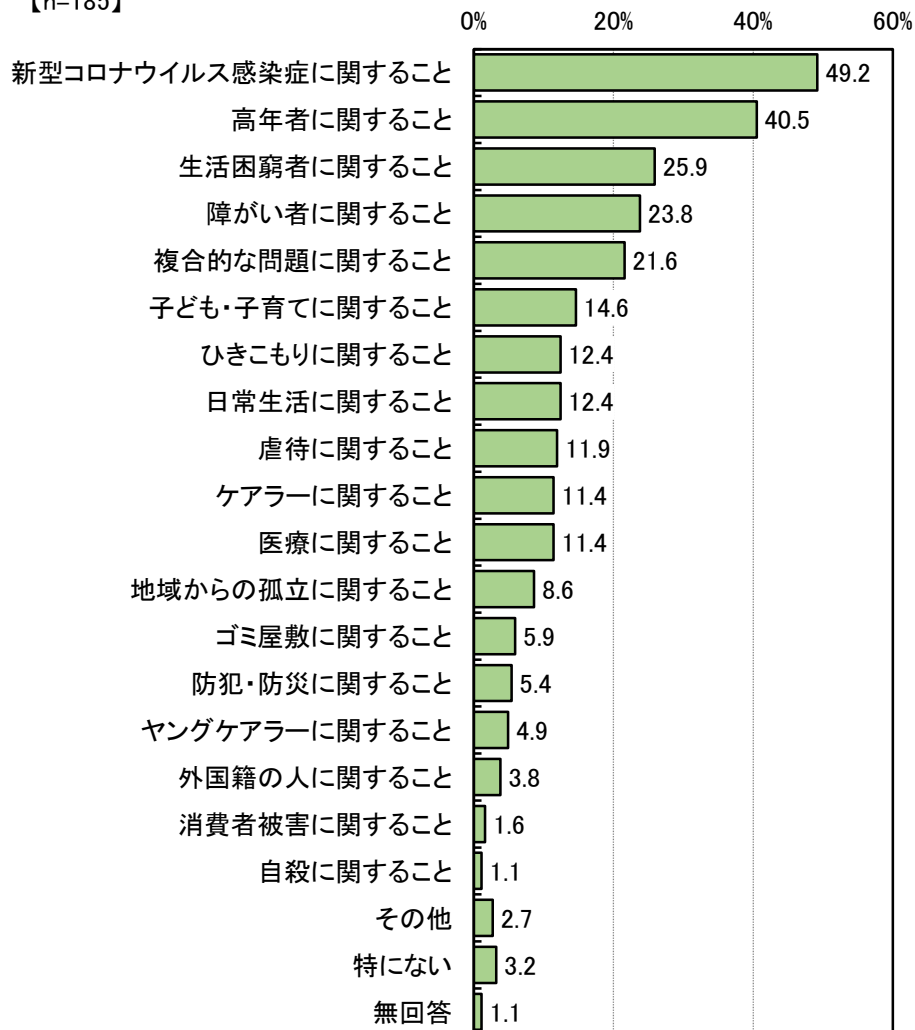
▶ 地区別クロス集計



地区別で「5～10年」をみると、新田東部地区で割合が最も多くなっている。その一方で、草加川柳地区では約2割と割合が少なくなっている。

問5. 貴事業所が活動する中で、増えてきたと感じる地域の問題、課題等がありますか。
(あてはまるもの3つ以内に☑)

【n=185】



活動する中で、増えてきたと感じる地域の問題、課題等について尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症に関すること」が49.2%で最も多く、以下、「高年者に関すること」が40.5%、「生活困窮者に関すること」が25.9%、「障がい者に関すること」が23.8%、「複合的な問題に関すること」が21.6%などとなっている。

【その他】

- ・同居家族
- ・発達障害に関する事
- ・利用者の保護者がADHD等の特性を持っている場合のケアの難しさ（療育のアドバイスや連絡事項の伝達）
- ・介護業界の未来が暗いということ
- ・利用者の高齢化について、親なき後の生活の場

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

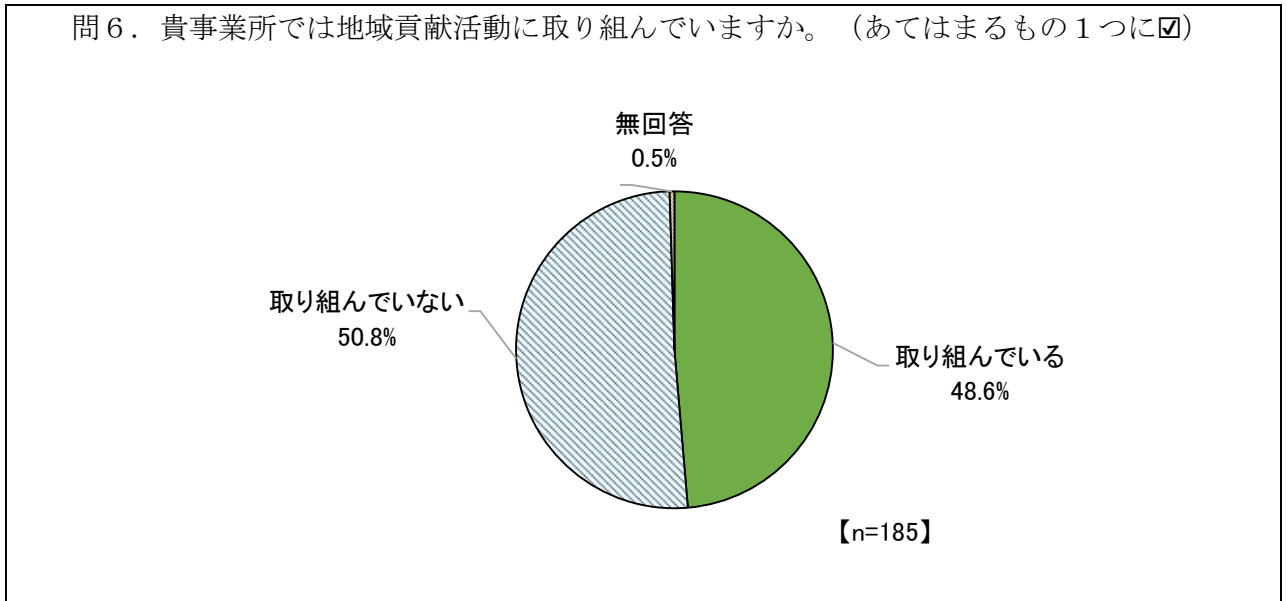
	新型コロナウィルス感染症に関すること	高齢者に関すること	生活困窮者に関すること	障がい者に関すること	複合的な問題に関すること	子ども・子育てに関すること	ひきこもりに関すること
新田西部地区【n=23】	56.5	47.8	30.4	13.0	8.7	13.0	8.7
新田東部地区【n=17】	58.8	35.3	17.6	29.4	35.3	5.9	11.8
草加川柳地区【n=33】	57.6	45.5	24.2	15.2	24.2	15.2	12.1
草加安行地区【n=19】	36.8	26.3	31.6	15.8	5.3	21.1	15.8
草加西部地区【n=20】	40.0	40.0	40.0	50.0	35.0	15.0	10.0
草加東部地区【n=18】	44.4	44.4	38.9	33.3	27.8	22.2	16.7
草加稲荷地区【n=8】	62.5	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	47.1	41.2	23.5	5.9	29.4	0.0	5.9
谷塚中央地区【n=22】	45.5	36.4	22.7	40.9	18.2	9.1	9.1
谷塚東部地区【n=7】	57.1	57.1	0.0	0.0	28.6	28.6	57.1
無回答【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	日常生活に関すること	虐待に関すること	ケアラーに関すること	医療に関すること	地域からの孤立に関すること	ゴミ屋敷に関すること	防犯・防災に関すること
新田西部地区【n=23】	13.0	8.7	4.3	13.0	8.7	4.3	0.0
新田東部地区【n=17】	17.6	5.9	11.8	11.8	11.8	0.0	5.9
草加川柳地区【n=33】	15.2	3.0	9.1	9.1	6.1	6.1	3.0
草加安行地区【n=19】	31.6	36.8	10.5	10.5	5.3	5.3	15.8
草加西部地区【n=20】	10.0	20.0	15.0	5.0	10.0	15.0	5.0
草加東部地区【n=18】	5.6	0.0	16.7	22.2	11.1	0.0	5.6
草加稲荷地区【n=8】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	5.9	5.9	5.9	17.6	11.8	11.8	11.8
谷塚中央地区【n=22】	9.1	9.1	18.2	9.1	13.6	9.1	0.0
谷塚東部地区【n=7】	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	ヤングケアラーに関すること	外国籍の人に関すること	消費者被害に関すること	自殺に関すること	その他	特になし	無回答
新田西部地区【n=23】	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0
新田東部地区【n=17】	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
草加川柳地区【n=33】	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0
草加安行地区【n=19】	5.3	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0
草加西部地区【n=20】	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
草加東部地区【n=18】	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=8】	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
谷塚中央地区【n=22】	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0
谷塚東部地区【n=7】	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

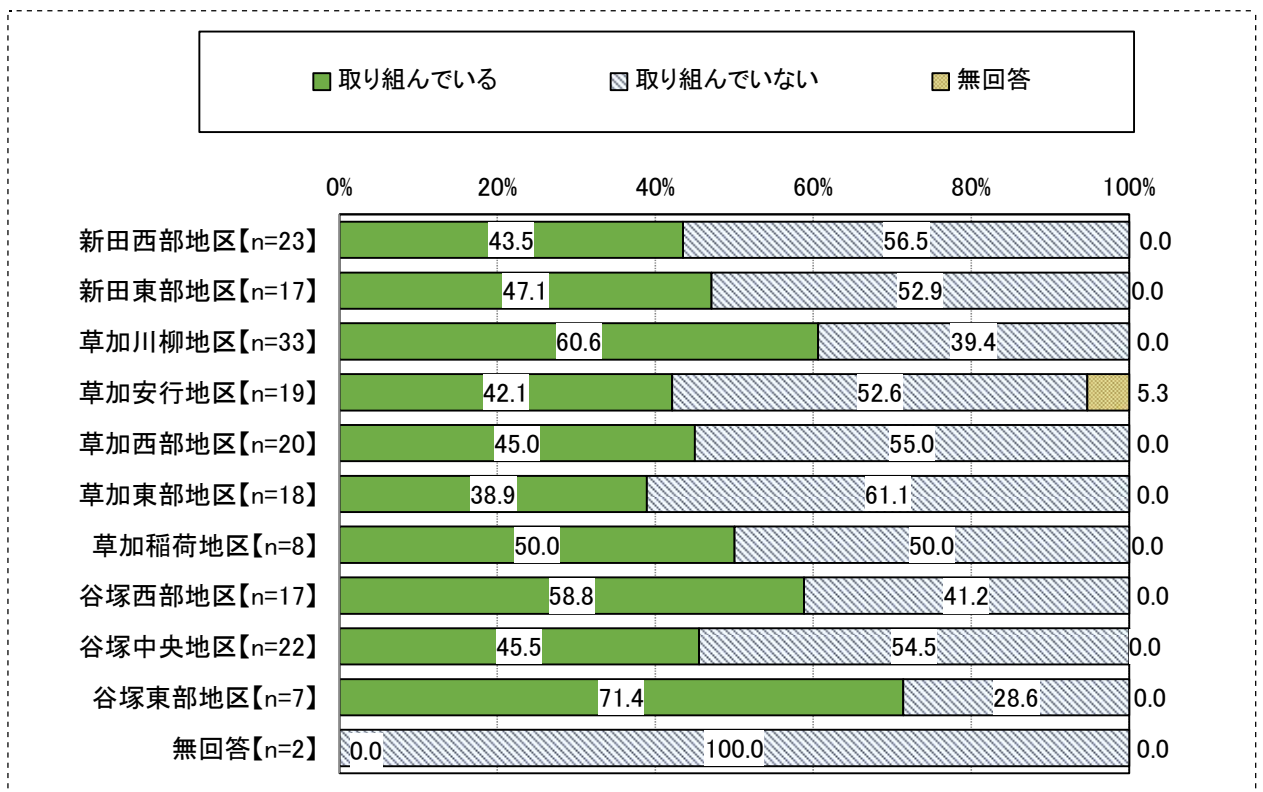
地域別で「複合的な問題に関すること」をみると、新田東部地区、草加西部地区において割合が多い傾向がみられる。

地域貢献活動について



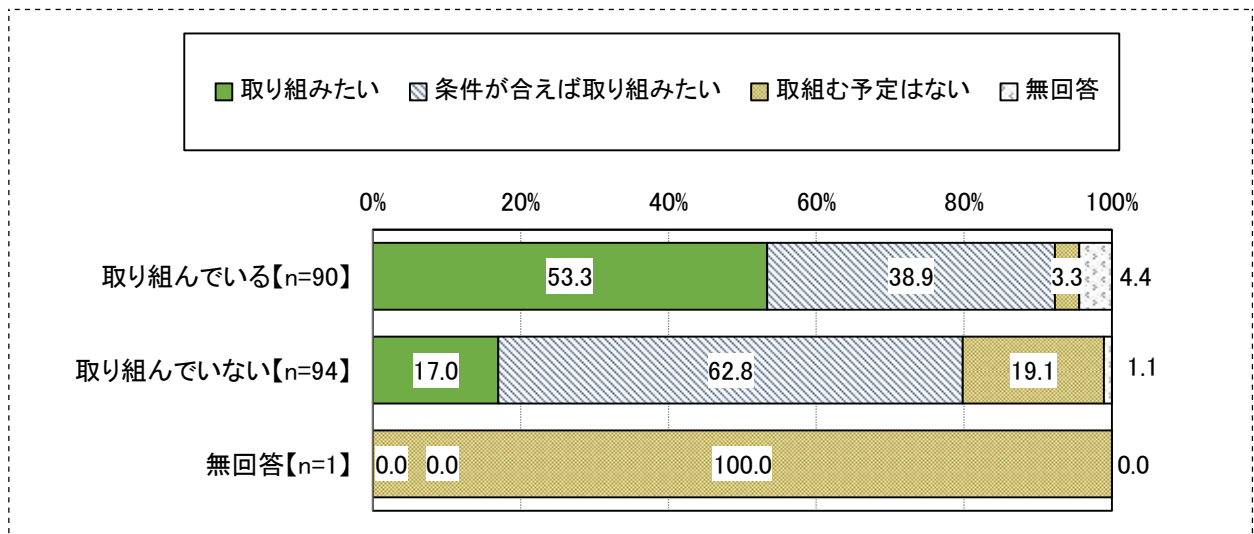
地域貢献活動への取り組み状況は、48.6%が「取り組んでいる」、50.8%が「取り組んでいない」とほぼ半々であった。

▶ 地区別クロス集計



地区別でみると、草加川柳地区、谷塚東部地区の「取り組んでいる」割合が多くなっている。

▶問6「貴事業所では地域貢献活動に取り組んでいますか」と問7「貴事業所は、今後、地域貢献活動に取り組みたいですか」のクロス集計



現状、地域貢献活動に取り組んでいる事業所では、今後の意向も「取り組みたい」の割合が5割を超えている。その一方で、取り組んでいない事業所では、「条件が合えば取り組みたい」の割合が6割を超えている。

また、取り組んでいる事業所と取り組んでいない事業所では「取組む予定はない」に10ポイント以上の差がみられた。

▶問6「貴事業所では地域貢献活動に取り組んでいますか」と問7-1「貴事業所ではどのような条件であれば、地域貢献活動に取り組めそうですか」のクロス集計

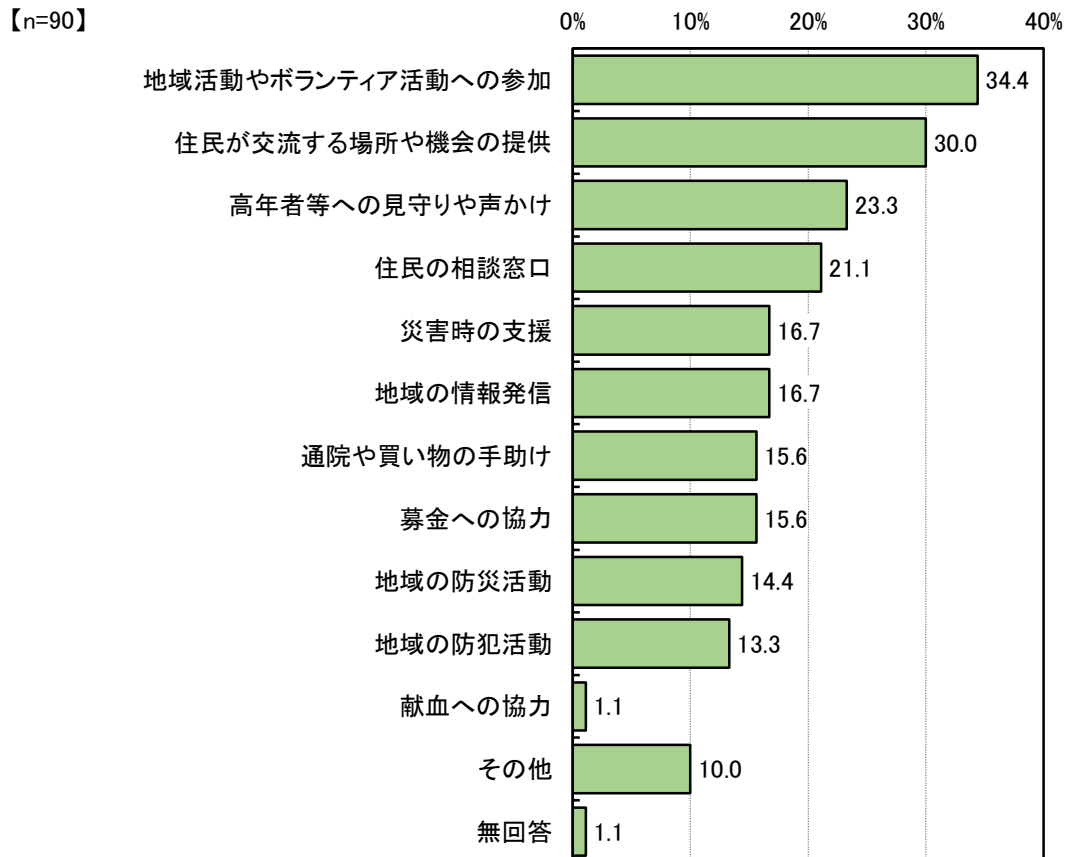
【単位：％】

	期間限定の活動である	活動時間が決まっている	事前に準備することやものがない	金銭面の負担がない	人数が揃わなくてもいい	急な予定変更にも対応してもらえる	その他	無回答
取り組んでいる【n=35】	11.4	28.6	5.7	22.9	14.3	11.4	5.7	0.0
取り組んでいない【n=59】	15.3	15.3	16.9	23.7	8.5	13.6	6.8	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域貢献活動に取り組んでいない事業所が望む条件では、「金銭面の負担がない」が23.7%で最も多く、「事前に準備することやものがない」が16.9%となっている。

地域貢献活動に取り組んでいる事業所が望む条件では、「活動時間が決まっている」の割合が28.6%で最も多く、次いで「金銭面の負担がない」となっている。

問6-1. 問6で「①取り組んでいる」と答えた事業所にお聞きます。
 貴事業所はどのような内容の地域貢献活動に取り組んでいますか。
 (あてはまるもの全てに☑)



事業所が取り組んでいる地域貢献活動では、「地域活動やボランティア活動への参加」が34.4%で最も多く、以下、「住民が交流する場所や機会の提供」が30.0%、「高齢者等への見守りや声かけ」が23.3%、「住民の相談窓口」が21.1%、「災害時の支援」が16.7%などとなっている。

【その他】

- ・ 高齢者地域見守りネットワーク協力事業者
- ・ 地域の清掃活動
- ・ 近隣の学校の総合的学習の受入れ
- ・ 彩の国あんしんセーフティネット事業参加
- ・ 協議体の話しあいに参加
- ・ 作品展開催
- ・ 子ども食堂への寄付
- ・ 近隣施設との協力体制
- ・ 支援学校への清掃協力

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

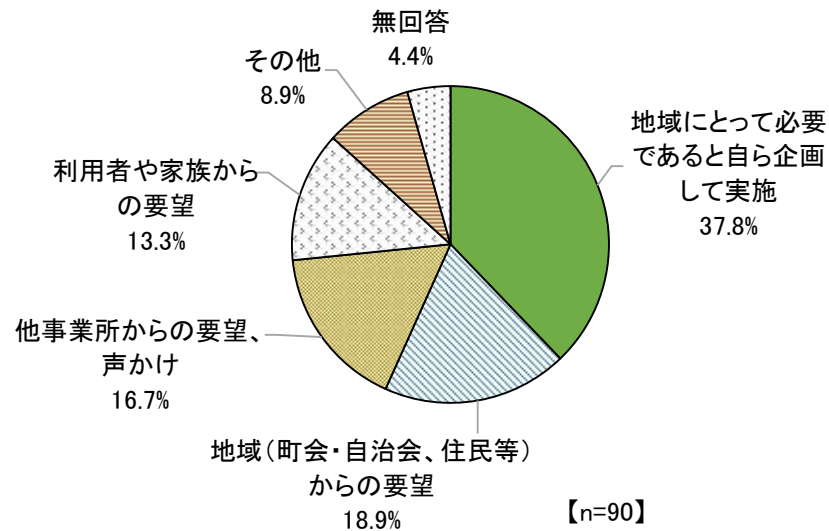
	地域活動やボランティア活動への参加	住民が交流する場所や機会の提供	高齢者等への見守りや声かけ	住民の相談窓口	災害時の支援	地域の情報発信	通院や買い物の手助け
新田西部地区【n=10】	20.0	40.0	30.0	20.0	0.0	20.0	0.0
新田東部地区【n=8】	25.0	62.5	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0
草加川柳地区【n=20】	30.0	20.0	20.0	30.0	30.0	15.0	10.0
草加安行地区【n=8】	25.0	12.5	37.5	37.5	37.5	12.5	37.5
草加西部地区【n=9】	66.7	44.4	11.1	33.3	11.1	22.2	22.2
草加東部地区【n=7】	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
草加稲荷地区【n=4】	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=10】	30.0	30.0	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0
谷塚中央地区【n=10】	40.0	10.0	30.0	30.0	10.0	30.0	20.0
谷塚東部地区【n=5】	60.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	募金への協力	地域の防災活動	地域の防犯活動	献血への協力	その他	無回答
新田西部地区【n=10】	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
新田東部地区【n=8】	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
草加川柳地区【n=20】	15.0	20.0	30.0	0.0	15.0	0.0
草加安行地区【n=8】	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=9】	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=7】	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
草加稲荷地区【n=4】	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
谷塚西部地区【n=10】	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=10】	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「地域活動やボランティア活動への参加」をみると、草加西部地区と谷塚東部地区の割合が多い傾向がみられる。

また、「住民が交流する場所や機会の提供」では、新田東部地区を筆頭に、新田西部地区、草加西部地区、草加東部地区の割合が多い傾向がみられる。その一方で、谷塚中央地区、草加安行地区では少なくなっている。

問6-2. 問6で「①取り組んでいる」と答えた事業所にお聞きます。
 貴事業所が地域貢献活動に取り組んだきっかけを教えてください。
 (あてはまるもの1つに☑)



地域貢献活動に取り組んだきっかけでは、「地域にとって必要であると自ら企画して実施」が37.8%で最も多く、以下、「地域(町会・自治会、住民等)からの要望」が18.9%、「他事業所からの要望、声かけ」が16.7%、「利用者や家族からの要望」が13.3%となっている。

【その他】

- ・ 地域包括支援センターからの依頼により
- ・ 法人からの指針、指示
- ・ 援護機関からの要望、声かけ、学校からの依頼
- ・ 利用者様の社会参加の為
- ・ 自分の意思です。社会に貢献できるよう頑張って仕事をしています。
- ・ 社会福祉協議会からのコンタクトがあった際、地域防災活動への参加希望、問い合わせを行った結果、避難所開設訓練に参加する機会を得ました。
- ・ 障害児通所支援連絡協議会を通じた活動の一環として

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	地域にとって必要であると自ら企画して実施	地域（町会・自治会、住民等）からの要望	他事業所からの要望、声かけ	利用者や家族からの要望	その他	無回答
新田西部地区【n=10】	50.0	30.0	0.0	0.0	10.0	10.0
新田東部地区【n=8】	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
草加川柳地区【n=20】	30.0	5.0	25.0	25.0	10.0	5.0
草加安行地区【n=8】	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
草加西部地区【n=9】	44.4	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0
草加東部地区【n=7】	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=4】	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=10】	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0
谷塚中央地区【n=10】	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別でみると、新田西部地区、新田東部地区、草加稲荷地区では「地域にとって必要であると自ら企画して実施」の割合が多くなっている。草加東部地区、草加川柳地区、草加稲荷地区では「利用者や家族からの要望」の割合が多くなっている。

▶問6-2「貴事業所が地域貢献活動に取り組んだきっかけを教えてください」と問6-4「地域貢献活動に取り組むことで、どのような効果がありましたか」のクロス集計

【単位：％】

	事業所の認知度が高まった	他の施設や関係機関との交流が広がった	住民の福祉に対する関心・知識が高まった	住民の交流が深まる等、地域が活発になった	職員のモチベーションの向上につながった	地域の様々な活動への参加機会が多くなった
地域にとって必要であると自ら企画して実施【n=34】	64.7	38.2	38.2	26.5	32.4	17.6
地域（町会・自治会、住民等）からの要望【n=17】	41.2	23.5	17.6	29.4	23.5	23.5
他事業所からの要望、声かけ【n=15】	46.7	46.7	33.3	33.3	13.3	33.3
利用者や家族からの要望【n=12】	75.0	33.3	33.3	25.0	33.3	25.0
その他【n=8】	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0
無回答【n=4】	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0

	地域から相談を受ける等、信頼性が向上した	ボランティアの確保につながった	利用者等のニーズに沿った新規事業が生まれた	その他	特にない、わからない	無回答
地域にとって必要であると自ら企画して実施【n=34】	29.4	14.7	8.8	0.0	2.9	2.9
地域（町会・自治会、住民等）からの要望【n=17】	17.6	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9
他事業所からの要望、声かけ【n=15】	13.3	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0
利用者や家族からの要望【n=12】	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
その他【n=8】	0.0	0.0	0.0	37.5	50.0	0.0
無回答【n=4】	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「事業所の認知度が高まった」を軸にみると、「利用者や家族からの要望」、「地域にとって必要であると自ら企画して実施」では、他のきっかけよりも割合が多くなるなど効果が見受けられる。

また、「職員のモチベーションの向上につながった」では、「他事業所からの要望、声かけ」の割合が他のきっかけより少なくなっている。

問6-3. 問6で「①取り組んでいる」と答えた事業所にお聞きます。

貴事業所で取り組んでいる地域貢献活動について教えてください。

問6-3 活動内容	問6-3 活動頻度	問6-3 対象者	問6-3 連携先
住民からの電話や直接での相談を受ける。災害時は援助できるように。	随時	市民	
住民の方からの声かけ電話があった時ぐらい。関係機関の紹介をしたり訪問しております。	都度	主に高齢者、ご家族	
地域ネットワーク会議への参加	1年1、2回	関係各所	包括支援センター等
地域清掃活動	不定期	事業所周辺	無し
地域で主催する児童対象のイベントなどに施設として参加。	年2回程度	地域の児童、その親	
通院介助	依頼があり、ヘルパーの空きがあれば受けている。	高齢者	
音楽地域支援交流	月に1回、事業所内で職員による演奏、参加型コンサート	地域の子ども、おとな	
脳トレ等の講師	年1回程度	地域の高齢者	
通院の手助け、募金への協力、買物の手助け	年に数回	近所の人	
BCP等の災害についての取組み	年2回	施設職員	草加消防署
運営推進会議	2か月に1回	地域	新田東部地区
地域づくりの会議への参加	年に数回	高齢者	社協、包括支援センター
掲示板での地域の活動・行事の案内	随時	地域住民、特に定めなし	
包括、市役所から依頼の研修会、勉強会の講師など隣接小学校との交流	年1~2回	地域住民、小学生	包括、市役所、小学校
子どもひなんじょへの協力。災害時福祉避難所として協力。	頻度という程ではありませんが、福祉避難所に関する行政主催の研修等には参加しております	地域住民の方々	草加市社会福祉ネットワーク
レクリエーション	年に1~2回	利用者様の家族や地域の住民	
介護保険ではカバーできない部分の手助けを自費で行う	1か月に1回~2回	高齢者	
①住民が交流する場所について→会議室の貸出等。②防災活動について→事業所の防災訓練の際に地域住民、近所の事業所が参加している。③災害時の支援→事業所(本体)が福祉避難所になっている。④相談窓口→福祉に関する相談(障がい)を受けている。	①必要時に貸し出し ②訓練日 ③援護機関からの要請 ④いつでも	地域住民、団体、障がいのある者・児、学生	
草加市市民後見人の会で在宅医療、看護について説明	以前に1日だけ	市民後見人の方	

問 6-3 活動内容	問 6-3 活動頻度	問 6-3 対象者	問 6-3 連携先
保育園の園児との交流	毎年 9 月に 1 回	園児	保育園
ゴミ拾いや掃除	月 1	学校	学校
自治会のもちつきへの参加	年 1 回	住民	北谷町会
体操教室	月 1 回		
通院、役所の手続き等のお手伝い	月に 1~2 回	高齢者、絶対に一人では行かれないと判断した時	なし、たまに包括に相談します。
通院介助や買い物支援	週 5 回程度	要支援、要介護者の他、施設入所者からの依頼	
防災訓練時、消火器訓練を行う。	年 2 回	地域住民。(お知らせは、回覧板で行っています。)コロナウイルスのため、現在は呼べていない、おちつき下さい、再開予定。	
職員による講座の開催	不定期	市民	
障がいの有無に関わらず子供達が交流できる場の提供	最大月 2 回程度	活動内容と同じ	特になし
通院・買い物の手助け	要望がある際	入居者様	
ゴミ拾い	月 1 程	当事業所の利用者さん	法人内
介護予防教室	要望のあった時	地域に住む高齢者	包括支援センター
地域住民がデイサービスを知る為の活動	年 1、2 回	高齢者	
オレンジカフェ(現在コロナのため休止中)			
休日開所による保護者へのレスパイトケア	月に 1 回程度	希望の利用者	
ユニセフなどに寄付を行っています。連絡(電話)がとれない方に対し訪問しています。			

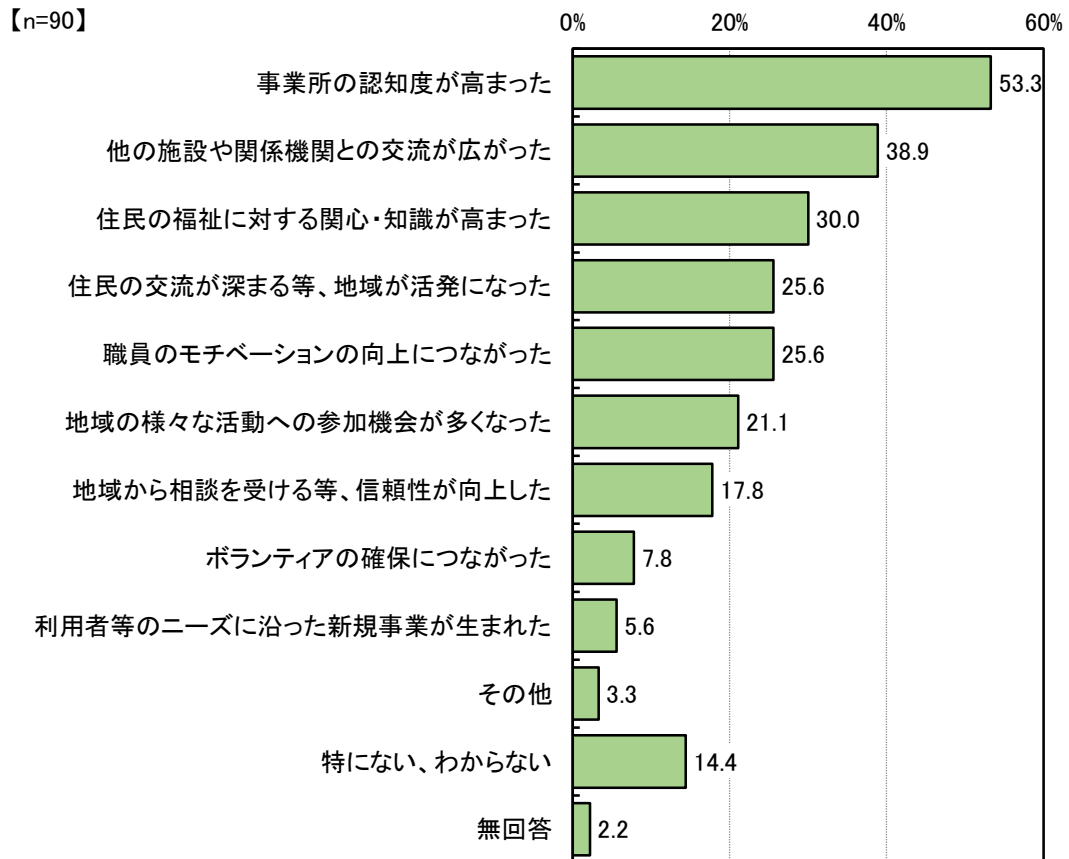
ごみ拾い、草刈り	半年に1回		町内会
カフェの運営	週4日	全住民	

問 6-3 活動内容	問 6-3 活動頻度	問 6-3 対象者	問 6-3 連携先
低料金の食事(造り方々は皆さんボランティア)	週に1回	誰でも	空き家での低料金での食事(週1回)コロナで今は行っていない
サロン開催(ボランティアの方による地域交流)	月1回	地域の方、利用者	
見守りネットワーク			
ボランティアさん達による地域交流を主としてサロン開催	月1回	地域住民と施設利用者	
障がい児とご家族の相談支援活動	月～土	障がい児、障がい者	病院、関係事業所
通所介護とご家族支援	月～土	高齢者とご家族	病院、他の事業所
障がい児の見守り指導とご家族支援	月～土	障がい児	病院、事業所連絡会
協議体の話しあいに参加	このところ月1回ペース	地域住民、包括、社協、民生委員等と話しあう)	社協
①福祉避難所になっている。 ②地域イベントへの参加。	①災害発生時のため活動していない。 ②月に1～2回	①被災者 ②地域	①草加市とその他関係機関 ②他事業所や地域の関係機関
「こどもひなんじょ」の設置		学校の児童等	草加市PTA連合会、地域安全協力者、草加市、草加警察署、草加市教育委員会
地域の方々に対する、介護についての無料相談。緊急的な措置入居。	常的	介護保険対象者、その家族。	当苑
介護研修の実施(外部向け)	年1～2回	市内の住民	
高齢者や認知症高齢者への声かけ	随時	高齢者	包括、居宅介護支援事業所
デイサービス内のレクリエーションの一環で、地域のお店に買い物にいたり、お茶会を開いたりしている。埼玉県川越市の洪水被害のあった高齢者施設に、店舗の利用者様と一緒に作った千羽鶴を作って持って行きました。その他に掛け時計と血圧計4つを寄付させて頂きました。	年2回程	高齢者	地域の店舗
大した事ではないですが、施設から地域の子供達にプレゼントする企画を計画、実行しています。	コロナのため年に一回	子供	施設
子ども110番 事業所周辺の歩道・公園等の清掃。 事業所のあるビル共有スペースの清掃。毎週土曜日のイベント開催。 近隣の保育園児との交流	都度 1回/週程度 年に2～3回	子ども 地域住民・利用者 事業所なるビルテナントの企業・事業所 利用者	町内会 事業所なるビルテナントの企業・福祉事業所など 保育園
問 6-3 活動内容	問 6-3 活動頻度	問 6-3 対象者	問 6-3 連携先
地域の清掃活動や近所への駐車場の無償貸し出し。	年数回程度	地域住民	近所の人たち
障がい福祉サービスの周知。地域イベントへの参加。	月1回	市民	行政、市民、サービス提供事業所
イベントの共催	月1回	市民	市民、行政

SNS や HP での障害福祉サービスについての周知。	随時	障がい者	行政、サービス提供事業所等
ボランティア活動の実施	週 1 回	利用者	社会福祉協議会
作品展開催 ※新型コロナ対策の為現在は施設内にて利用者のみでの縮小対応	年 1 回(秋)	利用者、氷川小平成塾書道サークル	谷塚文化センター、谷塚町兔町会
災害発生時における相互支援(近隣事業所)	必要時	施設利用者・職員	そうか光生園・クウォーターヴィレッジ・つばさの森・そよかぜの森
①ボランティア活動として療育をされたい方に協力して頂き、障害児のことを知って頂く機会の創出②外注している外国人英語講師を地域の文化センターに紹介することで、障害児の存在を知って頂く機会の創出③近隣の小学校まで、児童と共に避難経路を確認することで、近隣の方々にも災害時の避難経路の確認の重要性を知って頂く機会を創出④発達支援センター、保育園・幼稚園や小学校等との積極的な情報交換、見学⑤近隣の公園での活動や散歩中における挨拶の励行で防犯対策や障害児の存在を知って頂く機会の創出	月に1回から四半期毎	地域の住民、相談員など	発達支援センター、小学校、近隣の住民など
ボランティアセンターの設置。ボランティア講座の開催。サロン補助金。募金活動。災害ボランティア活動。福祉教育。	随時	市民	各団体
見守り、声かけ。	随時	高年者	
事業所の作業の一環として野菜づくりがあり、タイミングを合わせることができた際は、収穫した野菜を近隣の子ども食堂へ寄付している。	月 1 回程度	子ども、保護者	子ども食堂
・町会と連携しての防災活動(消火器設置など)・AED 設置・ボランティア受け入れ・地域の行事への参加・WEB などでの情報発信	活動内容による	当事業所利用者以外の障害者、そのほか地域住民全般	苗塚町会、草加市、草加市スポーツ協会、草加商工会議所、草加市文化協会、今様草加宿、他法人障害福祉サービス事業所など
近隣福祉事業所との災害発生時における応援	災害時及び訓練等必要時	近隣福祉事業所職員及び利用者	クウォーターヴィレッジ、そうか光生園、つばさの森、ひまわりの郷
住民が交流する場所や機会の提供	ランダム	利用者	同事業者

問 6-3 活動内容	問 6-3 活動頻度	問 6-3 対象者	問 6-3 連携先
障がいの診断がなくても就労相談ができる支援機関の周知活動。地域福祉イベントへの参加。	周知活動:週 1 日程度 イベント参加:年 4 回程度	当事者とその家族・支援機関・行政・学校(通信制高校・大学・専門学校・特別支援学校)	支援機関・行政・学校(通信制高校・大学・専門学校・特別支援学校)
介護相談	常時	地域住民	地域包括支援センター、市役所
町内会	随時	町内会	施設電話番号 訪問
社会福祉協議会の支え合い推進係の方からコンタクトがあったので、地域防災活動に参加したい旨を相談したところ、草加中学校において避難所開設訓練があるので、そこに参加できるというお話をいただいた。実際に避難所開設訓練に参加させていただき、どのような形で避難所が開設されるのか、どのような仕事があるのかなど大体の雰囲気を理解させていただき、学校側や町内会の方々ともある程度面識を持たせていただくことができた。次回も訓練に参加させていただきたいと思っています。	不明	管理者等	草加市社会福祉協議会
近隣住人からの要望に対し対応	要請時	地域住人	

問6-4. 問6で「①取り組んでいる」と答えた事業所にお聞きます。
 地域貢献活動に取り組むことで、どのような効果がありましたか。
 (あてはまるもの全てに☑)



地域貢献活動に取り組むことで得られた効果では、「事業所の認知度が高まった」が53.3%で最も多く、以下、「他の施設や関係機関との交流が広がった」が38.9%、「住民の福祉に対する関心・知識が高まった」が30.0%、「住民の交流が深まる等、地域が活発になった」と「職員のモチベーションの向上につながった」が同率の25.6%などとなっている。

また、14.4%が「特にない、わからない」と回答している。

【その他】

- ・感染症の関係でできない方が多い
- ・利用者さんの社会参加につながった
- ・対象者の不安が解消されました

▶ 地区別クロス集計

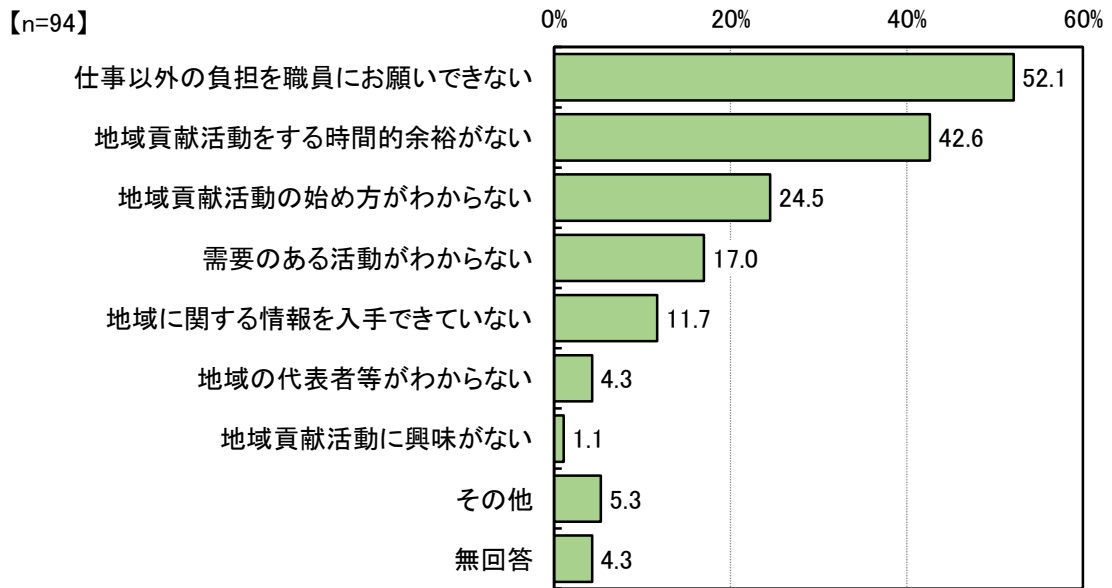
【単位：％】

	事業所の認知度が高まった	他の施設や関係機関との交流が広がった	住民の福祉に対する関心・知識が高まった	住民の交流が深まる等、地域が活発になった	職員のモチベーションの向上につながった	地域の様々な活動への参加機会が多くなった
新田西部地区【n=10】	70.0	10.0	60.0	20.0	20.0	0.0
新田東部地区【n=8】	62.5	37.5	50.0	62.5	37.5	62.5
草加川柳地区【n=20】	65.0	50.0	40.0	40.0	25.0	20.0
草加安行地区【n=8】	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5
草加西部地区【n=9】	55.6	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1
草加東部地区【n=7】	85.7	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3
草加稲荷地区【n=4】	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
谷塚西部地区【n=10】	40.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0
谷塚中央地区【n=10】	40.0	40.0	30.0	20.0	10.0	40.0
谷塚東部地区【n=5】	20.0	60.0	20.0	20.0	60.0	40.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	地域から相談を受ける等、信頼性が向上した	ボランティアの確保につながった	利用者等のニーズに沿った新規事業が生まれた	その他	特にない、わからない	無回答
新田西部地区【n=10】	20.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0
新田東部地区【n=8】	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
草加川柳地区【n=20】	15.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0
草加安行地区【n=8】	37.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
草加西部地区【n=9】	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0
草加東部地区【n=7】	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=4】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=10】	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
谷塚中央地区【n=10】	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
無回答【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「事業所の認知度が高まった」をみると、草加東部地区、新田西部地区、草加川柳地区、新田東部地区の割合が多くなっている。また、「他の施設や関係機関との交流が広がった」では、草加西部地区、谷塚東部地区、草加川柳地区の割合が多くなっている。

問6-5. 問6で「②取り組んでいない」と答えた事業所にお聞きします。
 貴事業所が地域貢献活動に取り組んでいない主な理由を教えてください。
 (あてはまるもの2つ以内に☑)



地域貢献活動に取り組んでいない理由では、「仕事以外の負担を職員にお願いできない」が52.1%で最も多く、以下、「地域貢献活動をする時間的余裕がない」が42.6%、「地域貢献活動の始め方がわからない」が24.5%、「需要のある活動がわからない」が17.0%、「地域に関する情報を入手できていない」が11.7%などとなっている。

【その他】

- ・ コロナ禍の為、交流を行っていない
- ・ 新型コロナウイルスに感染してしまう可能性を広げてしまうので
- ・ 通所介護として高齢者の受け入れを行っている。外部に対する事業は実施していない。

▶ 地区別クロス集計

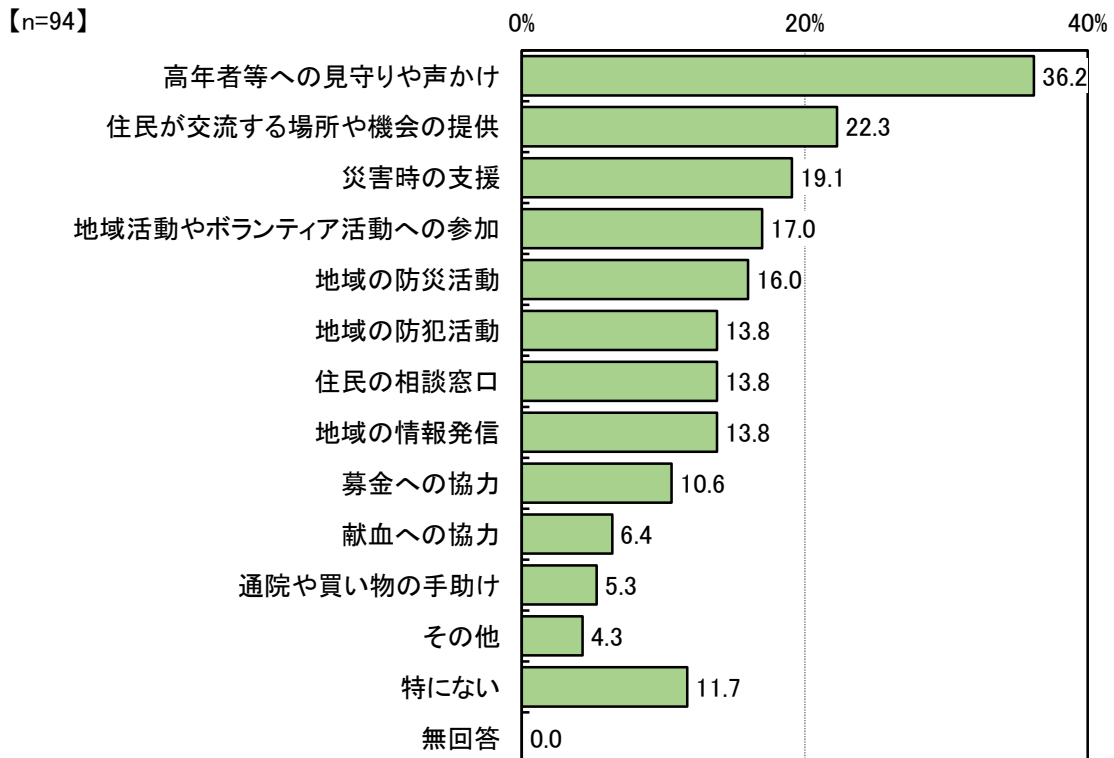
【単位：％】

	仕事以外の負担を職員にお願いできない	地域貢献活動をする時間的余裕がない	地域貢献活動の始め方がわからない	需要のある活動がわからない	地域に関する情報を入手できていない	地域の代表者等がわからない	地域貢献活動に興味がない	その他	無回答
新田西部地区【n=13】	84.6	61.5	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
新田東部地区【n=9】	44.4	55.6	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
草加川柳地区【n=13】	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7
草加安行地区【n=10】	40.0	30.0	30.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
草加西部地区【n=11】	54.5	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
草加東部地区【n=11】	54.5	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=4】	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=7】	57.1	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
谷塚中央地区【n=12】	41.7	16.7	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0	16.7	8.3
谷塚東部地区【n=2】	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「仕事以外の負担を職員にお願いできない」をみると、新田西部地区、草加稲荷地区で割合が多くなっている一方で、草加川柳地区では割合が少なくなっている。

問3の回答により、5割以上の事業所で職員数が10人以下である点から、「仕事以外の負担を職員にお願いできない」、「地域貢献活動をする時間的余裕がない」と回答している事業所でも負担なくできる地域貢献活動について考える必要がある。

問6-6. 問6で「②取り組んでいない」と答えた事業所にお聞きします。
 貴事業所が取り組めそうな地域貢献活動は次のうちどれですか。
 (あてはまるもの全てに☑)



事業所が取り組めそうな地域貢献活動は、「高年者等への見守りや声かけ」が36.2%で最も多く、以下、「住民が交流する場所や機会の提供」が22.3%、「災害時の支援」が19.1%、「地域活動やボランティア活動への参加」が17.0%、「地域の防災活動」が16.0%などとなっている。

また、11.7%が「特にない」と回答している。

【その他】

- ・本社に確認が必要
- ・ゴミひろいなど
- ・ボランティアの受け入れや地域への外出（散策など）等により地域への交流、情報収集等に取り組んでおり継続可能である。
- ・新型コロナウイルスが収束しないと難しいです

▶地区別クロス集計

【単位：％】

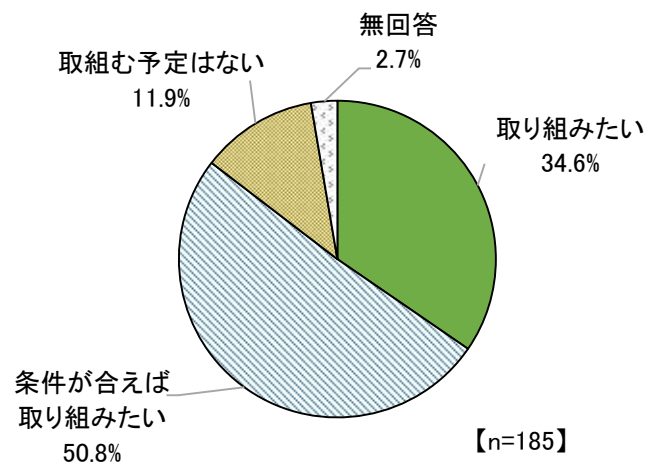
	高年者等への見守りや声かけ	住民が交流する場所や機会の提供	災害時の支援	地域活動やボランティア活動への参加	地域の防災活動	地域の防犯活動	住民の相談窓口
新田西部地区【n=13】	23.1	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7
新田東部地区【n=9】	22.2	11.1	11.1	22.2	44.4	22.2	33.3
草加川柳地区【n=13】	46.2	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7	15.4
草加安行地区【n=10】	20.0	40.0	20.0	40.0	50.0	40.0	10.0
草加西部地区【n=11】	27.3	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2
草加東部地区【n=11】	45.5	36.4	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2
草加稲荷地区【n=4】	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
谷塚西部地区【n=7】	85.7	28.6	14.3	0.0	28.6	42.9	14.3
谷塚中央地区【n=12】	41.7	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0	8.3
谷塚東部地区【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答【n=2】	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	地域の情報発信	募金への協力	献血への協力	通院や買い物の手助け	その他	特にない	無回答
新田西部地区【n=13】	15.4	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4	0.0
新田東部地区【n=9】	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
草加川柳地区【n=13】	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0
草加安行地区【n=10】	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=11】	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0
草加東部地区【n=11】	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=4】	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=7】	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
谷塚中央地区【n=12】	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

地区別で「高年者等への見守りや声かけ」をみると、谷塚西部地区、草加川柳地区、草加東部地区で割合が多くなっている。

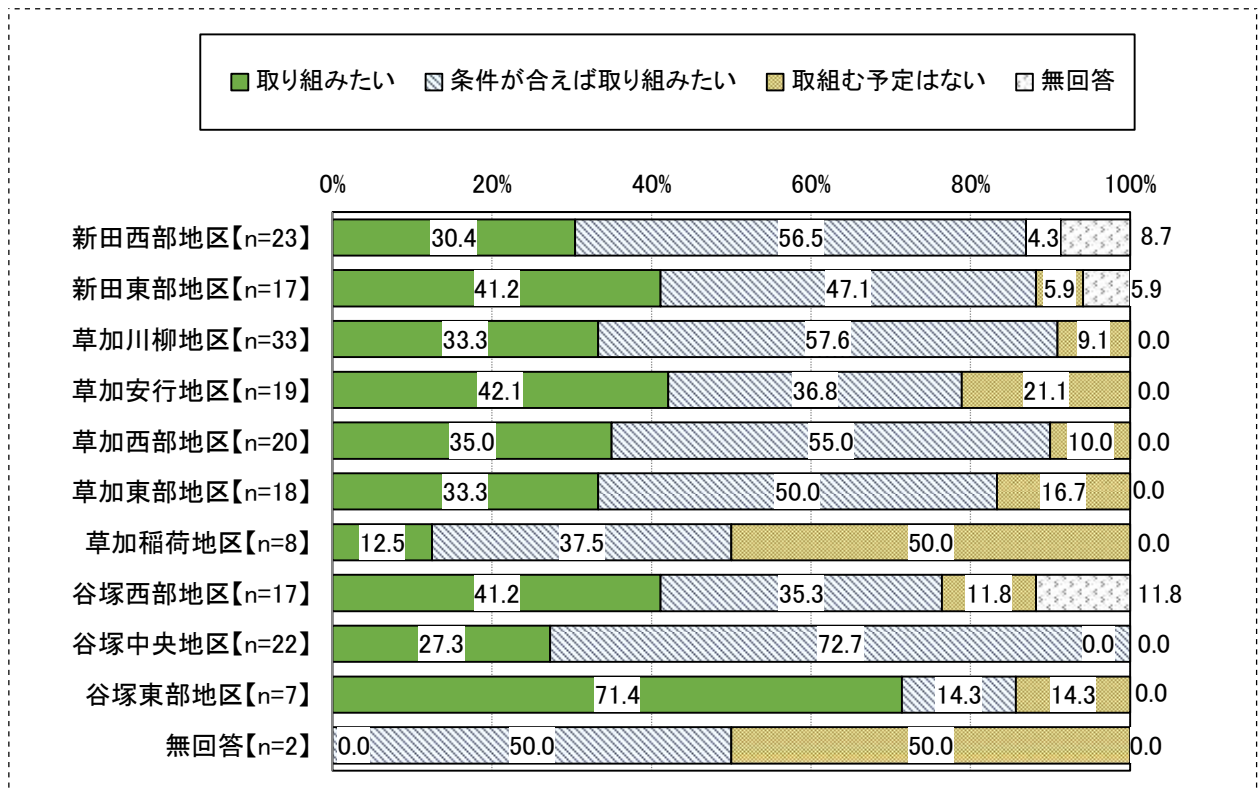
「住民が交流する場所や機会の提供」では、草加安行地区、草加東部地区、新田西部地区の割合が多くなっている。

問7. 貴事業所は、今後、地域貢献活動に取り組みたいですか。(あてはまるもの1つに☑)



地域貢献活動に対する今後の取り組み意向は、34.6%が「取り組みたい」、50.8%が「条件が合えば取り組みたい」、11.9%が「取組む予定はない」と回答している。

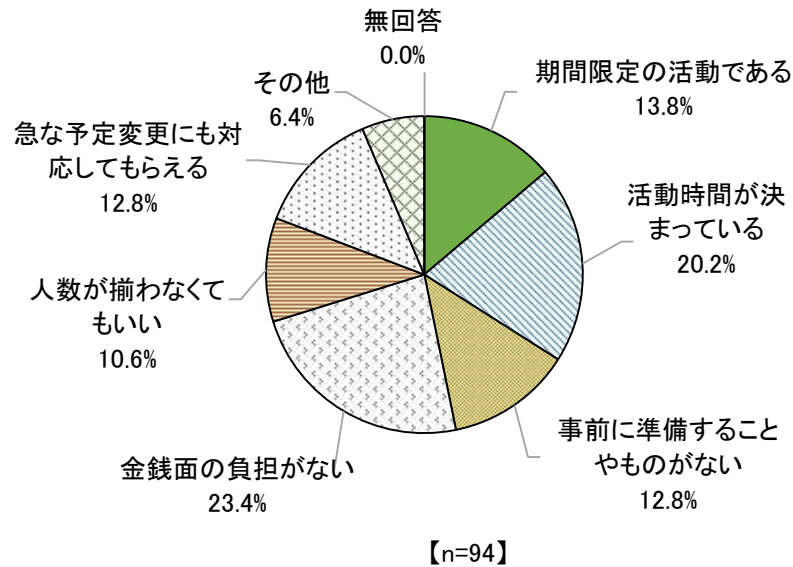
▶地区別クロス集計



地区別でみると、草加稲荷地区では「取り組みたい」の割合が少なく、相対的に「取組む予定はない」の割合が多くなっている。

その一方で谷塚東部地区では、「取り組みたい」の割合が他の地区より多くなっている。

問7-1. 問7で「条件が合えば取り組みたい」と答えた事業所にお聞きします。
 貴事業所ではどのような条件であれば、地域貢献活動に取り組みそうですか。
 (あてはまるもの1つに☑)



地域貢献活動に取り組めるようになる条件は、「金銭面の負担がない」が23.4%で最も多く、以下、「活動時間が決まっている」が20.2%、「期間限定の活動である」が13.8%、「事前に準備することやものがない」と「急な予定変更にも対応してもらえる」が同率の12.8%などとなっている。

【その他】

- ・ 隔週1回程度、私共の建物の清掃、年数回の雑草抜き
- ・ あくまでも事業所運営を最優先
- ・ マイナスの部分を行政でうめてくれるのであればやってもいい
- ・ 就業時間の範囲内である。
- ・ できる物とできない物有り。
- ・ 新型コロナウイルスが収束したら など

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

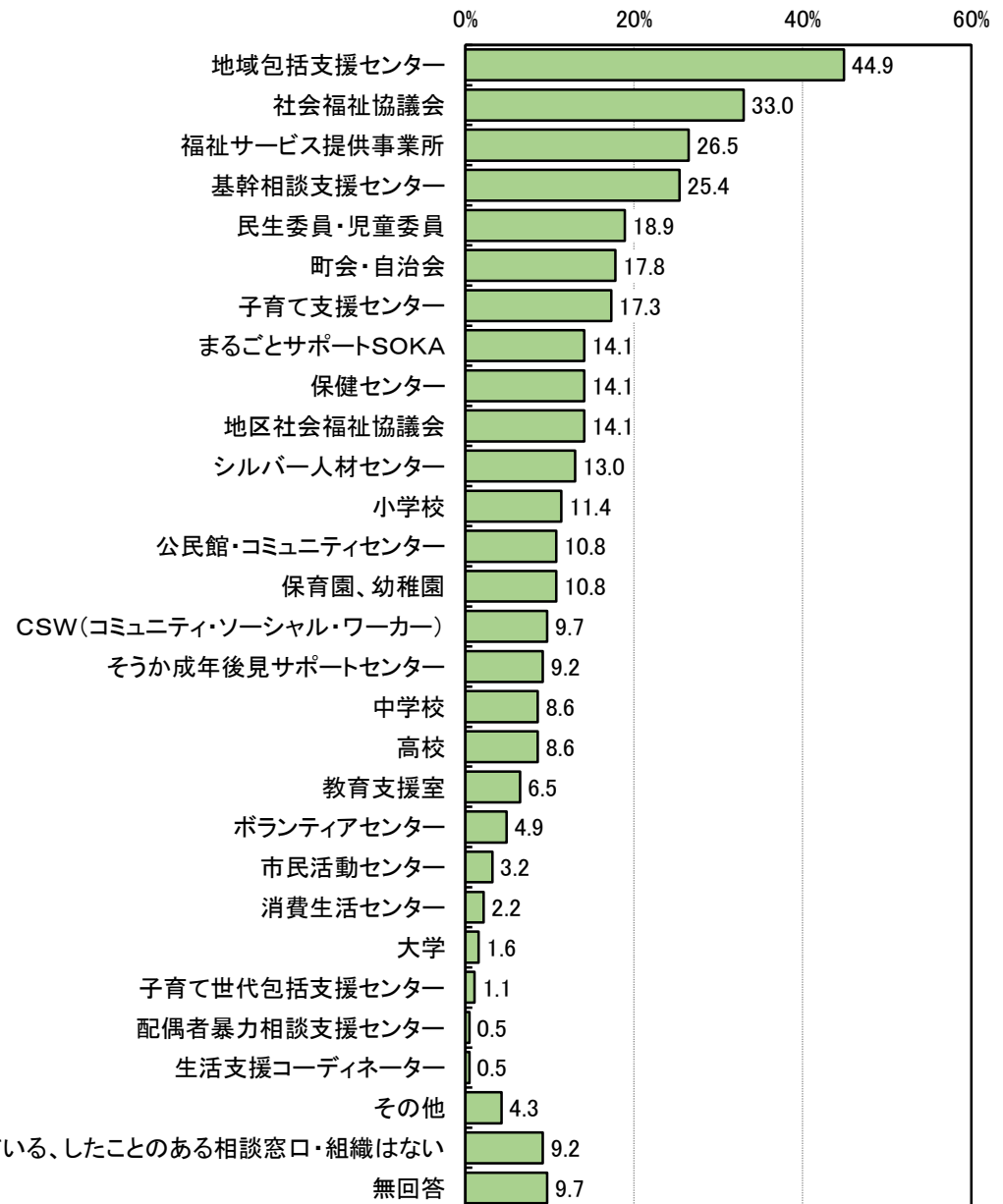
	期間限定の活動である	活動時間が決まっている	事前に準備することやものがない	金銭面の負担がない	人数が揃わなくてもいい	急な予定変更にも対応してもらえ	その他	無回答
新田西部地区【n=13】	15.4	0.0	7.7	30.8	15.4	7.7	23.1	0.0
新田東部地区【n=8】	0.0	50.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
草加川柳地区【n=19】	15.8	21.1	15.8	26.3	10.5	10.5	0.0	0.0
草加安行地区【n=7】	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
草加西部地区【n=11】	27.3	27.3	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0
草加東部地区【n=9】	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=3】	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=6】	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=16】	0.0	25.0	12.5	31.3	6.3	18.8	6.3	0.0
谷塚東部地区【n=1】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

地区別で「活動時間が決まっている」をみると、新田東部地区の割合が多い傾向が多い傾向がみられた。

問7から、5割の事業所が「条件が合えば取り組みたい」と回答している。問7-1の回答をもとに、現状の地域貢献活動と事業所のニーズを見直す必要がある。また、問6-4から地域貢献活動に取り組むことでメリットが得られたと回答した事業所があったことから、この点をうまく活用して、「条件が合えば取り組みたい」と関心を持っている事業所に対して周知活動などに取り組む必要がある。

問 8. 貴事業所が地域貢献活動で連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はありますか。（あてはまるもの全てに☑）

【n=185】



地域貢献活動で連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織では、「地域包括支援センター」が44.9%で最も多く、以下、「社会福祉協議会」が33.0%、「福祉サービス提供事業所」が26.5%、「基幹相談支援センター」が25.4%、「民生委員・児童委員」が18.9%などとなっている。

また、9.2%が「連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はない」と回答している。

【その他】

特別支援学校、商工会議所、農業者、相談支援所 など

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	地域包括支援センター	社会福祉協議会	福祉サービス提供事業所	基幹相談支援センター	民生委員・児童委員	町会・自治会	子育て支援センター	まるごとサポートSO KA	保健センター	地区社会福祉協議会
新田西部地区 [n=23]	52.2	26.1	21.7	21.7	17.4	8.7	17.4	13.0	4.3	8.7
新田東部地区 [n=17]	41.2	35.3	29.4	23.5	17.6	23.5	11.8	11.8	17.6	17.6
草加川柳地区 [n=33]	42.4	42.4	36.4	27.3	33.3	18.2	21.2	18.2	21.2	21.2
草加安行地区 [n=19]	26.3	15.8	31.6	31.6	5.3	10.5	21.1	21.1	26.3	21.1
草加西部地区 [n=20]	30.0	50.0	20.0	25.0	0.0	30.0	5.0	15.0	5.0	5.0
草加東部地区 [n=18]	38.9	33.3	16.7	27.8	16.7	5.6	22.2	11.1	16.7	0.0
草加稲荷地区 [n=8]	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	62.5	0.0	25.0	0.0
谷塚西部地区 [n=17]	58.8	11.8	23.5	23.5	17.6	35.3	17.6	11.8	5.9	11.8
谷塚中央地区 [n=22]	72.7	36.4	27.3	27.3	31.8	22.7	9.1	9.1	9.1	27.3
谷塚東部地区 [n=7]	57.1	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3
無回答 [n=2]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

	シルバー人材センター	小学校	公民館・コミュニティセンター	保育園、幼稚園	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	そうか成年後見サポートセンター	中学校	高校	教育支援室	ボランティアセンター
新田西部地区 [n=23]	13.0	8.7	0.0	8.7	21.7	4.3	4.3	4.3	8.7	0.0
新田東部地区 [n=17]	11.8	5.9	17.6	29.4	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9	5.9
草加川柳地区 [n=33]	15.2	9.1	24.2	12.1	12.1	15.2	15.2	9.1	0.0	9.1
草加安行地区 [n=19]	15.8	15.8	0.0	21.1	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0
草加西部地区 [n=20]	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0
草加東部地区 [n=18]	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	16.7	11.1	0.0
草加稲荷地区 [n=8]	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5
谷塚西部地区 [n=17]	11.8	17.6	11.8	11.8	5.9	5.9	23.5	23.5	11.8	11.8
谷塚中央地区 [n=22]	13.6	9.1	13.6	4.5	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5
谷塚東部地区 [n=7]	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
無回答 [n=2]	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

	市民活動センター	消費生活センター	大学	子育て世代包括支援センター	配偶者暴力相談支援センター	生活支援コーディネーター	その他	連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織はない	無回答
新田西部地区 [n=23]	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	8.7	0.0
新田東部地区 [n=17]	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6
草加川柳地区 [n=33]	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1	9.1
草加安行地区 [n=19]	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
草加西部地区 [n=20]	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0
草加東部地区 [n=18]	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6
草加稲荷地区 [n=8]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
谷塚西部地区 [n=17]	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	11.8
谷塚中央地区 [n=22]	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6	9.1
谷塚東部地区 [n=7]	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
無回答 [n=2]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

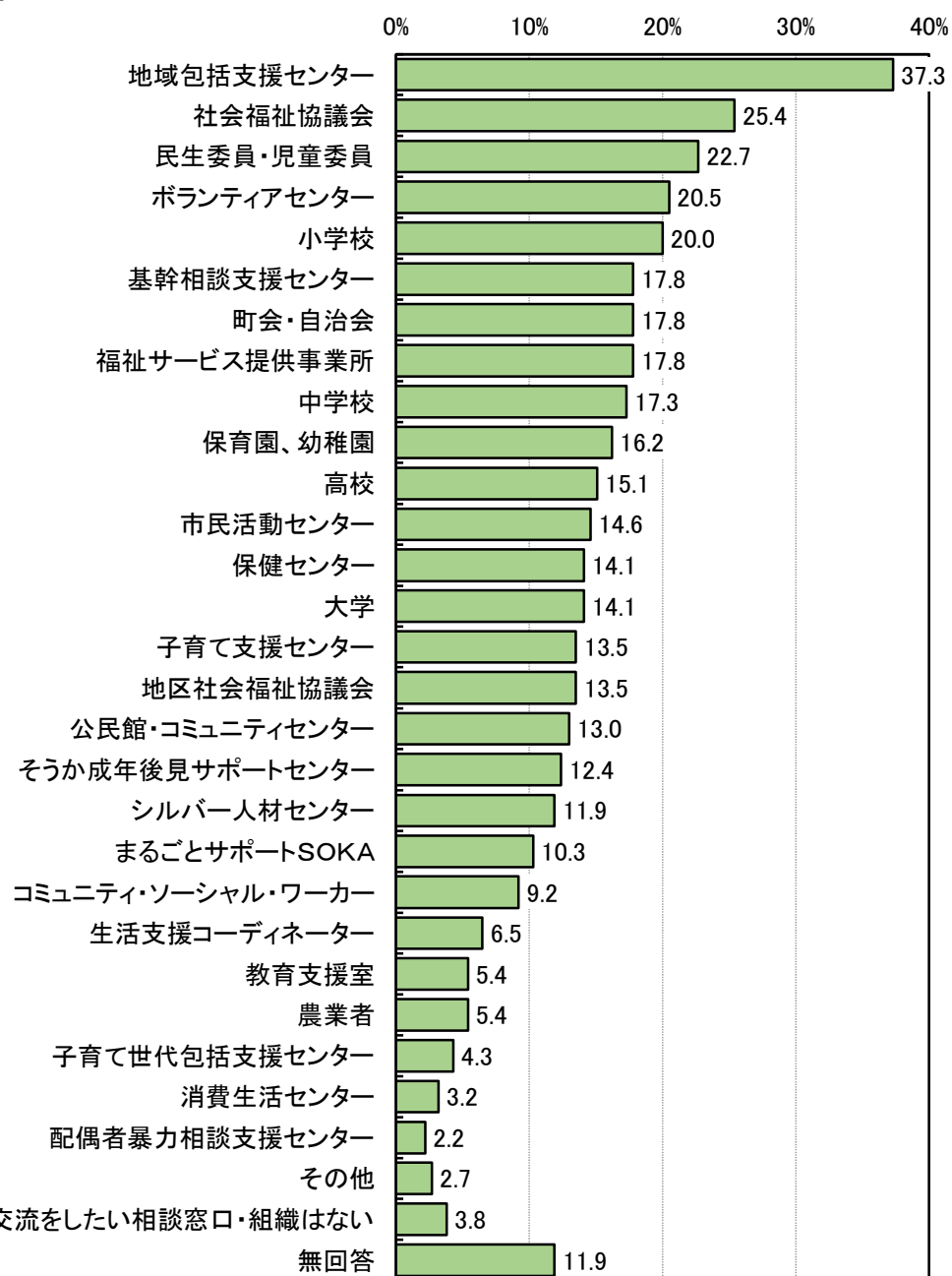
地区別で「地域包括支援センター」をみると、4～5割台の地区と2～3割台の地区があり、連携や交流について二極化している様子がみられた。

また、「社会福祉協議会」でみると、最も高い草加西部地区と最も低い谷塚西部地区で38.2ポイントの差がみられた。

問9. 貴事業所が、今後、地域貢献活動で連携や交流をしたい相談窓口・組織はありますか。

(あてはまるもの全てに☑)

【n=185】



今後、地域貢献活動で連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「地域包括支援センター」が37.3%で最も多く、以下、「社会福祉協議会」が25.4%、「民生委員・児童委員」が22.7%、「ボランティアセンター」が20.5%、「小学校」が20.0%などとなっている。

また、3.8%が「連携や交流をしたい相談窓口・組織はない」と回答している。

【その他】

- ・商工会
- ・子ども食堂など

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

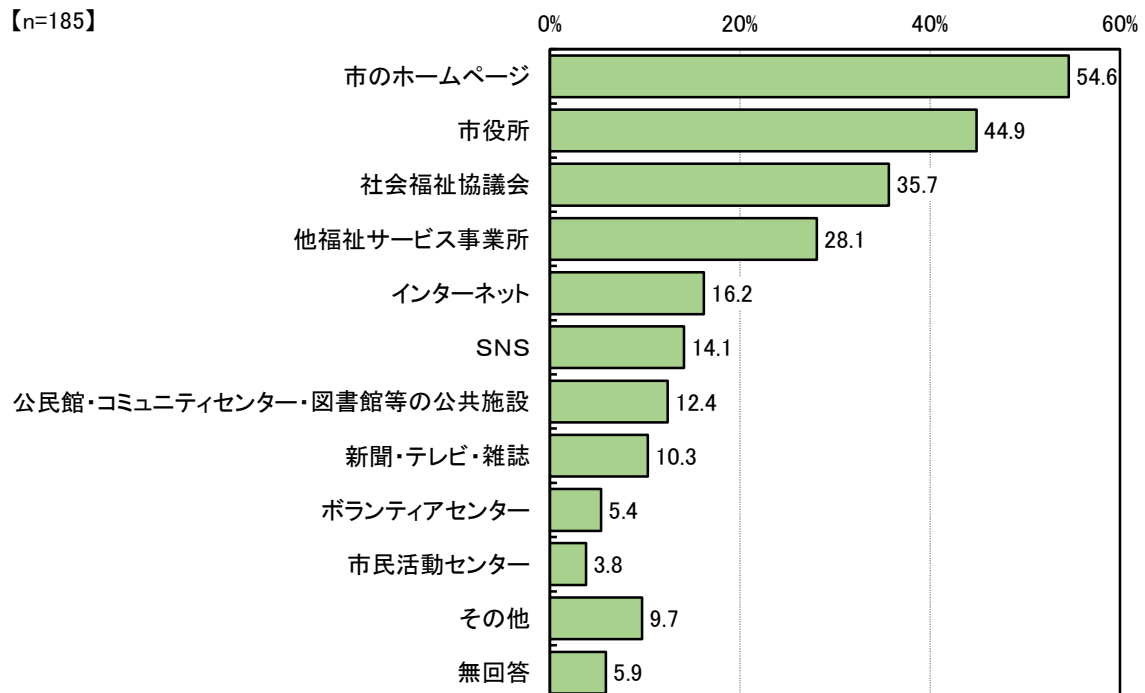
	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	ボランティアセンター	小学校	基幹相談支援センター	町会・自治会	福祉サービス提供事業所	中学校	保育園、幼稚園
新田西部地区 [n=23]	52.2	30.4	21.7	30.4	13.0	17.4	21.7	21.7	8.7	17.4
新田東部地区 [n=17]	23.5	17.6	17.6	29.4	5.9	29.4	17.6	11.8	11.8	17.6
草加川柳地区 [n=33]	27.3	30.3	21.2	24.2	24.2	18.2	30.3	36.4	24.2	18.2
草加安行地区 [n=19]	26.3	10.5	15.8	21.1	31.6	21.1	10.5	10.5	21.1	21.1
草加西部地区 [n=20]	45.0	40.0	25.0	30.0	40.0	35.0	30.0	30.0	35.0	25.0
草加東部地区 [n=18]	44.4	27.8	33.3	0.0	16.7	16.7	5.6	5.6	22.2	16.7
草加稲荷地区 [n=8]	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
谷塚西部地区 [n=17]	41.2	35.3	17.6	29.4	5.9	11.8	23.5	11.8	5.9	11.8
谷塚中央地区 [n=22]	45.5	13.6	31.8	0.0	13.6	9.1	4.5	9.1	13.6	0.0
谷塚東部地区 [n=7]	14.3	28.6	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6
無回答 [n=2]	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	高校	市民活動センター	保健センター	大学	子育て支援センター	地区社会福祉協議会	公民館・コミュニティセンター	そうか成年後見サポートセンター	シルバー人材センター	まるごとサポートSOKA
新田西部地区 [n=23]	8.7	21.7	13.0	4.3	17.4	13.0	17.4	13.0	17.4	8.7
新田東部地区 [n=17]	11.8	11.8	5.9	5.9	0.0	17.6	11.8	0.0	11.8	5.9
草加川柳地区 [n=33]	18.2	9.1	18.2	15.2	9.1	3.0	30.3	21.2	15.2	3.0
草加安行地区 [n=19]	26.3	15.8	15.8	10.5	21.1	26.3	0.0	10.5	10.5	10.5
草加西部地区 [n=20]	35.0	35.0	25.0	35.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	30.0
草加東部地区 [n=18]	5.6	5.6	11.1	22.2	11.1	5.6	0.0	11.1	11.1	11.1
草加稲荷地区 [n=8]	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
谷塚西部地区 [n=17]	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0	17.6	11.8	11.8	17.6	11.8
谷塚中央地区 [n=22]	13.6	18.2	9.1	9.1	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	13.6
谷塚東部地区 [n=7]	28.6	0.0	0.0	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0
無回答 [n=2]	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	生活支援コーディネーター	教育支援室	農業者	子育て世代包括支援センター	消費生活センター	配偶者暴力相談支援センター	その他
新田西部地区 [n=23]	17.4	13.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
新田東部地区 [n=17]	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
草加川柳地区 [n=33]	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	6.1
草加安行地区 [n=19]	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3
草加西部地区 [n=20]	30.0	15.0	5.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0
草加東部地区 [n=18]	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区 [n=8]	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区 [n=17]	11.8	11.8	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
谷塚中央地区 [n=22]	9.1	4.5	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区 [n=7]	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 [n=2]	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「地域包括支援センター」をみると、新田西部地区の割合が5割を上回るなど多くなっているが、谷塚東部地区では1割強と少なく、差がみられた。

問10. 貴事業所は、地域貢献活動に必要な情報はどこから入手していますか。（地域貢献活動をしていない場合、今後、地域貢献をしようとしたときに必要な情報をどこから入手しようと思いますか。）（あてはまるもの全てに☑）



地域貢献活動に必要な情報の入手先は、「市のホームページ」が54.6%で最も多く、以下、「市役所」が44.9%、「社会福祉協議会」が35.7%、「他福祉サービス事業所」が28.1%、「インターネット（市のホームページ以外）」が16.2%などとなっている。

【インターネットの具体例】

- ・ Google検索、キーワード検索
- ・ 地域で活動している個人や団体から直接
- ・ 厚生労働省、
- ・ 埼玉県ホームページ

【その他】

- ・ 市の広報(配布されている)
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 当法人本部
- ・ 地域の集まり
- ・ 相談の電話が来る。
- ・ 知人、友人より情報を得ています
- ・ 町内会の回覧板等
- ・ 居宅事業所
- ・ 地域で活動する個人や団体から直接
- ・ 発達支援センター、保育園・幼稚園、小学校などの相談員や先生
- ・ 地域住民からの声

▶ 地区別クロス集計

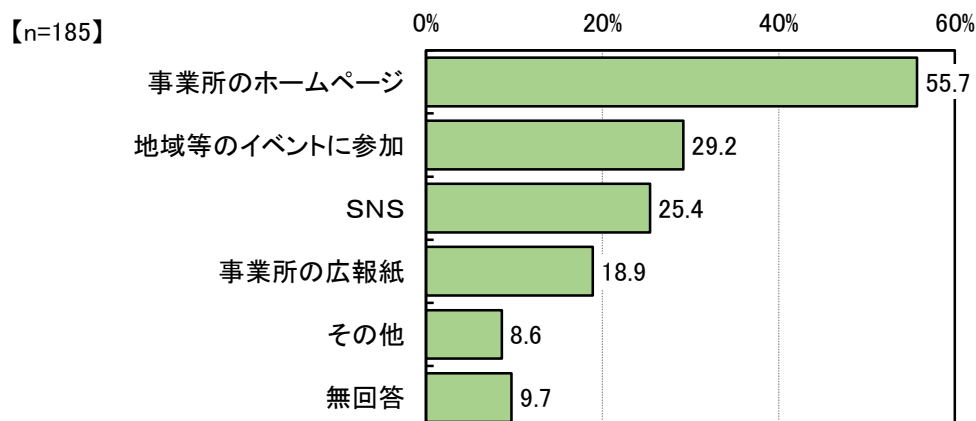
【単位：％】

	市のホームページ	市役所	社会福祉協議会	他福祉サービス事業所	インターネット	SNS
新田西部地区【n=23】	43.5	47.8	30.4	30.4	17.4	8.7
新田東部地区【n=17】	58.8	70.6	35.3	41.2	11.8	11.8
草加川柳地区【n=33】	66.7	48.5	54.5	33.3	21.2	3.0
草加安行地区【n=19】	57.9	52.6	31.6	10.5	21.1	15.8
草加西部地区【n=20】	50.0	35.0	40.0	40.0	15.0	30.0
草加東部地区【n=18】	55.6	44.4	22.2	16.7	5.6	16.7
草加稲荷地区【n=8】	62.5	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5
谷塚西部地区【n=17】	41.2	41.2	23.5	23.5	23.5	23.5
谷塚中央地区【n=22】	54.5	31.8	40.9	22.7	9.1	9.1
谷塚東部地区【n=7】	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	28.6
無回答【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	公民館・コミュニティセンター・図書館等の公共施設	新聞・テレビ・雑誌	ボランティアセンター	市民活動センター	その他	無回答
新田西部地区【n=23】	13.0	8.7	4.3	13.0	17.4	8.7
新田東部地区【n=17】	29.4	11.8	11.8	5.9	11.8	0.0
草加川柳地区【n=33】	18.2	15.2	9.1	0.0	3.0	3.0
草加安行地区【n=19】	10.5	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3
草加西部地区【n=20】	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0
草加東部地区【n=18】	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=8】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=17】	11.8	17.6	5.9	5.9	23.5	17.6
谷塚中央地区【n=22】	13.6	4.5	0.0	0.0	9.1	13.6
谷塚東部地区【n=7】	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
無回答【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

地区別で「市のホームページ」みると、草加川柳地区、草加稲荷地区で6割を超えるなど多い傾向がみられます。その一方で、谷塚西部地区、谷塚東部地区、新田西部地区で4割台と少なくなっている。

問11. 貴事業所は地域貢献活動をどのような方法でPRしていますか。(地域貢献活動をしていない場合、今後、地域貢献をしたときにどのような方法でPRしようと思えますか。)(あてはまるもの全てに☑)



地域貢献活動のPR方法について、「事業所のホームページ」が55.7%で最も多く、以下、「地域等のイベントに参加」が29.2%、「SNS (YouTube、Facebook、Twitter、Instagram)」が25.4%、「事業所の広報紙」が18.9%となっている。

【その他】

- ・地域貢献したとしてもPRはしない
- ・事業所内掲示板、ブログ
- ・書面で分かりやすく説明をしたいと考えています
- ・あまり積極的にはPRはせず、プライバシーに配慮の希望の利用者さんもいるため。
- ・特にPRはしていないが、今後はSNS等の活用を検討する。
- ・広報そうか など

▶地区別クロス集計

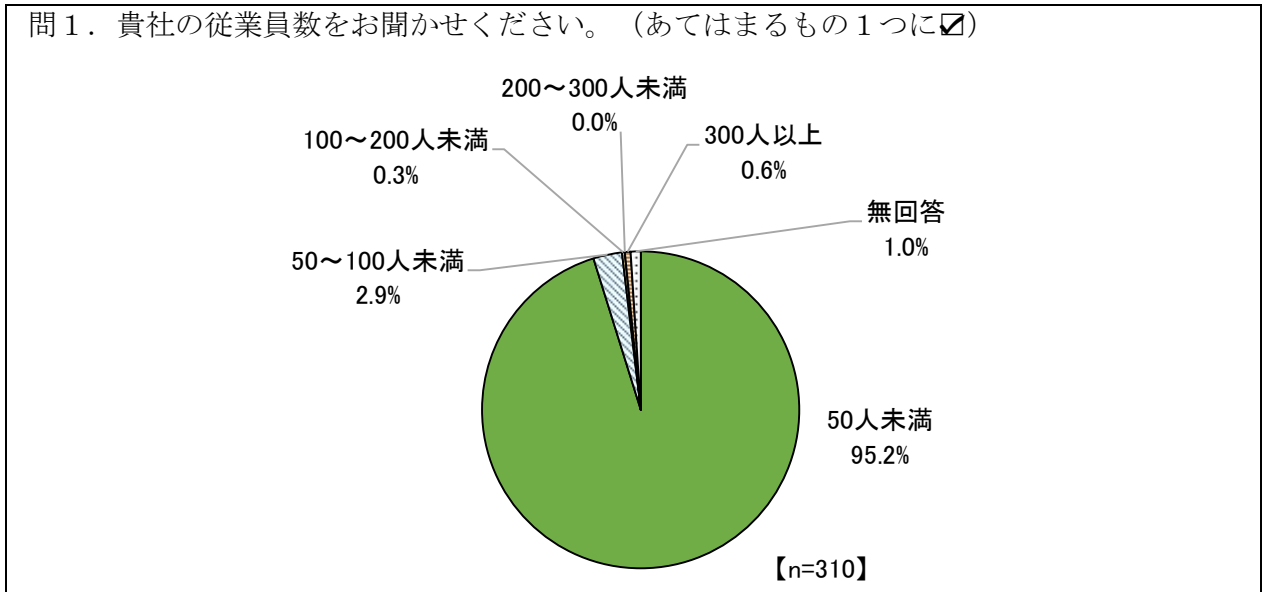
【単位：%】

	事業所のホームページ	地域等のイベントに参加	SNS	事業所の広報紙	その他	無回答
新田西部地区【n=23】	30.4	21.7	13.0	26.1	13.0	17.4
新田東部地区【n=17】	70.6	29.4	17.6	29.4	5.9	0.0
草加川柳地区【n=33】	69.7	36.4	24.2	27.3	9.1	3.0
草加安行地区【n=19】	47.4	26.3	31.6	5.3	21.1	21.1
草加西部地区【n=20】	65.0	40.0	35.0	10.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=18】	61.1	11.1	22.2	22.2	5.6	11.1
草加稲荷地区【n=8】	62.5	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0
谷塚西部地区【n=17】	52.9	17.6	29.4	23.5	11.8	17.6
谷塚中央地区【n=22】	50.0	45.5	22.7	13.6	4.5	13.6
谷塚東部地区【n=7】	42.9	57.1	42.9	14.3	0.0	0.0
無回答【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

地区別で「事業所のホームページ」をみると、新田東部地区で7割、草加川柳地区、草加西部地区、草加稲荷地区、草加東部地区で6割と多い傾向がみられます。その一方で、草加西部地区は3割と差がみられました。

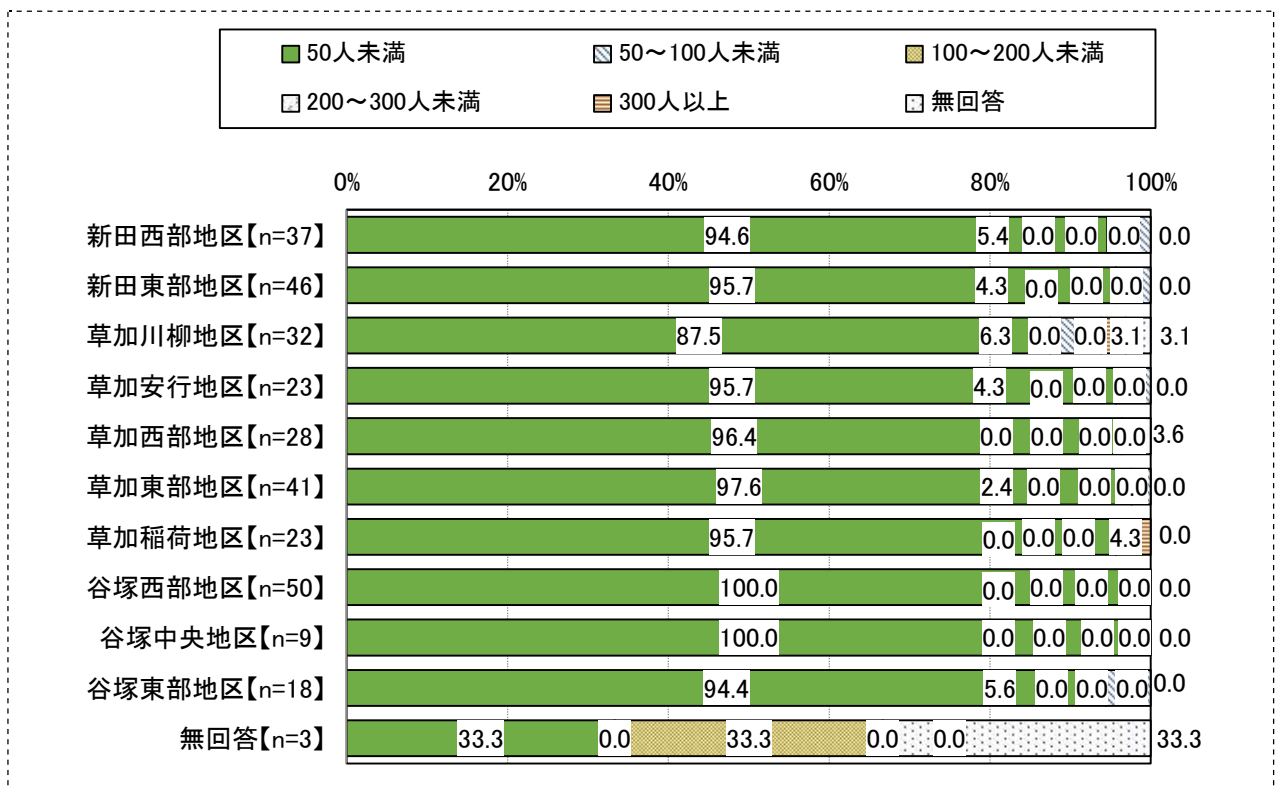
④民間企業調査

貴社について



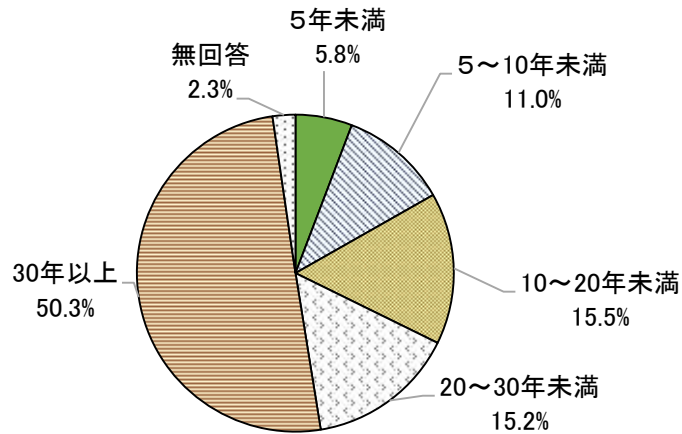
従業員数は、「50人未満」が95.2%、「50~100人未満」が2.9%、「100~200人未満」が0.3%、「200~300人未満」が0.0%、「300人以上」が0.6%となっている。

▶地区別クロス集計



地区別で見ると、いずれの地区でも「50人未満」の割合が多くなっている。

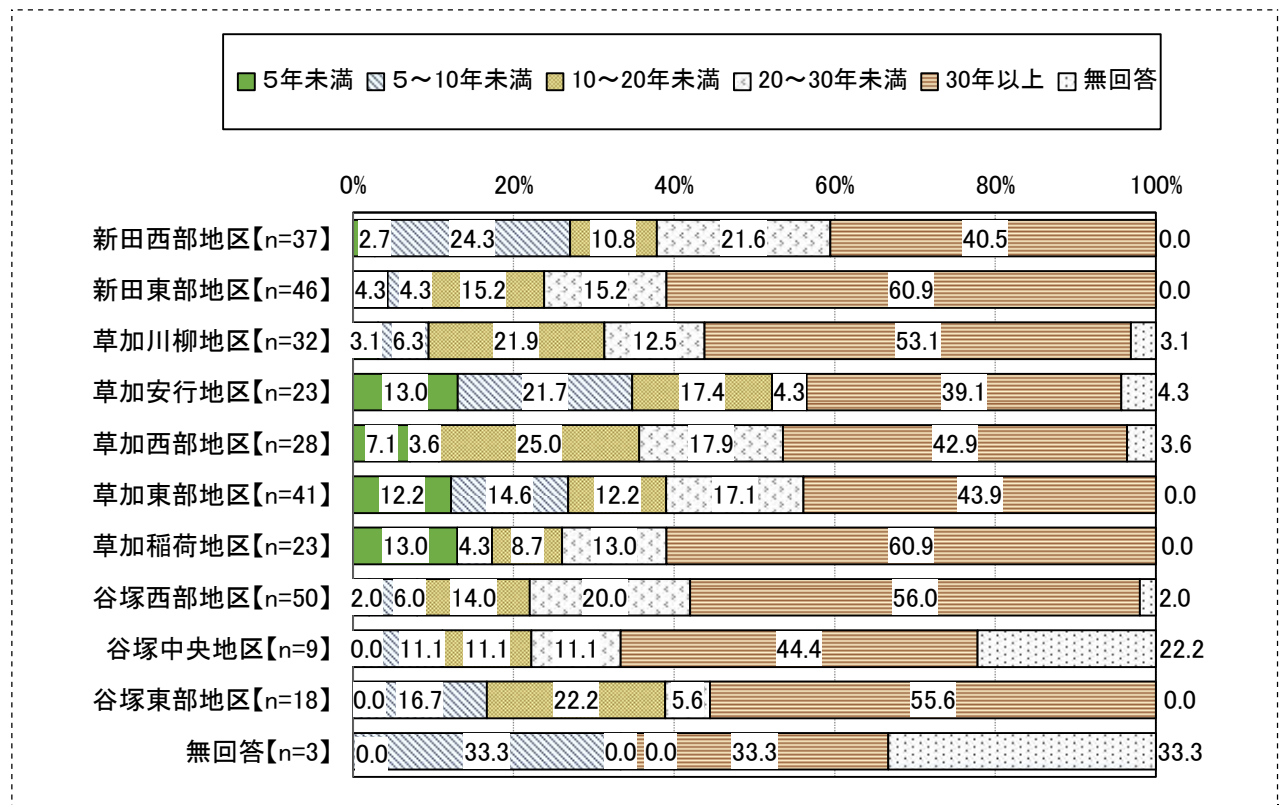
問2. 貴社の営業年数をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)



【n=310】

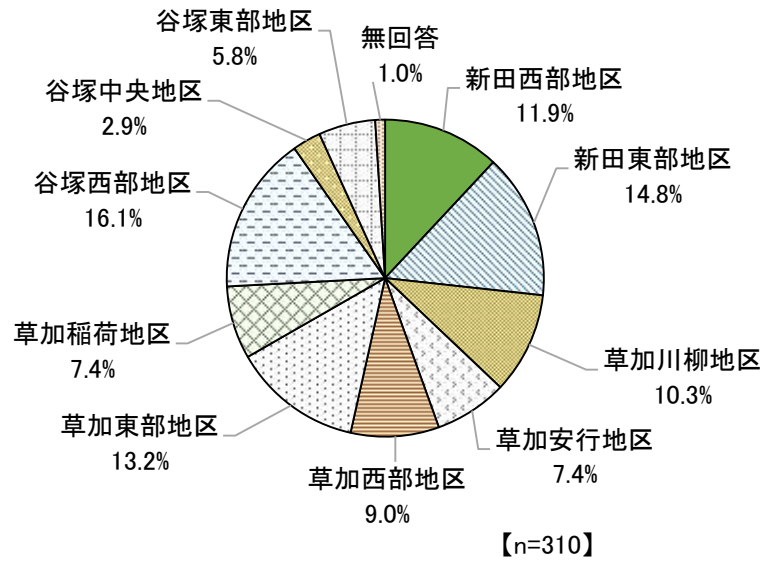
営業年数は、「5年未満」が5.8%、「5~10年未満」が11.0%、「10~20年未満」が15.5%、「20~30年未満」が15.2%、「30年以上」が50.3%となっている。

▶地区別クロス集計



地区別で見ると、いずれの地区でも「30年以上」の割合が多くなっている。

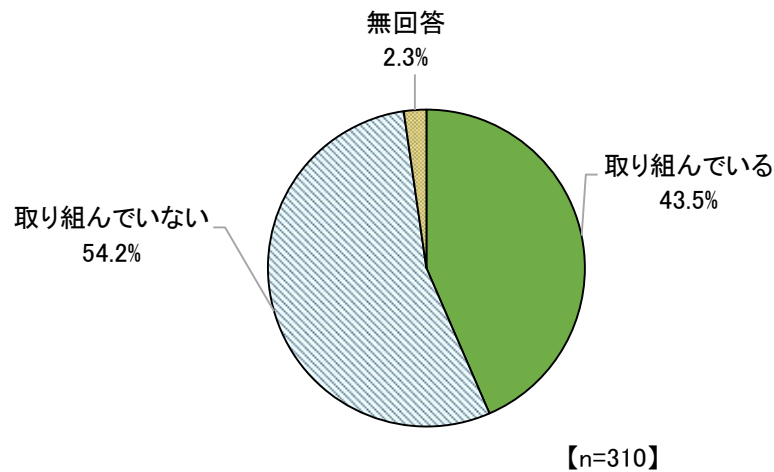
問3. 貴社の所在地域をお聞かせください。(あてはまるもの1つに☑)



所在地域は、「新田西部地区」が11.9%、「新田東部地区」が14.8%、「草加川柳地区」が10.3%、「草加安行地区」が7.4%、「草加西部地区」が9.0%、「草加東部地区」が13.2%、「草加稲荷地区」が7.4%、「谷塚西部地区」が16.1%、「谷塚中央地区」が2.9%、「谷塚東部地区」が5.8%となっている。

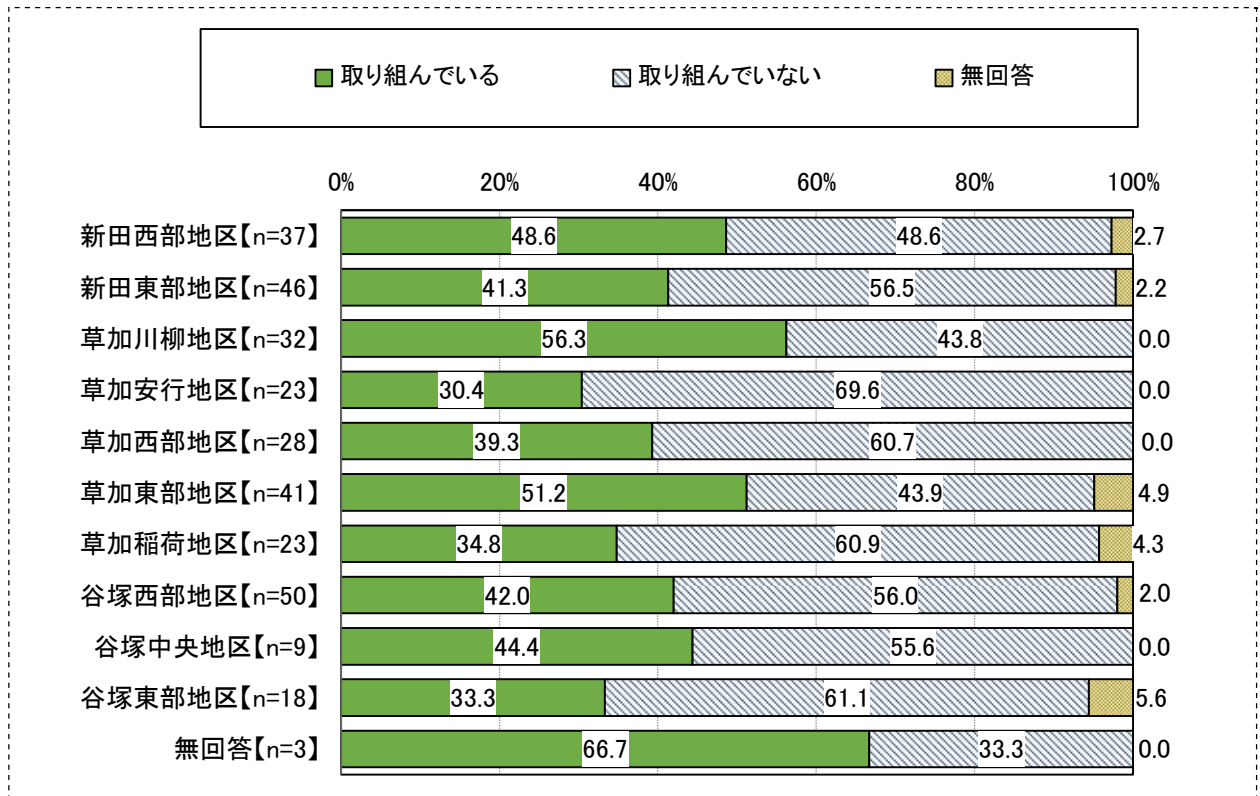
地域貢献活動について

問4. 貴社は、地域貢献活動に取り組んでいますか。(あてはまるもの1つに☑)



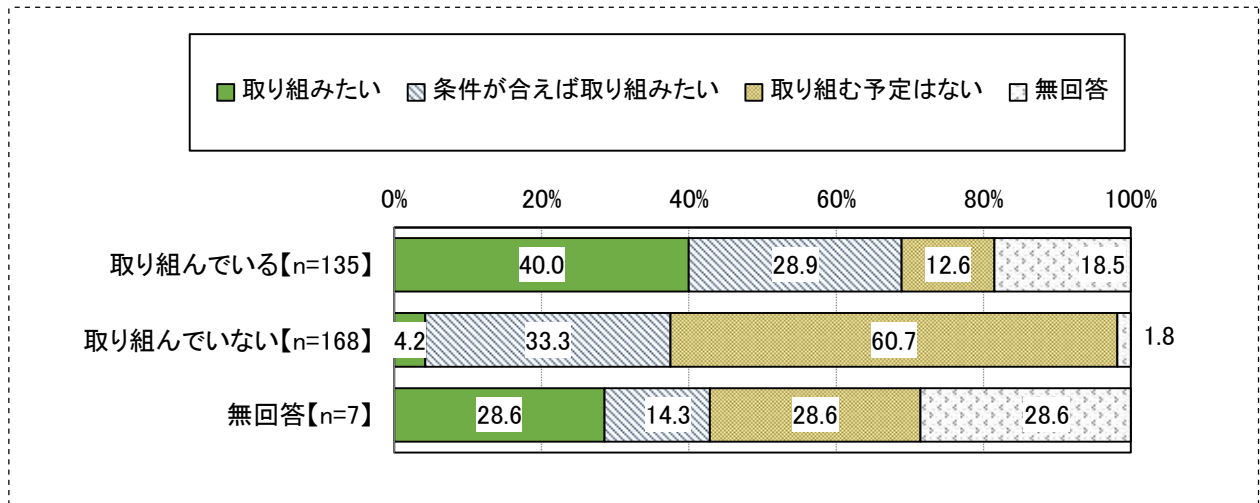
地域貢献活動への取り組み状況は、43.5%が「取り組んでいる」、54.2%が「取り組んでいない」と回答している。

▶地区別クロス集計



地区別で見ると、草加川柳地区、草加東部地区で約5割の企業が地域貢献活動に取り組んでいる。

▶問4「貴社は、地域貢献活動に取り組んでいますか」と問5「貴社は今後、地域貢献活動に取り組みたいと思いますか」のクロス集計



現状、地域貢献活動に取り組んでいる企業における、今後の取り組みへの意向は、「参加したい」の割合が多くなっている。

また、現状参加していない企業でも、3割の企業で「条件が合えば参加したい」と回答している。

▶問4「貴社は、地域貢献活動に取り組んでいますか」と問5-1「貴社ではどのような条件であれば、地域貢献活動に取り組めそうですか」のクロス集計

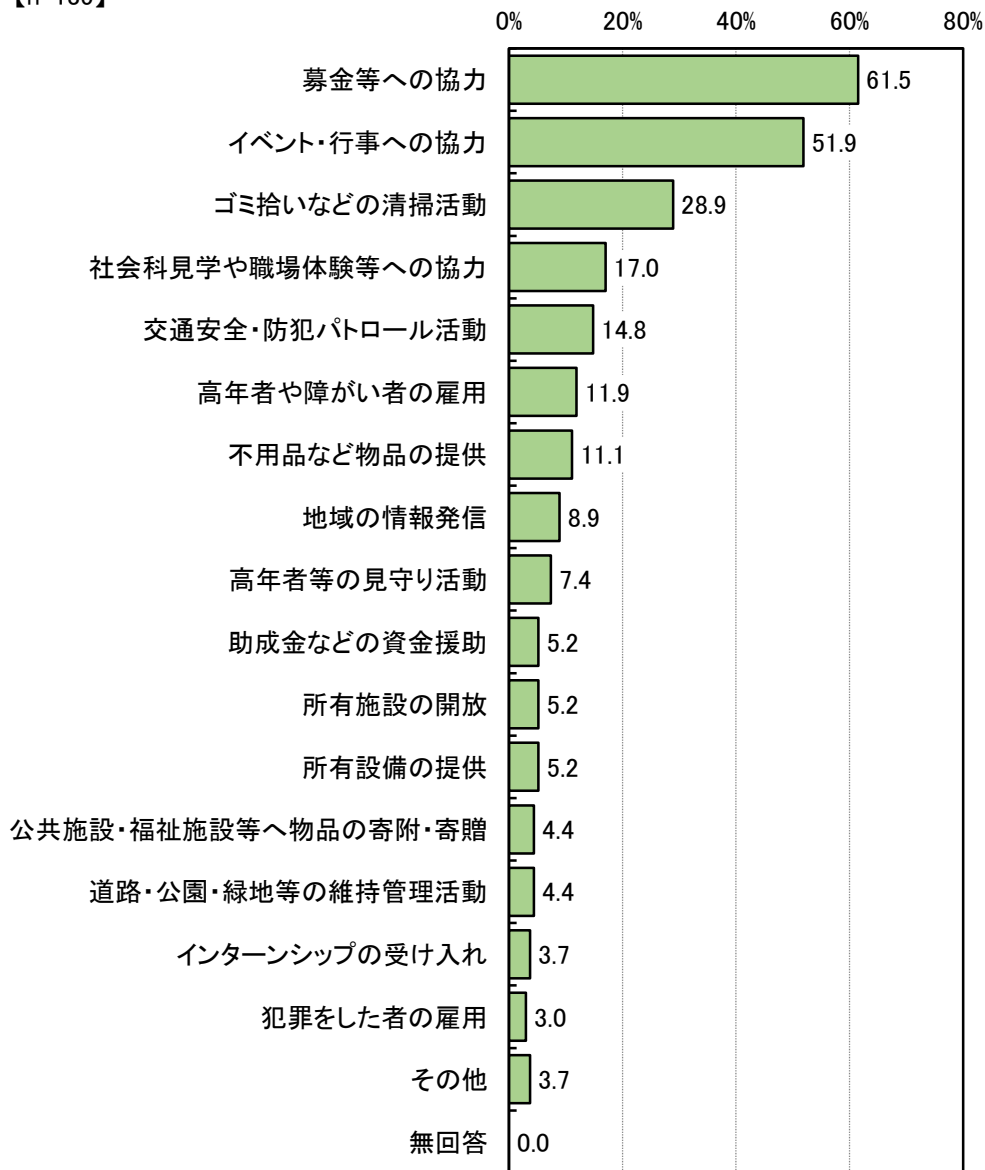
【単位：％】

	期間限定の活動である	活動時間が決まっている	事前に準備することやものがない	金銭面の負担がない	人数が揃わなくてもいい	急な予定変更にも対応してもらえ	その他	無回答
取り組んでいる【n=39】	12.8	7.7	28.2	28.2	12.8	7.7	2.6	0.0
取り組んでいない【n=56】	14.3	14.3	23.2	19.6	17.9	8.9	1.8	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域貢献活動に取り組んでいない企業が望む条件は、「事前に準備することやものがない」が23.2%で最も多く、次いで「金銭面の負担がない」が19.6%、「人数が揃わなくてもいい」17.9%となっている。

問4-1. 問4で「①取り組んでいる」と答えた企業にお聞きします。
 貴社はどのような内容の地域貢献活動に取り組んでいますか。
 (あてはまるもの全てに☑)

【n=135】



取り組んでいる地域貢献活動の内容は、「募金等への協力」が61.5%で最も多く、以下、「イベント・行事への協力」が51.9%、「ゴミ拾いなどの清掃活動」が28.9%、「社会科見学や職場体験等への協力」が17.0%、「交通安全・防犯パトロール活動」が14.8%などとなっている。

【その他】

- ・道路沿いの花飾り
- ・毎日近隣の清掃
- ・BCPを策定して応域災害に対して緊急事態対応
- ・社是！質素倹約を旨とする武士道精神を常に体現してゆくことその先に社会貢献があります。社会の皆様から評価され支持されてこそ230年の伝統の継承につながります。
- ・ペット保護
- ・薬物乱用防止教室の開催、地域包括センターとの住民への勉強会の開催
- ・地域の資源回収に段ボールなどを提供

▶ 地区別クロス集計

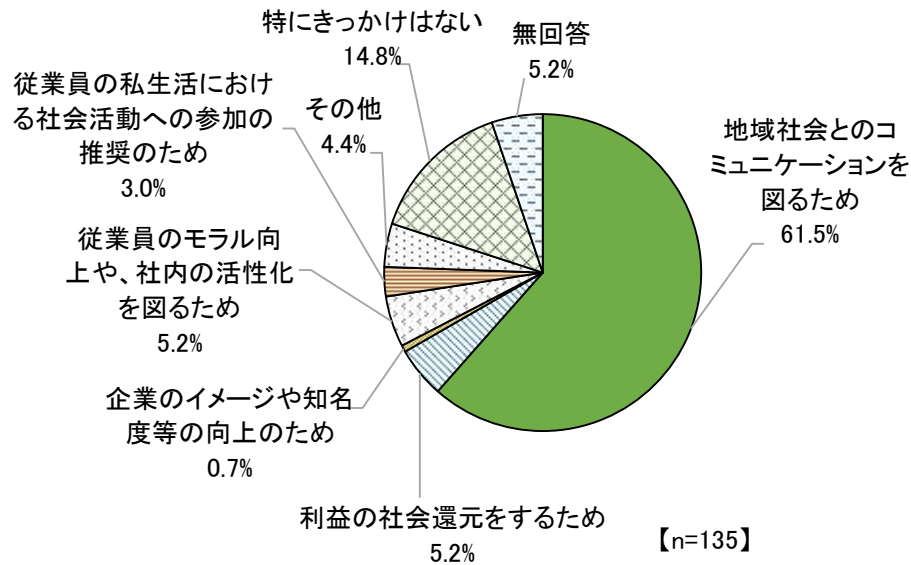
【単位：％】

	募金等への協力	イベント・行事への協力	社会科見学や職場体験等への協力	ゴミ拾いなどの清掃活動	不用品など物品の提供	公共施設・福祉施設等へ物品の寄附・寄贈	地域の情報発信	高齢者等の見守り活動	交通安全・防犯パトロール活動
新田西部地区【n=18】	55.6	38.9	33.3	27.8	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6
新田東部地区【n=19】	52.6	52.6	10.5	26.3	15.8	0.0	5.3	15.8	26.3
草加川柳地区【n=18】	72.2	44.4	16.7	27.8	5.6	0.0	5.6	0.0	11.1
草加安行地区【n=7】	42.9	57.1	0.0	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3
草加西部地区【n=11】	63.6	54.5	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=21】	61.9	76.2	33.3	33.3	4.8	4.8	19.0	9.5	14.3
草加稲荷地区【n=8】	87.5	50.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0
谷塚西部地区【n=21】	52.4	28.6	14.3	33.3	9.5	0.0	4.8	4.8	14.3
谷塚中央地区【n=4】	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
谷塚東部地区【n=6】	83.3	100.0	16.7	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3
無回答【n=2】	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	高齢者や障がい者の雇用	道路・公園・緑地等の維持管理活動	インターシップの受け入れ	助成金などの資金援助	所有施設の開放	所有設備の提供	犯罪をした者の雇用	その他	無回答
新田西部地区【n=18】	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
新田東部地区【n=19】	10.5	0.0	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0
草加川柳地区【n=18】	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
草加安行地区【n=7】	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
草加西部地区【n=11】	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0
草加東部地区【n=21】	19.0	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0
草加稲荷地区【n=8】	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=21】	9.5	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5	0.0
谷塚中央地区【n=4】	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=6】	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

地域別で「募金等への協力」をみると、草加稲荷地区、谷塚東部地区で8割を上回っているほか、草加川柳地区、谷塚中央地区でも7割を超えるなど多くなっている。その一方で、草加安行地区では4割超と差がみられた。

問4-2. 問4で「①取り組んでいる」と答えた企業にお聞きします。
 貴社が地域貢献活動に取り組んだきっかけを教えてください。
 (あてはまるもの1つに☑)



地域貢献活動に取り組んだきっかけでは、「地域社会とのコミュニケーションを図るため」が61.5%で最も多く、以下、「特にきっかけはない」が14.8%、「利益の社会還元をするため」と「従業員のモラル向上や、社内の活性化を図るため」が同率の5.2%となっている。

【その他】

- ・ 地域のお祭りや、子供会に募金の協力
- ・ 資機材の故障の修理
- ・ ロータリークラブ会員
- ・ 市の管理地に住民が植えた木が手入れされず草がからみ防犯上見通しも悪く危険な為
- ・ 建設業振興会の会員
- ・ ボランティア活動を通して
- ・ 集金に来るから(町会)
- ・ 住んでいる地域だから
- ・ 代表が自治町会の役員をしている為法人としても協力している
- ・ 町会副会長のため、公園責任者

▶地区別クロス集計

【単位：％】

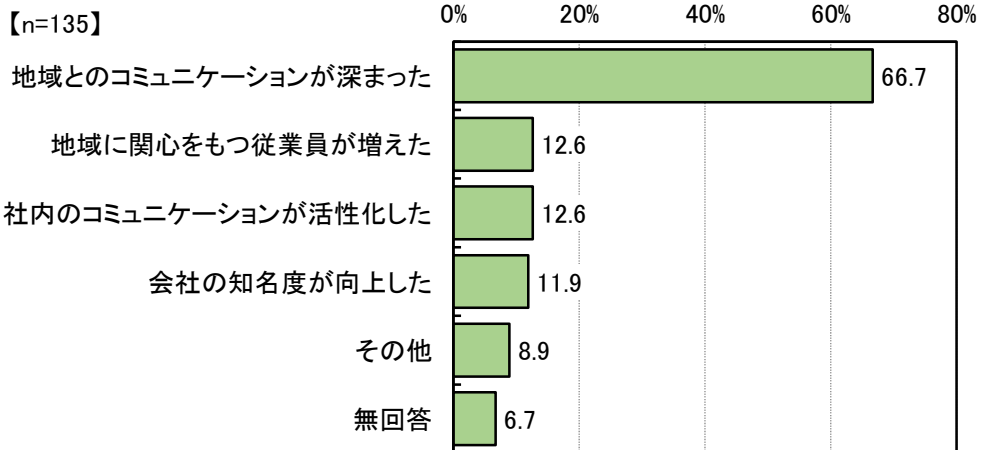
	地域社会とのコミュニケーションを図るため	利益の社会還元をするため	従業員のモラル向上や、社内の活性化を図るため	従業員の私生活における社会活動への参加の推奨のため	企業のイメージや知名度等の向上のため	その他	特にきっかけはない	無回答
新田西部地区【n=18】	50.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	33.3	5.6
新田東部地区【n=19】	63.2	0.0	10.5	5.3	0.0	10.5	5.3	5.3
草加川柳地区【n=18】	44.4	11.1	16.7	5.6	0.0	0.0	22.2	0.0
草加安行地区【n=7】	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
草加西部地区【n=11】	63.6	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
草加東部地区【n=21】	81.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
草加稲荷地区【n=8】	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=21】	52.4	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	23.8	9.5
谷塚中央地区【n=4】	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=6】	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
無回答【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

地域別で「地域社会とのコミュニケーションを図るため」をみると、いずれの地区も割合は多い傾向がみられるが、なかでも、草加稲荷地区、草加東部地区、谷塚東部地区では8割を超えるなど多くなっている。

問4-3. 問4で「①取り組んでいる」と答えた企業にお聞きします。

地域貢献活動に取り組むことで、どのような効果がありましたか。

(あてはまるもの全てに☑)



地域貢献活動に取り組むことで得られた効果では、「地域とのコミュニケーションが深まった」が66.7%で最も多く、以下、「地域に関心をもつ従業員が増えた」と「社内のコミュニケーションが活性化した」が同率の12.6%、「会社の知名度が向上した」が11.9%となっている。

【その他】

- ・単純に昔ながらのお祭やその行事に子供達が喜んで活動しているから
- ・当然の事なので何もない
- ・そもそも効果等を望むものではない
- ・メリット・デメリットは、関係ない
- ・特になし、特に変化なし など

▶ 地区別クロス集計

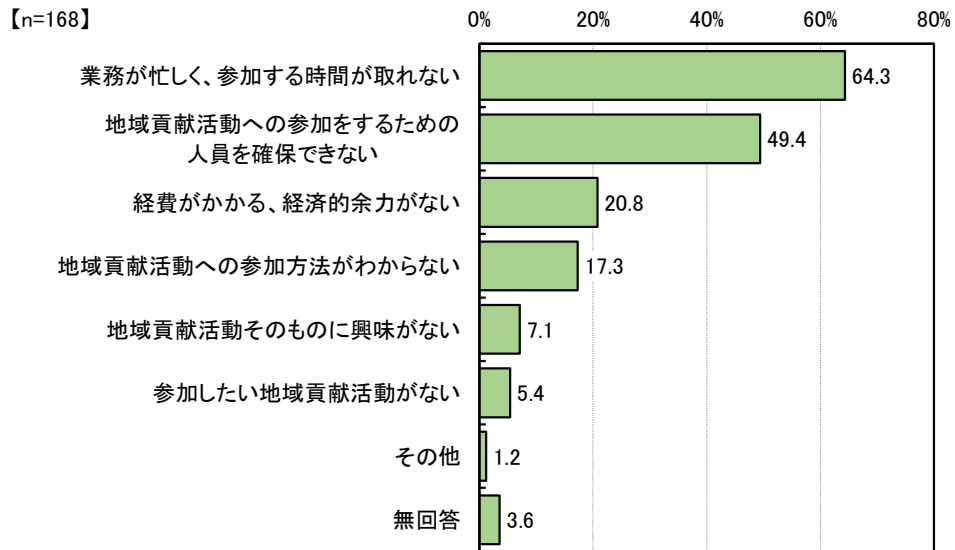
【単位：％】

	地域とのコミュニケーションが深まった	地域に関心をもつ従業員が増えた	社内のコミュニケーションが活性化した	会社の知名度が向上した	その他	無回答
新田西部地区【n=18】	72.2	5.6	5.6	5.6	11.1	16.7
新田東部地区【n=19】	63.2	15.8	5.3	21.1	15.8	5.3
草加川柳地区【n=18】	50.0	16.7	22.2	27.8	11.1	0.0
草加安行地区【n=7】	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6
草加西部地区【n=11】	54.5	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1
草加東部地区【n=21】	85.7	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0
草加稲荷地区【n=8】	75.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=21】	66.7	4.8	9.5	0.0	14.3	4.8
谷塚中央地区【n=4】	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
谷塚東部地区【n=6】	83.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
無回答【n=2】	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0

地域別でみると、草加東部地区、谷塚東部地区では「地域とのコミュニケーションが深まった」の割合が他の地区と比べて多くなっている。

また、草加稲荷地区と谷塚東部地区では「地域に関心をもつ従業員が増えた」の割合が多い傾向がみられた。

問4-4. 問4で「②取り組んでいない」と答えた企業にお聞きします。
 地域貢献活動に取り組んでいない主な理由を教えてください。
 (あてはまるもの全てに☑)



地域貢献活動に取り組んでいない理由では、「業務が忙しく、参加する時間が取れない」が64.3%で最も多く、以下、「地域貢献活動への参加をするための人員を確保できない」が49.4%、「経費がかかる、経済的余力がない」が20.8%、「地域貢献活動への参加方法がわからない」が17.3%、「地域貢献活動そのものに興味がない」が7.1%などとなっている。

【その他】

- ・従業員二名と小さな会社です。むずかしいです。
- ・個人的に行動・地域貢献となると活動が負担。
- ・居住地が他所の為・高齢・身体健康でない
- ・当社は専門店街の一員であり、上記の活動については、会費の負担により専門店会事務局に一任し、専門店会として行っているため、当社単体での取り組みはない。

▶地区別クロス集計

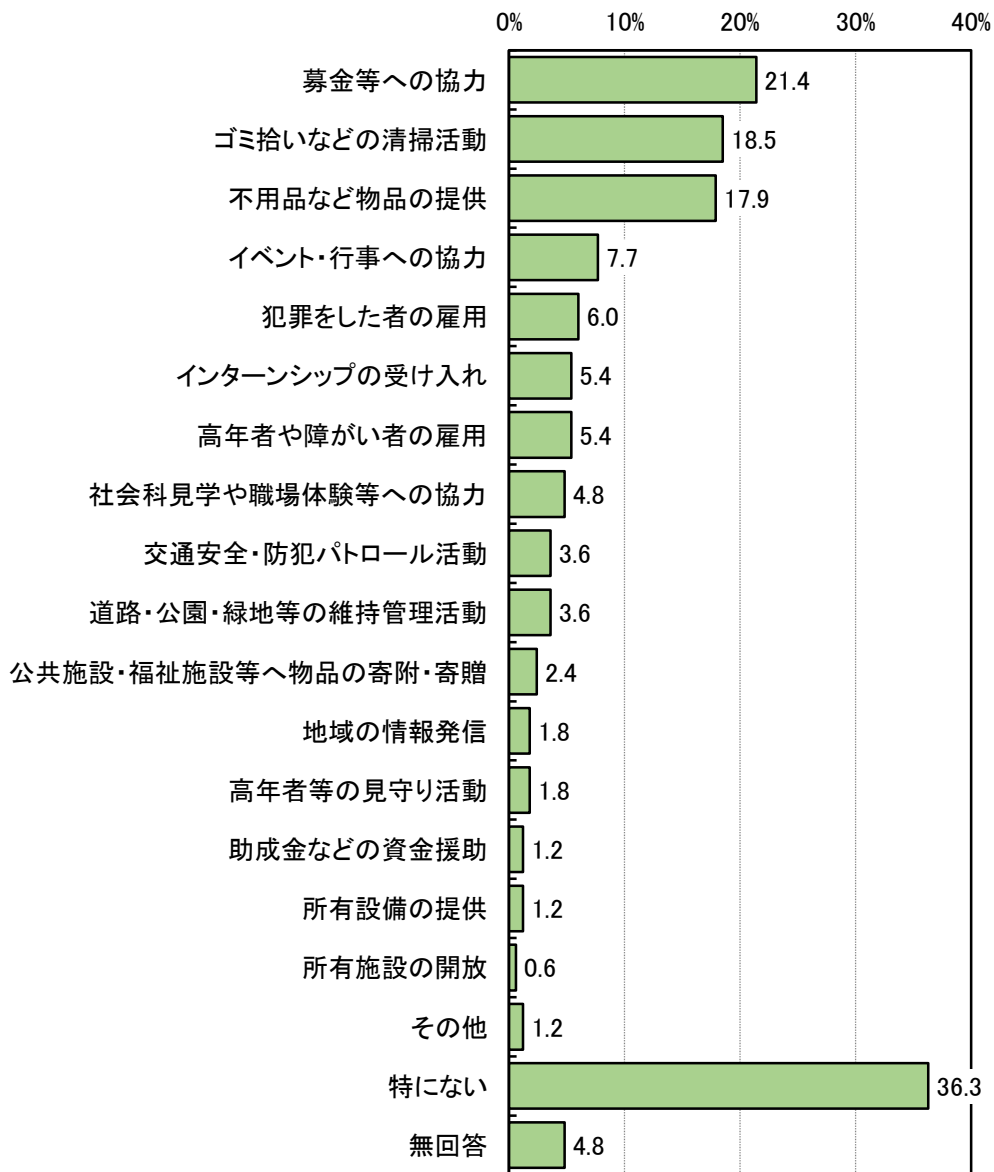
【単位：％】

	業務が忙しく、参加する時間が取れない	地域貢献活動への参加をするための人員を確保できない	経費がかかる、経済的余力がない	地域貢献活動への参加方法がわからない	地域貢献活動そのものに興味がない	参加したい地域貢献活動がない	その他	無回答
新田西部地区【n=18】	61.1	50.0	22.2	22.2	5.6	11.1	11.1	0.0
新田東部地区【n=26】	57.7	42.3	26.9	15.4	19.2	7.7	0.0	3.8
草加川柳地区【n=14】	64.3	28.6	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3
草加安行地区【n=16】	56.3	43.8	18.8	25.0	12.5	0.0	0.0	6.3
草加西部地区【n=17】	52.9	82.4	23.5	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=18】	55.6	50.0	16.7	5.6	5.6	11.1	0.0	5.6
草加稲荷地区【n=14】	78.6	57.1	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=28】	78.6	39.3	25.0	14.3	7.1	3.6	0.0	0.0
谷塚中央地区【n=5】	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
谷塚東部地区【n=11】	81.8	72.7	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0
無回答【n=1】	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域別で「地域貢献活動への参加をするための人員を確保できない」をみると、草加西部地区で8割超、谷塚東部地区でも7割超と多い傾向がみられた。

問4-5. 問4で「②取り組んでいない」と答えた企業にお聞きします。
 貴社が取り組めそうな地域貢献活動は次のうちどれですか。
 (あてはまるもの全てに☑)

【n=168】



取り組めそうな地域貢献活動では、「募金等への協力」が21.4%で最も多く、以下、「ゴミ拾いなどの清掃活動」が18.5%、「不用品など物品の提供」が17.9%、「イベント・行事への協力」が7.7%、「犯罪をした者の雇用」が6.0%などとなっている。

また、約4割の企業が「特にない」と回答している。

【その他】

- ・雇用はまだしていないが、応募はかけている。
- ・地域農産物を使った惣菜の製造など

▶ 地区別クロス集計

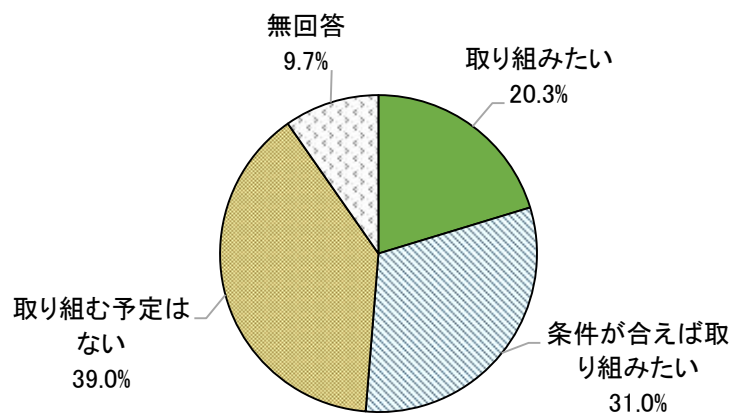
【単位：％】

	ゴミ拾いなどの清掃活動	イベント・行事への協力	不用品など物品の提供	募金等への協力	インターシップの受け入れ	助成金などの資金援助	所有設備の提供	高齢者や障がい者の雇用	犯罪をした者の雇用	公共施設・福祉施設等へ物品の寄附・寄贈
新田西部地区【n=18】	22.2	16.7	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0
新田東部地区【n=26】	19.2	3.8	15.4	7.7	19.2	0.0	0.0	7.7	3.8	0.0
草加川柳地区【n=14】	42.9	0.0	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
草加安行地区【n=16】	12.5	18.8	25.0	31.3	0.0	0.0	6.3	6.3	18.8	6.3
草加西部地区【n=17】	29.4	0.0	29.4	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
草加東部地区【n=18】	16.7	5.6	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
草加稲荷地区【n=14】	7.1	21.4	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0
谷塚西部地区【n=28】	10.7	3.6	3.6	21.4	3.6	0.0	0.0	7.1	3.6	3.6
谷塚中央地区【n=5】	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=11】	9.1	9.1	27.3	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1
無回答【n=1】	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	所有施設の開放	社会科見学や職場体験等への協力	地域の情報発信	高齢者等の見守り活動	交通安全・防犯パトロール活動	道路・公園・緑地等の維持管理活動	その他	特にない	無回答
新田西部地区【n=18】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	11.1
新田東部地区【n=26】	3.8	7.7	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	38.5	3.8
草加川柳地区【n=14】	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	42.9	0.0
草加安行地区【n=16】	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	31.3	6.3
草加西部地区【n=17】	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	23.5	0.0
草加東部地区【n=18】	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	38.9	5.6
草加稲荷地区【n=14】	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	35.7	0.0
谷塚西部地区【n=28】	0.0	7.1	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	50.0	7.1
谷塚中央地区【n=5】	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0
谷塚東部地区【n=11】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「ゴミ拾いなどの清掃活動」をみると、草加川柳地区で4割超と多い傾向がみられた。

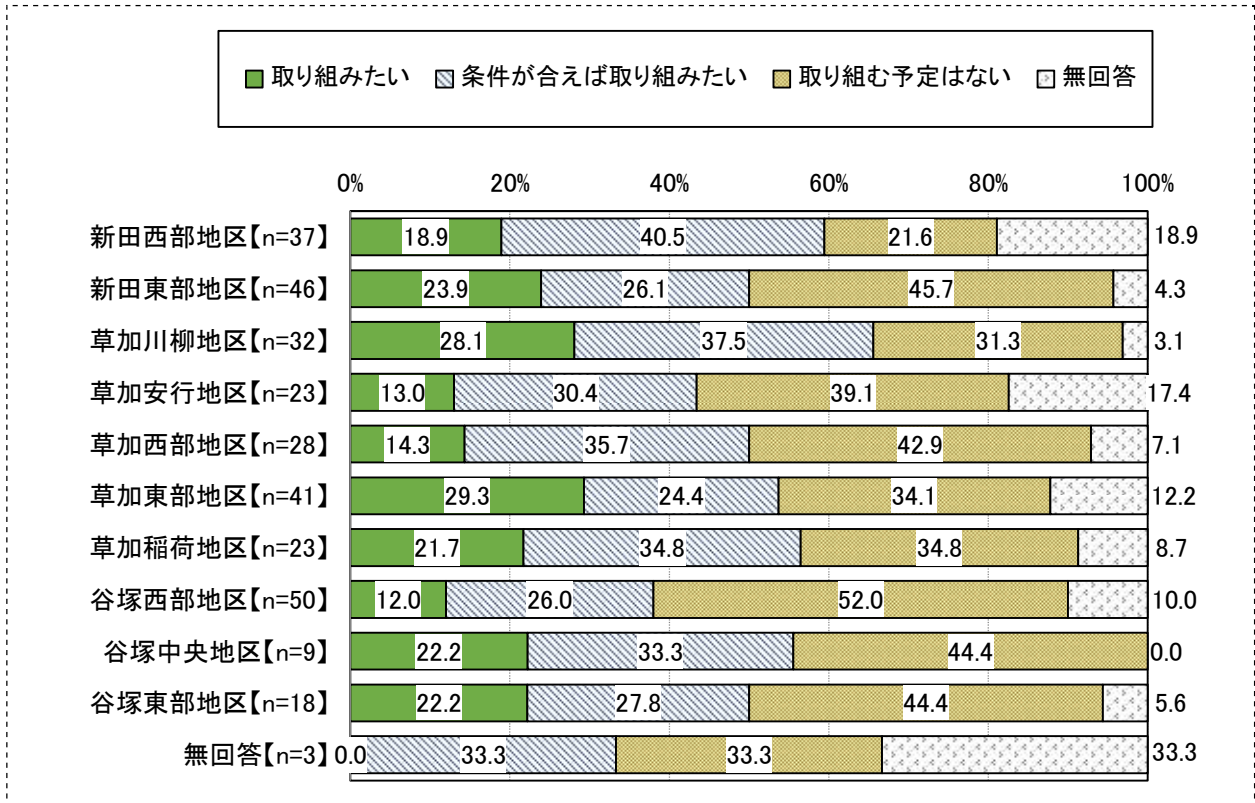
問5. 貴社は今後、地域貢献活動に取り組みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに☑)



【n=310】

今後の地域貢献活動への取り組み意向は、「取り組みたい」が20.3%、「条件が合えば取り組みたい」が31.0%、「取り組み予定はない」が39.0%となっている。

▶地区別クロス集計



地区別で「条件が合えば取り組みたい」をみると、新田西部地区で4割を超えるなど多い傾向がみられた。

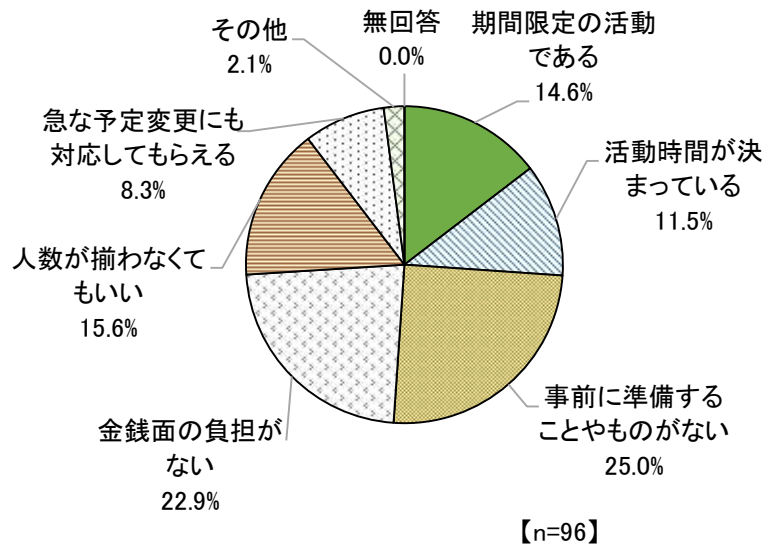
▶問5「貴社は今後、地域貢献活動に取り組みたいと思いますか」と問6「企業による地域貢献活動が活発になっていくためにはどのような環境が必要だと思いますか」のクロス集計

【単位：％】

	気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある	どのような地域貢献活動が求められているかなど情報が集約され、提供されている	地域貢献活動に取り組むメリットが明確である	地域貢献活動に関する相談窓口が整備されている	地域貢献活動を行う企業同士の交流の場がある	地域貢献活動に関する個別要請がある	地域貢献活動に対する評価や表彰する仕組みがある	その他	わからない	無回答
取り組みたい【n=63】	52.4	55.6	23.8	28.6	23.8	15.9	6.3	1.6	7.9	3.2
条件が合えば取り組みたい【n=96】	45.8	44.8	26.0	22.9	14.6	17.7	8.3	2.1	17.7	1.0
取り組む予定はない【n=121】	17.4	15.7	26.4	5.8	6.6	5.0	1.7	1.7	43.0	9.9
無回答【n=30】	30.0	26.7	3.3	16.7	13.3	3.3	0.0	3.3	3.3	40.0

地域貢献活動に「取り組みたい」と回答している企業では、「どのような地域貢献活動が求められているのかなど情報が集約され、提供されている」と「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」の割合が5割を超えている。「条件が合えば取り組みたい」と回答している企業でも、同様に割合が多くなっている。

問5-1. 問5で「条件が合えば取り組みたい」と答えた企業にお聞きします。
 貴社ではどのような条件であれば、地域貢献活動に取り組みそうですか。
 (あてはまるもの1つに☑)



地域貢献活動に取り組むための条件では、「事前準備することやものがない」が25.0%で最も多く、以下、「金銭面の負担がない」が22.9%、「人数が揃わなくてもいい」が15.6%、「期間限定の活動である」が14.6%、「活動時間が決まっている」が11.5%などとなっている。

【その他】

- ・ スタッフがいない
- ・ 人手が足りなく時間も作れない

▶ 地区別クロス集計

【単位：％】

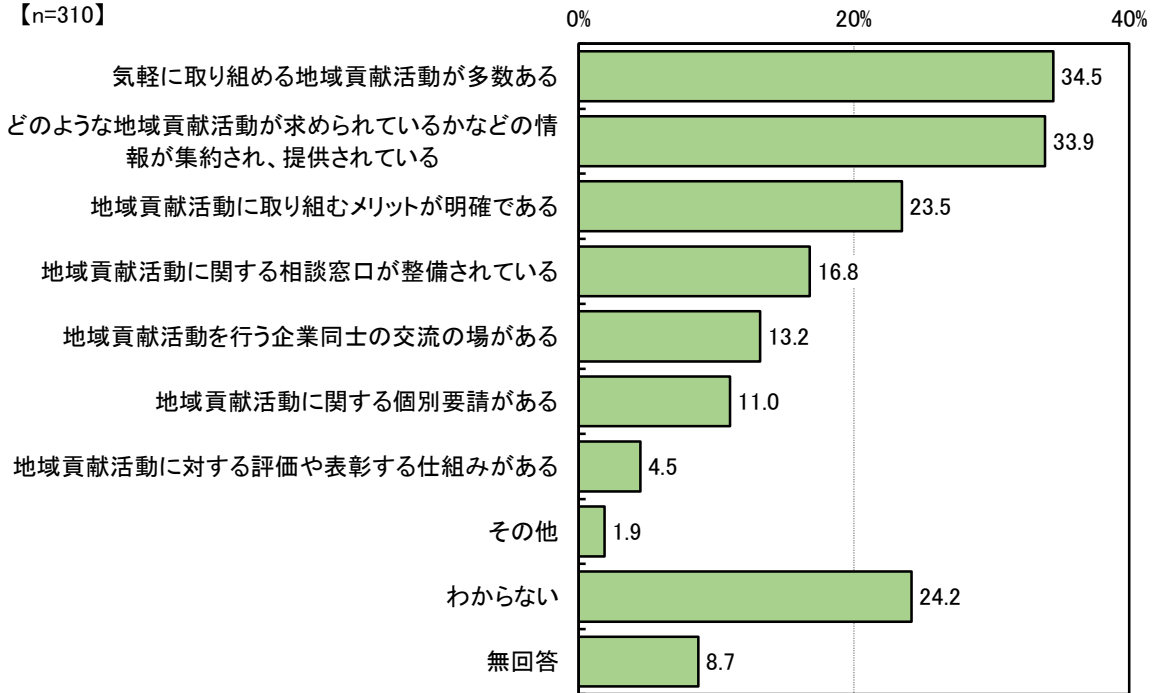
	期間限定の活動である	活動時間が決まっている	事前準備することやものがない	金銭面の負担がない	人数が揃わなくてもいい	急な予定変更にも対応してもらえる	その他	無回答
新田西部地区【n=15】	6.7	6.7	26.7	33.3	13.3	6.7	6.7	0.0
新田東部地区【n=12】	16.7	25.0	25.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
草加川柳地区【n=12】	16.7	8.3	16.7	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0
草加安行地区【n=7】	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0
草加西部地区【n=10】	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0
草加東部地区【n=10】	20.0	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
草加稲荷地区【n=8】	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=13】	23.1	0.0	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0
谷塚中央地区【n=3】	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区【n=5】	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
無回答【n=1】	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「事前準備することやものがない」をみると、草加東部地区、谷塚東部地区で4割と多い傾向がみられました。

問5から3割超の企業が「条件が合えば取り組みたい」と回答している。問5-1では、「事前準備することやものがない」、「金銭面の負担がない」といった条件が示されていることから、現状の地域貢献活動を精査し、より取り組みやすい方法を検討する必要がある。また、問4-3で実際に取り組んでいる企業では、6割超が「地域とのコミュニケーションが深まった」と回答しており、地域貢献活動のメリットとしてPRを検討することも重要となる。

問6. 企業による地域貢献活動が活発になっていくためにはどのような環境が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに☑)

【n=310】



地域貢献活動が活発になっていくために必要な環境では、「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」が34.5%で最も多く、以下、「どのような地域貢献活動が求められているかなどの情報が集約され、提供されている」が33.9%、「地域貢献活動に取り組むメリットが明確である」が23.5%、「地域貢献活動に関する相談窓口が整備されている」が16.8%などとなっている。

また、24.2%が「わからない」と回答している。

▶ 地区別クロス集計

【単位：%】

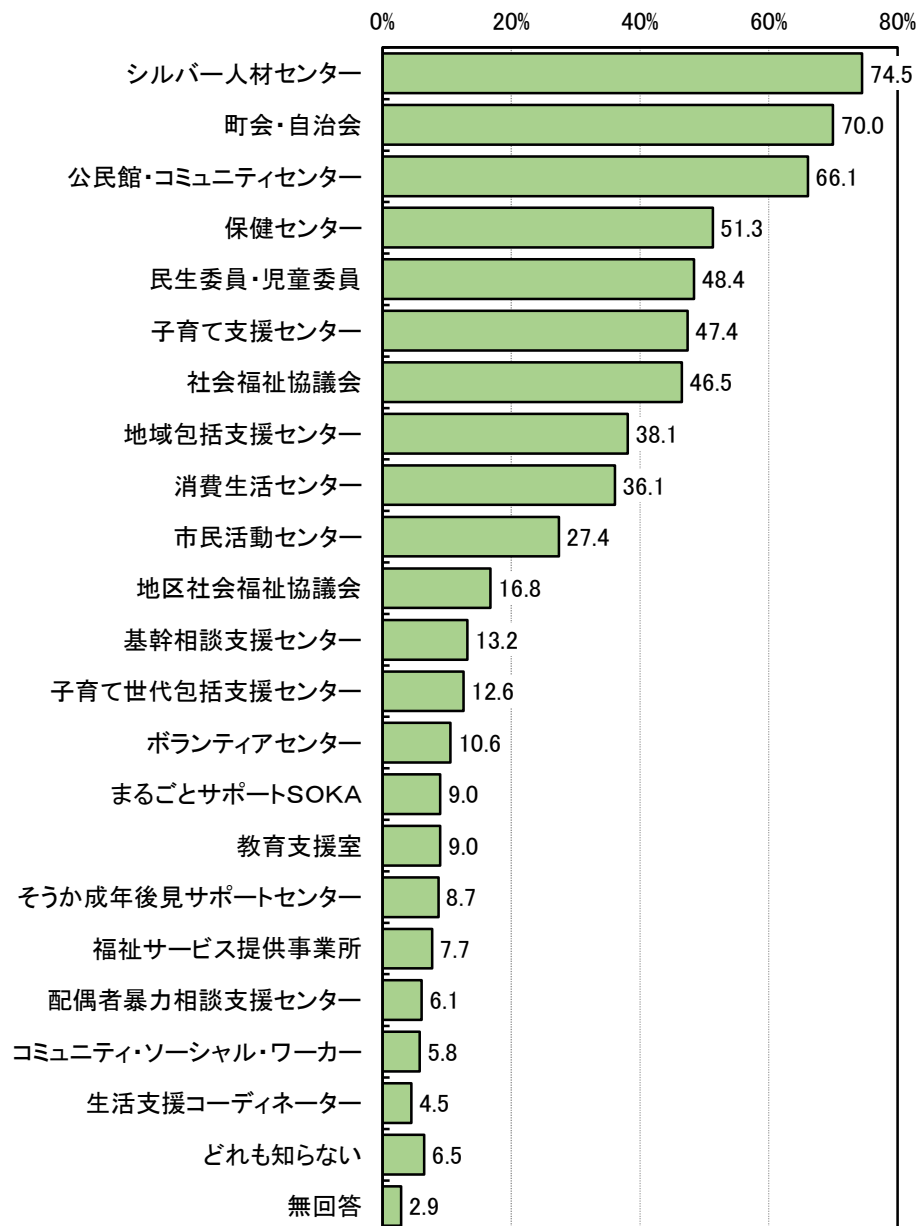
地区	気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある	どのような地域貢献活動が求められているかなどの情報が集約され、提供されている	地域貢献活動に取り組むメリットが明確である	地域貢献活動に関する相談窓口が整備されている	地域貢献活動を行う企業同士の交流の場がある	地域貢献活動に関する個別要請がある	地域貢献活動に対する評価や表彰する仕組みがある	その他	わからない	無回答
新田西部地区【n=37】	29.7	24.3	16.2	27.0	10.8	10.8	2.7	2.7	18.9	21.6
新田東部地区【n=46】	43.5	39.1	17.4	13.0	4.3	15.2	0.0	0.0	28.3	8.7
草加川柳地区【n=32】	37.5	46.9	34.4	12.5	12.5	18.8	18.8	3.1	18.8	9.4
草加安行地区【n=23】	39.1	26.1	26.1	17.4	17.4	0.0	4.3	0.0	30.4	13.0
草加西部地区【n=28】	32.1	32.1	25.0	7.1	14.3	10.7	7.1	0.0	28.6	3.6
草加東部地区【n=41】	39.0	29.3	26.8	24.4	26.8	14.6	2.4	4.9	19.5	2.4
草加稲荷地区【n=23】	47.8	39.1	47.8	21.7	17.4	13.0	8.7	4.3	8.7	8.7
谷塚西部地区【n=50】	16.0	38.0	14.0	16.0	10.0	2.0	0.0	0.0	32.0	6.0
谷塚中央地区【n=9】	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0
谷塚東部地区【n=18】	27.8	27.8	27.8	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	27.8	11.1
無回答【n=3】	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

地区別で「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」をみると、新田西部地区、谷塚西部地区、谷塚東部地区を除く地区で割合が多い傾向がみられました。

相談窓口・組織等について

問7. 貴社は次の相談窓口・組織を知っていますか。（知っているもの全てに☑）

【n=310】



知っている相談窓口・組織では、「シルバー人材センター（高年者の就業等に関すること）」が74.5%で最も多く、以下、「町会・自治会」が70.0%、「公民館・コミュニティセンター」が66.1%、「保健センター（健康相談、こころの健康相談）」が51.3%、「民生委員・児童委員」が48.4%などとなっている。

また、6.5%が「どれも知らない」と回答している。

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	シルバー人材センター	町会・自治会	公民館・コミュニティセンター	保健センター	民生委員・児童委員	子育て支援センター	社会福祉協議会	地域包括支援センター
新田西部地区【n=37】	62.2	64.9	54.1	45.9	32.4	43.2	35.1	48.6
新田東部地区【n=46】	71.7	78.3	69.6	45.7	65.2	52.2	54.3	50.0
草加川柳地区【n=32】	81.3	68.8	68.8	56.3	43.8	59.4	53.1	28.1
草加安行地区【n=23】	69.6	65.2	73.9	47.8	47.8	47.8	39.1	26.1
草加西部地区【n=28】	75.0	64.3	53.6	57.1	42.9	50.0	39.3	32.1
草加東部地区【n=41】	78.0	63.4	68.3	63.4	51.2	53.7	58.5	43.9
草加稲荷地区【n=23】	95.7	73.9	82.6	60.9	47.8	52.2	52.2	21.7
谷塚西部地区【n=50】	72.0	78.0	66.0	44.0	52.0	34.0	38.0	36.0
谷塚中央地区【n=9】	66.7	55.6	44.4	44.4	33.3	22.2	55.6	33.3
谷塚東部地区【n=18】	83.3	72.2	72.2	44.4	44.4	38.9	50.0	50.0
無回答【n=3】	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0	0.0	0.0

	消費生活センター	市民活動センター	地区社会福祉協議会	基幹相談支援センター	子育て世代包括支援センター	ボランティアセンター	まるごとサポートSO KA	教育支援室
新田西部地区【n=37】	24.3	21.6	10.8	16.2	5.4	5.4	5.4	2.7
新田東部地区【n=46】	45.7	30.4	23.9	21.7	17.4	15.2	15.2	10.9
草加川柳地区【n=32】	46.9	21.9	15.6	12.5	15.6	12.5	0.0	6.3
草加安行地区【n=23】	39.1	17.4	8.7	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3
草加西部地区【n=28】	28.6	21.4	17.9	3.6	14.3	7.1	0.0	10.7
草加東部地区【n=41】	34.1	31.7	19.5	7.3	17.1	9.8	12.2	12.2
草加稲荷地区【n=23】	52.2	26.1	26.1	4.3	8.7	26.1	21.7	13.0
谷塚西部地区【n=50】	32.0	28.0	14.0	14.0	10.0	6.0	8.0	8.0
谷塚中央地区【n=9】	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1
谷塚東部地区【n=18】	33.3	44.4	16.7	16.7	16.7	22.2	16.7	16.7
無回答【n=3】	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

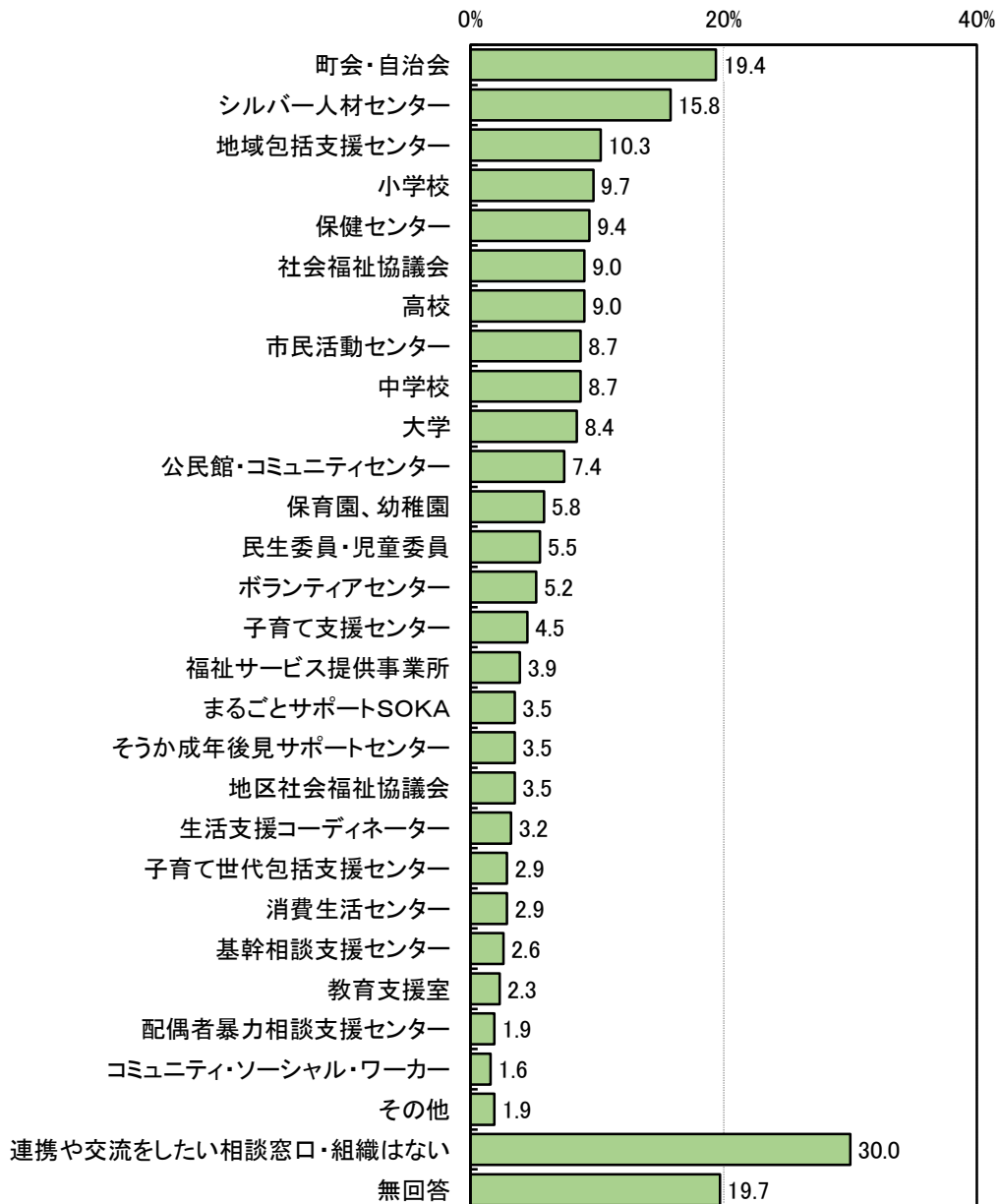
	そうか成年後見サポートセンター	福祉サービス提供事業所	配偶者暴力相談支援センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	生活支援コーディネーター	どれも知らない	無回答
新田西部地区【n=37】	0.0	5.4	2.7	2.7	2.7	8.1	8.1
新田東部地区【n=46】	19.6	15.2	10.9	6.5	6.5	8.7	4.3
草加川柳地区【n=32】	6.3	3.1	9.4	6.3	3.1	6.3	3.1
草加安行地区【n=23】	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7
草加西部地区【n=28】	7.1	10.7	7.1	7.1	3.6	7.1	0.0
草加東部地区【n=41】	9.8	4.9	2.4	12.2	7.3	9.8	2.4
草加稲荷地区【n=23】	8.7	17.4	4.3	4.3	13.0	0.0	0.0
谷塚西部地区【n=50】	2.0	2.0	4.0	2.0	0.0	4.0	0.0
谷塚中央地区【n=9】	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0
谷塚東部地区【n=18】	11.1	16.7	11.1	16.7	11.1	0.0	0.0
無回答【n=3】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「シルバー人材センター」をみると、いずれの地区も6割を上回るなど多い傾向がみられますが、なかでも草加稲荷地区は9割を超えています。

問 8. 貴社が今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織はありますか。

(あてはまるもの全てに☑)

【n=310】



今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「町会・自治会」が19.4%で最も多く、以下、「シルバー人材センター」が15.8%、「地域包括支援センター」が10.3%、「小学校」が9.7%、「保健センター」が9.4%、「社会福祉協議会」と「高校」が同率の9.0%などとなっている。

また、3割の企業が「連携や交流をしたい相談窓口・組織はない」と回答している。

【その他】

- ・問題が発生した時には利用したい。
- ・地域貢献活動に於いて関連する窓口
- ・市役所
- ・その時にならないとわからない
- ・具体的な活動がわからないのでどこに連携したらいいのかわかりません。

▶地区別クロス集計

【単位：％】

	町会・自治会	シルバー人材センター	地域包括支援センター	小学校	保健センター	社会福祉協議会	高校	市民活動センター	中学校	大学
新田西部地区 [n=37]	18.9	5.4	16.2	13.5	2.7	2.7	13.5	10.8	13.5	13.5
新田東部地区 [n=46]	23.9	19.6	13.0	10.9	10.9	8.7	10.9	8.7	10.9	10.9
草加川柳地区 [n=32]	25.0	15.6	9.4	18.8	15.6	15.6	18.8	9.4	21.9	12.5
草加安行地区 [n=23]	13.0	8.7	4.3	17.4	4.3	17.4	8.7	4.3	13.0	17.4
草加西部地区 [n=28]	7.1	7.1	7.1	3.6	10.7	10.7	3.6	10.7	3.6	3.6
草加東部地区 [n=41]	24.4	9.8	7.3	9.8	9.8	7.3	9.8	9.8	7.3	7.3
草加稲荷地区 [n=23]	21.7	39.1	8.7	4.3	13.0	13.0	17.4	13.0	8.7	17.4
谷塚西部地区 [n=50]	16.0	10.0	8.0	4.0	2.0	6.0	0.0	4.0	2.0	0.0
谷塚中央地区 [n=9]	22.2	33.3	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区 [n=18]	22.2	38.9	22.2	5.6	22.2	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0
無回答 [n=3]	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

	公民館・コミュニティセンター	保育園、幼稚園	民生委員・児童委員	ボランティアセンター	子育て支援センター	福祉サービス提供事業所	まるごとサポートSO KA	そうか成年後見サポートセンター	地区社会福祉協議会	生活支援コーディネーター
新田西部地区 [n=37]	2.7	13.5	8.1	2.7	0.0	5.4	0.0	0.0	5.4	0.0
新田東部地区 [n=46]	13.0	8.7	4.3	6.5	6.5	2.2	4.3	4.3	4.3	6.5
草加川柳地区 [n=32]	3.1	9.4	0.0	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1
草加安行地区 [n=23]	8.7	8.7	13.0	4.3	0.0	4.3	8.7	4.3	13.0	0.0
草加西部地区 [n=28]	3.6	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0
草加東部地区 [n=41]	4.9	2.4	7.3	2.4	9.8	0.0	2.4	7.3	0.0	0.0
草加稲荷地区 [n=23]	13.0	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0	4.3	4.3	13.0
谷塚西部地区 [n=50]	4.0	2.0	4.0	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0
谷塚中央地区 [n=9]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0
谷塚東部地区 [n=18]	22.2	0.0	5.6	22.2	5.6	22.2	5.6	11.1	5.6	11.1
無回答 [n=3]	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	子育て世代包括支援センター	消費生活センター	基幹相談支援センター	教育支援室	配偶者暴力相談支援センター	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	その他
新田西部地区 [n=37]	2.7	5.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
新田東部地区 [n=46]	4.3	2.2	6.5	4.3	2.2	4.3	2.2
草加川柳地区 [n=32]	6.3	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0
草加安行地区 [n=23]	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3
草加西部地区 [n=28]	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
草加東部地区 [n=41]	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	4.9
草加稲荷地区 [n=23]	8.7	13.0	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0
谷塚西部地区 [n=50]	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	4.0
谷塚中央地区 [n=9]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
谷塚東部地区 [n=18]	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0
無回答 [n=3]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区別で「シルバー人材センター」をみると、草加稲荷地区、谷塚中央地区、谷塚東部地区で3割超となっているが、新田西部地区、草加安行地区、草加西部地区、草加東部地区で少ない傾向があるなど差がみられました。

⑤調査結果まとめ

5-1 アンケート調査結果

①一般市民調査

(1) お住まいの地域について（問1）

居住地域や周辺環境について、②公共交通機関の充実、③防災対策の充実、④治安がよい、⑤きれいなまち各評価項目で肯定的な評価（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」）が否定的な評価（「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」）の割合を上回り、①バリアフリー化については否定的な評価が上回っています。

生活環境について、⑥子育て環境は肯定的な評価が上回り、⑦高年者や障がい者の生活環境は否定的な評価がわずかに上回っています。また、⑧助け合いや交流活動は否定的な評価が、⑨地域活動やボランティア活動については肯定的な評価が上回りました。

草加市について、⑩愛着を持っている、⑪住みやすい、⑫これからも住みたいでは、いずれも肯定的な評価が上回っています。

(2) 近所付き合いについて（問2～問4）

近所付き合いは、「会えばあいさつを交わす程度」、「会えば話をするが、親しく付き合うほどではない」の回答が多くなっています。

この先の近所付き合いでは、「話しをする程度の付き合いをしたい」、「あいさつを交わす程度で、それ以上の付き合いは望まない」の割合が多くなっています。

また、近所の気にかかる人に対して、「わからない」が最も多くなっています。

以上の点から、人付き合いの希薄化を感じられる回答となっています。

(3) 悩みや不安、相談について（問5～問8）

悩みや不安の要素では、災害時の備え、治安、経済的なことが上位となっています。

悩みごとの相談相手の上位は、家族や親戚、知人友人、職場の人と身近にいる人物となっています。公的機関の上位は、4番手の「市役所など行政の窓口」でした。

また、悩みごとを抱えていても相談していない、しない人もおり、相談していない理由も「今は何とかなっている」、「自分でぎりぎりまで頑張りたい」がと回答しています。

相談窓口に求めることでは、「気軽に相談できる雰囲気がある」、「電話、SNS、メール等様々な方法で相談ができる」、「ひとつの窓口で、様々な相談をすることができる」と回答しています。

以上の点から、若い世代ほど相談者の選択肢として「家族や親戚」、「友人・知人」と身近にいる人の割合が多く、「市役所などの行政の窓口」といった第三者による相談の割合は限られています。また相談しない理由では、少数ですが「誰に相談すればいいかわからないから」が挙げられており、公的機関による相談窓口について周知を図るとともに、相談体制のより一層の充実を図る必要があります。

(4) 地域活動やボランティア活動について（問9～問11）

現在参加している人は全体の1割、参加したことがない人は7割、参加経験はあるが現在活動していない人は2割となっています。

活動への参加のきっかけは、活動内容への興味、地域への貢献が上位にあげられています。参加経験はあるが現在活動していない人が活動に参加したきっかけは、「順番でまわってきた」が最も多くなっています。

参加経験はあるが現在活動していない人と参加したことがない人が、参加できていない理由として「仕事や家事で忙しく、参加する時間が取れないため」を一番に挙げています。次点には、参加経験がある人は「活動自体がなくなった」、参加経験がない人は「どこでどのような活動が行われているのかわからないため」と回答しています。

「参加経験はあるが現在活動していない人」の中には、持ち回りの役職が回ってきて

地域活動やボランティア活動に関わったが、活動への参加継続が難しくなったことや活動自体の終了により参加しなくなったという割合が少なくないことから、継続して地域活動やボランティア活動に参加したくなる仕組みづくりが必要です。

今後の参加意向は「条件が合えば参加したい」が最も多くなっています。そのなかで、「参加したくない」と回答した人が、活動に参加しやすくなる要素について「気軽に参加できる」と回答しています。

(5) 情報の入手について (問12～問13-1)

情報の入手先は「広報そうか」が最も多く、次点が「身近な人」でした。

情報の入手状況は約3割が「十分ではないが入手できている」を挙げており、「十分入手できている」よりも「全く入手できていない」の割合の方が多くなっています。

情報を入手できていない背景には、「入手方法がわかりにくい」、「特に理由はない」と回答しています。

(6) 住民同士の支え合いについて (問14～問20)

「地域福祉」という言葉を知っている人は2割、地域福祉推進に対する考え方では「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」が5割を占めています。

困っている人への対応では、4割が「自分ができる範囲で手助けをする」と答えています。また、「どうしていいかわからない」の回答が1割ですがありました。

支え合いとして近所の人たちにできることでは、「日常の声かけ」が最も多くなっています。また、近所の人たちに支え合いとしてやってもらいたいことでも、「日常の声かけ」が最も多くなっています。

別の見方をすると、近所の人に“できること”として「日常の声かけ」の割合は64.6%でしたが、近所の人に“してもらいたいこと”として「日常の声かけ」が38.8%と差がみられることから、住民同士の支え合いについて、距離を感じる内容となっています。

福祉教育・福祉学習に関しては、6割が「教育を受けた経験がない」と回答しており、福祉教育・福祉学習を受けた場所では、小中学校、高校大学といった教育機関が占める割合が多くなっています。

福祉教育・福祉学習を受けた場所、形態に関わらず、福祉教育・福祉学習を受けた人は、福祉への関心が高まったと回答しています。また、地域活動やボランティア活動、市や社会福祉協議会の講座を通して学んだ人はその後の活動への参加につながっています。

災害時の避難行動要支援者への手助けについて、5割が「どちらかといえば協力したい」と回答しています。また、3割が「わからない」と答えています。問18「住民同士の支え合いとして、あなたが近所の人にしてもらいたいこと」では、「地震など災害時の支援」の割合が多いことから、今後、協力者を積極的に増やしていく必要があります。

(7) 居場所について (問21～問21-2)

回答者の9割が自分の居場所として「自宅」を挙げています。

自宅以外では、「学校・職場」、「友人・知人の家」、「カフェなどの飲食店」と回答しています。

(8) 判断能力が低下した方への支援について (問22～問23-2)

「成年後見制度」を知っている人は4割となっています。同制度の利用意向は3割となっており、5割の回答者が「わからない」と答えています。

利用意向がある人は、自身の後見人に「配偶者や子どもなどの親族」を希望しています。

利用意向がない、わからないと答えた人の理由では、「同制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい」という回答が最も多くなっています。

(9) 再犯防止について (問24、問24-1)

犯罪をした人の立ち直りへの協力について、「どちらかといえばそう思わない」、「思わない」の割合が多くなっています。また、「わからない」の割合も多い結果となりました。

そのなかで、「どちらかといえばそう思わない」、「思わない」と回答した理由では、

「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」がそれぞれ5割を占めています。

以上の点から、「犯罪をした人の立ち直りへの協力」に対する取組が十分ではない様子が窺えることから、現行の取組内容を見直す必要があります。

(10) 地域福祉推進に向けた取組について（問25）

優先的に取り組むべき内容では、「どのような相談でもできる窓口の設置」が最も多く、「わかりやすい福祉情報の提供」、「必要な人へ支援をつなげる」、「災害時の安心・安全の仕組みづくり」、「福祉活動を行う人材の発掘、育成」が上位に挙げられています。

②地域活動団体調査

(1) 貴団体について（問1～問3）

活動分野は地域社会活動が最も多くなっています。

活動団体の活動年数は30年以上が半数を占めていました。

活動人数は、「91人以上」が最も多くなっています。

(2) 活動状況等について（問4～問20）

情報の入手先は、「市役所」と「社会福祉協議会」の割合が多くなっています。

活動PRは、地域等でのイベント参加、団体の広報紙の発行の割合が多くなっています。

「地域福祉」の認知度は多い傾向がみられます。また、地域福祉推進に対する考え方は「行政と住民や団体が協力し合い、共に取り組むべきである」が7割を占めていました。

団体活動の協力者として住民や他団体が参加できるかでは、7割が参加できると回答。気軽に参加できるための工夫として、「団体の会員等にならなくても参加ができる」の回答が最も多くなっています。

活動団体が実施している、実践できそうな活動として、住民が交流する場所や機会の提供が最も多く、次点が地域の防災活動、高年者等への見守りや声かけとなっています。

活動団体が抱える問題点では、「高齢化」、「メンバー不足」、「後継者不在」を挙げています。

活動団体が活性化するための要素として、「会員数の充実」、「活動協力者の充実」が上位に挙げられています。

活動自体を活性化するために必要な要素では、「団体や活動についてのPR」が最も多い回答となりました。問13、14により、団体の高齢化、メンバー不足の現状が浮き彫りになっており、メンバーを増やすための工夫として、問11-1で挙げた「団体の会員等にならなくても参加ができる等の取組」をしていることが読み取れます。イベント等に参加した住民が継続して活動に参加したくなるように、必要な支援や動機づけを検討することが、今後の活動を考える上で重要となります。

活動団体同士の交流・連携を進めるための必要な環境について、「それぞれの活動を繋ぐ人材の育成」、「合同イベントなどの開催」、「情報共有ツールの活用」と回答しています。PR活動として「地域等のイベントへの参加」、「団体の広報紙を発行」、「団体のホームページの作成」等の形でPR活動に取り組んでいますが、活動の活性化には「団体や活動についてのPR」の割合が多くなっていることから、活動団体単独のPRでは十分ではないという活動団体側の認識が窺える内容となっています。

相談窓口、組織の認知度では、「社会福祉協議会」が最も多く、「シルバー人材センター（高年者の就業等に関すること）」、「町会・自治会」、「公民館・コミュニティセンター」、「民生委員・児童委員」となっています。

連携や交流をしている、したことがある相談窓口・組織では、「社会福祉協議会」が最も多く、「町会・自治会」、「小学校」、「公民館・コミュニティセンター」、「民生委員・児童委員」等となっています。

今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「町会・自治会」が最も多く、以下、「社会福祉協議会」、「公民館・コミュニティセンター」、「小学校」、「地域包括支援

センター」等となっています。

活動するなかで増えてきたと感じている問題、課題では、高年者に関することが最も多く、「新型コロナウイルス感染症に関すること」、「防犯・防災に関すること」、「子ども・子育てに関すること」、「地域からの孤立に関すること」が上位に挙げられています。

③福祉サービス提供事業所調査

(1) 貴事業所について(問1～問5)

事業所の種類は、「介護・高年者施設・事業所」が半数を占めています。

職員数は、「11～30人」が最も多く、「6～10人」、「5人以下」の順となっています。

活動するなかで増えてきたと感じている問題、課題では、「新型コロナウイルス感染症に関すること」と「高年者に関すること」が上位を占めています。

(2) 活動状況等について(問6～問11)

地域貢献活動への取り組み状況は、「取り組んでいる」と「取り組んでいない」がほぼ半々となっています。

地域貢献活動の取組内容では、「地域活動やボランティア活動への参加」、「住民が交流する場所や機会の提供」が上位を占めています。取組のきっかけでは、「地域にとって必要であると自ら企画して実施」が多くなっており、地域貢献活動により「事業所の認知が高まった」との評価が最も多くなっています。

地域貢献活動に取り組んでいない理由では、「仕事以外の負担を職員にお願いできない」、「地域貢献活動をする時間的余裕がない」の回答が多くなっています。

地域貢献活動に取り組んでいない事業所が取り組めそうな活動では、「高年者等への見守りや声かけ」が最も多くなっています。5割以上の事業所では職員数が10人以下であることから、「仕事以外の負担を職員にお願いできない」、「地域貢献活動をする時間的余裕がない」と回答している事業所でも負担なくできる地域貢献活動について考える必要があります。

今後の地域貢献活動への意向は、5割が「条件が合えば取り組みたい」と回答。条件面では、「金銭面の負担がない」、「活動時間が決まっている」の回答が多くなっていることから、現状の地域貢献活動と事業所のニーズに差がみられる様子が読み取れます。また、実際に地域貢献活動に取り組んでいる事業所では、メリットを体感している点を今後の周知活動などに組み入れるなど、戦略的にPRしていく必要があります。

地域貢献活動で連携や交流をしている、したことのある相談窓口・組織では、「地域包括支援センター」が最も多く、「社会福祉協議会」、「福祉サービス提供事業所」、「基幹相談支援センター」、「民生委員・児童委員」となりました。

今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「地域包括支援センター」が最も多く、「社会福祉協議会」、「民生委員・児童委員」、「ボランティアセンター」、「小学校」となっています。

地域貢献活動に必要な情報の入手先は、「市のホームページ」、「市役所」、「社会福祉協議会」の順となっています。

地域貢献活動のPR方法では、事業所のホームページが5割となっています。

④民間企業調査

(1) 貴社について(問1～問3)

従業員数は「50人未満」が全体の9割を占めています。

営業年数は、「30年以上」が最も多くなっています。

(2) 活動状況等について(問4～問8)

地域貢献活動への取組状況は、「取り組んでいない」が「取り組んでいる」を10.7ポイント上回っています。

地域貢献活動の取組内容では、「募金等への協力」、「イベント・行事への協力」の回答が多くなっています。

地域貢献活動に取り組んだきっかけは、「地域社会とのコミュニケーションを図るため」が6割を占めており、この取組により6割の企業が「地域とのコミュニケーションが深まった」と回答しています。

地域貢献活動に取り組めない理由では、「業務が忙しく、参加する時間が取れない」、「地域貢献活動への参加をするための人員を確保できない」の割合が多くなっています。

地域貢献活動に取り組んでいない企業が取組みそうな地域貢献活動内容では、「募金等への協力」、「ごみ拾いなどの清掃活動」、「不用品などの物品の提供」の回答が多くなっています。

今後の地域貢献活動への取り組み意向では、3割が「条件が合えば取り組みたい」と回答。条件面では、「事前に準備することやものがない」、「金銭面の負担がない」が回答の上位となっていることから、現状の地域貢献活動を精査し、より取り組みやすい方法を検討する必要があります。また、実際に取り組んでいる企業では、6割超が「地域とのコミュニケーションが深まった」と回答しており、地域貢献活動のメリットとしてPRすることを検討することも、今後の地域貢献活動を広げていく上で重要となります。

地域貢献活動を活発にするために必要な要素として、「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」、「どのような地域貢献活動が求められているかなどの情報が集約され、提供されている」と回答しています。

また、地域貢献活動に取り組む予定がない企業にとって、地域貢献活動を活性化するためには、「地域貢献活動に取り組むメリットが明確である」と回答しています。

相談窓口、組織の認知度では、「シルバー人材センター（高年者の就業等に関すること）」が最も多く、「町会・自治会」、「公民館・コミュニティセンター」、「保健センター（健康相談、こころの健康相談）」、「民生委員・児童委員」等となっています。

今後、連携や交流をしたい相談窓口・組織では、「町会・自治会」が最も多く、以下、「シルバー人材センター」、「地域包括支援センター」、「小学校」、「保健センター」、「社会福祉協議会」、「高校」と続いています。

5-2 国・県の動向

①国の動向

国においては、複雑化している地域課題の解決に向け、多様な主体が地域づくりに参加し、世代や分野を超えてつながることで包括的な支援体制を構築する「地域共生社会」の実現を掲げており、その具体化に向けて、平成30年4月に社会福祉法の一部改正が行われています。

さらに、令和3年4月施行の改正社会福祉法では、市町村において住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の創設について盛り込まれています。

また、平成27年の国連総会において、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、17項目の目標達成に向けて国内でもさまざまな取り組みがすすめられています。

②埼玉県の動向

令和3年度～令和5年度を計画期間とする「第6期埼玉県地域福祉支援計画」を策定。計画の基本方針では、（1）地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築支援、（2）SDGsの理念に基づく「誰一人取り残さない」地域の実現、（3）超高齢化・少子化など、本県で顕著な傾向への対応を掲げています。

そのなかで、基本理念に「互いに支え合い、「誰一人取り残さない」地域を目指す埼玉づくり」を掲げ、施策の面では（1）基盤づくり～重層的な支援体制の構築に向けた基盤づくり～、（2）地域づくり～地域住民による支え合い・見守りの地域づくり～、（3）担い手づくり～専門職から住民一人ひとりまで地域福祉を支える担い手づくり～、（4）環境づくり～制度やサービスへつなぐ環境づくり～、（5）市町村の支援と計画の推進に取り組んでいます。

5-3 アンケート調査結果や基本的な情報等をもとに導いた課題

(1) 地域の安心安全

一般市民調査の問1-①バリアフリー化では、年齢別、地区別のいずれも「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の割合が高くなっています。

問1-③防災対策の充実では、年齢階層が上がるに従い「そう思わない」の割合が多くなっています。また、問1-⑦高年者や障がい者の生活環境でも年齢階層が上がるに従い、「どちらかといえばそう思わない」や「そう思わない」の割合が多くなっています。

地区別で問1-④治安がよいをみると、草加西部地区、谷塚中央地区、谷塚東部地区といった人口密度が比較的多い地域で「そう思わない」の割合が他の地区よりも多い傾向がみられています。

あらゆる年代、さまざまな背景を持つ人たちが、安心安全に暮らしていくために、バリアフリー化や防災対策、治安水準の向上に向けて取り組む必要があります。

(2) 人間関係の希薄化

一般市民調査の問2、問3の近所付き合いの現状と今後の意向から、親しくつきあうよりも、話をする、あいさつを交わす程度のつきあいを望んでおり、人間関係の希薄化が進む可能性があります。また、この設問ではコロナウイルス感染症の影響が人間関係に及ぼしている影響は見えませんが、一定の影響を及んでいると思われる。

(3) 悩みごとの相談場所の充実と周知

一般市民調査の問7により、相談していない、しない人が少数ですが、いることが判明しています。問7-1で相談していない、しない理由として、「今は何とかなっている」、「自分でぎりぎりまで頑張りたい」が上位に挙げられており、相談することを我慢、躊躇している人が一定数いると思われます。

また、問8の設問から相談窓口に求めることとして、「気軽に相談できる」、「様々な方法で相談できる」、「ひとつの窓口で様々な相談ができる」ことが望まれています。相談場所や相談方法の充実、相談事業に対する周知がより求められています。

(4) さまざまな活動への参加者を増やす

一般調査の問9により、地域活動、ボランティア活動の参加者が限られていることから、参加を促していく必要があります。また、問9-4により、活動経験があっても今は参加していない人の参加のきっかけが「順番でまわってきたため」が最も多く、参加しなくなった理由について、仕事や家事の多忙に次いで「活動自体がなくなった」が多い回答でした。活動のきっかけが主体的なものではなくても、活動の経験を活かし継続して活動できる仕組みを構築する必要があります。

地域活動やボランティアに参加していない人たちが参加できない理由として、仕事や家事による多忙と活動がどこで行われているのかわからないことを挙げています。仕事と家事による多忙は、家庭内における家事分担やワークライフバランスといった視点で検討する必要があります。また、「活動がどこで行われているのかわからない」人たちに向けた情報の発信、周知も課題の一つです。

活動団体調査の問13により、活動全般の問題点・課題の上位3位までが、人材に関する問題・課題でした。また、団体が活性化するために必要なことを尋ねている問14では、会員数の充実、協力者の充実が上位に挙げられており、人材不足による活動への影響が生じている可能性があることから、会員数を増やすための取り組みが求められています。

福祉サービス提供事業所調査の問3から、5割の事業所で職員数が10人以下であることがわかりました。また、問6により、事業所の半数で地域貢献活動に取り組んでいることから、これをより広げていくためには、問6-5により明らかになった「仕事以外の負担を職員にお願いできない」、「地域貢献活動をする時間的余裕がない」という課題を乗り越える必要があります。福祉サービス提供事業所が地域貢献活動に余裕をもって取り組める環境方策について現状をもとにみていく必要があります。

民間企業調査の問5今後の地域貢献活動への取り組み意向では、3割が「条件が合えば取り組みたい」と回答しています。条件面では、「事前に準備することやものがない」、「金銭面の負担がない」が回答の上位となっています。

また、問6の地域貢献活動を活発にするために必要な要素として、「気軽に組み入れる地域貢献活動が多数ある」、「どのような地域貢献活動が求められているかなどの情報が集約され、提供されている」と回答しています。

地域貢献活動に取り組む予定がない企業にとって、地域貢献活動を活性化するためには、「地域貢献活動に取り組むメリットが明確である」と回答していることから、活動がもたらすメリットやインセンティブについてどういったことを民間企業側に示すことができるのか検討する必要があります。

(5) 情報の発信とアクセス

一般市民調査の問12によると、生活や地域に関する情報の入手先は「広報そうか」が最も多く、次点が「身近な人」でした。

身近な人が情報の入手先の場合、発信者の情報の正確さが伝わった人たちに影響を及ぼす可能性があることから、適切な情報源へのアクセス方法や情報の検索方法について周知する必要があります。また、情報の入手、アクセスに関して、デジタルディバイド（情報格差）も課題の一つに挙げられます。

地域活動団体調査の問15から、地域活動団体の活動を活性化するためには「団体や活動についてのPR」が必要との調査結果があります。情報発信ツールや機会を通して、市民が活動を目にする機会を増やすことが、活動団体の活性化、先の会員数の充実にもつながると考えられます。これまで、どのような形でPRを行ってきたのか、頻度や利用しているツール等を再考する必要があります。

民間企業調査の問6により、地域貢献活動を活発にするための要素として、気軽に組み入れる活動が多くあること、求められている活動内容といった情報の集約と提供が挙げられています。必要としている地域貢献活動の情報を集約し、発信していく方法とその情報を効率よく受ける方法について考える必要があります。

(6) 地域の支え合いについて

一般市民調査の問17、問18から、支え合いとして近所の人ができること、支え合いとしてやってもらいたいことでは、「日常の声かけ」が最も多くなっていますが、この先、草加市の一部地区でも高齢化率が30%を超えると推計されている点から、「ごみ出し」、「買い物の手伝い」、「外出時の付き添い」等に対するニーズが高まる可能性があります。

その一方で、問2、問3により近所付き合いの希薄化が進む可能性をはらんでいる点も踏まえて、地域による支え合い活動の必要性を周知するとともに、担い手となる人材の発掘、育成、支え合いが必要な人との間をつなぐコーディネーター的役割を果たす人材について検討する必要があります。

5-4 課題まとめ

アンケート調査結果や基本的な情報等をもとに導いた課題を、以下のようにグループ化し、まとめました。

1. 地域の安心安全

○地域の安心安全【重点】

あらゆる年代、様々な背景を持つ人たちが、住み慣れた地域で安心安全によりよい生活していくためには、バリアフリー化やユニバーサルデザインを考慮した住環境の整備が必要になります。また、市内の人口密度が多い地域に暮らす人たちを中心に、治安や防災対策、生活環境に対する不安を抱えている様子がみられることから、治安水準の向上などに取り組む必要があります。

○人間関係の希薄化

コロナウイルス感染の感染拡大を予防するため、ソーシャルディスタンスといった予防策の影響から、人付き合い、近所付き合いの希薄化がより進行し、近所に暮らす「気にかかる人」の把握が困難になることが考えられます。社会的孤立を防ぐ観点からも、自分が暮らす地域への関心を持ち、人付き合い、近所付き合いを含む人間構築も地域の安心安全を構築する上で重要なことです。

2. 福祉の担い手不足への取り組み

○様々な活動への参加者を増やす【重点】

一般市民における地域活動、ボランティアへの参加者が限定的である現状がアンケート調査から読み取れます。地域活動団体においても、会員が増えないことに起因する、高齢化、後継者不足が顕在化しています。地域活動、ボランティア活動に限らず、地域福祉に広く関心を持ってもらうためにも、参加者の掘り起こし、活動へ誘う取組が必要です。

地域貢献活動に取り組んでいる事業所、企業が市内に多くあり、「気軽に参加できる」、「費用負担が生じない活動」へのニーズが多いことがわかりました。事業所、企業による地域貢献活動をより活性化させていくためにも、ニーズを吸い上げた地域貢献活動の方法について検討する必要があります。

○地域の支え合いについて【重点】

今後、草加市では、さらなる少子化、生産年齢人口の減少とともに、一部地区では20年後までに高齢化率が30%を超えると推計されており、「ごみ出し」や「買い物の手伝い」、「外出時等の付き添い」に対するニーズが高まる可能性があることから、支え合い活動に取り組む人材が必要となります。

そのうえで、支え合い活動など、福祉の担い手を少しでも増やすために、支え合い活動の趣旨や取り組むことの意義を周知するとともに、担い手の確保、育成とともに、支え合いが必要な人との間をつなぐコーディネーター的役割を果たす人材の育成について検討する必要があります。

3. 相談体制の充実

○悩みごとの相談場所の充実と周知【重点】

悩みや不安を相談できない人の中には、「今は何とかなっている」、「自分でぎりぎりまで頑張りたい」と相談することを我慢したり、躊躇している人が一定数いることが調査から読み取れます。

また、悩みや不安を相談する相手には、家族や親戚、友人や知人といった身近な人が多いこともアンケート調査により明らかになっており、身近な所で相談できない問題を抱えていることも考えられます。相談することを我慢、躊躇することにより、悩みや不安がより複雑なものになる可能性があります。

そのためにも、相談することへのハードルを下げること、いろいろな方法、環境から相

談窓口につながるができること、そして、様々なことを“誰にも知られることなく相談できる場所”があることを幅広く周知をする必要があります。

国や県が取り組んでいる重層的支援体制整備には「相談支援」が含まれていることから、より一層注力していく必要があります。

○情報の発信とアクセス

これからの地域福祉に関する活動では、適切な情報発信に情報を受け取ること、そしてその情報を共有することを通して、周知や認知を高めていくことがすべての局面で重要となってきます。

情報発信のツールには、インターネットの発達により、HPのみならずSNSから、地区の掲示板、回覧板といった昔から使われているツールなど多様化しています。

また、情報の収集にあたり、誰でも、どこにいても必要な情報に最短距離でたどり着けるように整理するとともに、情報の提供者と情報の受け手との間を繋ぐハブが必要になります。

また、デジタル情報へのアクセスに関しては、デジタルディバイド（情報格差）に対する対策も必要です。

草加市
地域福祉計画 アンケート調査 結果報告書

令和5年2月

発 行 : 草加市
企画・編集 : 草加市健康福祉部福祉政策課
